

＜第4章 調査結果〔解説・グラフ〕＞

第4章 調査結果〔解説・グラフ〕

1. 県の基本政策について

(1)「経済の活性化」について

問1 「経済の活性化」について、第5期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

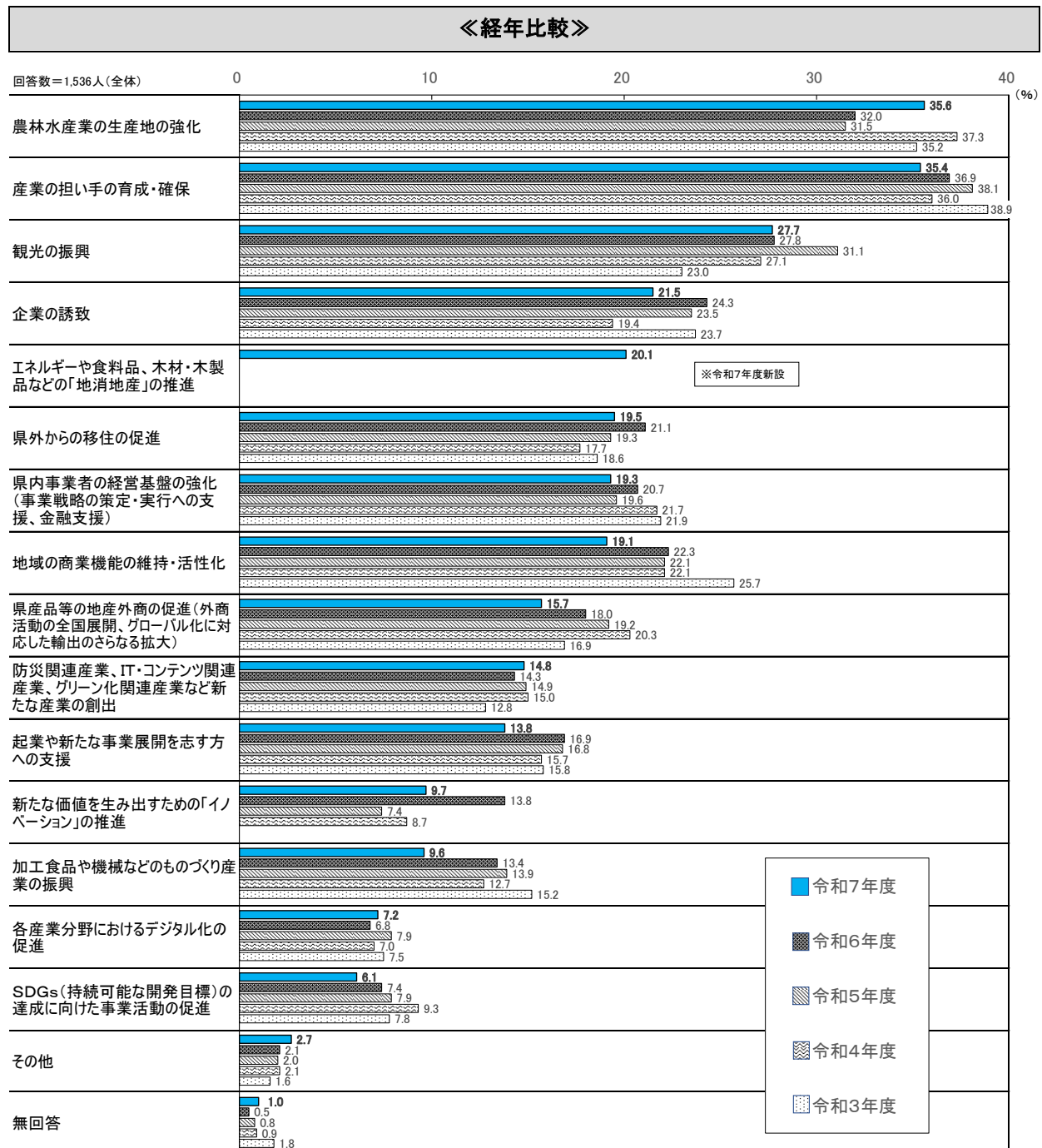
【総合】

「農林水産業の生産地の強化」が35.6%と1位になっている。

次いで、「産業の担い手の育成・確保」が35.4%、「観光の振興」が27.7%と続いている。

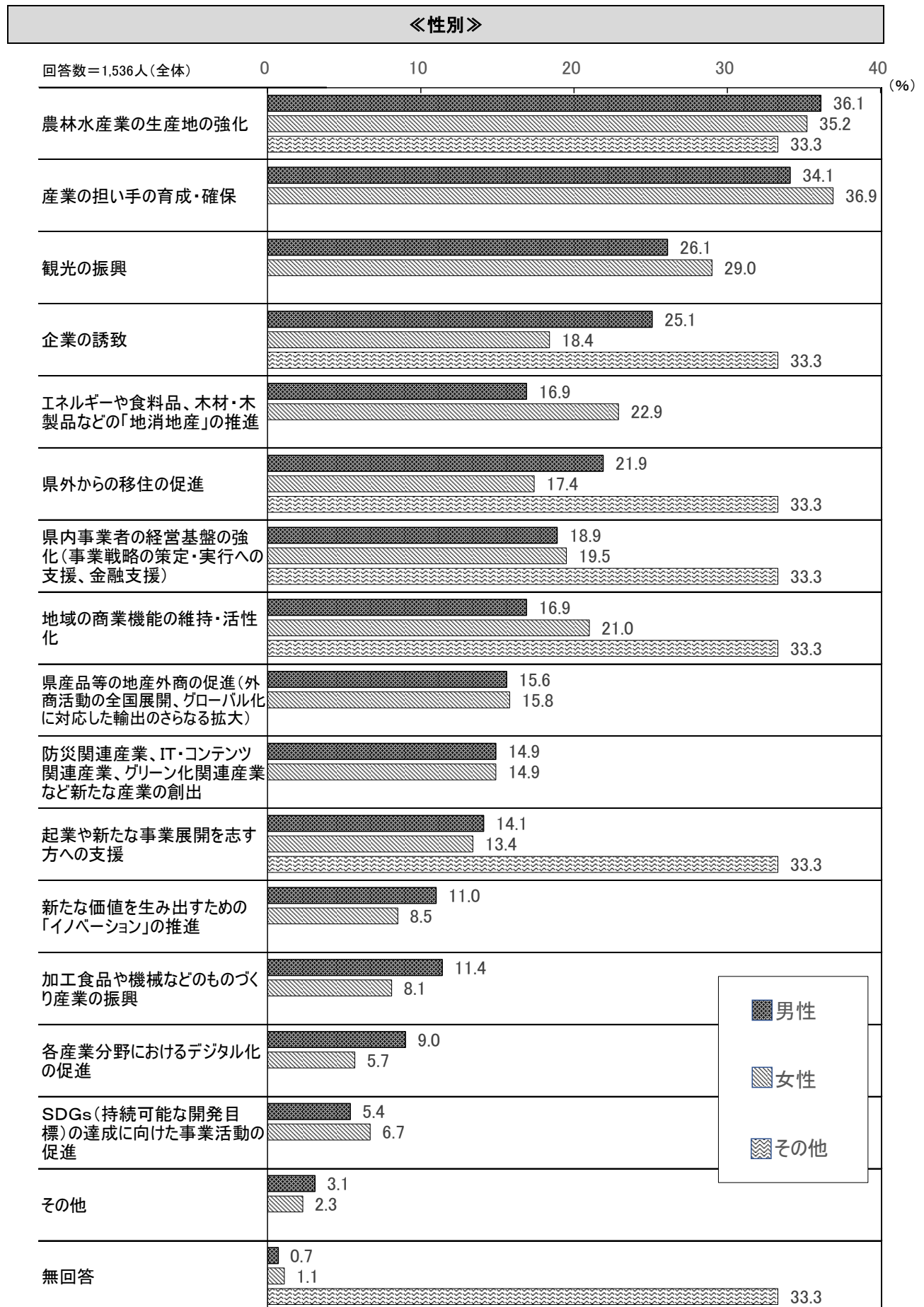
【過去の調査との比較】

今年度は、昨年度2位だった「農林水産業の生産地の強化」が1位に、昨年度1位だった「産業の担い手の育成・確保」が2位となっている。以降の順位も昨年度と大きな変化はない。



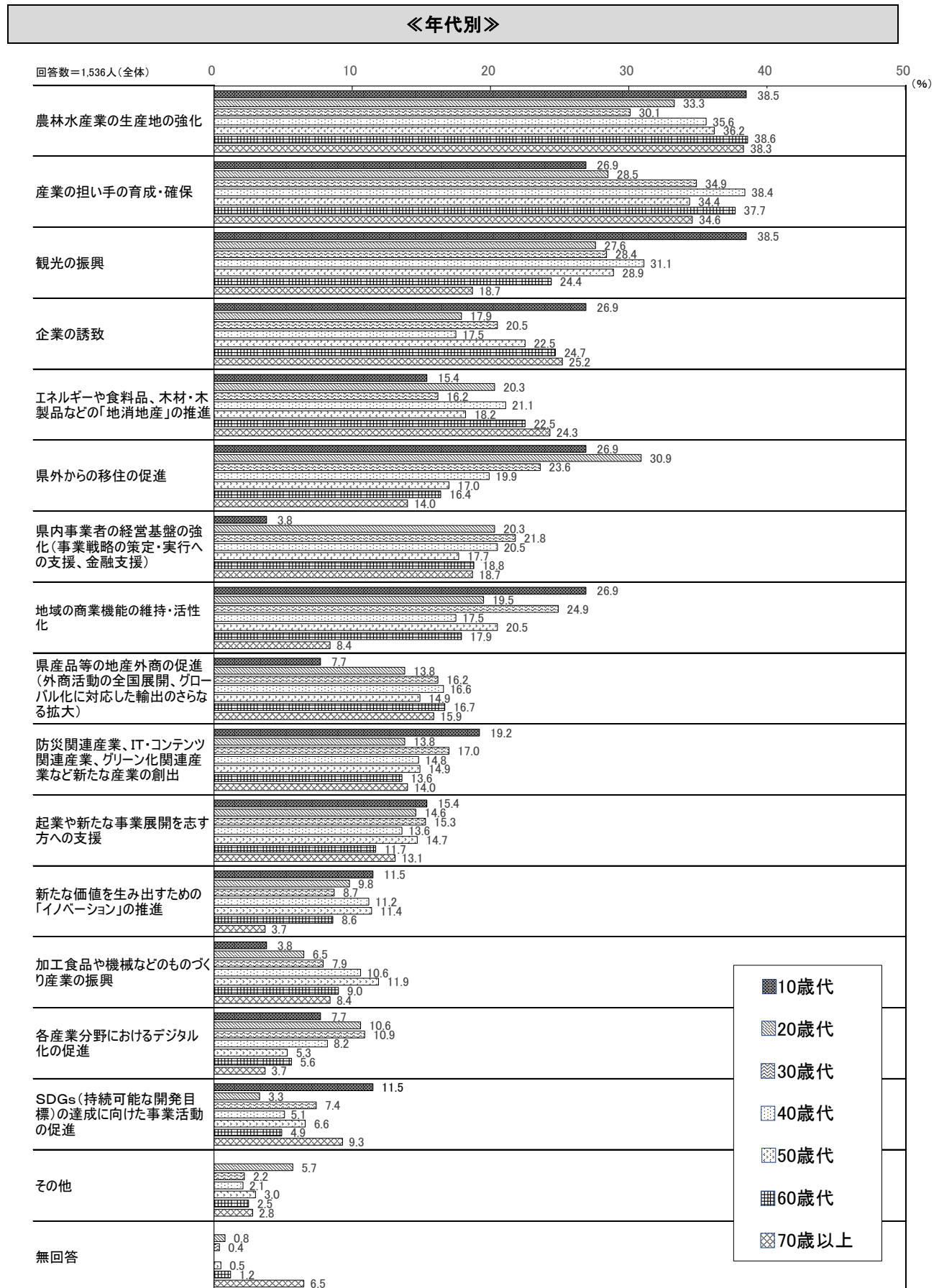
【性別】

男性では「農林水産業の生産地の強化」が、女性では「産業の担い手の育成・確保」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代、20 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「農林水産業の生産地の強化」が最も高く、30 歳代、40 歳代では「産業の担い手の育成・確保」が最も高くなっている。また、10 歳代では同率で「観光の振興」が最も高くなっている。



(2)「日本一の健康長寿県づくり」について

問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第5期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

【総合】

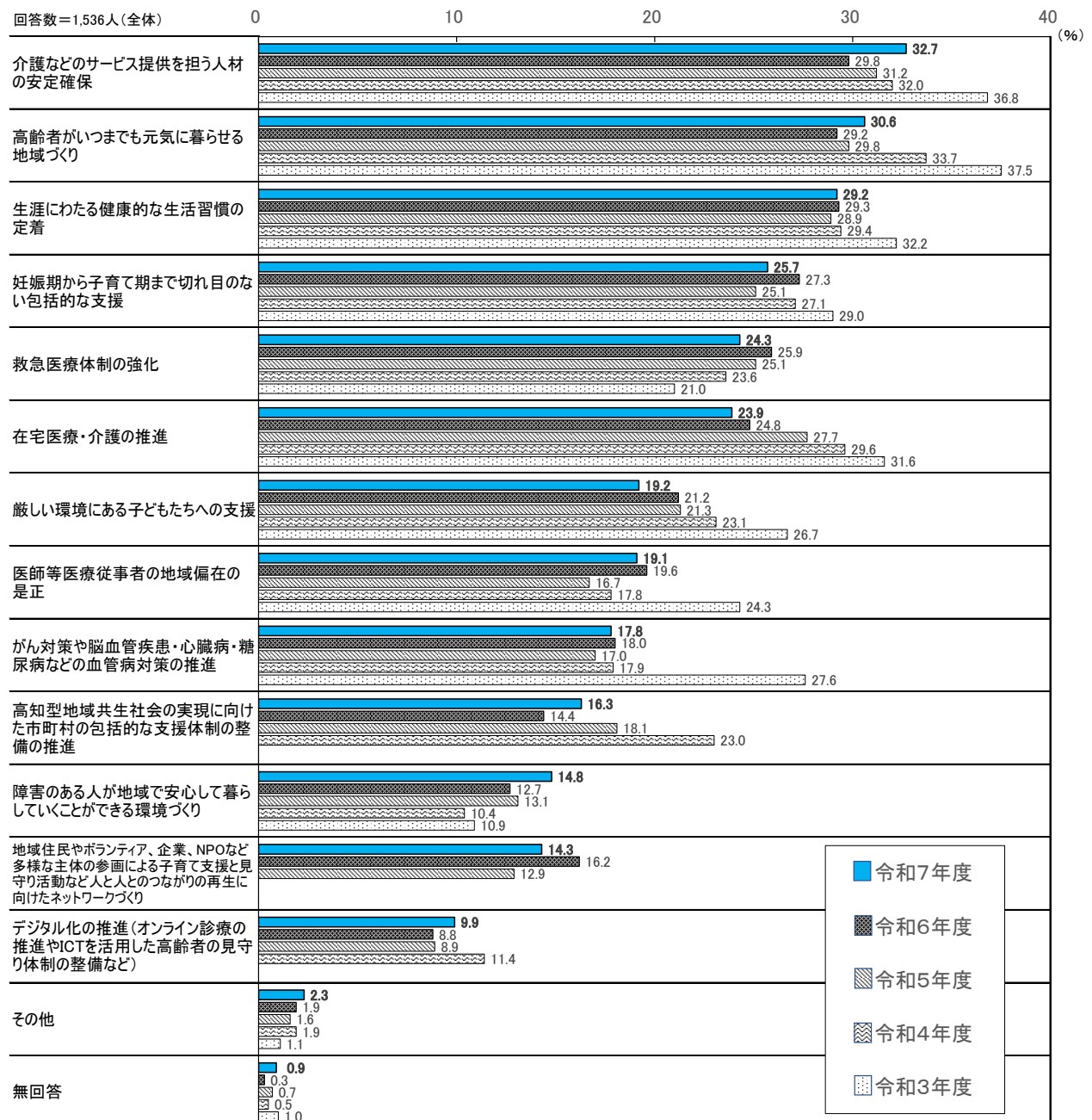
「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が32.7%と1位になっている。

次いで、「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が30.6%、「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が29.2%と続いている。

【過去の調査との比較】

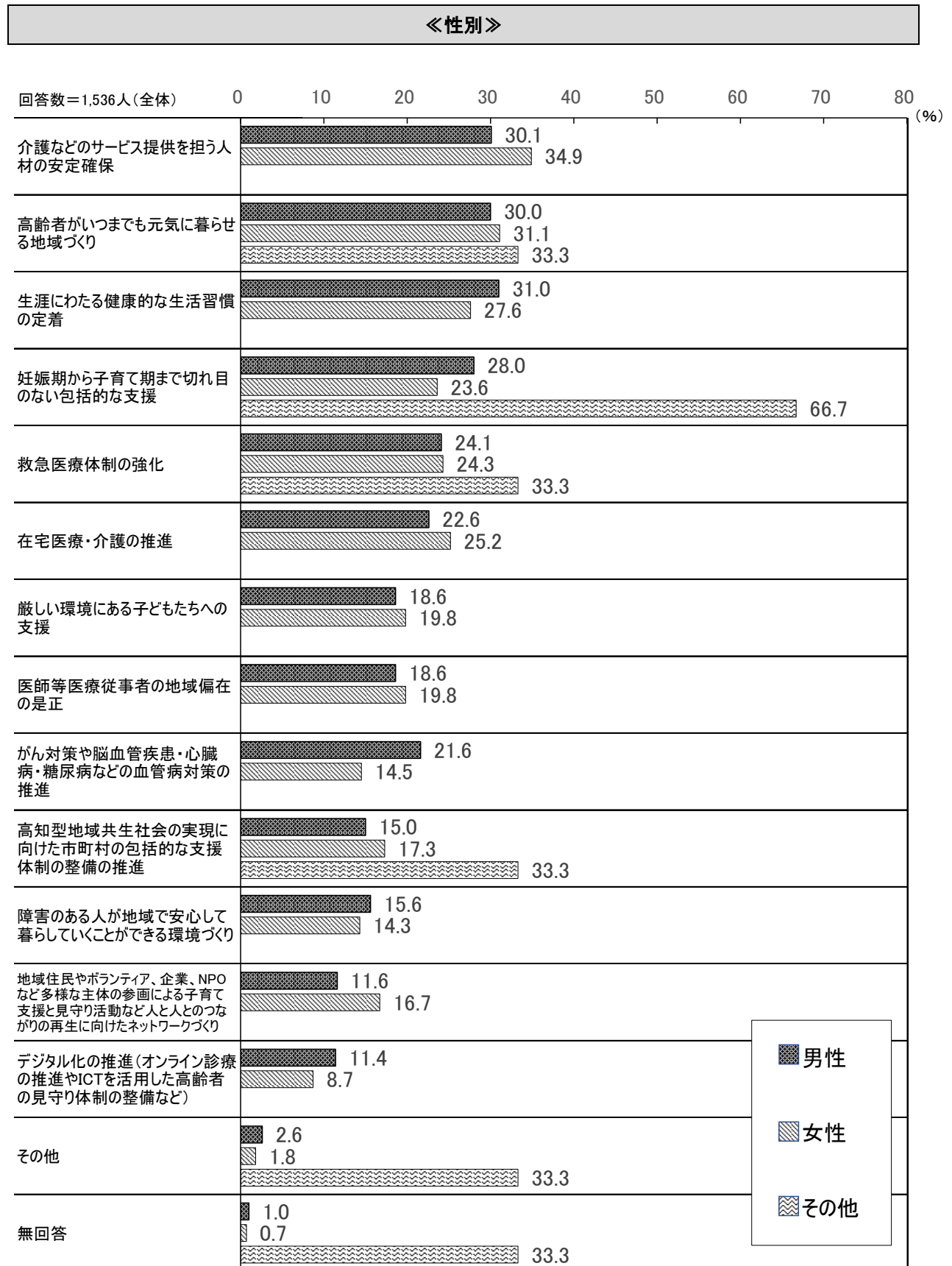
昨年度3位だった「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が2位に、昨年度2位の「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が3位となっている。

《経年比較》



【性別】

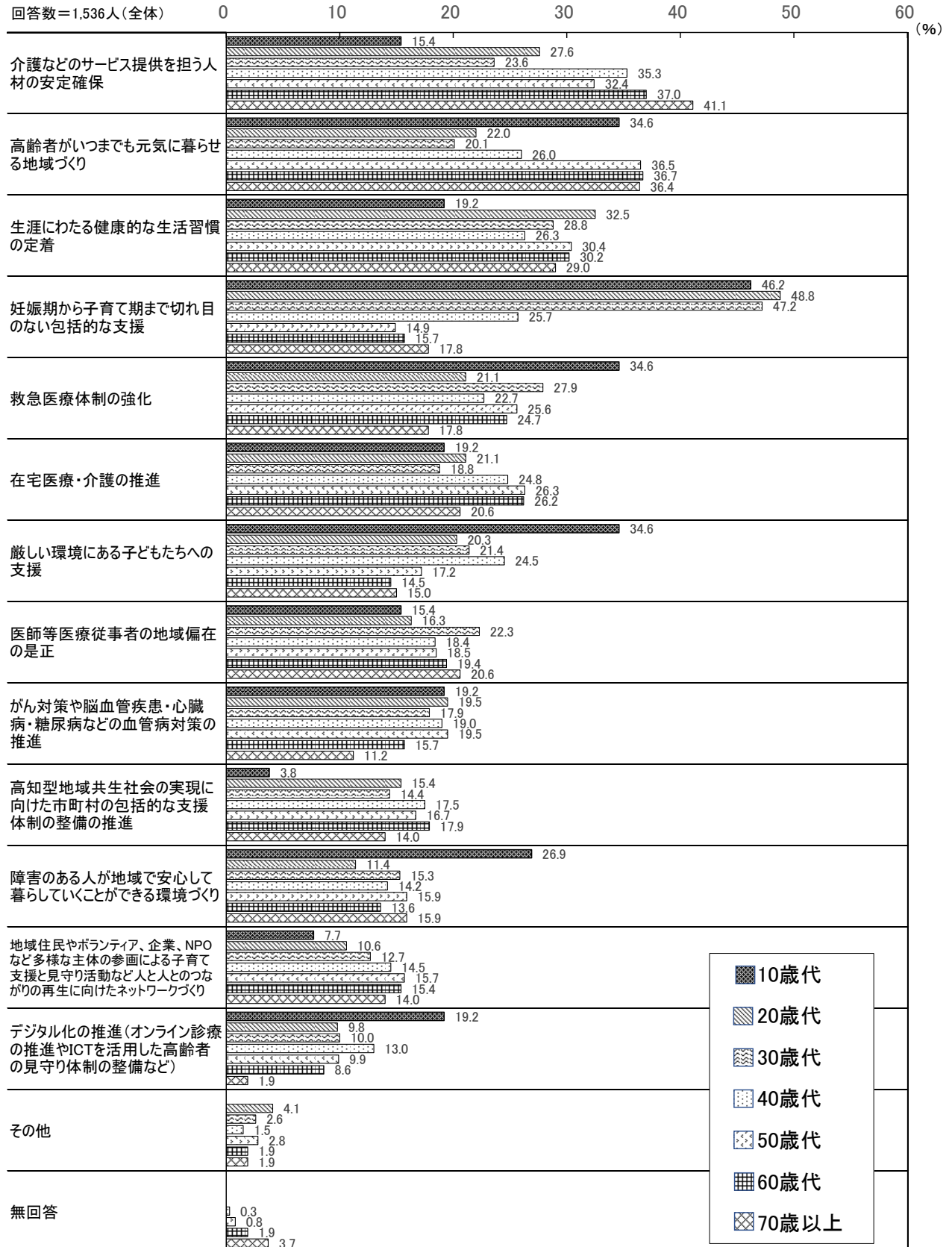
男性では「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が、女性では「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代、20 歳代、30 歳代では「妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援」が最も高く、50 歳代では「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が、40 歳代、60 歳代、70 歳以上では「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が最も高くなっている。

《年代別》



(3)「教育の充実」について

問3 「教育の充実」について、第3期教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

【総合】

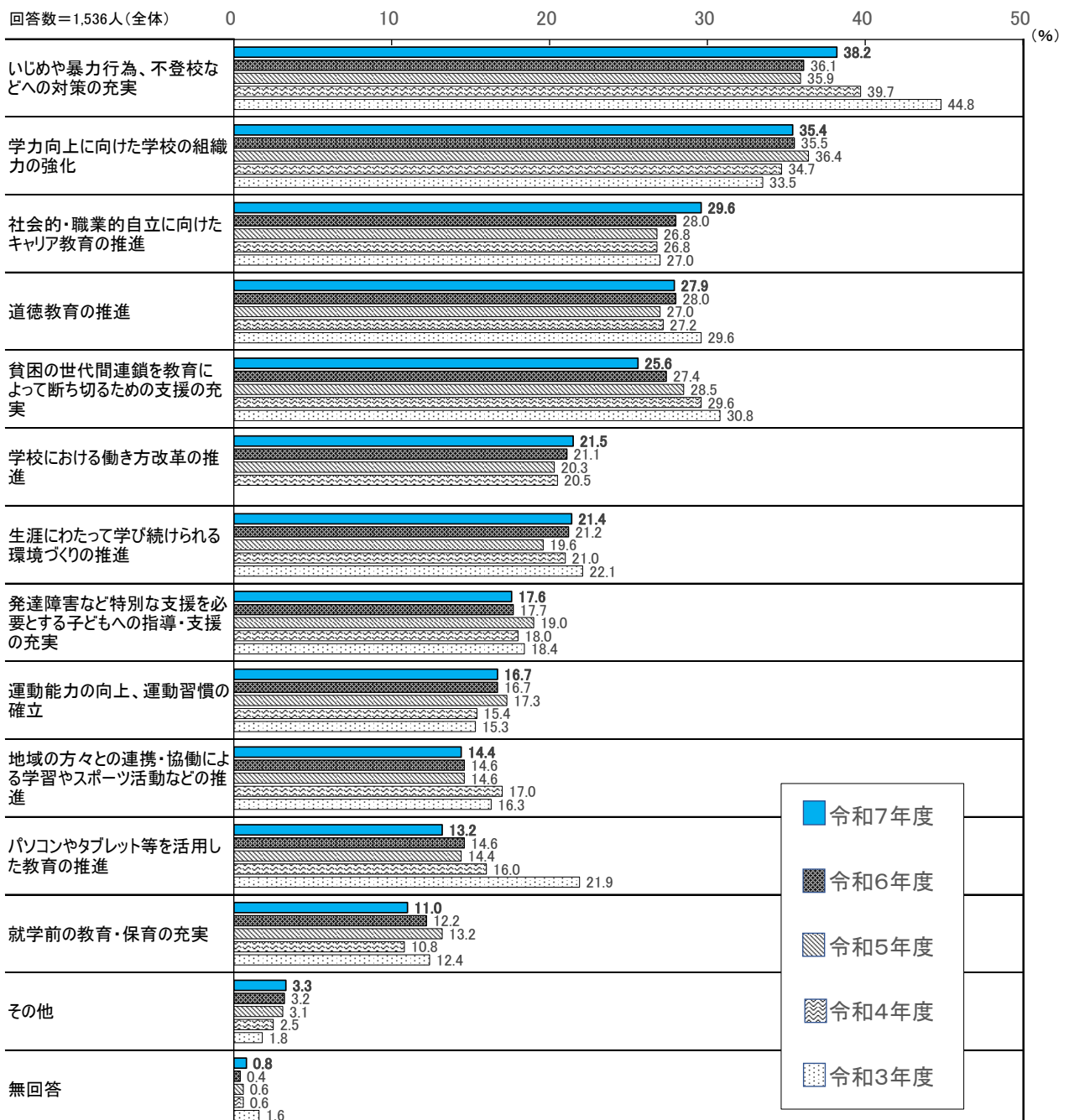
「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が38.2%と1位になっている。

次いで、「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が35.4%、「社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進」が29.6%と続いている。

【過去の調査との比較】

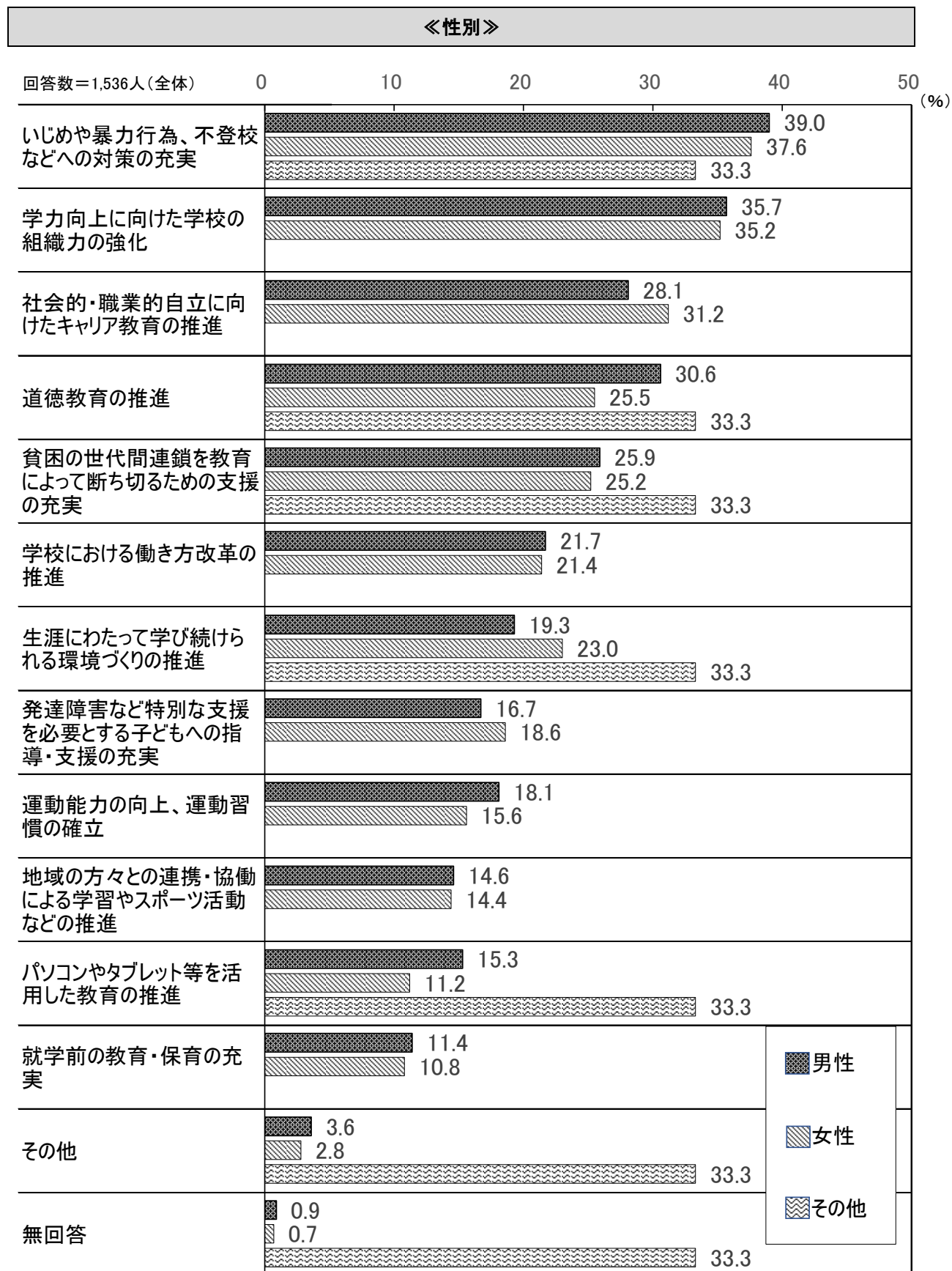
昨年度3位だった「道徳教育の推進」が4位に、昨年度7位だった「学校における働き方改革の推進」が6位になっている。

《経年比較》



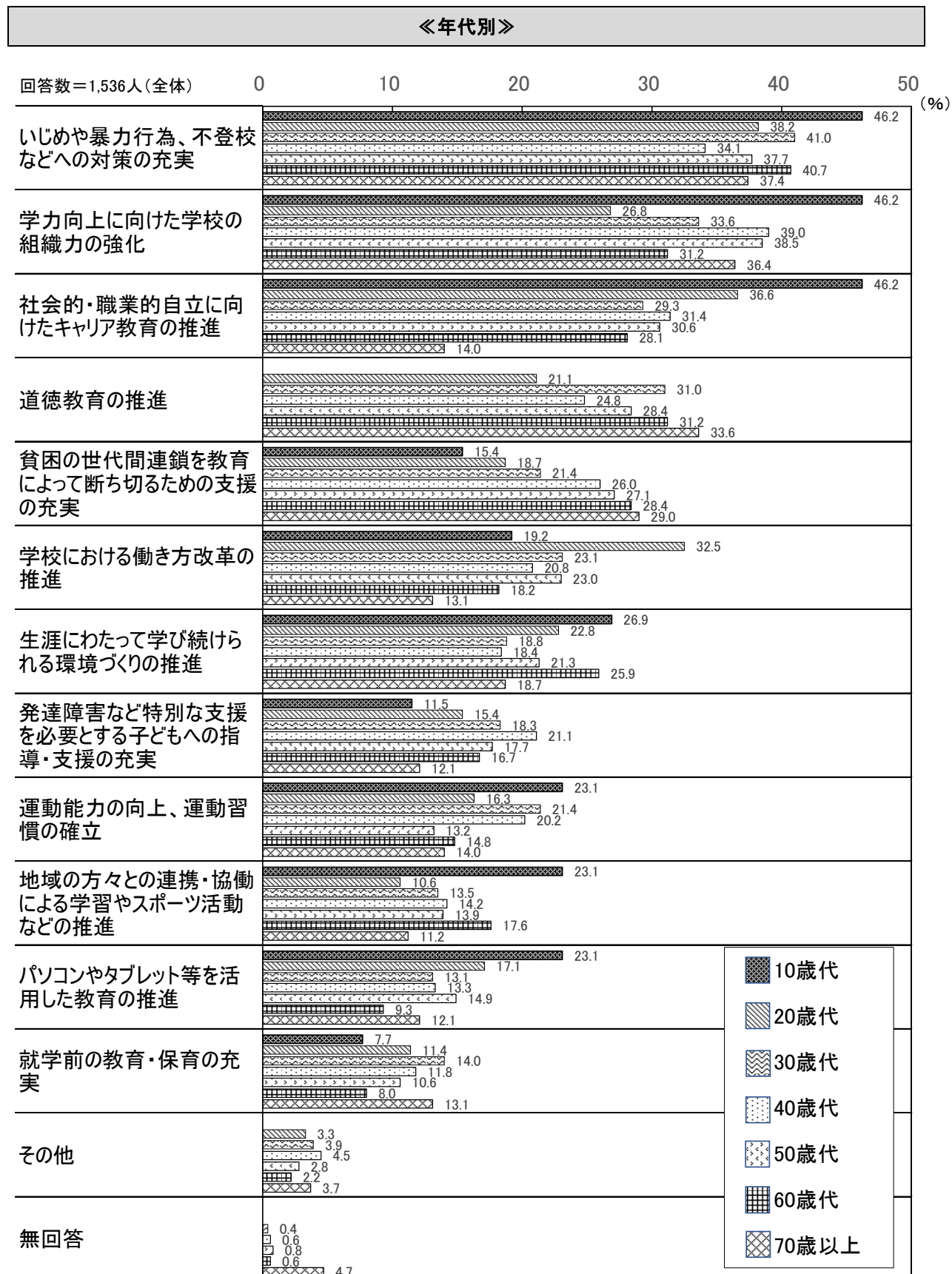
【性別】

男女ともに「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代、20 歳代、30 歳代、60 歳代、70 歳以上では「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が、40 歳代、50 歳代では「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が最も高くなっている。また、10 歳代では同率で「学力向上に向けた学校の組織力の強化」、「社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進」が最も高くなっている。



(4)「中山間対策の充実・強化」について

問4 「中山間対策の充実・強化」について、高知県中山間地域再興ビジョンに基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】

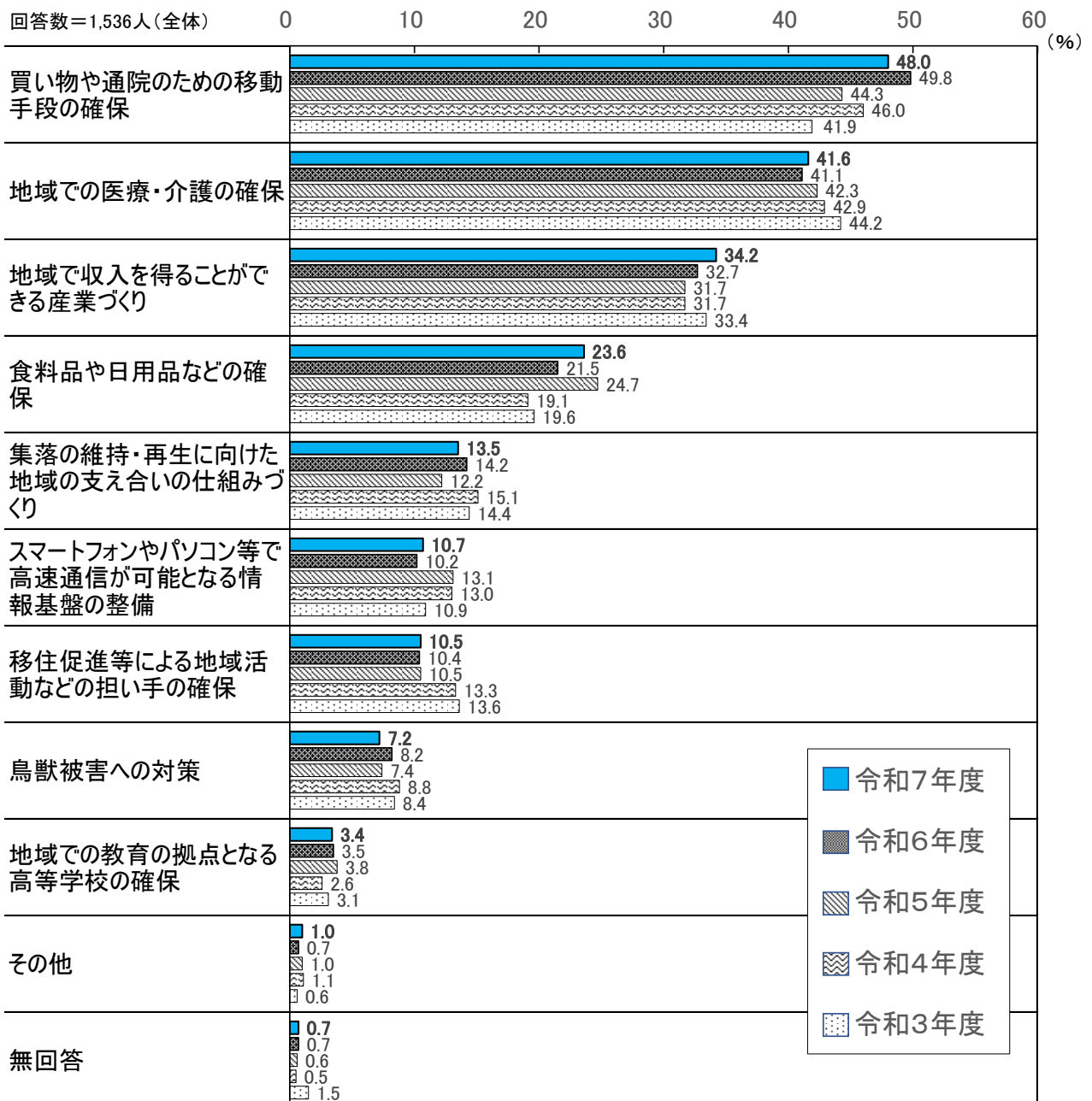
「買い物や通院のための移動手段の確保」が48.0%と1位になっている。

次いで、「地域での医療・介護の確保」が41.6%、「地域で収入を得ることができる産業づくり」が34.2%と続いている。

【過去の調査との比較】

昨年度と同じく今年度も「買い物や通院のための移動手段の確保」が1位になっている。また、昨年度では7位だった「スマートフォンやパソコン等で高速通信が可能となる情報基盤の整備」が6位となっている。

《経年比較》

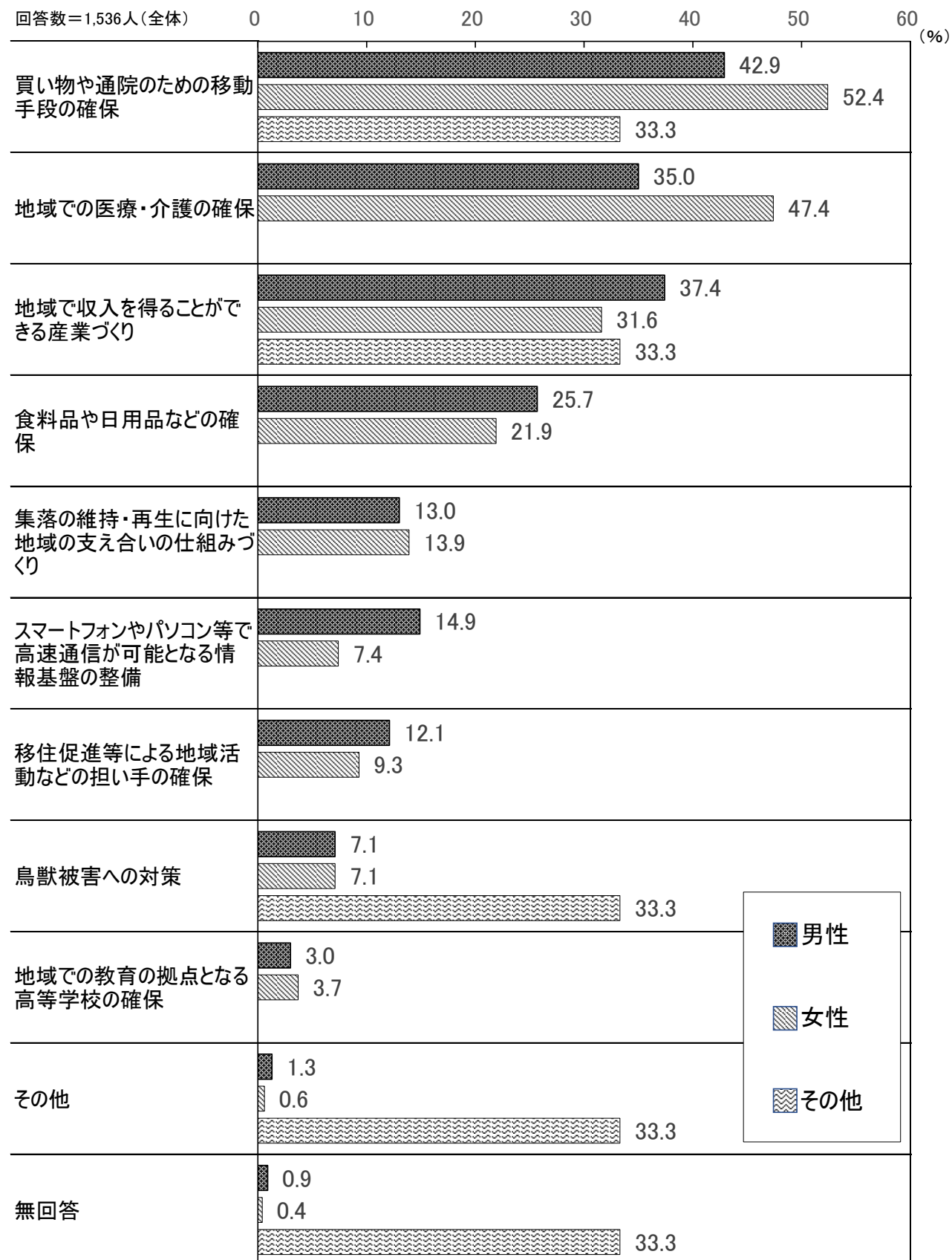


【性別】

男女ともに「買い物や通院のための移動手段の確保」が最も高くなっており、次いで、男性では「地域で収入を得ることができる産業づくり」、女性では「地域での医療・介護の確保」が続いている。

《性別》

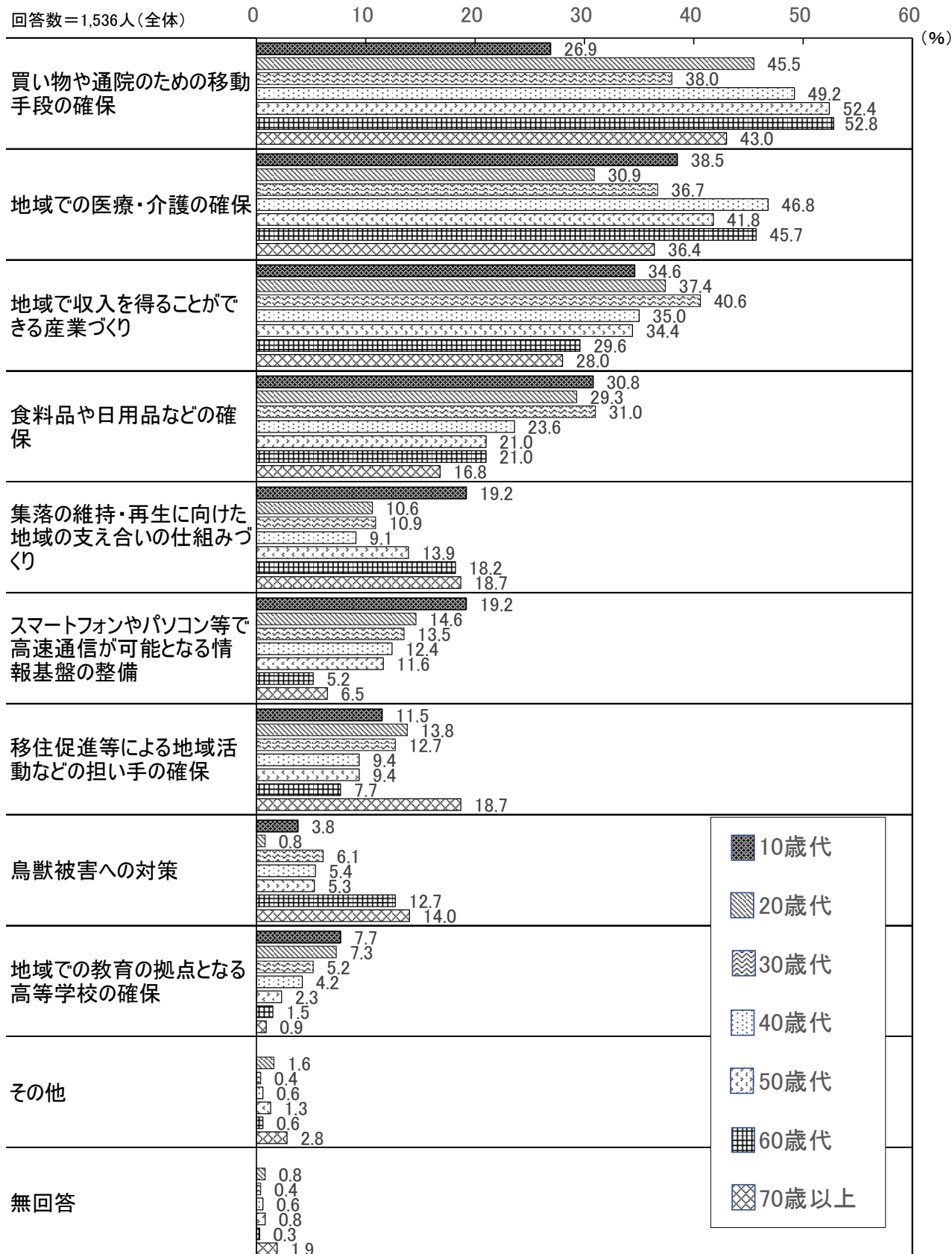
回答数=1,536人(全体)



【年代別】

20 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「買い物や通院のための移動手段の確保」が、10 歳代では「地域での医療・介護の確保」が、30 歳代では「地域で収入を得ることができる産業づくり」が最も高くなっている。

《年代別》



(5)「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について

問5 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】

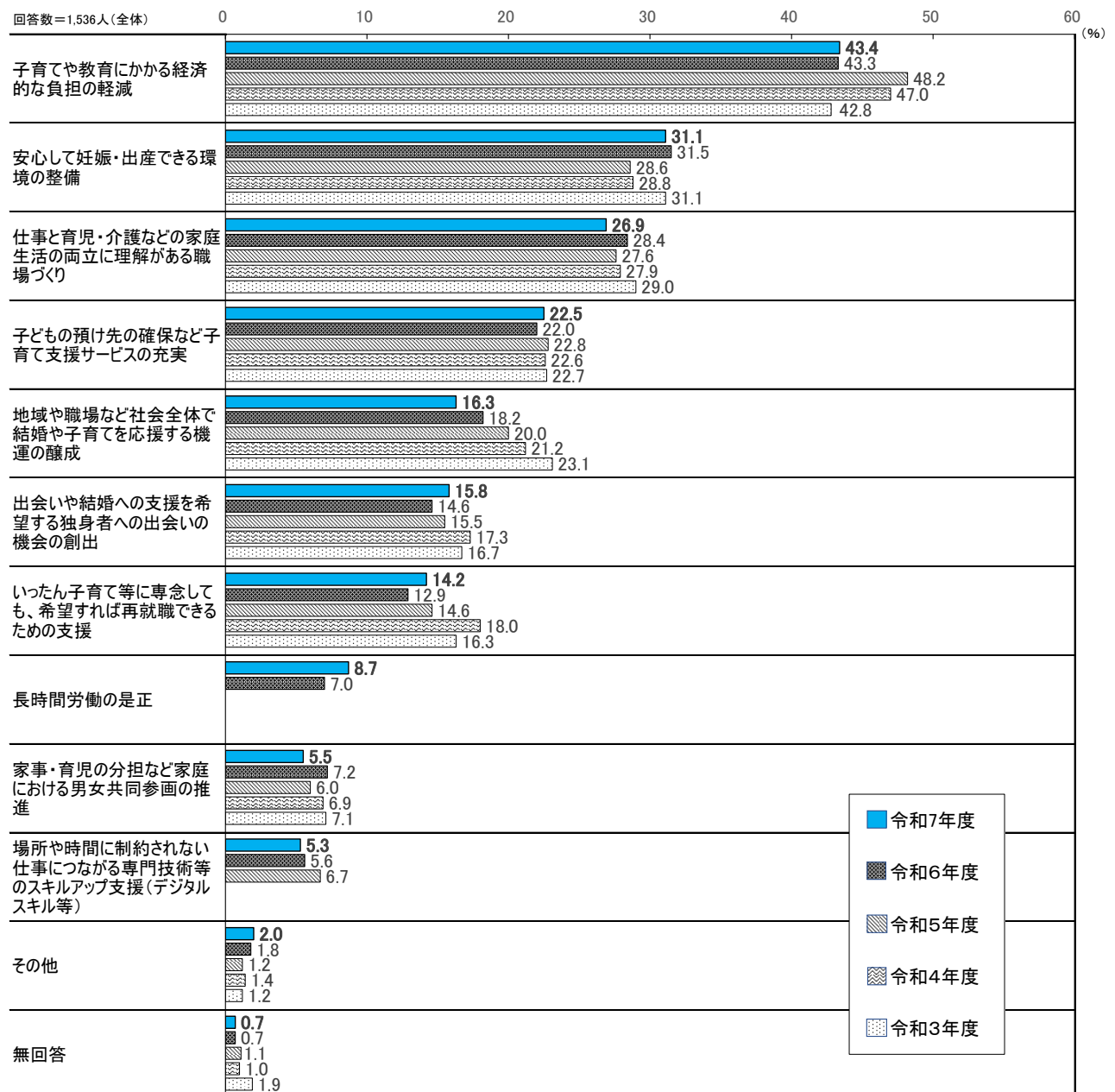
「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が43.4%と1位になっている。

次いで、「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が31.1%、「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」が26.9%と続いている。

【過去の調査との比較】

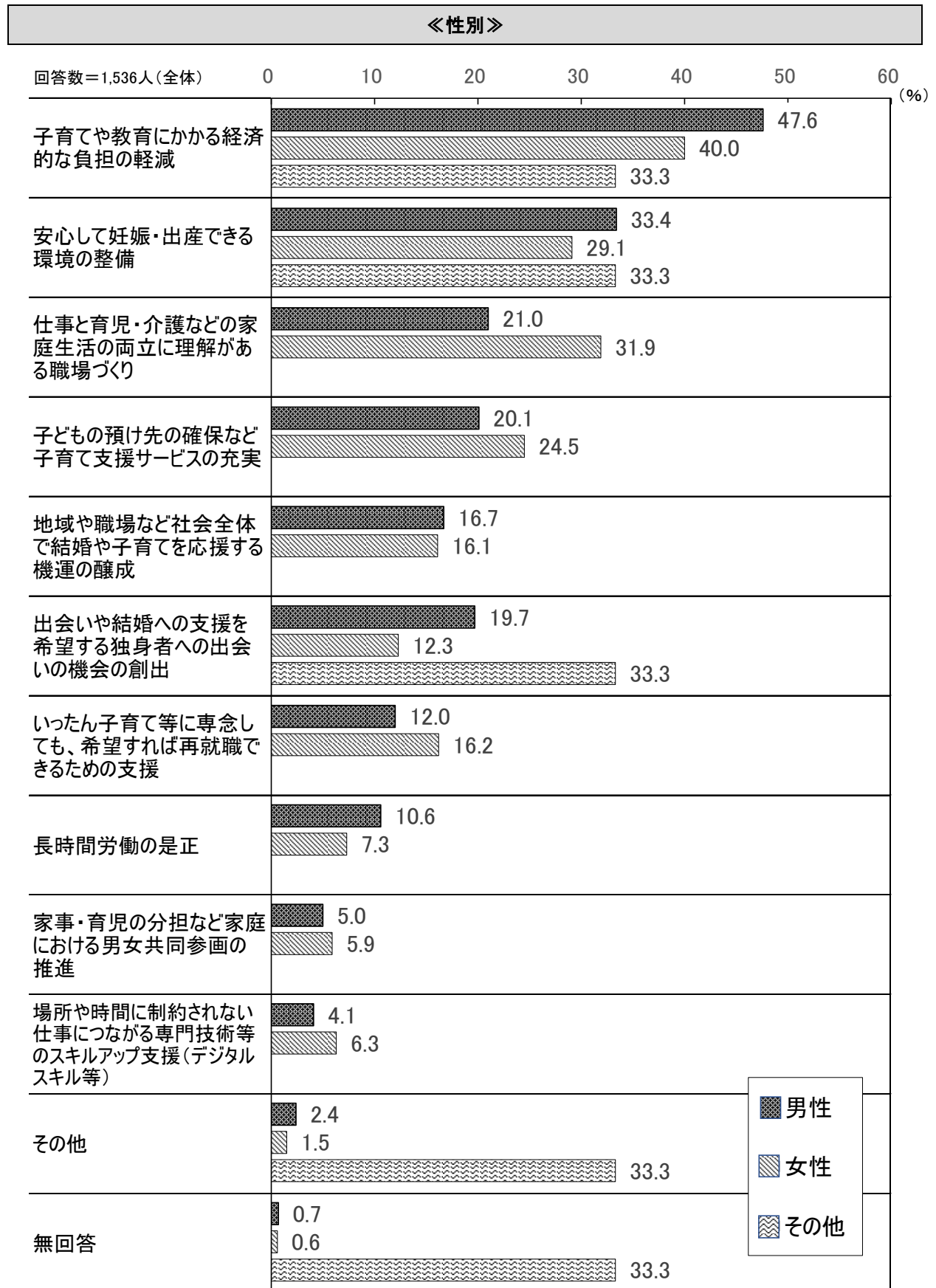
昨年度と同じく今年度も「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が1位になっており、以降の順位も同じ傾向になっている。

《経年比較》



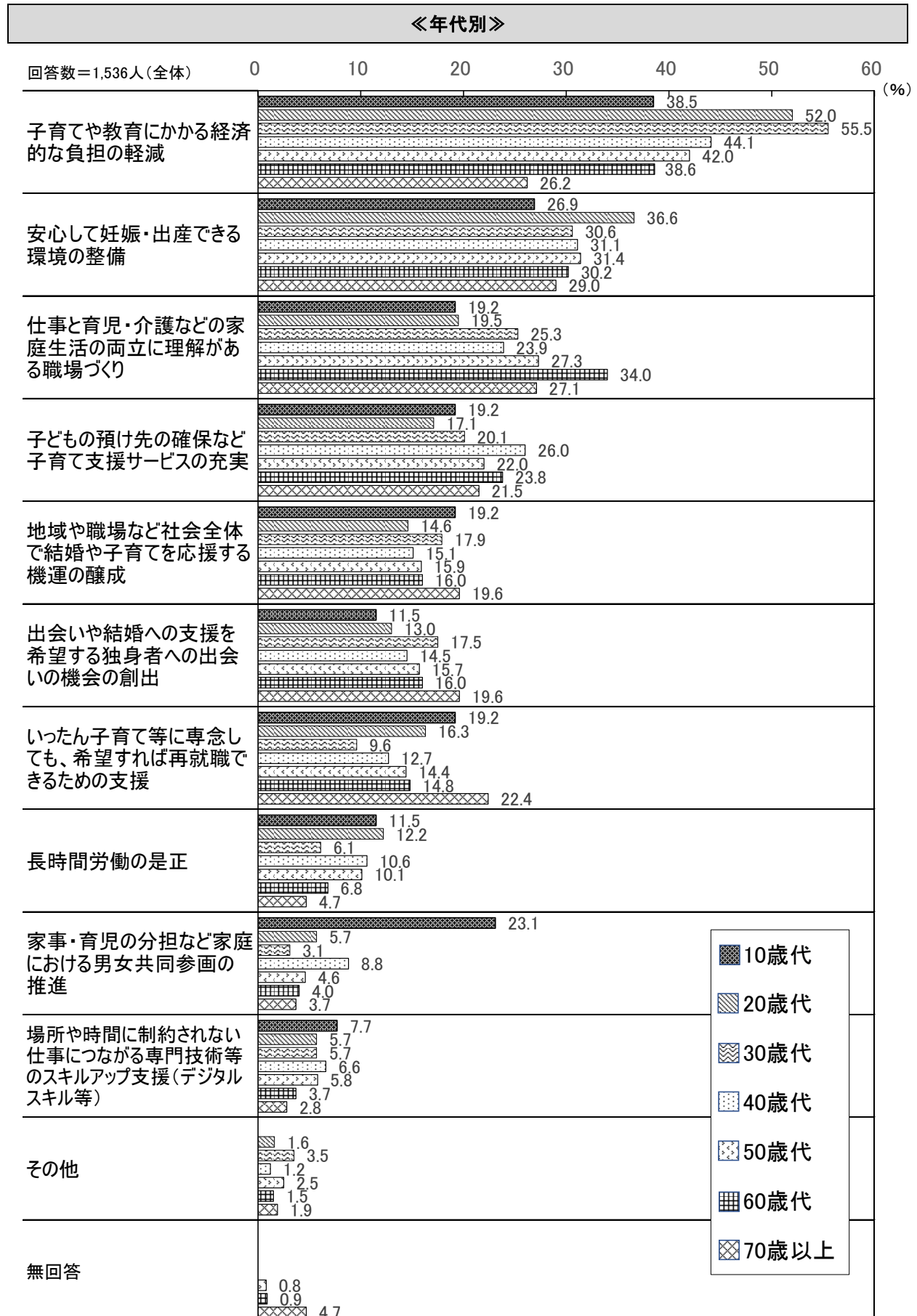
【性別】

男女ともに「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が最も高くなっており、次いで、男性では「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が、女性では「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」が続いている。



【年代別】

70 歳以上を除くすべての年代で「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が、70 歳以上では「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が最も高くなっている。



(6)「文化芸術の振興」について

問6 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】

「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が49.3%と1位になっている。

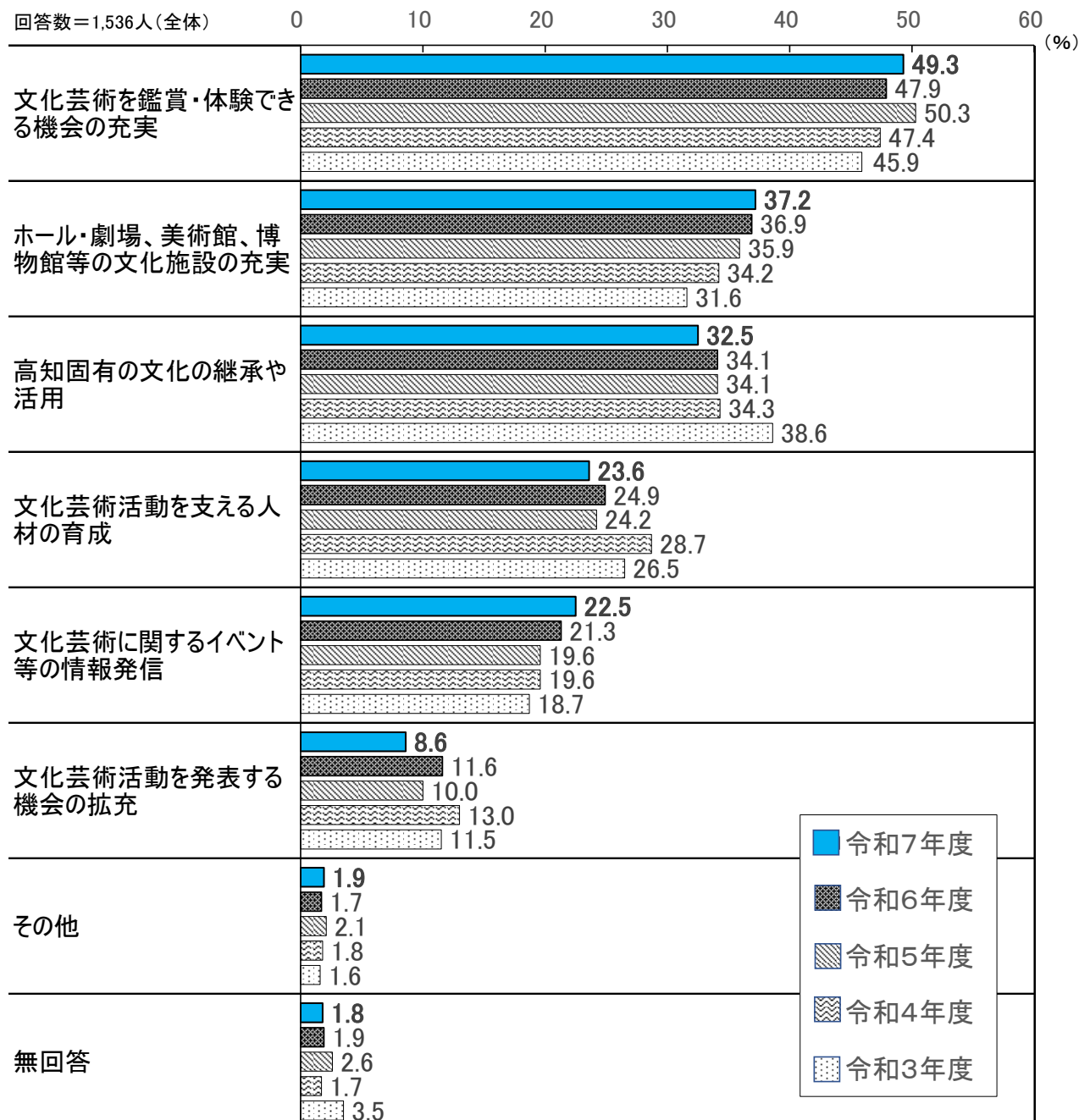
次いで、「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」が37.2%、「高知固有の文化の継承や活用」が32.5%と続いている。

【過去の調査との比較】

昨年度と同じく今年度も「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が1位となっており、以降の順位も同じ傾向になっている。

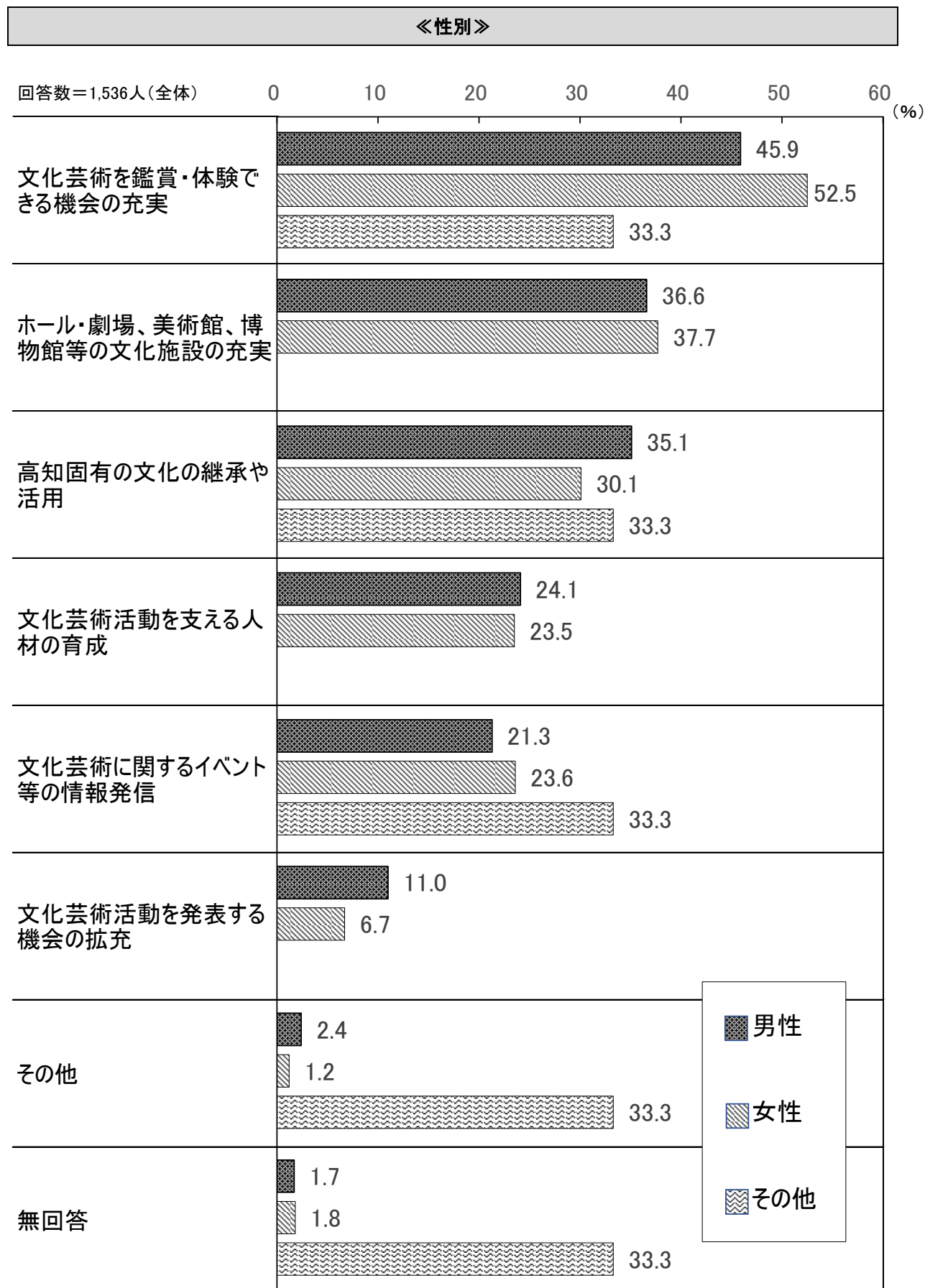
《経年比較》

回答数＝1,536人(全体)



【性別】

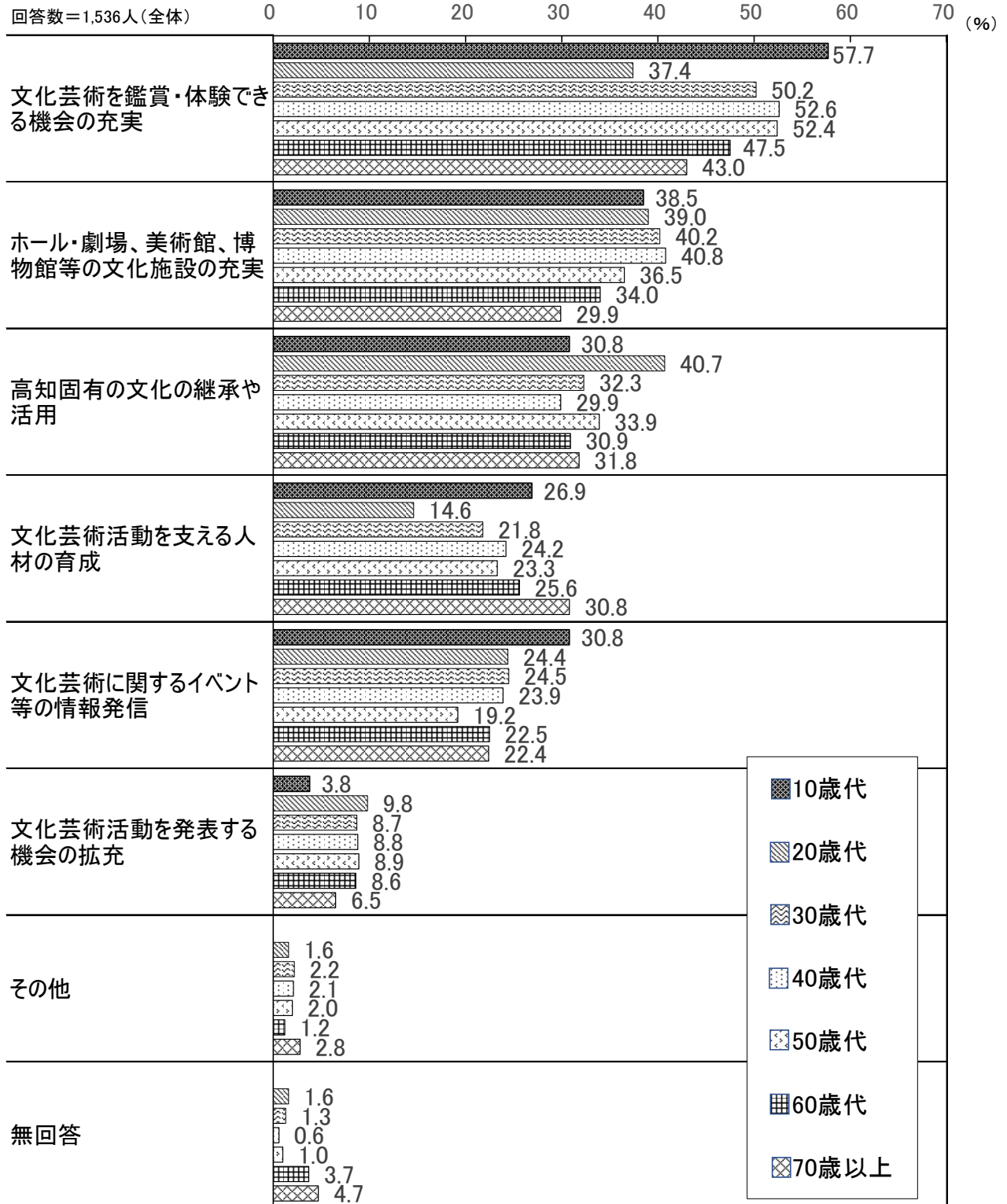
男女ともに「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が最も高くなっており、以降の順位も同じ傾向になっている。



【年代別】

20 歳代を除くすべての年代で「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が最も高く、20 歳代では「高知固有の文化の継承や活用」が最も高くなっている。

《年代別》



(7)「スポーツの振興」について

問7 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】

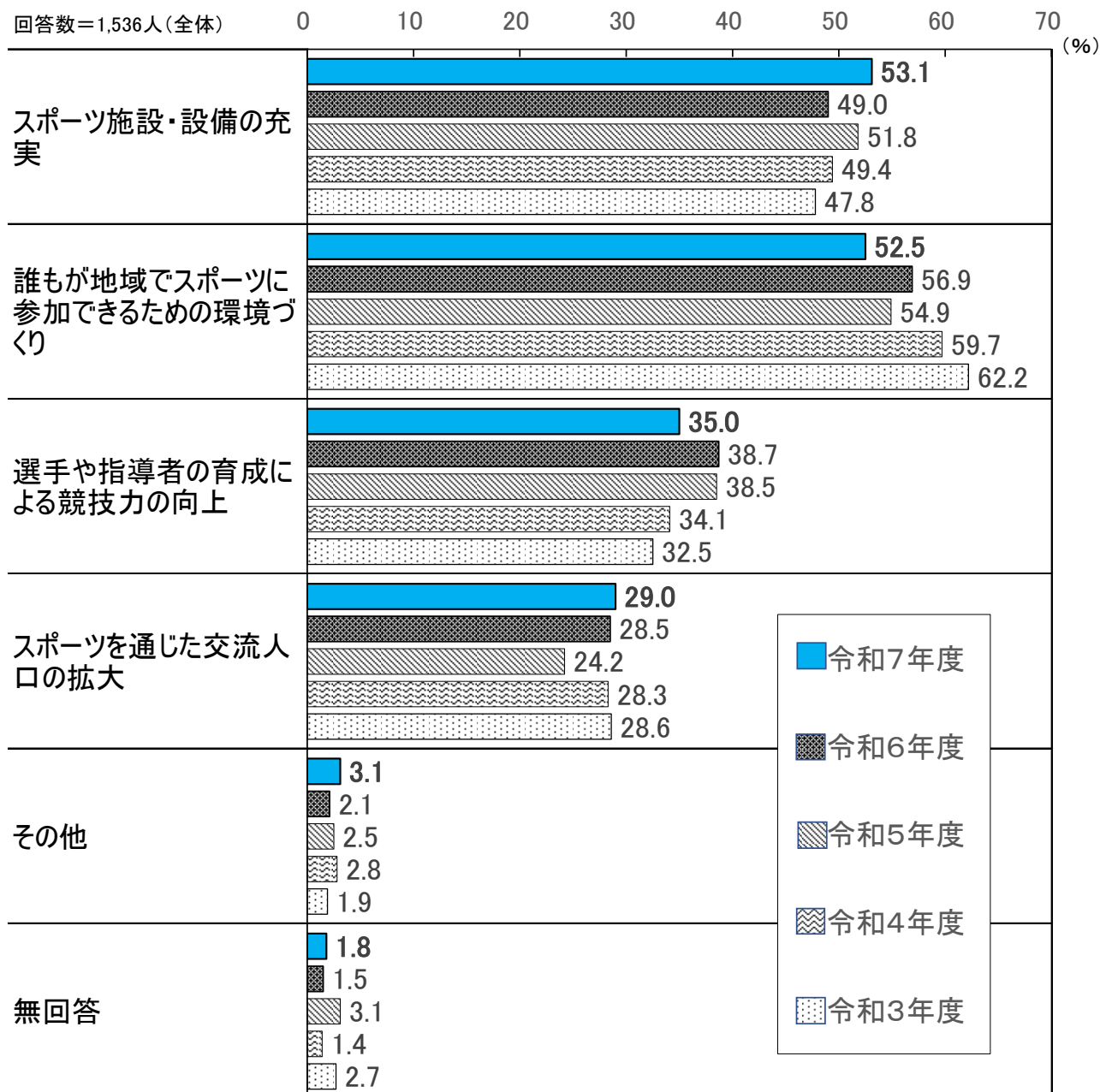
「スポーツ施設・設備の充実」が53.1%と1位になっている。

次いで、「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が52.5%、「選手や指導者の育成による競技力の向上」が35.0%と続いている。

【過去の調査との比較】

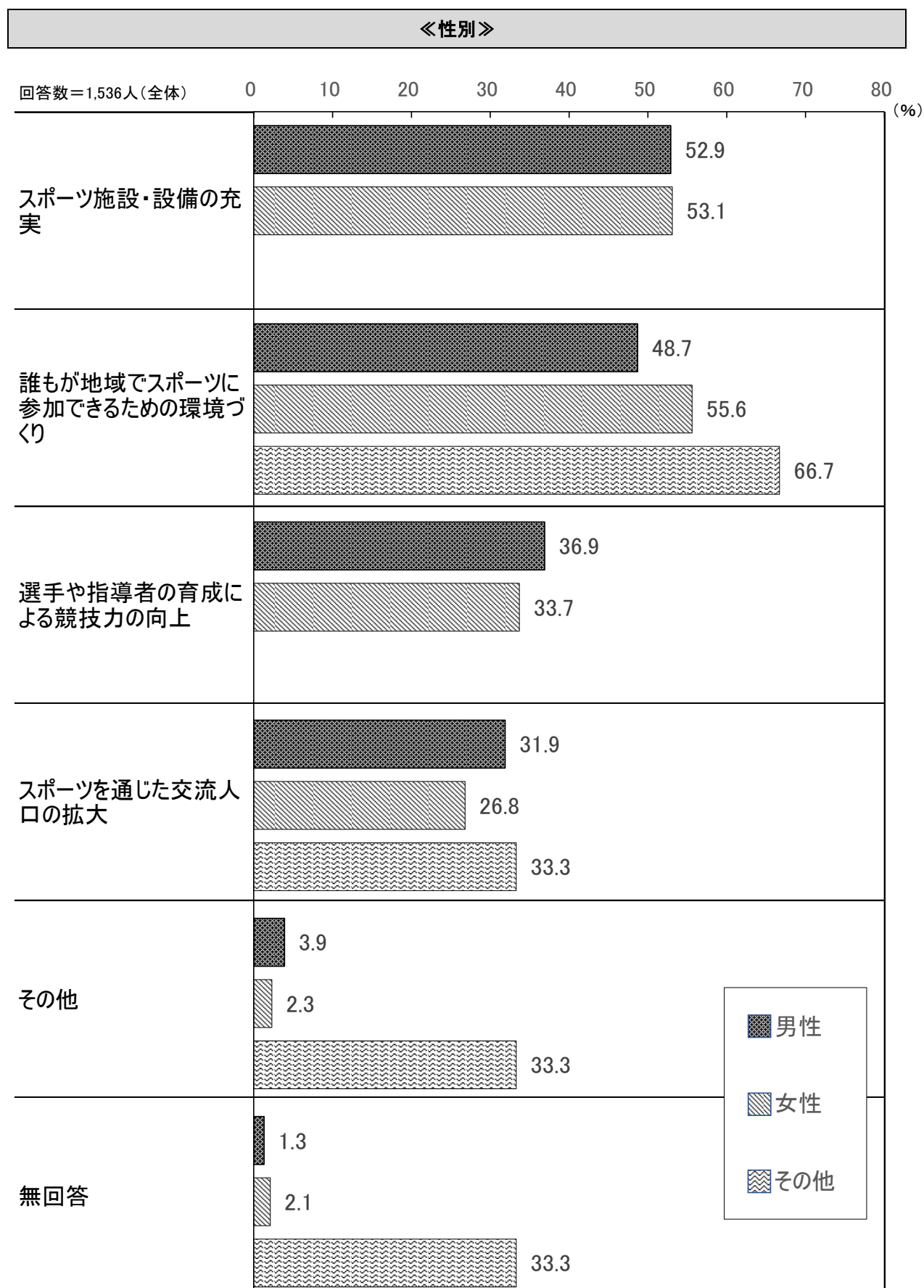
昨年度2位だった「スポーツ施設・設備の充実」が1位に、昨年度1位だった「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が2位となっており、以降の順位は同じ傾向になっている。

《経年比較》



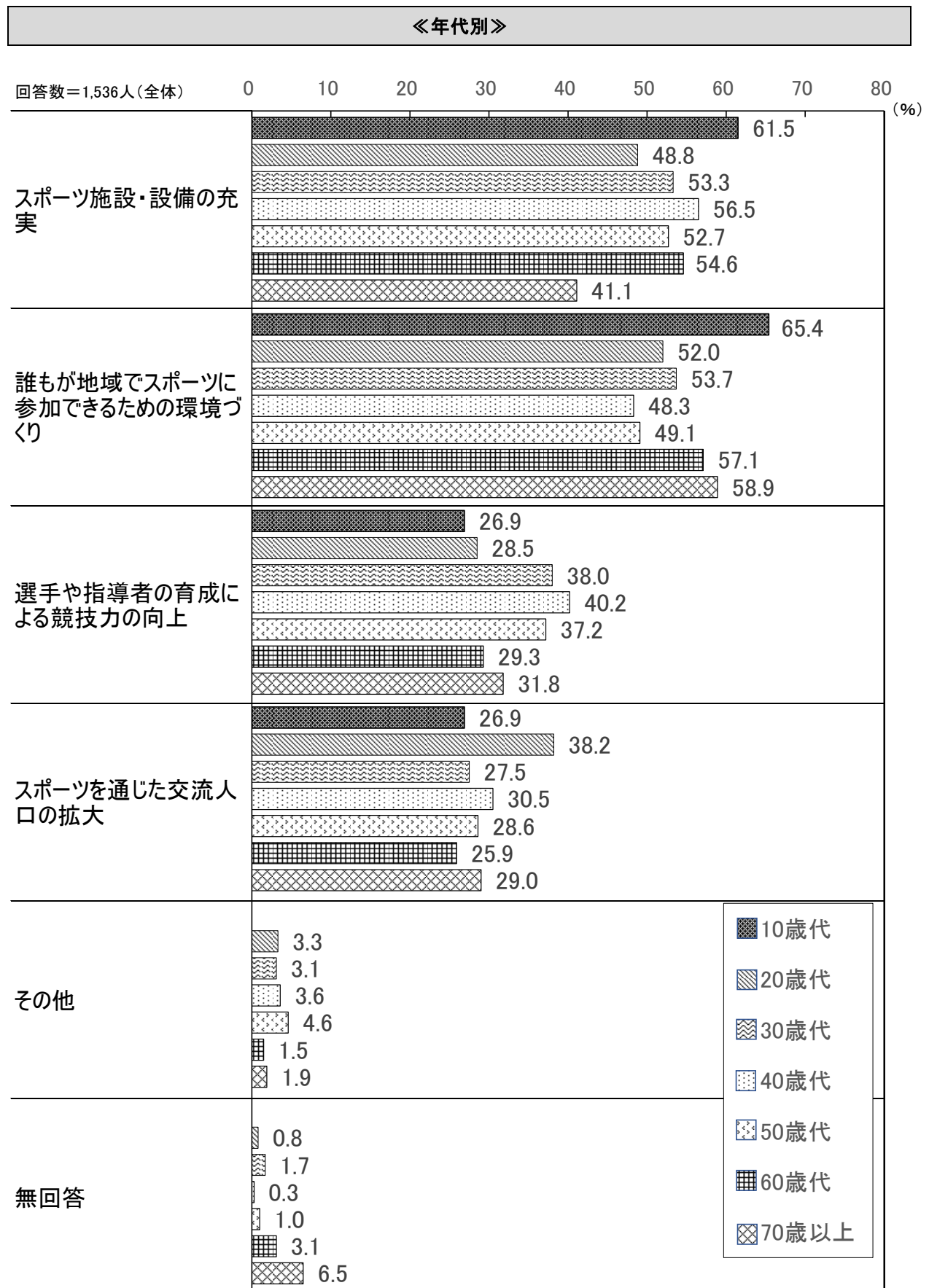
【性別】

男性では「スポーツ施設・設備の充実」が、女性では「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代、20 歳代、30 歳代、60 歳代、70 歳以上では「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が最も高く、40 歳代、50 歳代では「スポーツ施設・設備の充実」が最も高くなっている。



(8)「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について

問8 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第6期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

【総合】

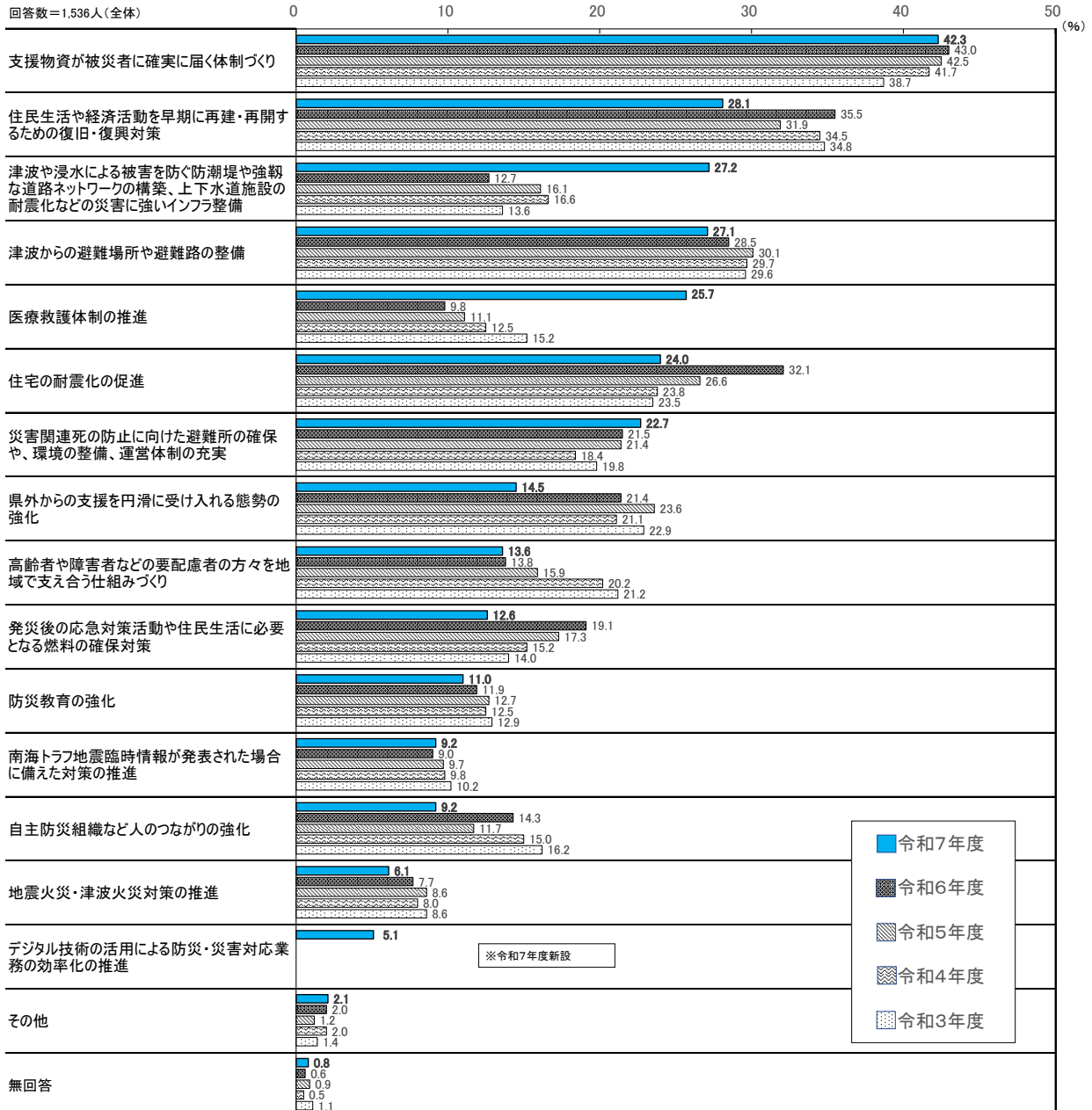
「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が42.3%と1位になっている。

次いで、「住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策」が28.1%、「津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤や強靱な道路ネットワークの構築、上下水道施設の耐震化などの災害に強いインフラ整備」が27.2%と続いている。

【過去の調査との比較】

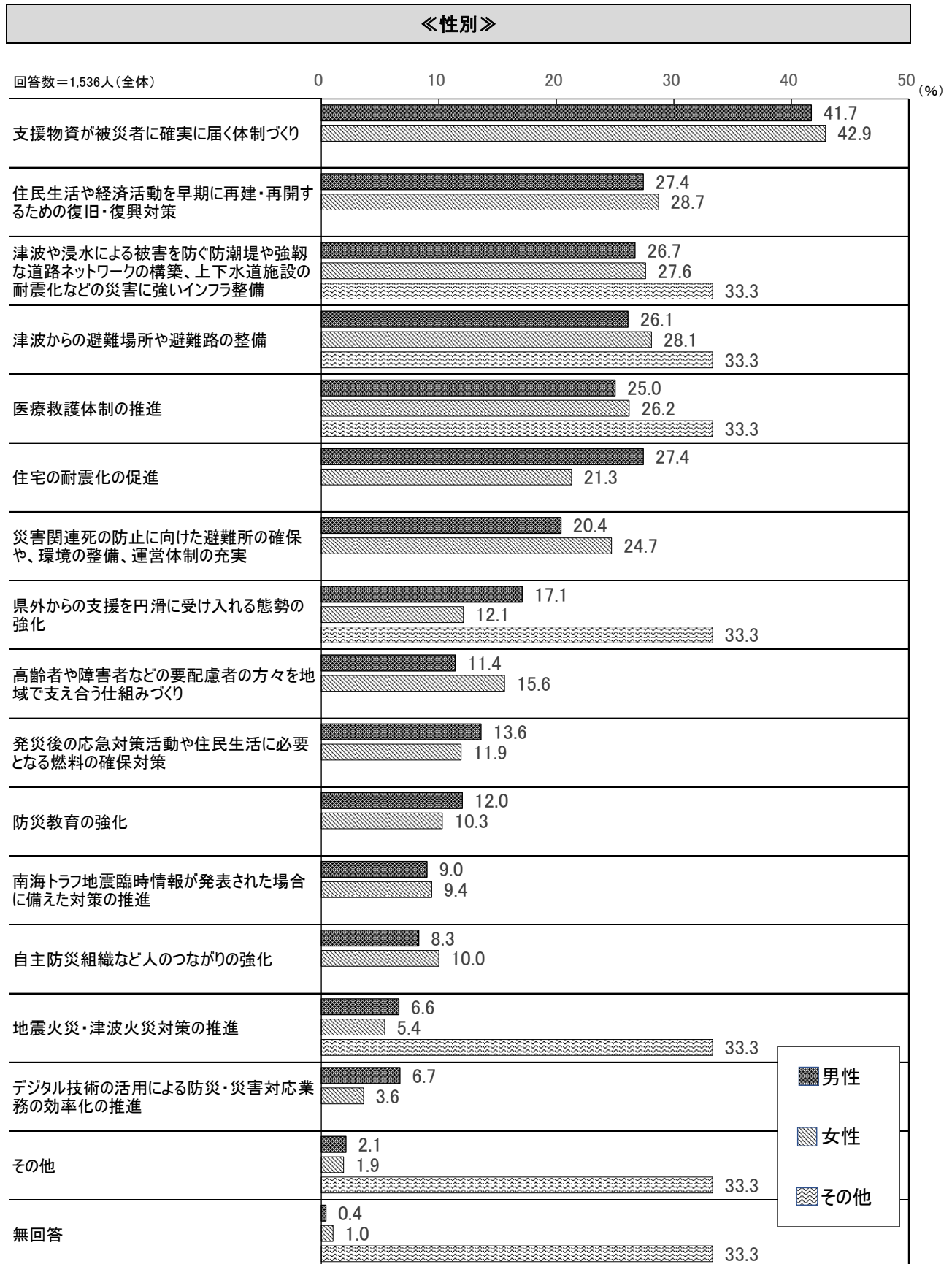
昨年度と同じく、今年度も「支援物資が被災者に確実に届く体制づくり」が1位になっている。また、昨年度12位だった「医療救護体制の推進」が今年度では5位となっている。

《経年比較》



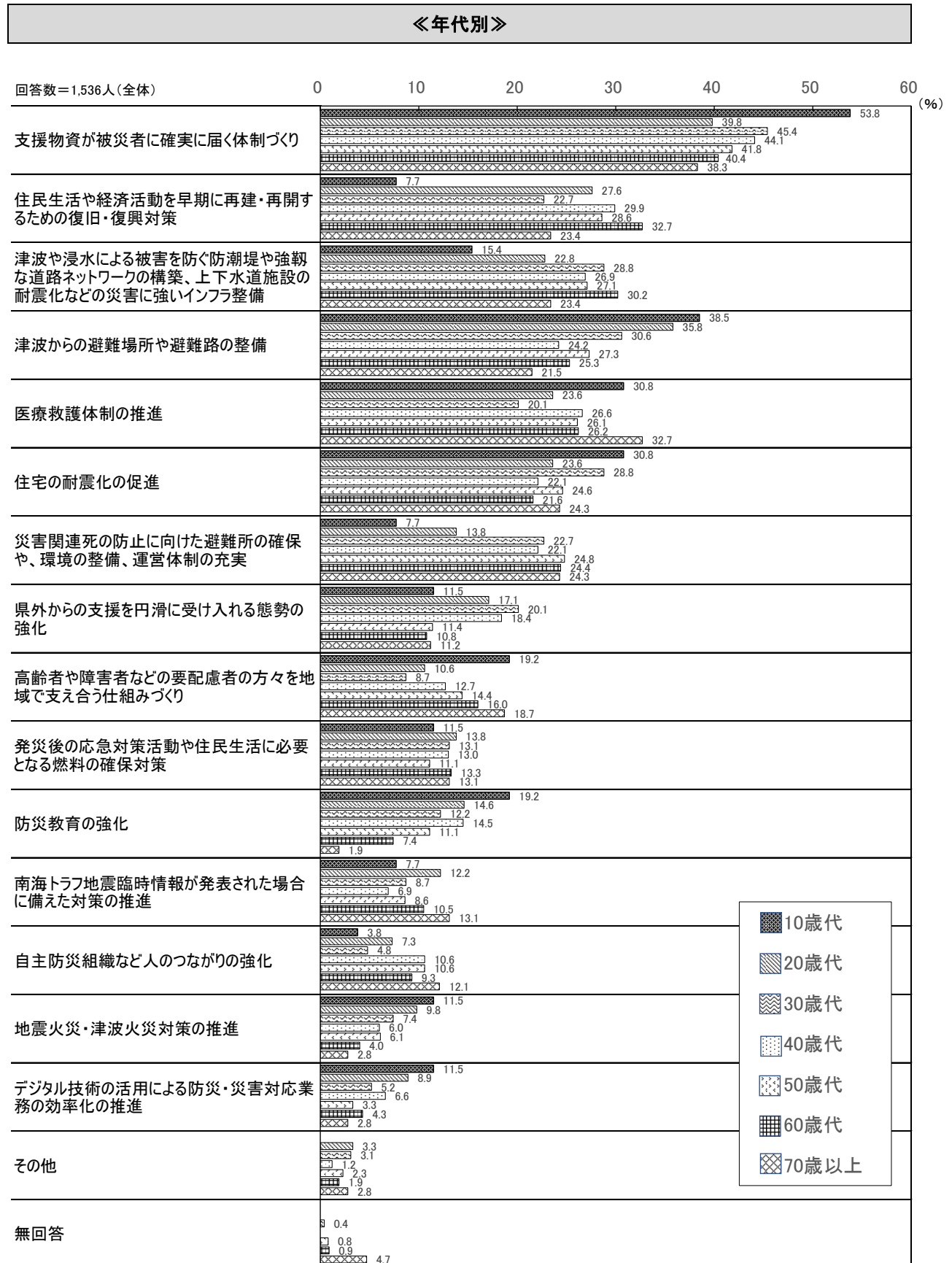
【性別】

男女ともに「支援物資が被災者に確実に届く体制づくり」が最も高くなっている。また、「住宅の耐震化の促進」では、男性が27.4%と女性の21.3%より6.1ポイント高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「支援物資が被災者に確実に届く体制づくり」が最も高くなっている。



(9)「インフラの充実と有効活用」について

問9 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。
(2つまで○印)

【総合】

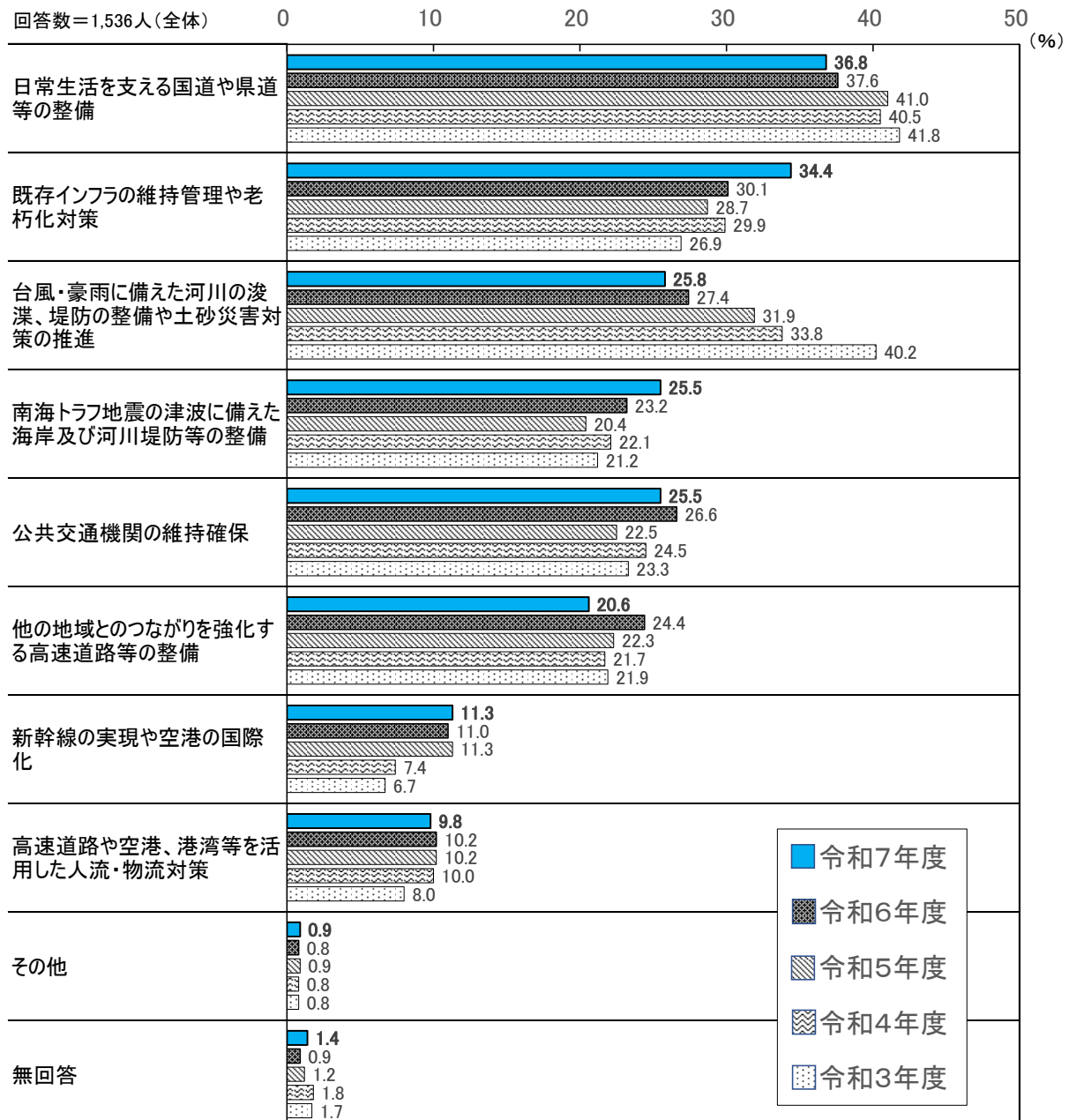
「日常生活を支える国道や県道等の整備」が36.8%と1位になっている。

次いで、「既存インフラの維持管理や老朽化対策」が34.4%、「台風・豪雨に備えた河川の浚渫、堤防の整備や土砂災害対策の推進」が25.8%と続いている。

【過去の調査との比較】

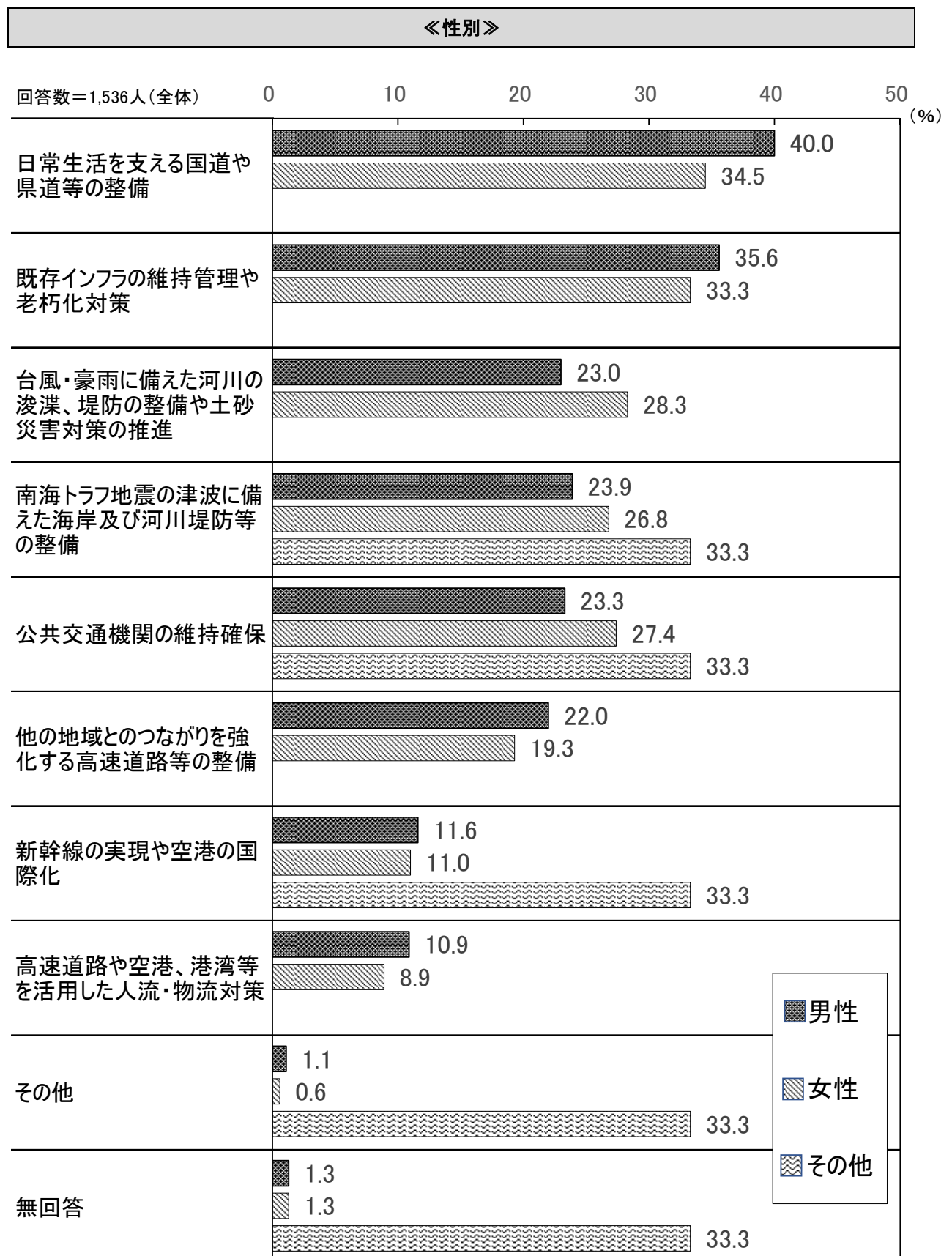
昨年度と同じく今年度も「日常生活を支える国道や県道等の整備」が1位になっている。また、昨年度6位だった「南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備」が今年度では4位になっている。

《経年比較》



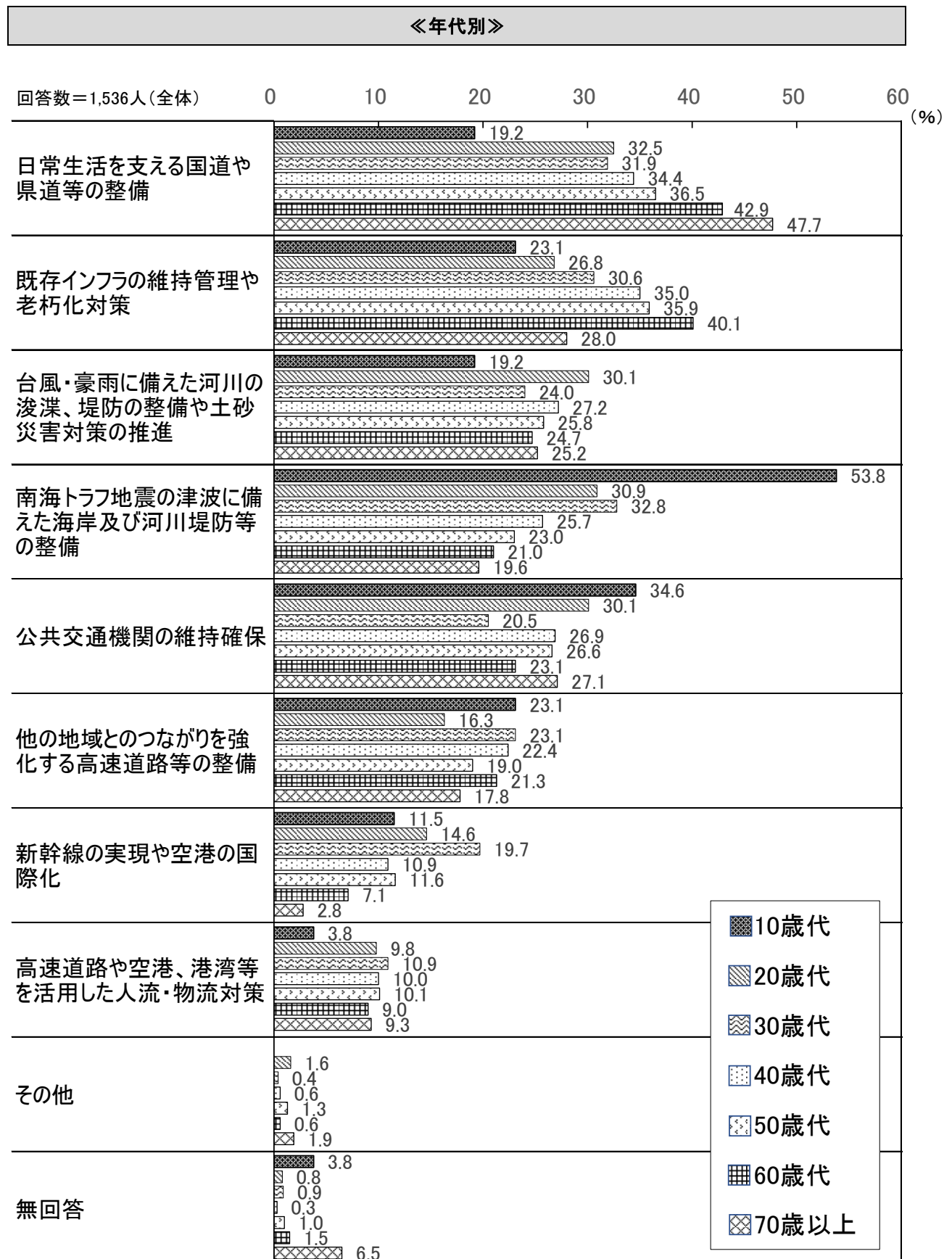
【性別】

男女ともに「日常生活を支える国道や県道等の整備」が最も高くなっている。また、「台風・豪雨に備えた河川の浚渫、堤防の整備や土砂災害対策の推進」では、女性が28.3%と男性の23.0%より5.3ポイント高くなっている。



【年代別】

20 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「日常生活を支える国道や県道等の整備」が最も高く、10 歳代、30 歳代では「南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備」が、40 歳代では「既存インフラの維持管理や老朽化対策」が最も高くなっている。



(10)「5つの基本政策と3つの横断的にかかわる政策」について

問 10 県が行っている次の1～8の政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。
(2つまで○印)

【総合】

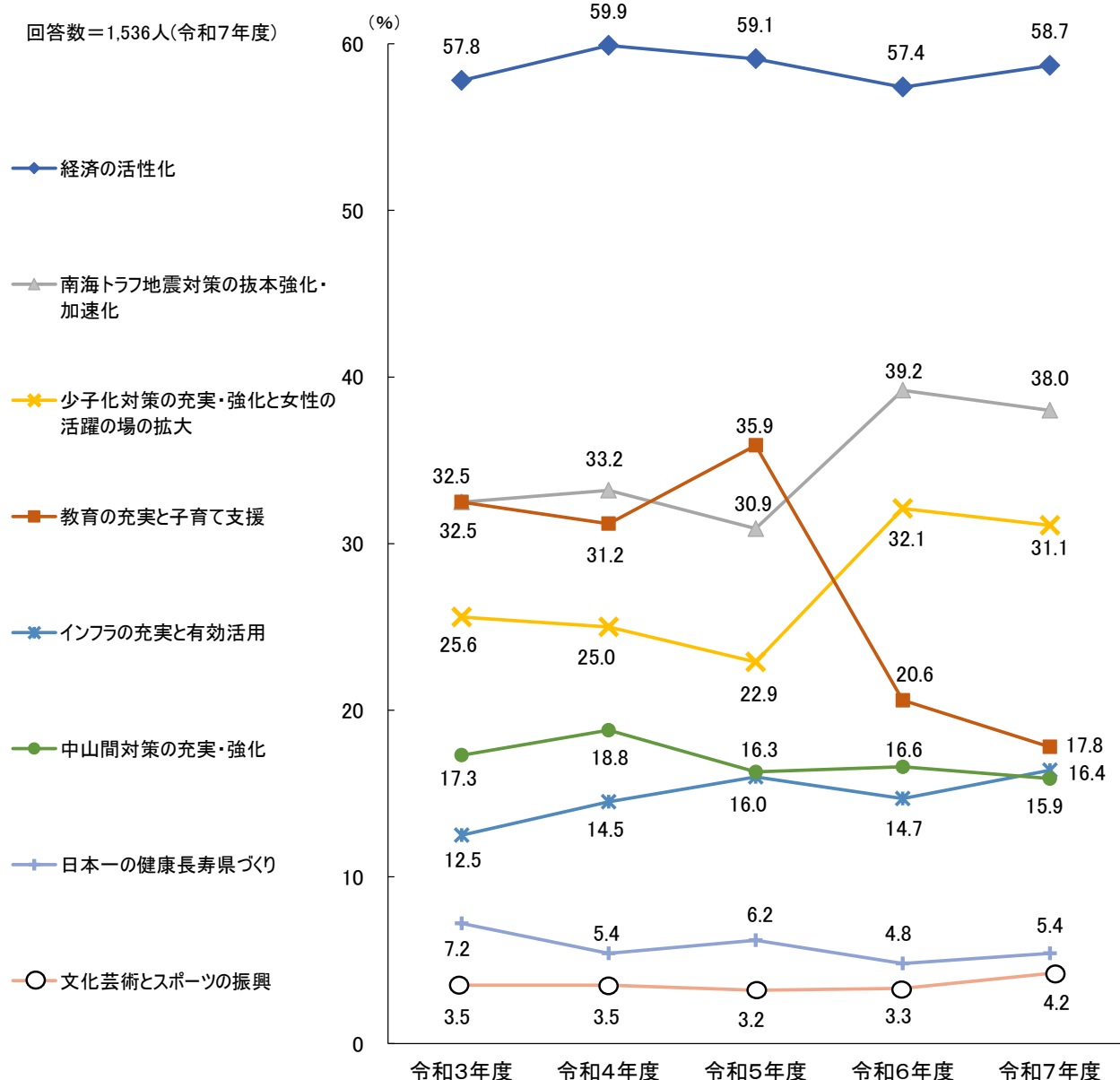
「経済の活性化」が58.7%と1位になっている。

次いで、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が38.0%、「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」が31.1%と続いている。

【過去の調査との比較】

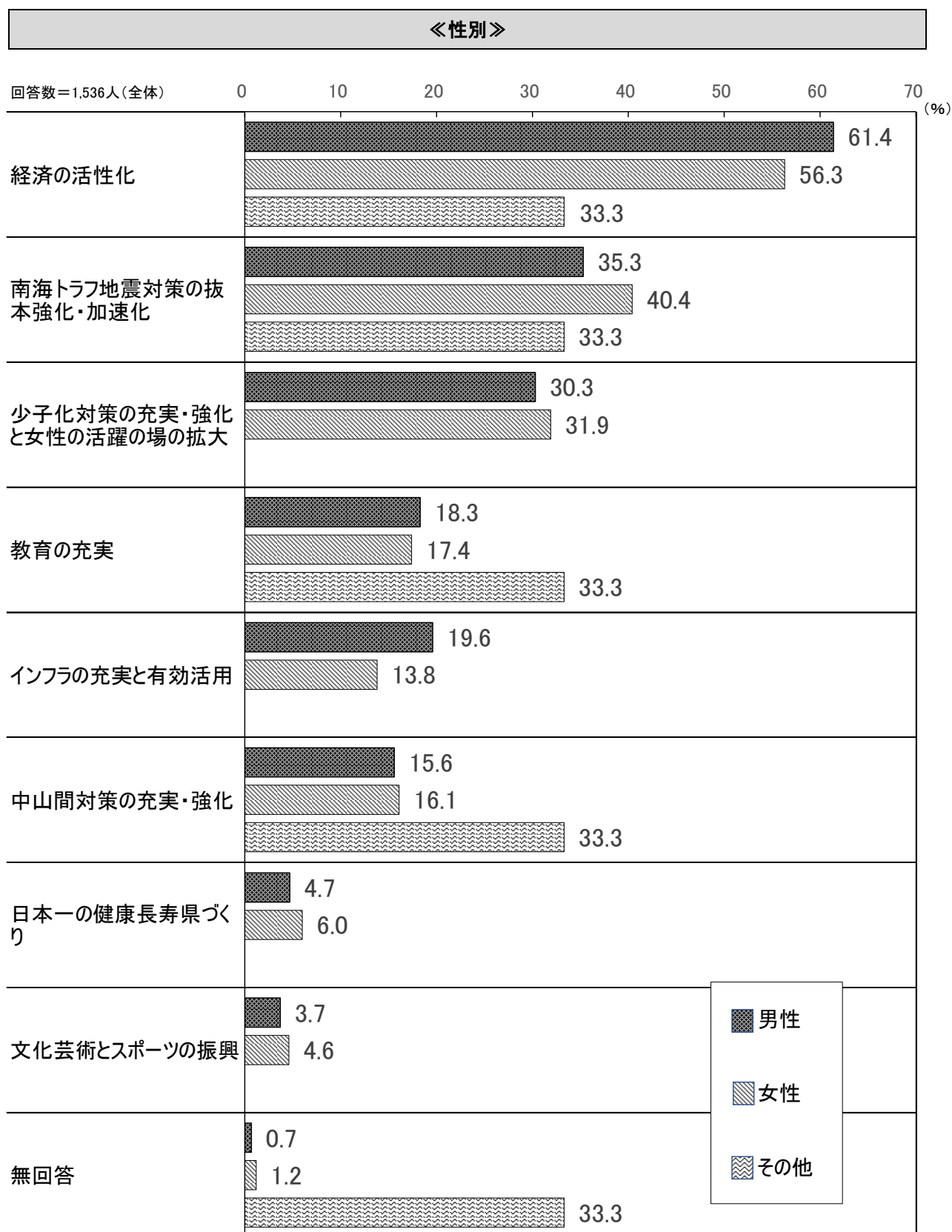
今年度も「経済の活性化」が1位となっている。昨年度6位の「インフラの充実と有効活用」が昨年度より1.7ポイント増加して5位になっており、昨年度5位の「中山間対策の充実・強化」は0.7ポイント減少し6位になっている。また、「教育の充実と子育て支援」は令和5年度以降、18.1ポイント減と大幅な減少傾向にある。

《経年比較》



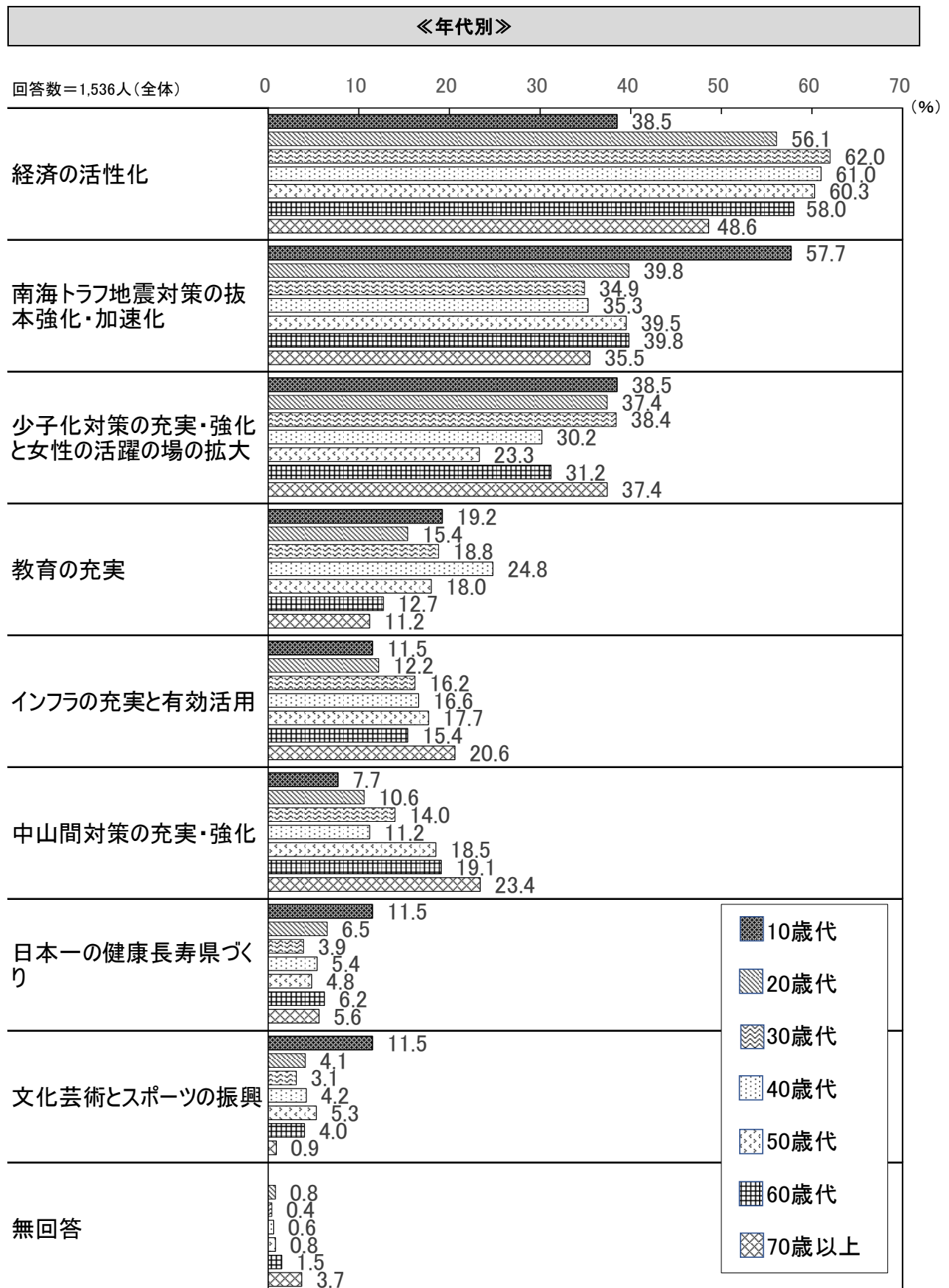
【性別】

男女ともに「経済の活性化」が最も高くなっており、男性は 61.4%と女性の 56.3%よりも 5.1 ポイント高くなっている。



【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「経済の活性化」が最も高く、10歳代では「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が最も高くなっている。



2. 県の人口減少対策について

問12 今後、本県の少子高齢化や人口減少が進んだ場合、どのようなことが心配ですか。(3つまで○印)

【総合】

「医療・福祉施設がなくなり、十分な医療・福祉サービスが受けられなくなること」が46.8%と1位になっている。

次いで、「医療保険や年金など社会保障の維持が困難になること」が46.7%、「担い手不足により地域の産業が衰退すること」が38.3%と続いている。

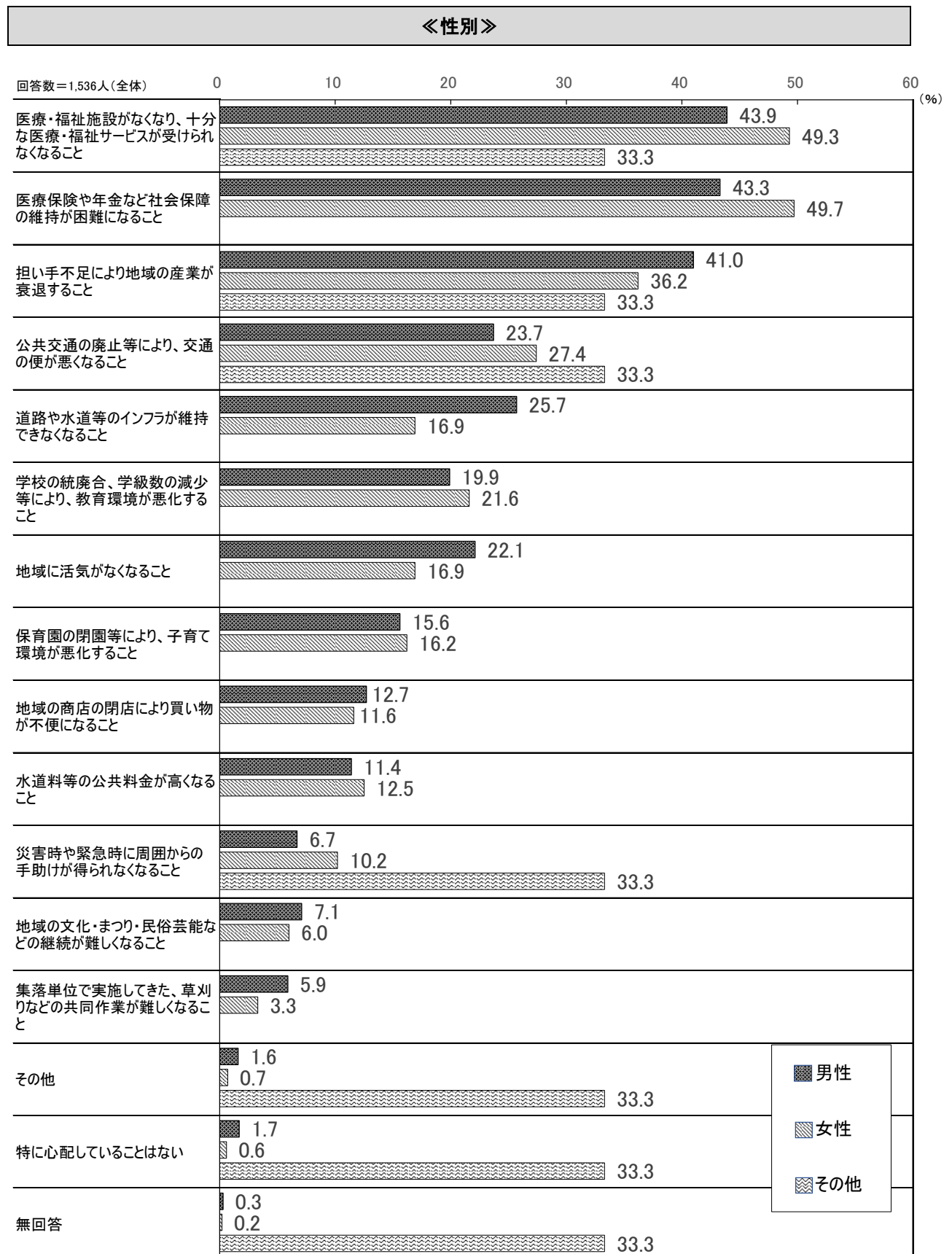
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
医療・福祉施設がなくなり、十分な医療・福祉サービスが受けられなくなること	46.8	719 人
医療保険や年金など社会保障の維持が困難になること	46.7	718 人
担い手不足により地域の産業が衰退すること	38.3	588 人
公共交通の廃止等により、交通の便が悪くなること	25.8	396 人
道路や水道等のインフラが維持できなくなる	21.0	323 人
学校の統廃合、学級数の減少等により、教育環境が悪化すること	20.7	318 人
地域に活気がなくなること	19.3	296 人
保育園の閉園等により、子育て環境が悪化すること	15.8	243 人
地域の商店の閉店により買い物が不便になること	12.0	185 人
水道料等の公共料金が高くなること	12.0	184 人
災害時や緊急時に周囲からの手助けが得られなくなる	8.6	132 人
地域の文化・まつり・民俗芸能などの継続が難しくなること	6.5	100 人
集落単位で実施してきた、草刈りなどの共同作業が難しくなること	4.4	68 人
その他	1.2	19 人
特に心配していることはない	1.2	19 人
無回答	0.3	5 人

グラフ単位 (%)

【性別】

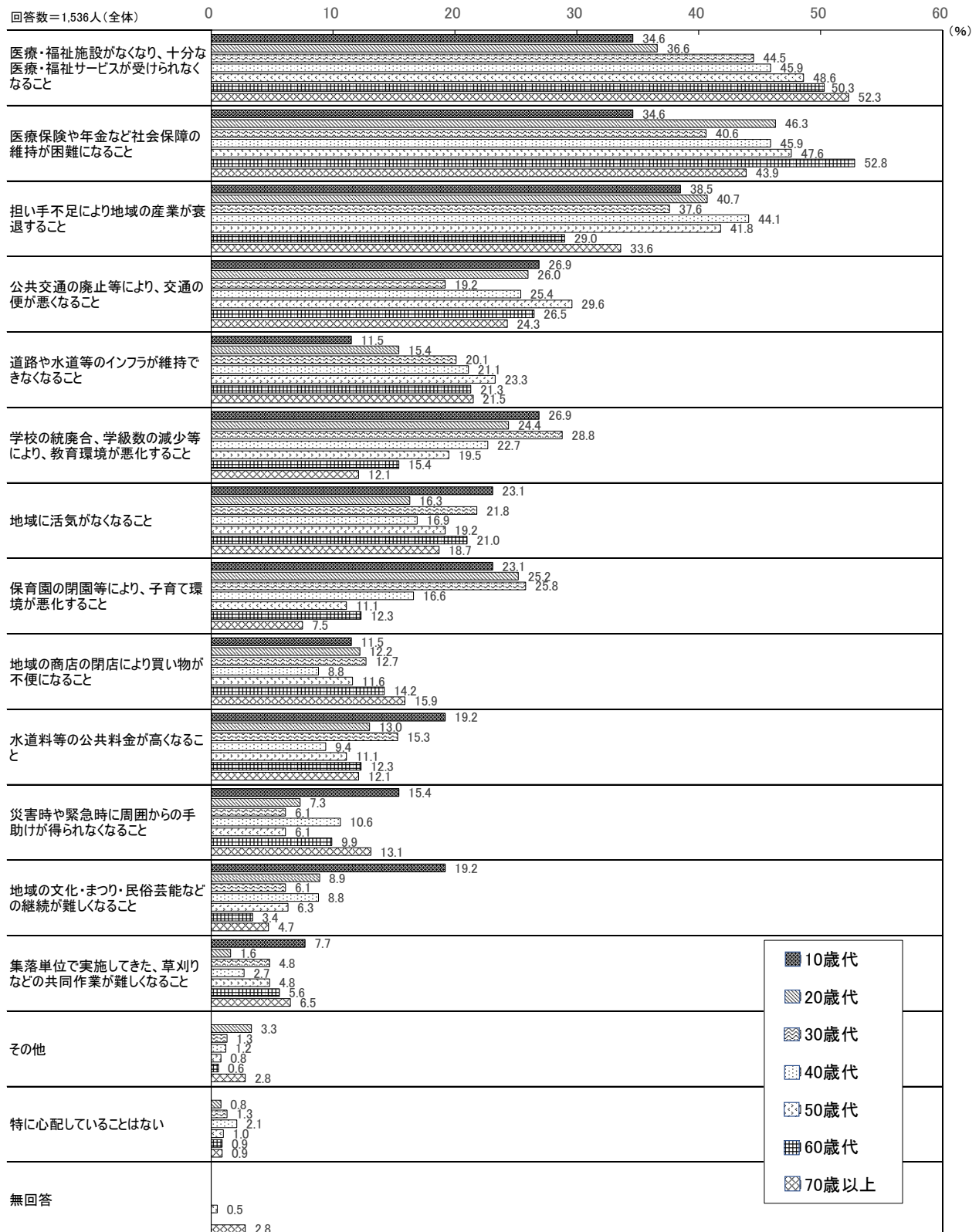
男性では「医療・福祉施設がなくなり、十分な医療・福祉サービスが受けられなくなる事」が最も高く、女性では「医療保険や年金など社会保障の維持が困難になること」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代では「担い手不足により地域の産業が衰退すること」が最も高く、20 歳代、40 歳代、60 歳代では「医療保険や年金など社会保障の維持が困難になること」、30 歳代、50 歳代、70 歳以上では「医療・福祉施設がなくなり、十分な医療・福祉サービスが受けられなくなること」が最も高くなっている。また、40 歳代では同率で「医療・福祉施設がなくなり、十分な医療・福祉サービスが受けられなくなること」が最も高くなっている。

《年代別》



問13 高知県内の若者定着や、県外からの若者の転入増加のために特に何が重要だと思いますか。
(3つまで○印)

【総合】

「若者の所得の向上」が 64.7%と 1 位になっている。

次いで、「子育てしやすい環境」が 40.5%、「県内就職の促進に向けた情報発信やマッチングの強化」が 24.5%と続いている。

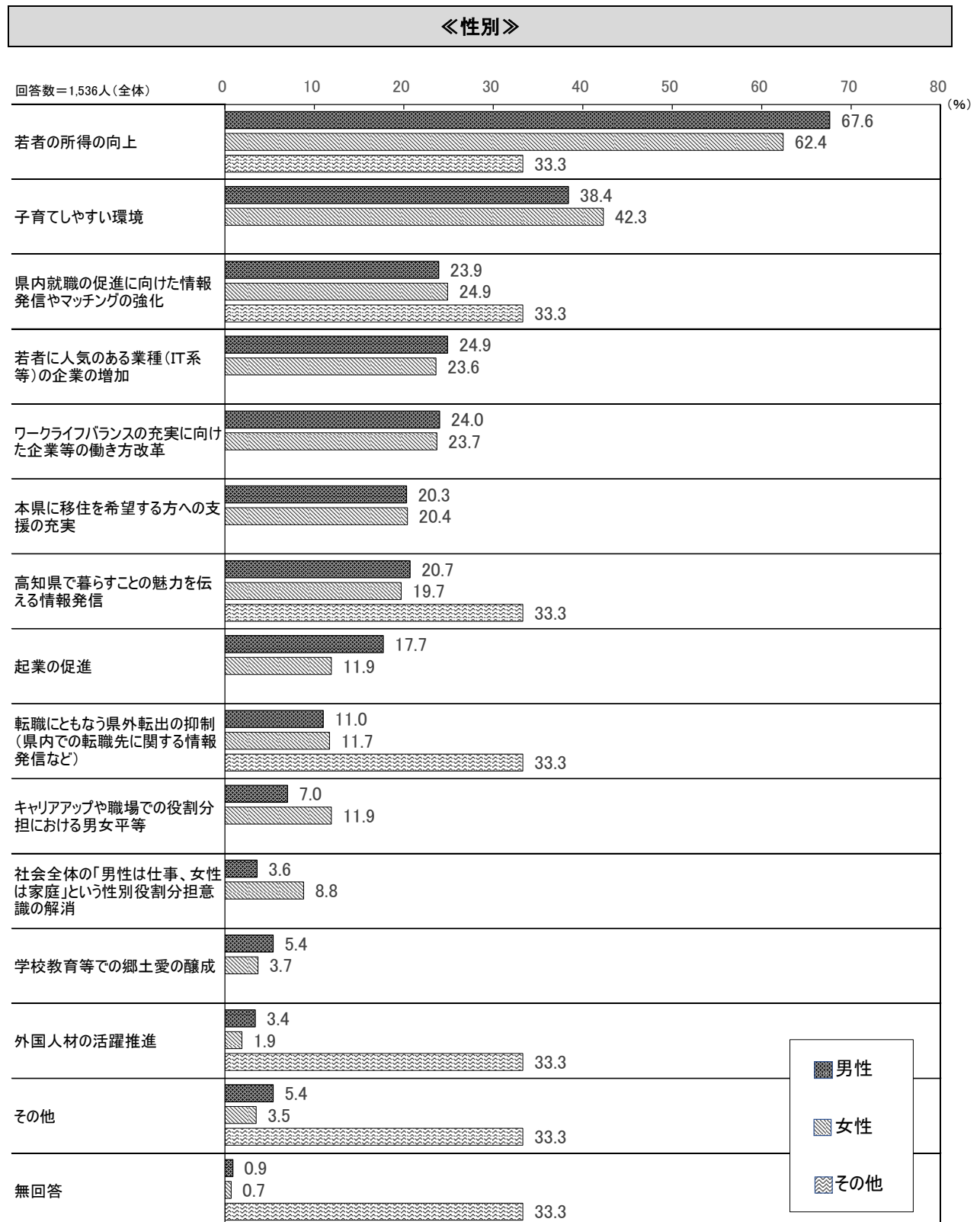
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
若者の所得の向上	64.7	994 人
子育てしやすい環境	40.5	622 人
県内就職の促進に向けた情報発信やマッチングの強化	24.5	376 人
若者に人気のある業種(IT系等)の企業の増加	24.0	369 人
ワークライフバランスの充実にに向けた企業等の働き方改革	23.8	365 人
本県に移住を希望する方への支援の充実	20.4	313 人
高知県で暮らすことの魅力を伝える情報発信	20.2	310 人
起業の促進	14.6	224 人
転職にともなう県外転出の抑制(県内での転職先に関する情報発信など)	11.5	176 人
キャリアアップや職場での役割分担における男女平等	9.6	148 人
社会全体の「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意識の解消	6.4	98 人
学校教育等での郷土愛の醸成	4.5	69 人
外国人材の活躍推進	2.7	41 人
その他	4.5	69 人
無回答	0.8	13 人

グラフ単位 (%)

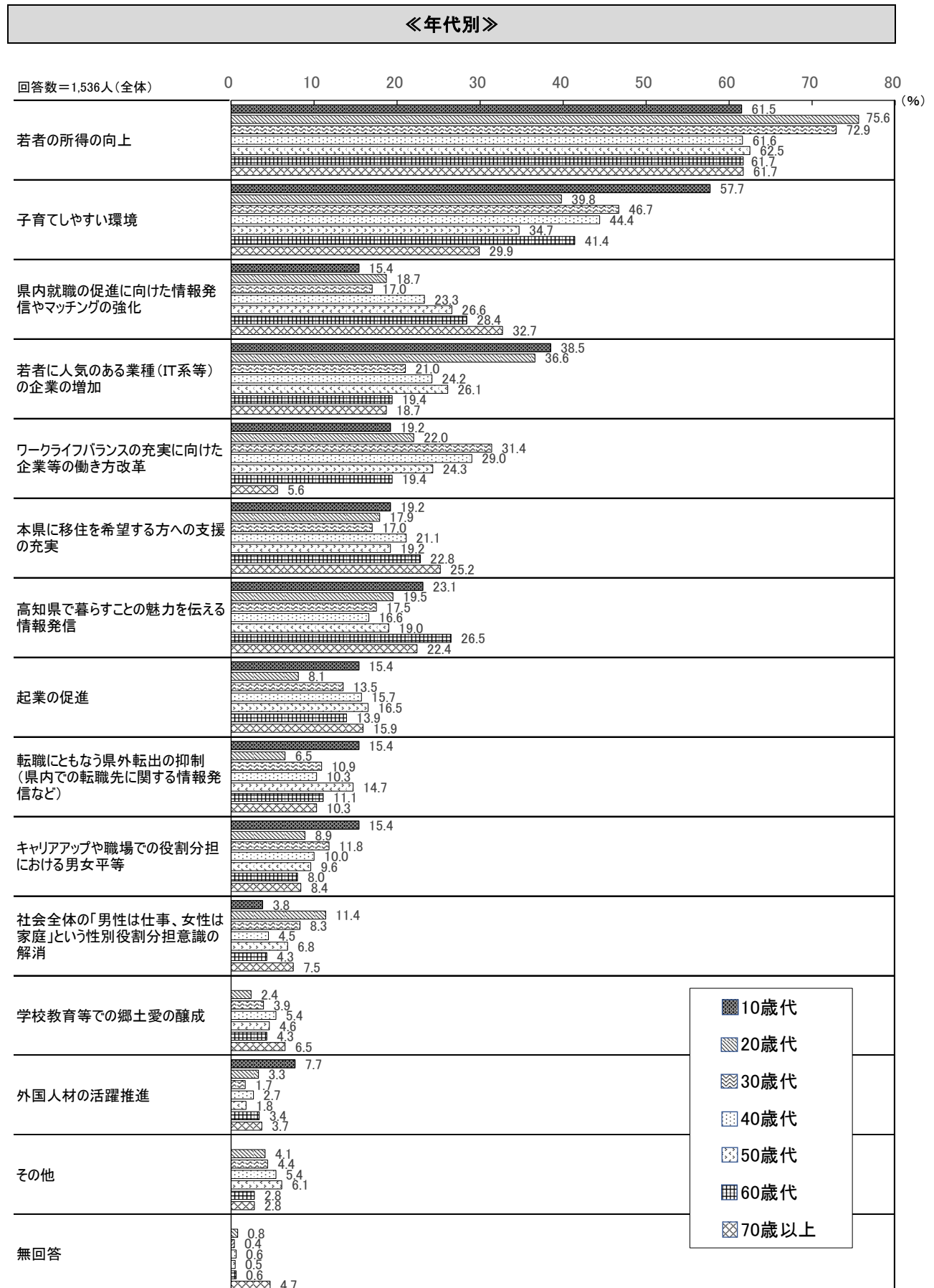
【性別】

男女ともに「若者の所得の向上」が最も高くなっている。以降の順位も同じ傾向になっている。



【年代別】

すべての年代で「若者の所得の向上」が最も高くなっている。



問14 「婚姻数の増加」「出生数の増加」のために特に、何が重要だと思いますか。(3つまで○印)

【総合】

「若者の所得の向上」が59.5%と1位になっている。

次いで、「安心して妊娠・出産できる環境」が50.2%、「子育てに関する支援やサービスの充実（経済的な支援を含む）」が42.6%と続いている。

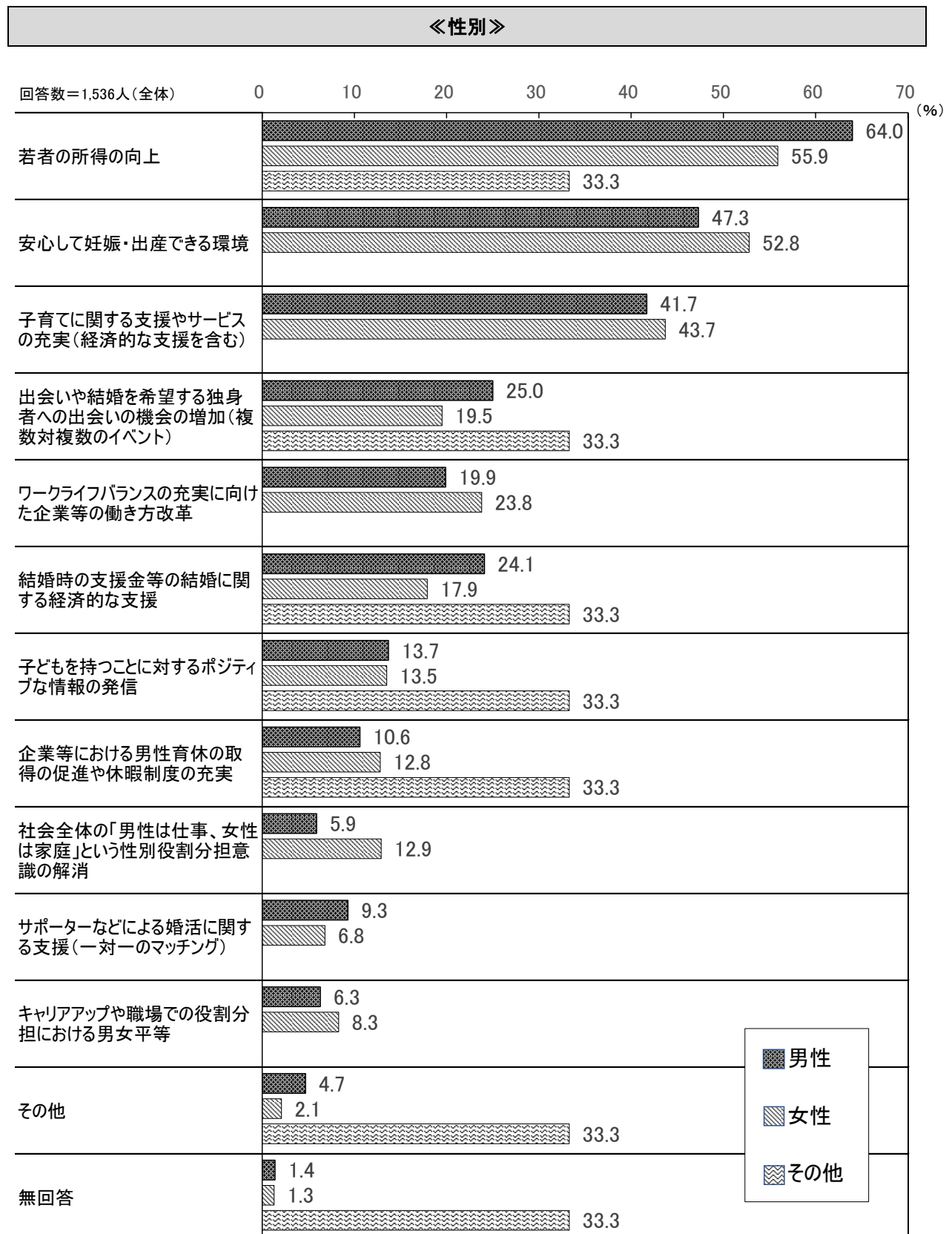
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
若者の所得の向上	59.5	914 人
安心して妊娠・出産できる環境	50.2	771 人
子育てに関する支援やサービスの充実（経済的な支援を含む）	42.6	655 人
出会いや結婚を希望する独身者への出会いの機会の増加（複数対複数のイベント）	22.1	339 人
ワークライフバランスの充実に向けた企業等の働き方改革	21.9	337 人
結婚時の支援金等の結婚に関する経済的な支援	20.7	318 人
子どもを持つことに対するポジティブな情報の発信	13.7	210 人
企業等における男性育休の取得の促進や休暇制度の充実	11.8	181 人
社会全体の「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意識の解消	9.6	148 人
サポーターなどによる婚活に関する支援（一対一のマッチング）	7.9	121 人
キャリアアップや職場での役割分担における男女平等	7.4	114 人
その他	3.4	52 人
無回答	1.4	22 人

グラフ単位（%）

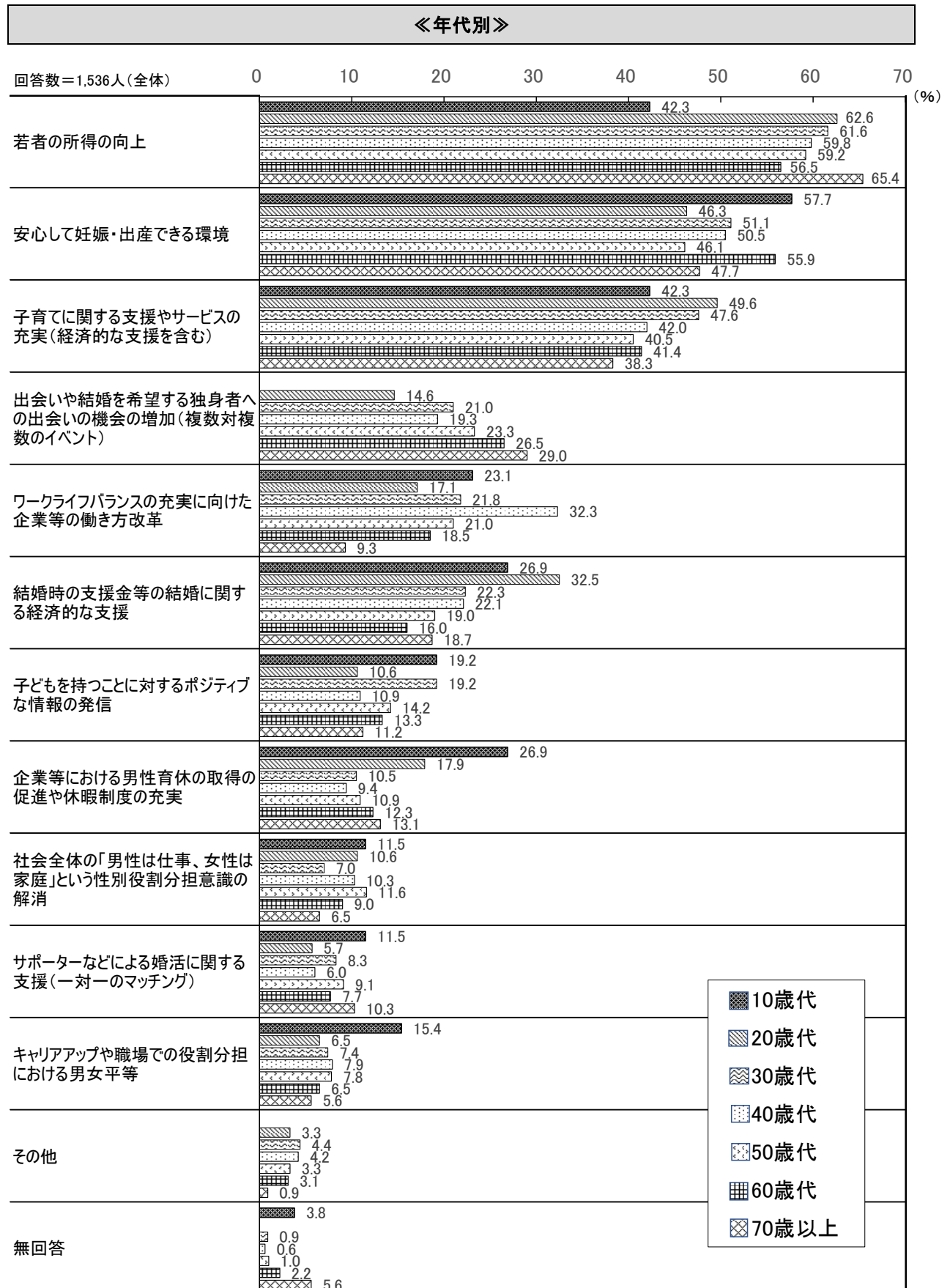
【性別】

男女ともに「若者の所得の向上」が最も高くなっている。以降の順位も同じ傾向になっている。



【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「若者の所得の向上」が最も高く、10歳代では「安心して妊娠・出産できる環境」が最も高くなっている。



【性別役割分担意識について】

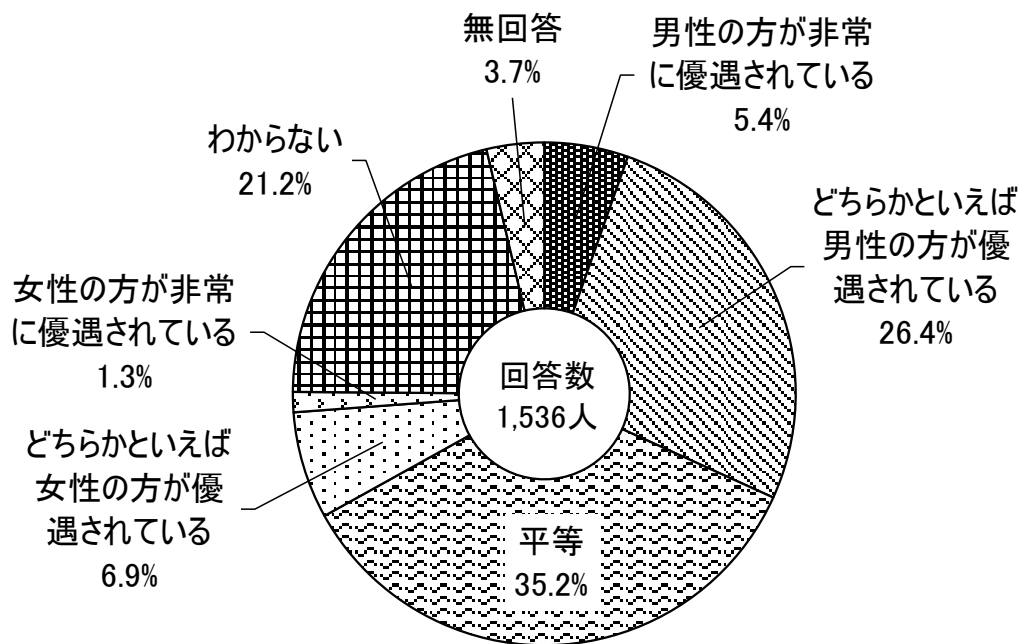
問15 あなたの職場において、男女の地位（意思決定への影響力や待遇など）は平等になっていると思いますか。
あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。（1つだけ○印）

【総合】

「平等」が35.2%と1位になっている。

次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が26.4%、「わからない」が21.2%と続いている。

《総合》



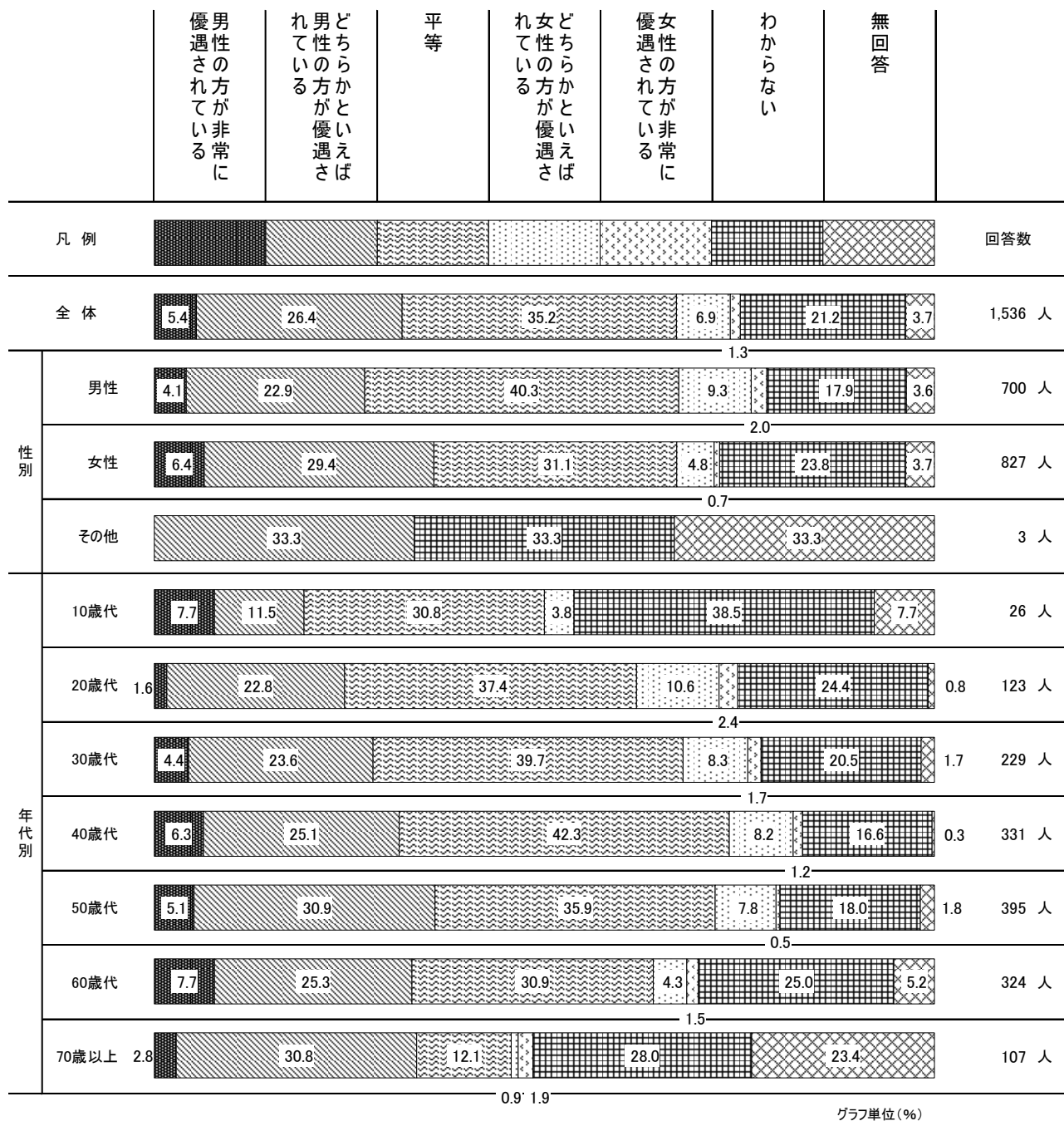
【性別】

男女とも「平等」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代では「わからない」が最も高く、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「平等」が、70歳以上では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



問16 あなたの家庭生活において、男女の地位（意思決定への影響力や待遇など）は平等になっていると思いますか。

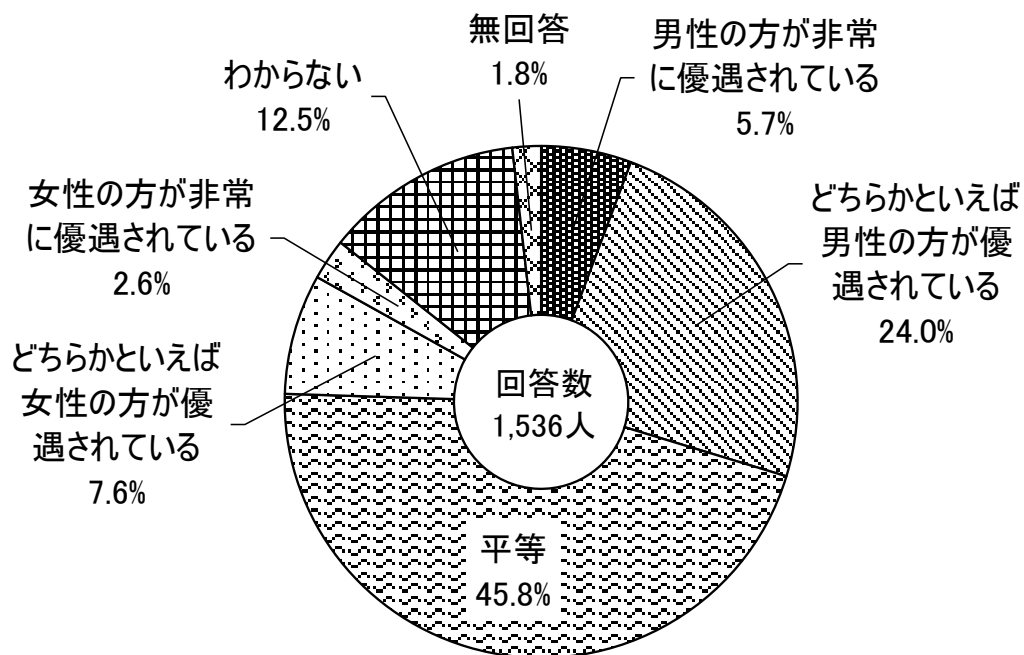
あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。（1つだけ○印）

【総合】

「平等」が45.8%と1位になっている。

次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が24.0%、「わからない」が12.5%と続いている。

《総合》



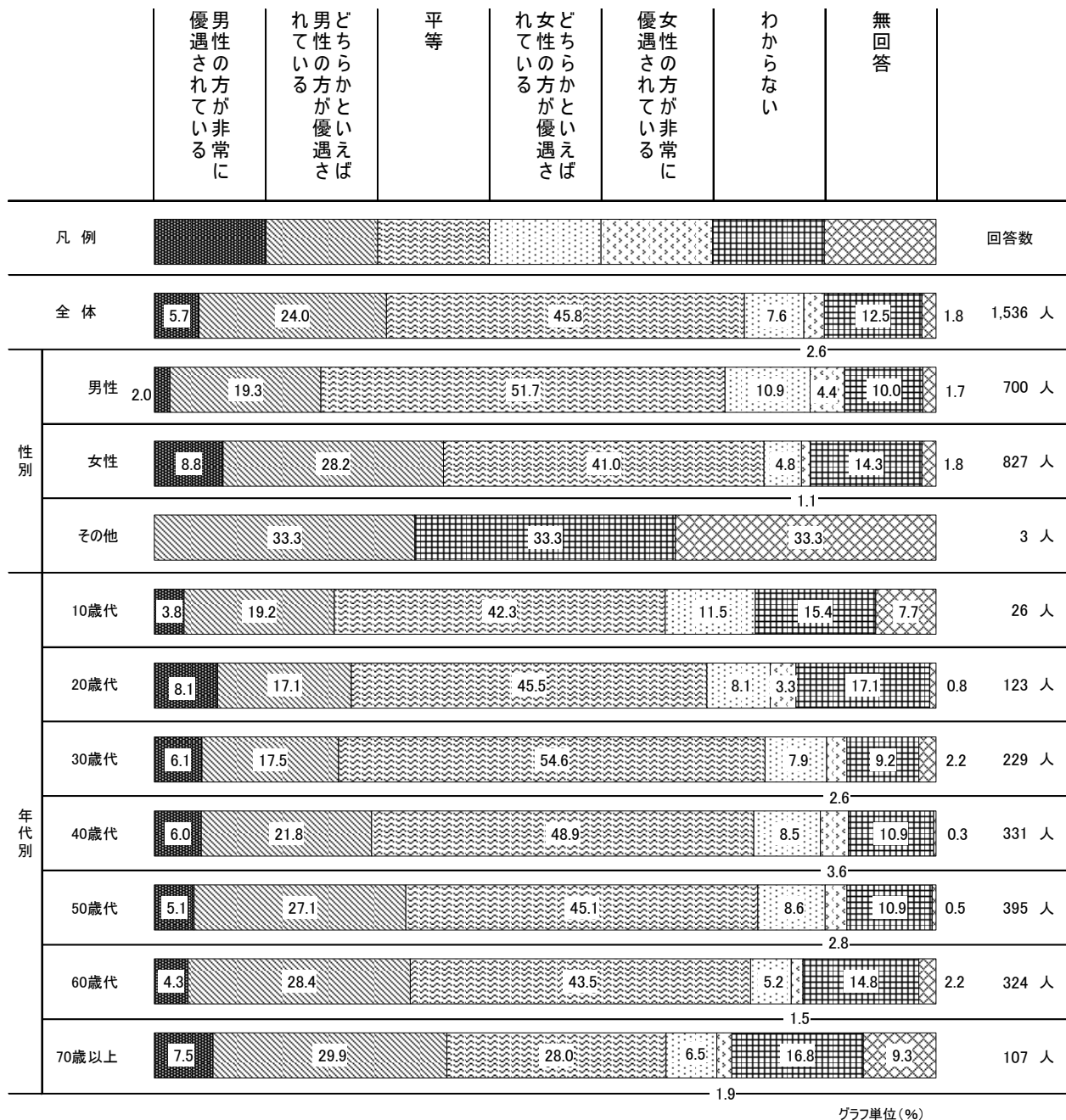
【性別】

男女ともに「平等」が最も高くなっている。

【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で、「平等」が最も高く、70歳以上では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



3. 南海トラフ地震対策について

問17 南海トラフ地震が発生したとき、高知県内では最大で約42,000の方が亡くなり、そのうち約36,000の方が津波によって亡くなると想定されています。

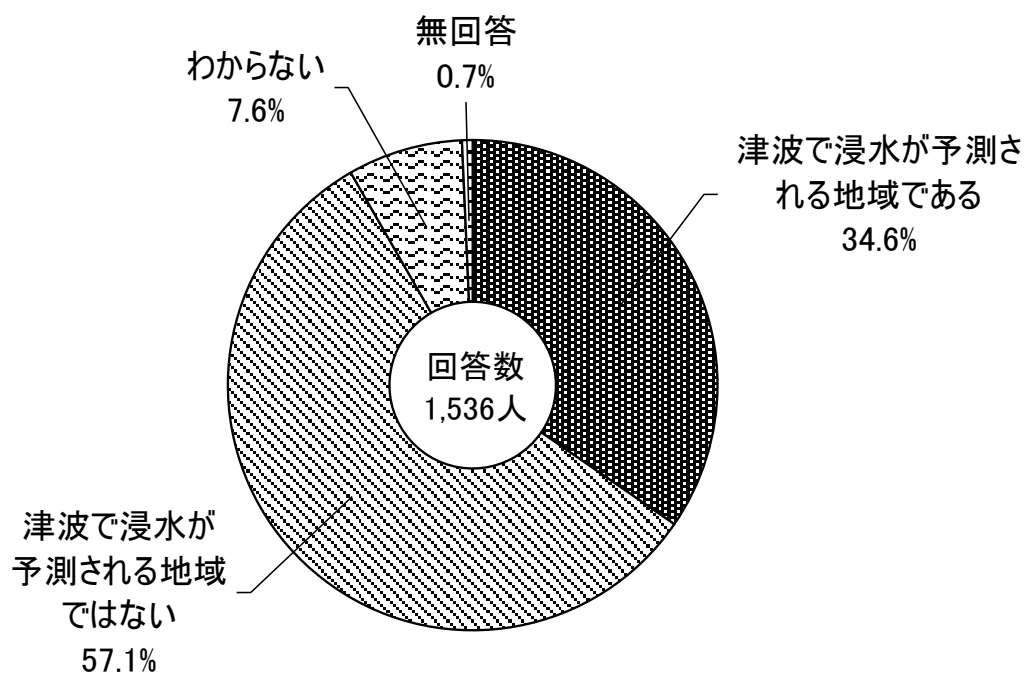
あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(1つだけ○印)

【総合】

「津波で浸水が予測される地域ではない」が57.1%と1位になっている。

次いで、「津波で浸水が予測される地域である」が34.6%、「わからない」が7.6%と続いている。

《総合》

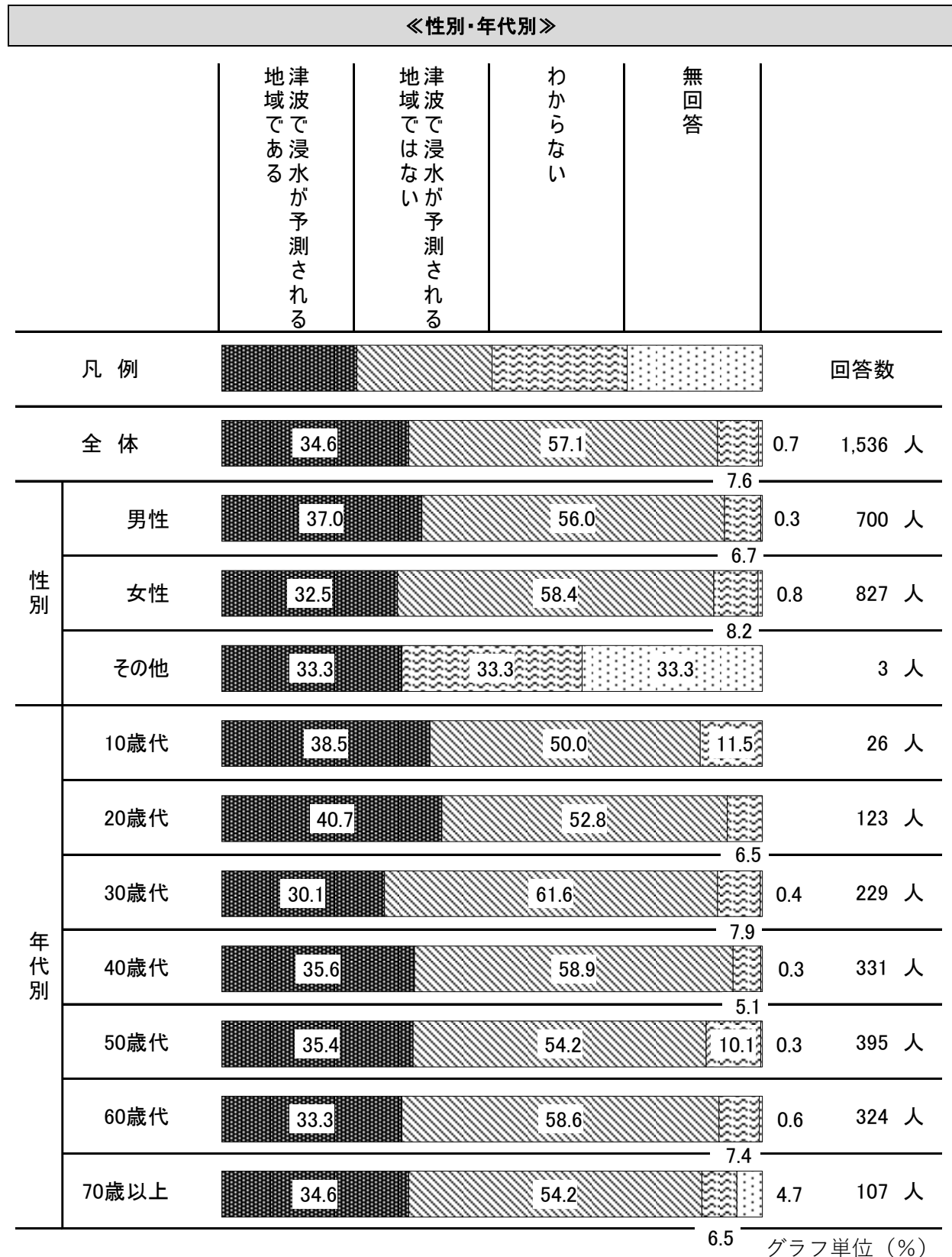


【性別】

男女ともに「津波で浸水が予測される地域ではない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「津波で浸水が予測される地域ではない」が最も高くなっている。



副問1（問17で「1 津波で浸水が予測される地域である」を選んだ方のみお答えください。）

南海トラフ地震が発生したとき、高知県では、最も早いところで地震の揺れ始めから3分程度で、津波が海岸線に到達すると予測されています。

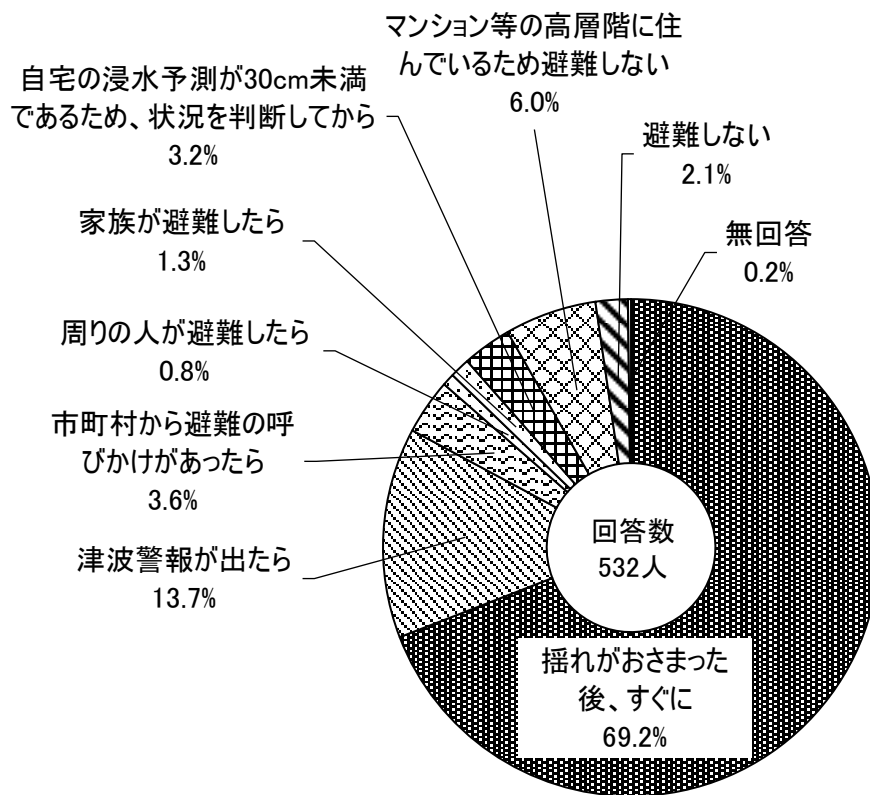
あなたご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。（1つだけ○印）

【総合】

「揺れがおさまった後、すぐに」が69.2%と1位になっている。

次いで、「津波警報が出たら」が13.7%、「マンション等の高層階に住んでいるため避難しない」が6.0%と続いている。

《総合》

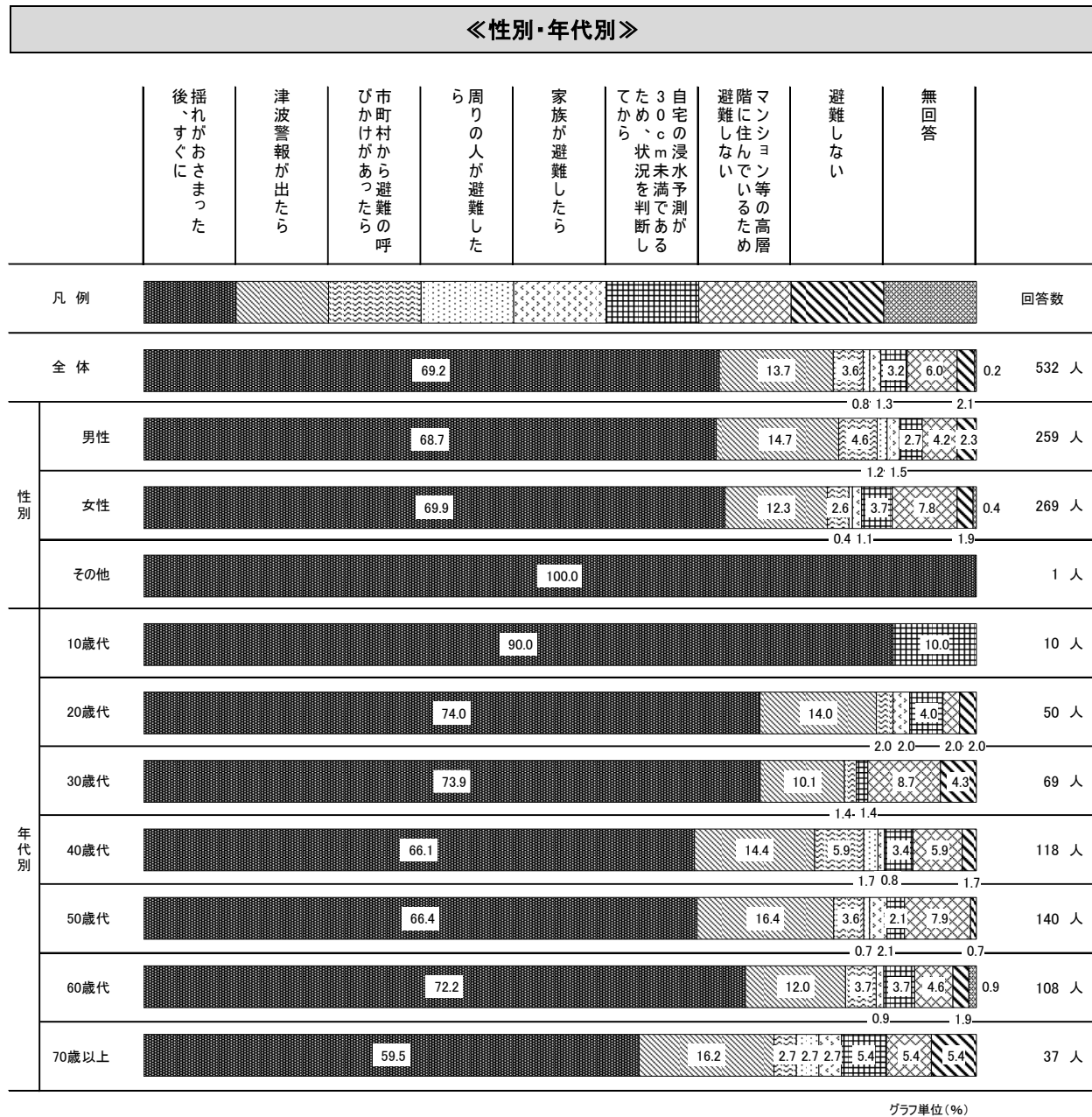


【性別】

男女ともに「揺れがおさまった後、すぐに」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「揺れがおさまった後、すぐに」が最も高くなっている。



副問2（問17で「1 津波で浸水が予測される地域である」を選んだ方のみお答えください。）

あなたのご自宅まで、津波が到達する時間や浸水する深さをどのように知りましたか。（1つだけ○印）

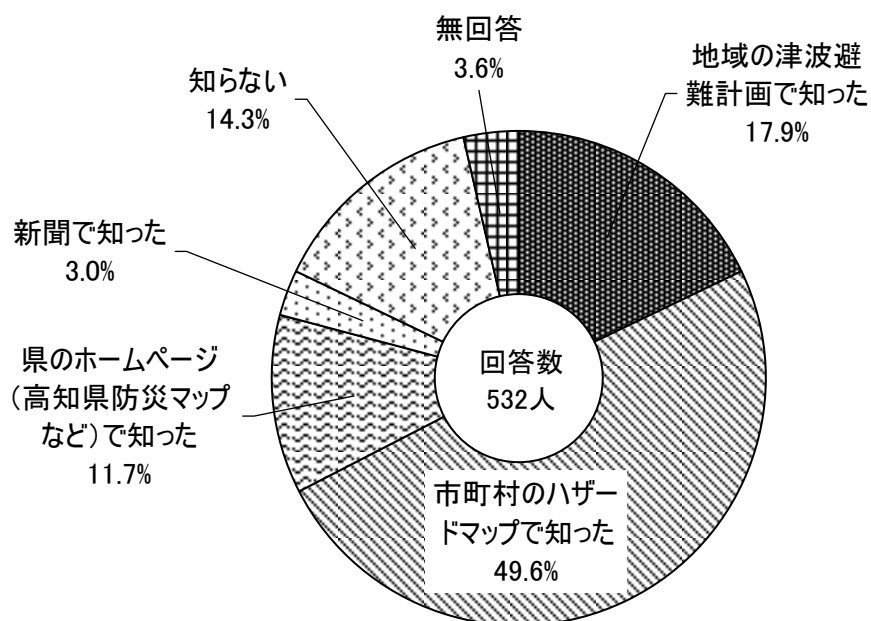
※津波は30cmの深さで避難できなくなり、1mになると命を落とすと言われています

【総合】

「市町村のハザードマップで知った」が49.6%と1位になっている。

次いで、「地域の津波避難計画で知った」が17.9%、「知らない」が14.3%と続いている。

《総合》

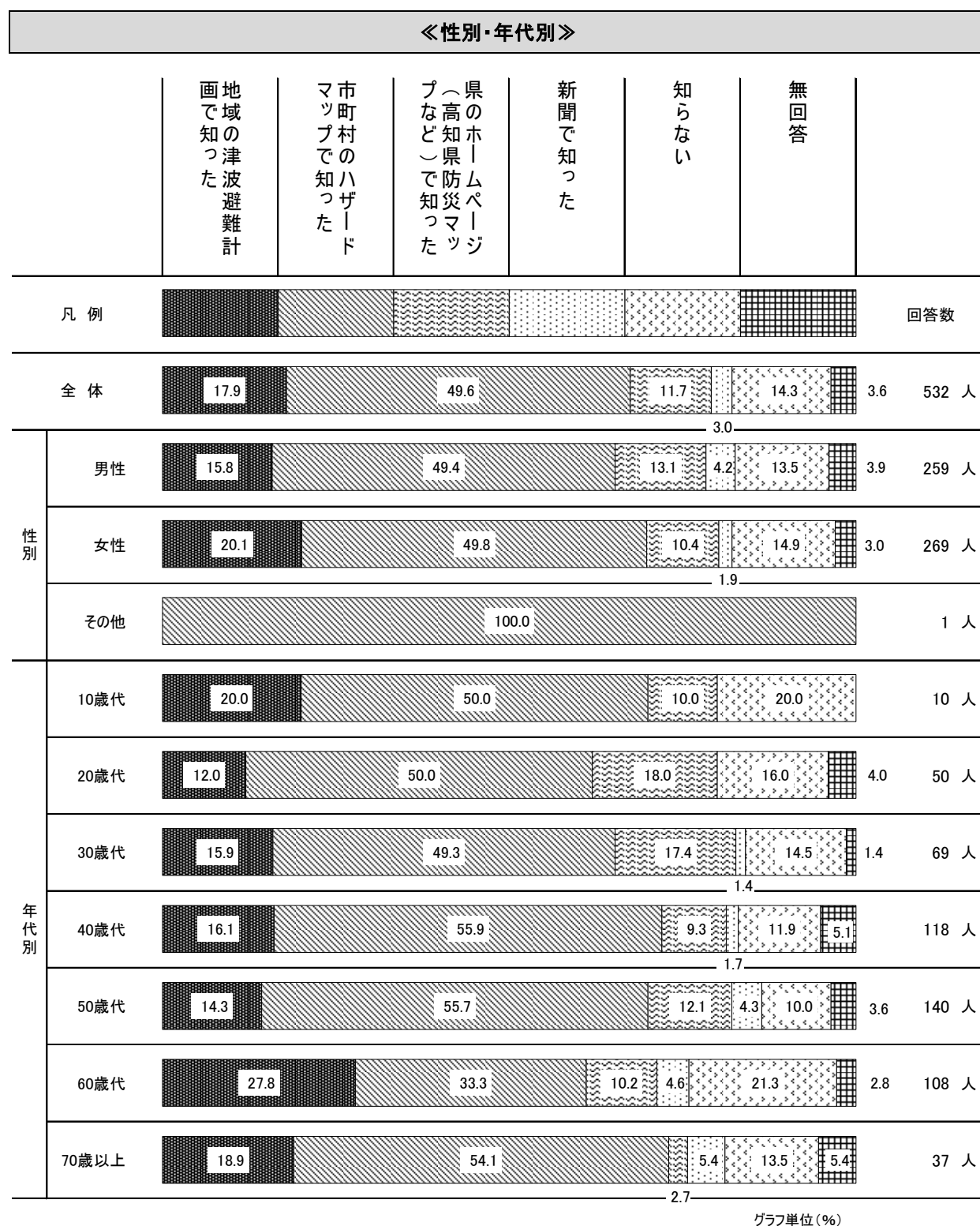


【性別】

男女ともに「市町村のハザードマップで知った」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「市町村のハザードマップで知った」が最も高くなっている。



副問3（問17で「1 津波で浸水が予測される地域である」を選んだ方のみお答えください。）

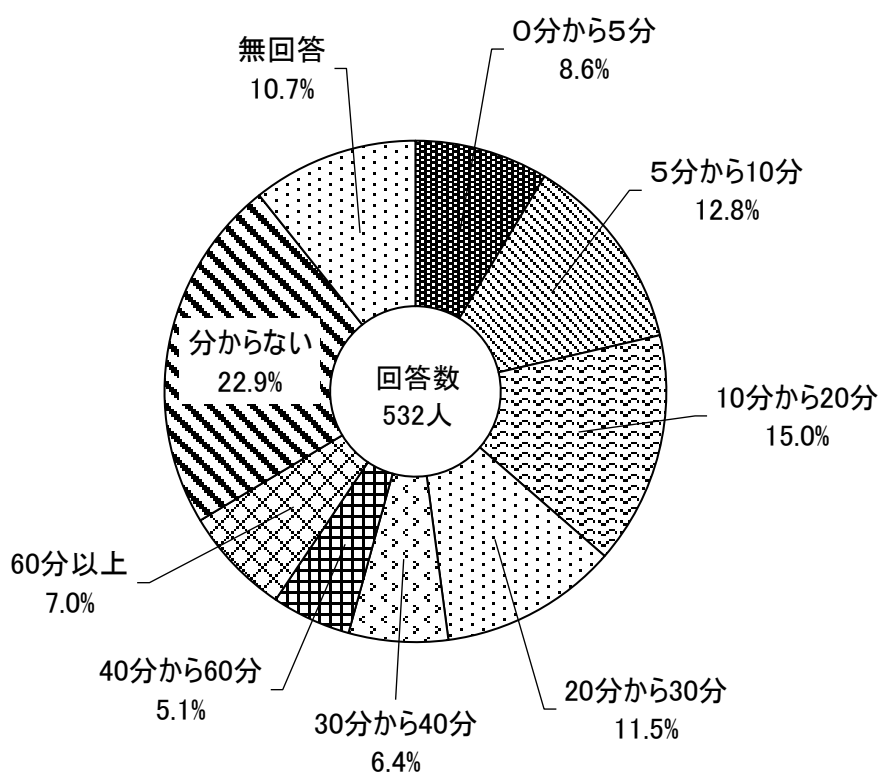
あなたのご自宅がある地域は、地震が発生してから何分で津波が到達すると予測されていますか。津波ハザードマップで示されている津波の到達時間をお答えください。（1つだけ○印）

【総合】

「分からない」が22.9%と1位になっている。

次いで、「10分から20分」が15.0%、「5分から10分」が12.8%と続いている。

《総合》



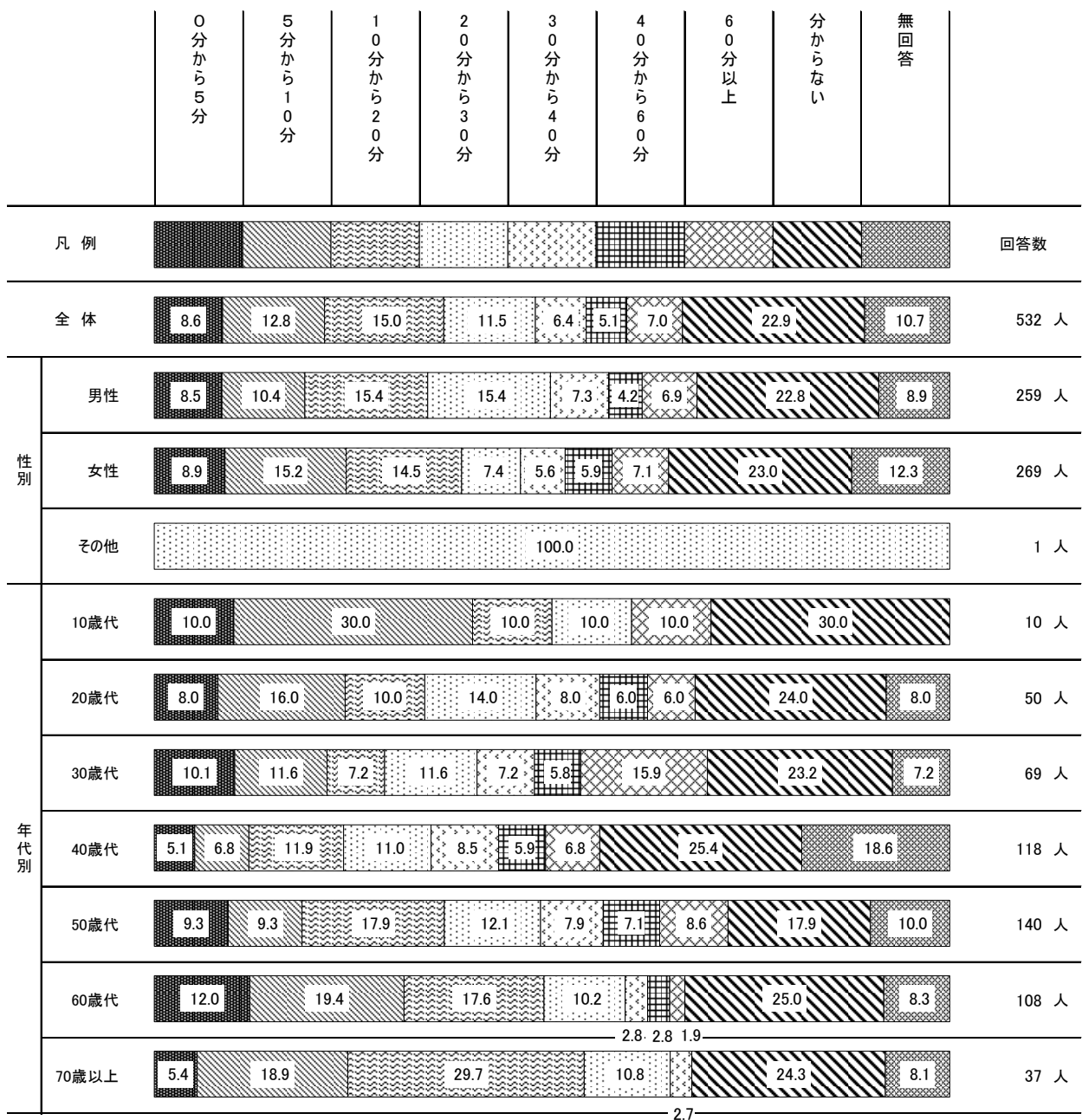
【性別】

男女ともに「分からない」が最も高くなっており、次いで、男性では同率で「10分から20分」、「20分から30分」が、女性では「5分から10分」が続いている。

【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で、「分からない」が最も高く、70歳以上では「10分から20分」が最も高くなっている。また、10歳代では同率で「5分から10分」が、50歳代では同率で「10分から20分」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

【問 17 副問 1 × 問 17 副問 3 のクロス分析】

「あなたは、いつ避難しますか」という質問に対し、「津波の到達時間」の結果を見ると、「家族が避難したら」を除くすべての避難のタイミングで「分からない」が最も高く、「家族が避難したら」では「10分から20分」が最も高くなっている。また、「市町村から避難の呼びかけがあったら」では同率で「10分から20分」、「60分以上」が最も高くなっている。

《問 17 副問 1 × 問 17 副問 3 のクロス分析》

		全体	津波の到達時間						
			0 分 から 5 分	5 分 から 1 0 分	1 0 分 から 2 0 分	2 0 分 から 3 0 分	3 0 分 から 4 0 分	4 0 分 から 6 0 分	6 0 分 以上 分 か ら な い
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)									
全体		532	46	68	80	61	34	27	122
		100.0	8.6	12.8	15.0	11.5	6.4	5.1	22.9
あなたはいつ避難しますか	揺れがおさまった後、すぐに	368	10.1	16.3	16.3	9.8	6.0	6.0	20.9
	津波警報が出たら	73	2.7	6.8	11.0	16.4	9.6	2.7	28.8
	市町村から避難の呼びかけがあったら	19	5.3	5.3	15.8	5.3	5.3	5.3	15.8
	周りの人が避難したら	4	－	－	－	25.0	25.0	－	50.0
	家族が避難したら	7	14.3	14.3	28.6	14.3	－	－	－
	自宅の浸水予測が30cm未満であるため、状況を判断してから	17	11.8	－	5.9	11.8	5.9	－	35.3
	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	32	3.1	－	15.6	18.8	3.1	6.3	28.1
	避難しない	11	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1	－	27.3

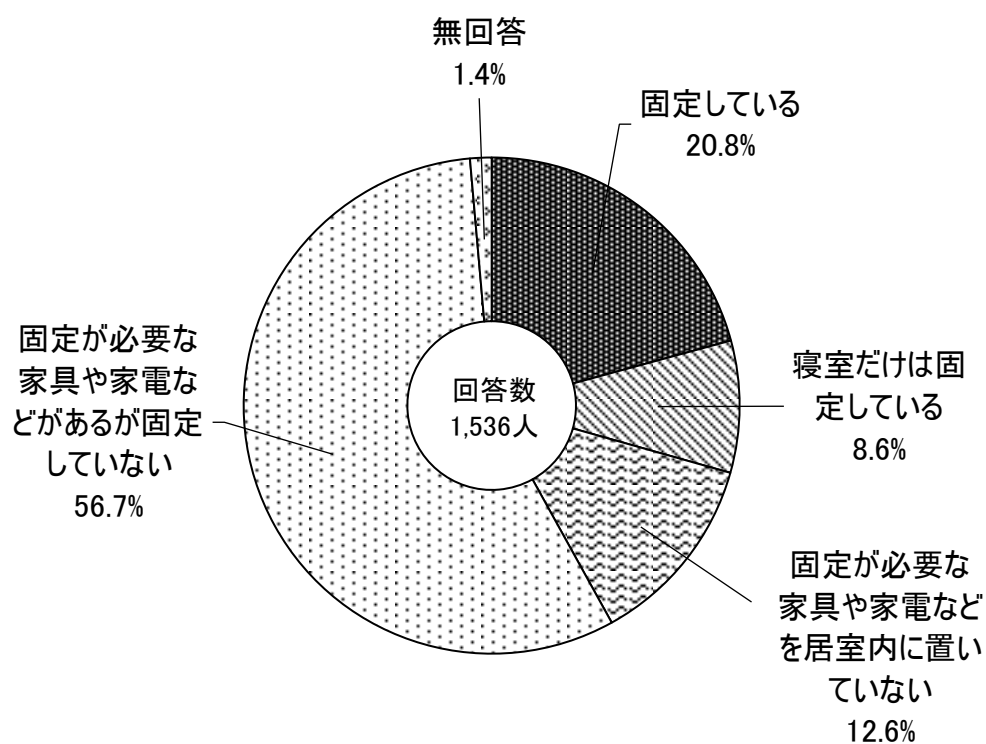
問 18 あなたのご自宅では、固定が必要な家具や家電などを固定していますか。(1つだけ○印)

【総合】

「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が 56.7%と 1 位になっている。

次いで、「固定している」が 20.8%、「固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない」が 12.6%と続いている。

《総合》



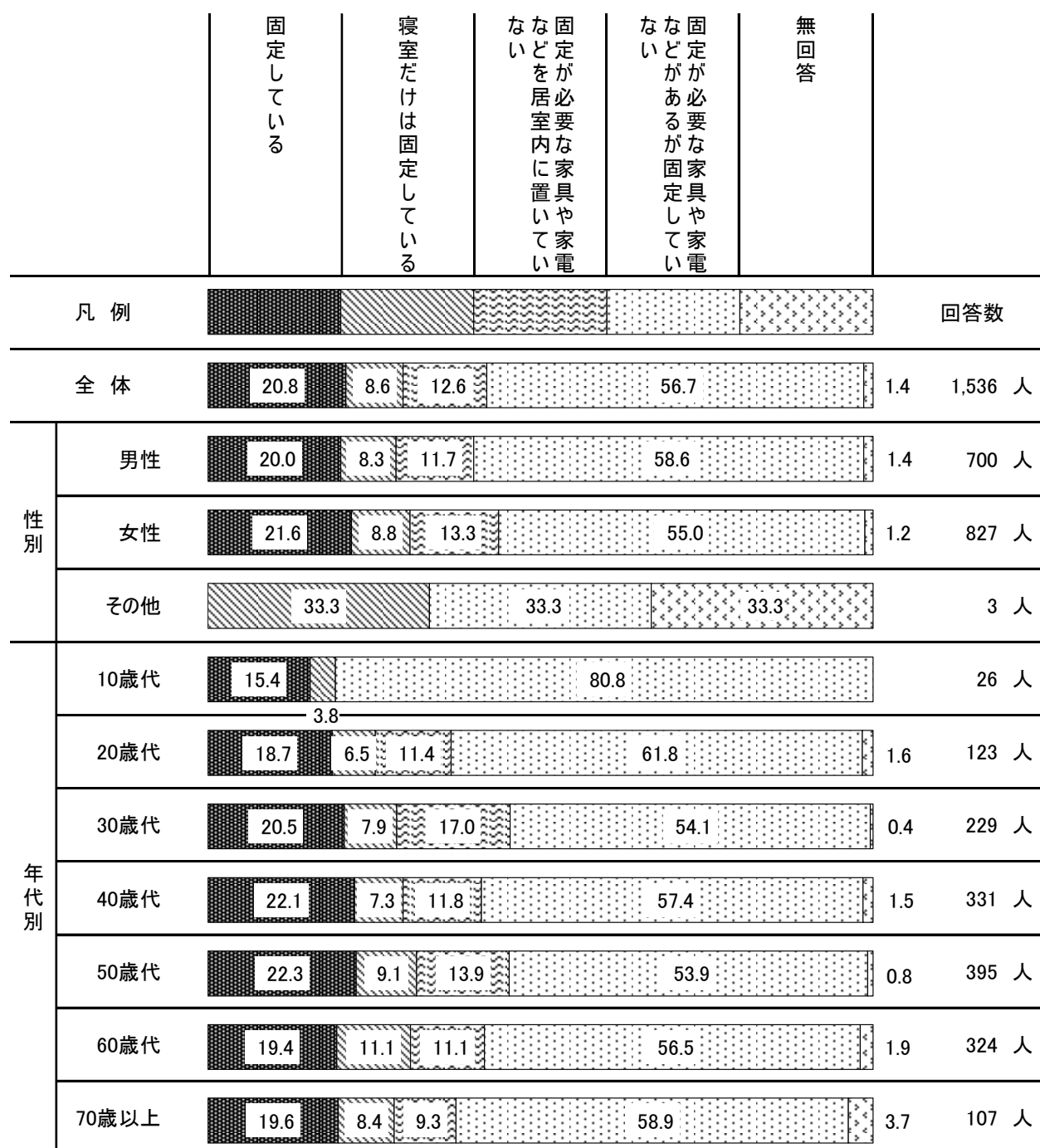
【性別】

男女ともに「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

問 19 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料（3日分以上）の備蓄をすることが重要です。

あなたのご自宅に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料、日常的に消費する飲料水と食料のストック（ローリングストック）がおおよそ何日分ありますか。（それぞれあてはまるものに○印）

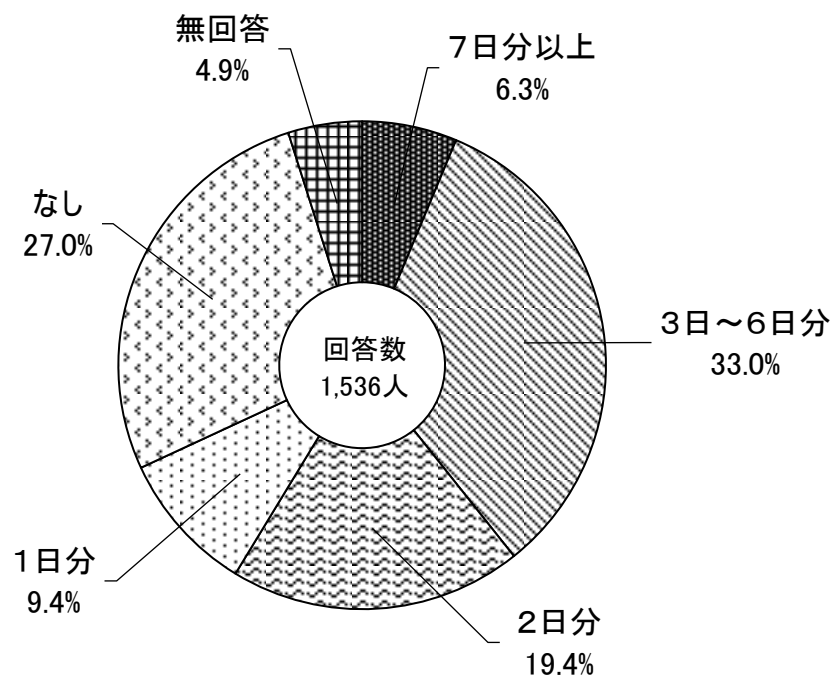
【飲料水：災害用の飲料水の備蓄】

【総合】

「3日～6日分」が33.0%と1位になっている。

次いで、「なし」が27.0%、「2日分」が19.4%と続いている。

《総合》

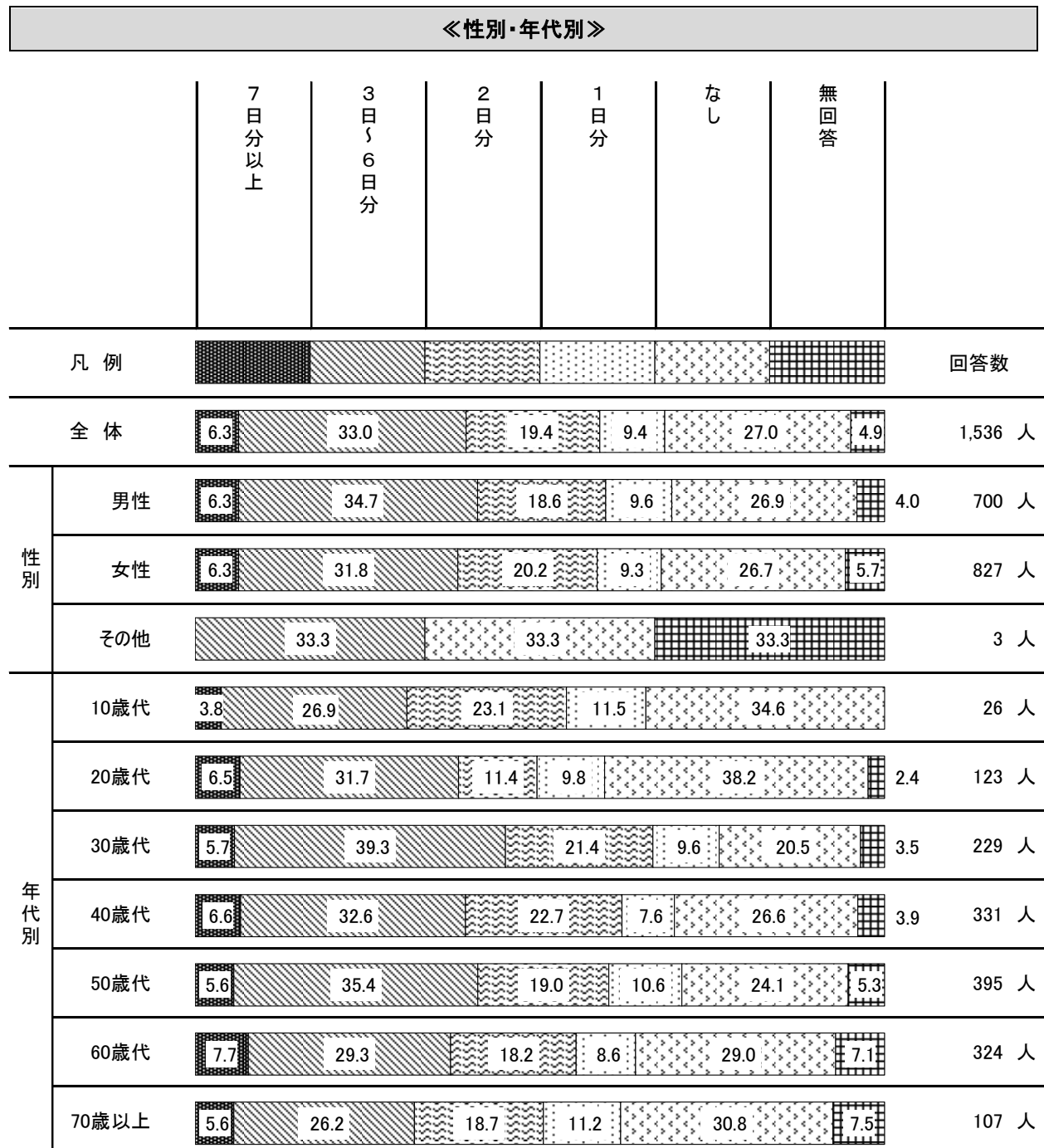


【性別】

男女ともに「3日～6日分」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、70歳以上では「なし」が最も高く、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「3日～6日分」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

問19 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料（3日分以上）の備蓄をすることが重要です。

あなたのご自宅に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料、日常的に消費する飲料水と食料のストック（ローリングストック）がおおよそ何日分ありますか。（それぞれあてはまるものに○印）

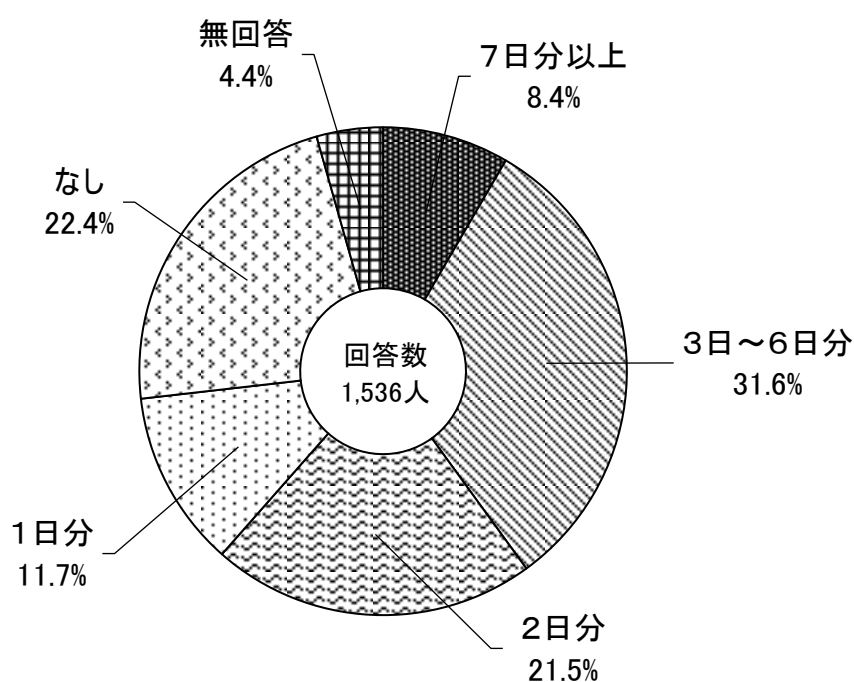
【飲料水：日常的に消費する飲料水のストック】

【総合】

「3日～6日分」が31.6%と1位になっている。

次いで、「なし」が22.4%、「2日分」が21.5%と続いている。

《総合》

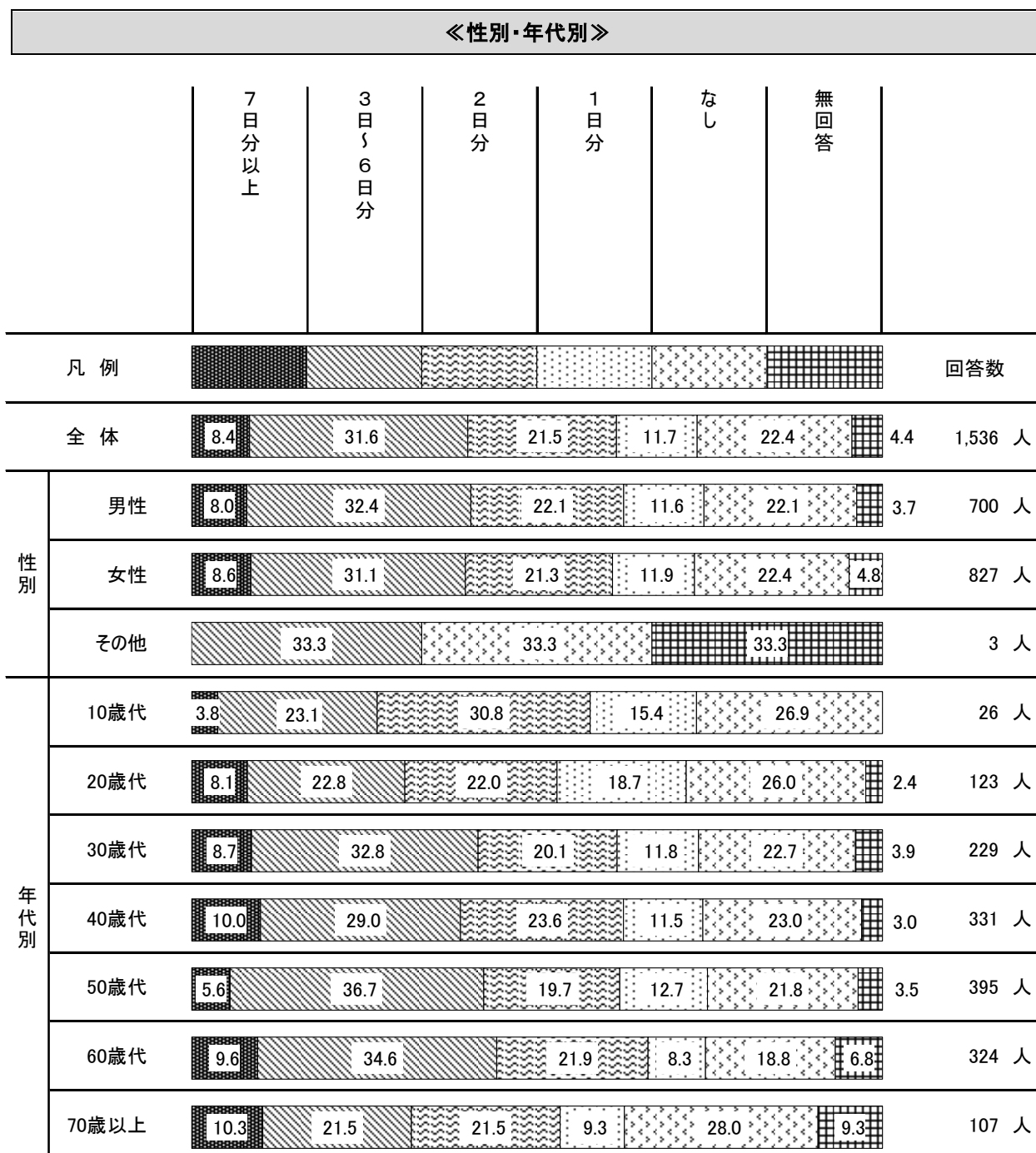


【性別】

男女ともに「3日～6日分」が最も高くなっており、次いで、男性では同率で「2日分」、「なし」が、女性では「なし」が続いている。

【年代別】

10歳代では「2日分」が最も高く、20歳代、70歳以上では「なし」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「3日～6日分」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

問 19 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料（3日分以上）の備蓄をすることが重要です。

あなたのご自宅に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料、日常的に消費する飲料水と食料のストック（ローリングストック）がおおよそ何日分ありますか。（それぞれあてはまるものに○印）

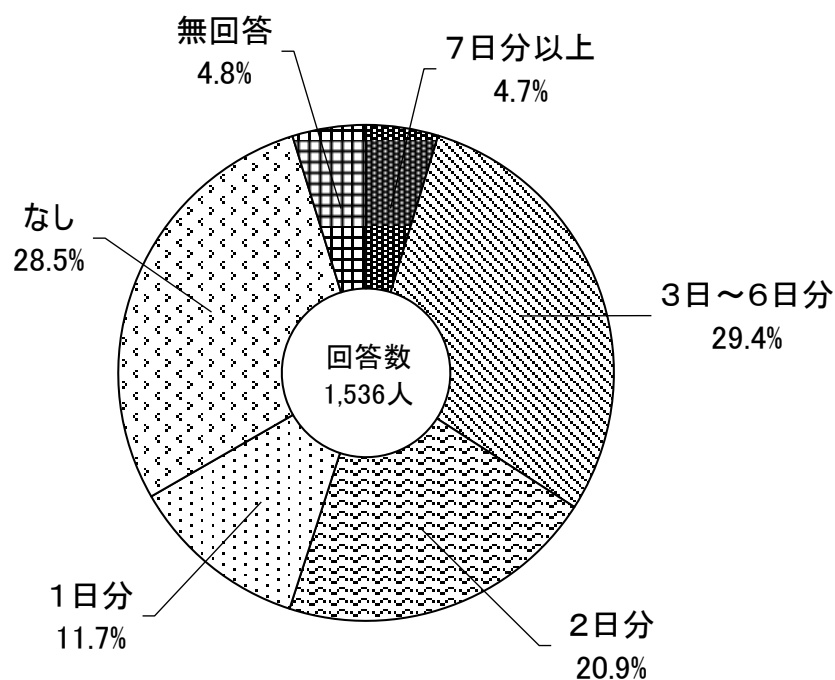
【食料：災害用の食料の備蓄】

【総合】

「3日～6日分」が29.4%と1位になっている。

次いで、「なし」が28.5%、「2日分」が20.9%と続いている。

《総合》

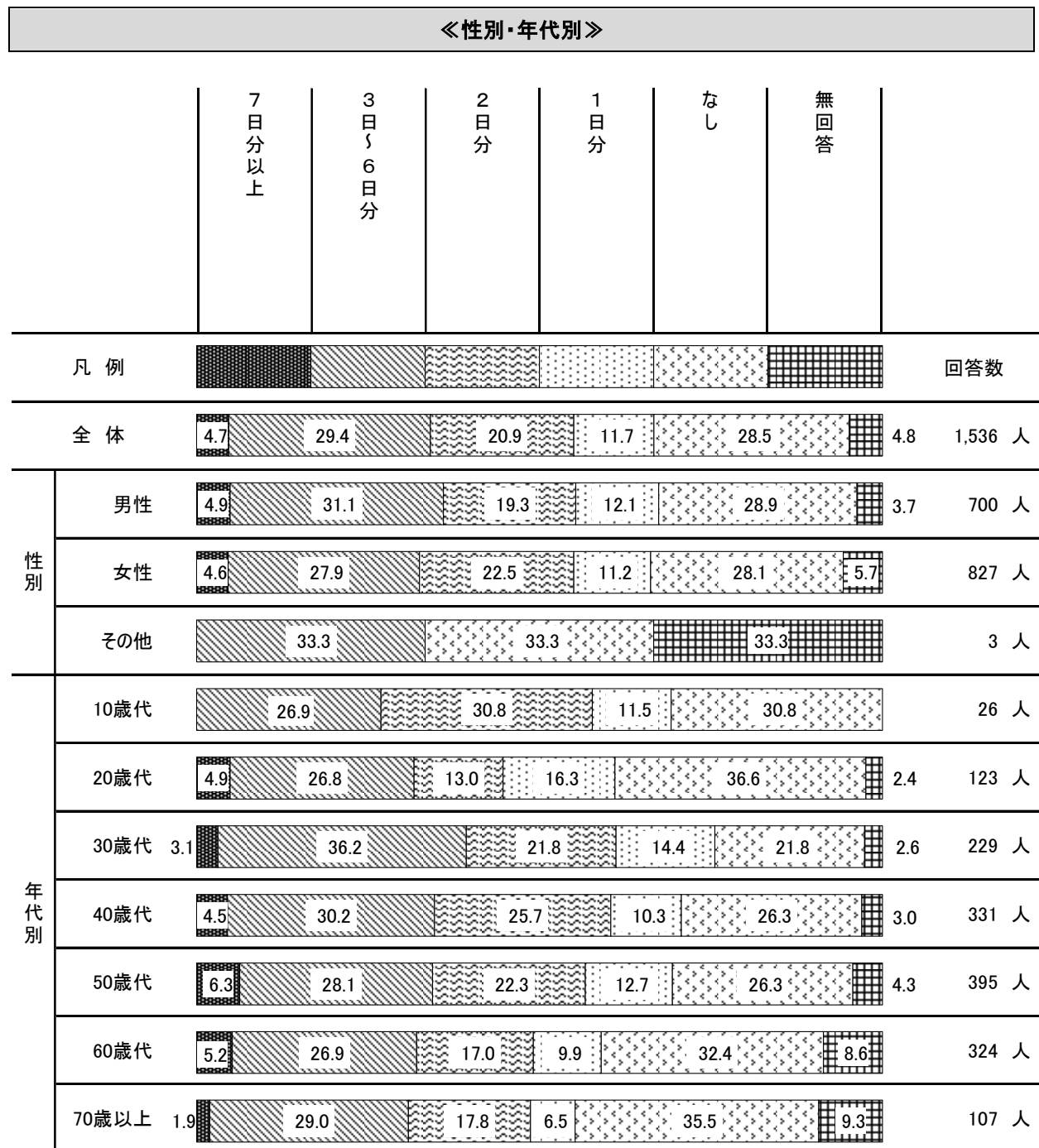


【性別】

男性では「3日～6日分」が、女性では「なし」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、60歳代、70歳以上では「なし」が最も高く、30歳代、40歳代、50歳代では「3日～6日分」が最も高くなっている。また、10歳代では同率で「2日分」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

問 19 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料（3日分以上）の備蓄をすることが重要です。

あなたのご自宅に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料、日常的に消費する飲料水と食料のストック（ローリングストック）がおおよそ何日分ありますか。（それぞれあてはまるものに○印）

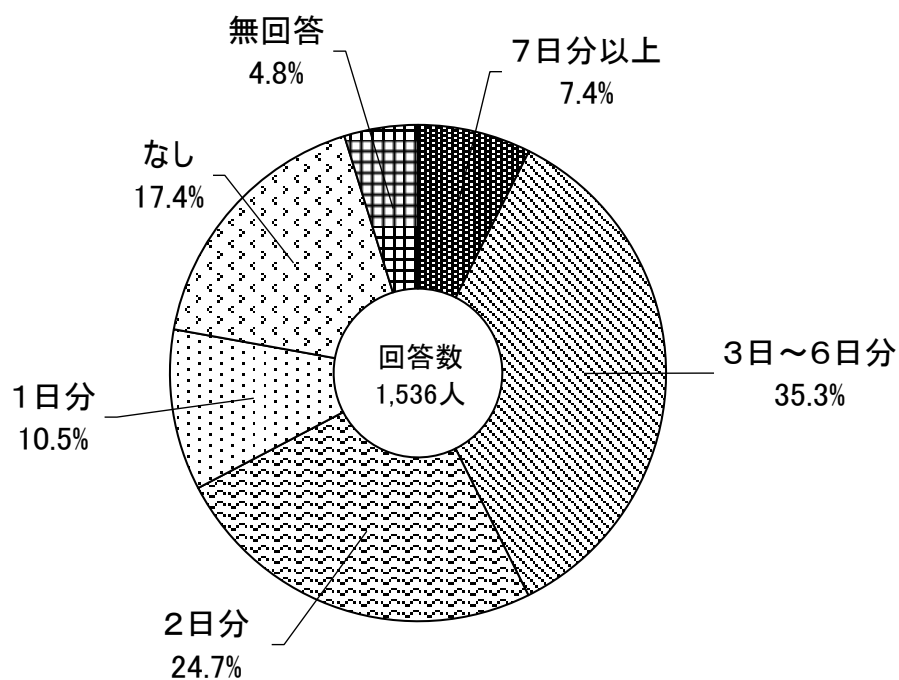
【食料：日常的に消費する食料のストック】

【総合】

「3日～6日分」が35.3%と1位になっている。

次いで、「2日分」が24.7%、「なし」が17.4%と続いている。

《総合》



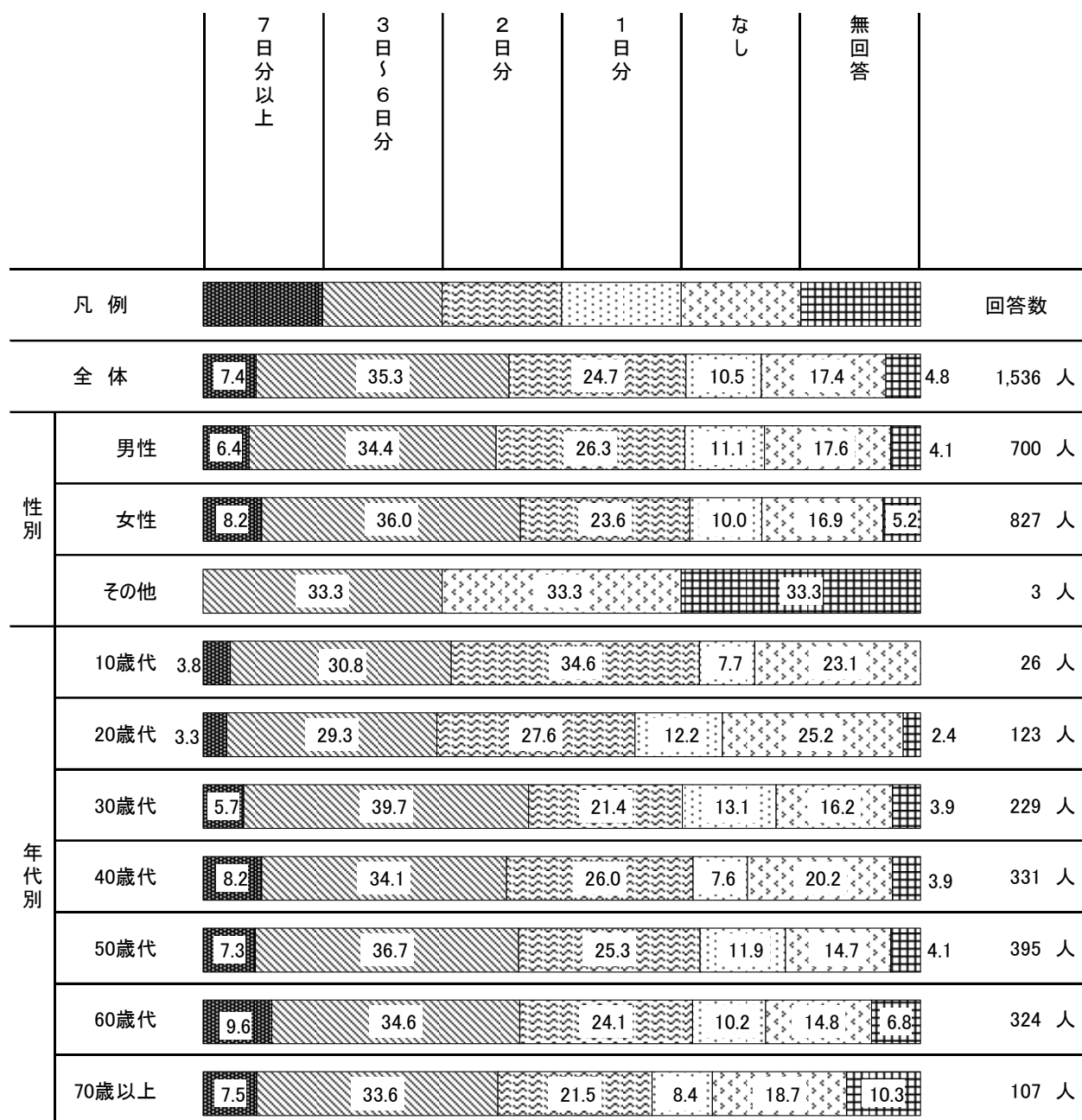
【性別】

男女ともに「3日～6日分」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「3日～6日分」が最も高く、10歳代では「2日分」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

副問1（問19で回答した量が、飲料水・食料それぞれ合計しても3日分に満たない方のみお答えください。合計で3日以上を確認できている項目は回答不要です。）

飲料水、食料を3日以上確保していない（できていない）のはどのような理由からですか。

（それぞれ、最も大きな理由に一つだけ○印）

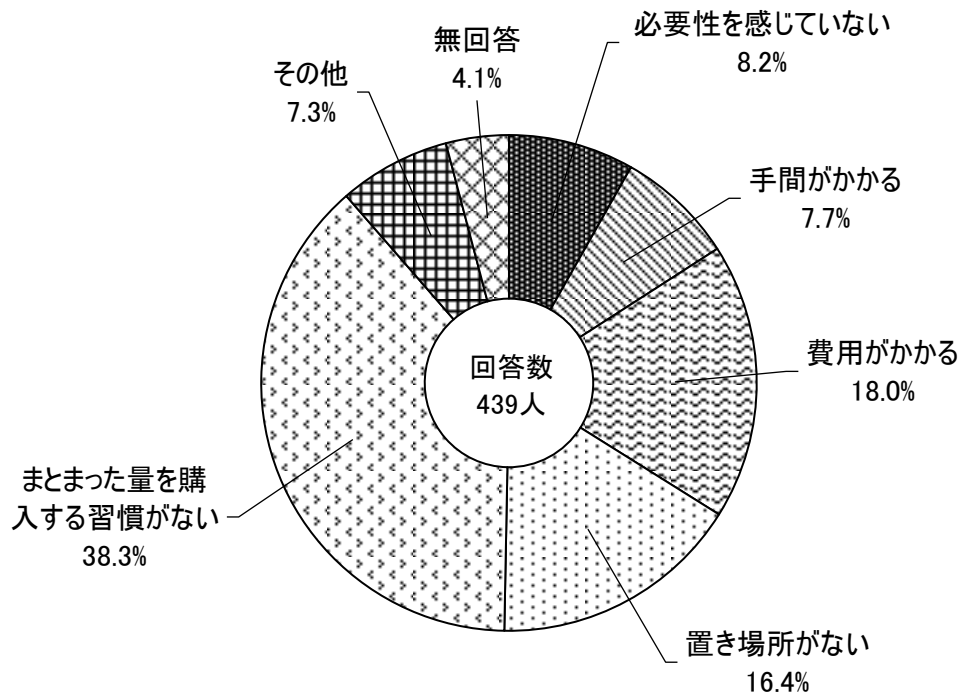
【飲料水】

【総合】

「まとまった量を購入する習慣がない」が38.3%と1位になっている。

次いで、「費用がかかる」が18.0%、「置き場所がない」が16.4%と続いている。

《総合》

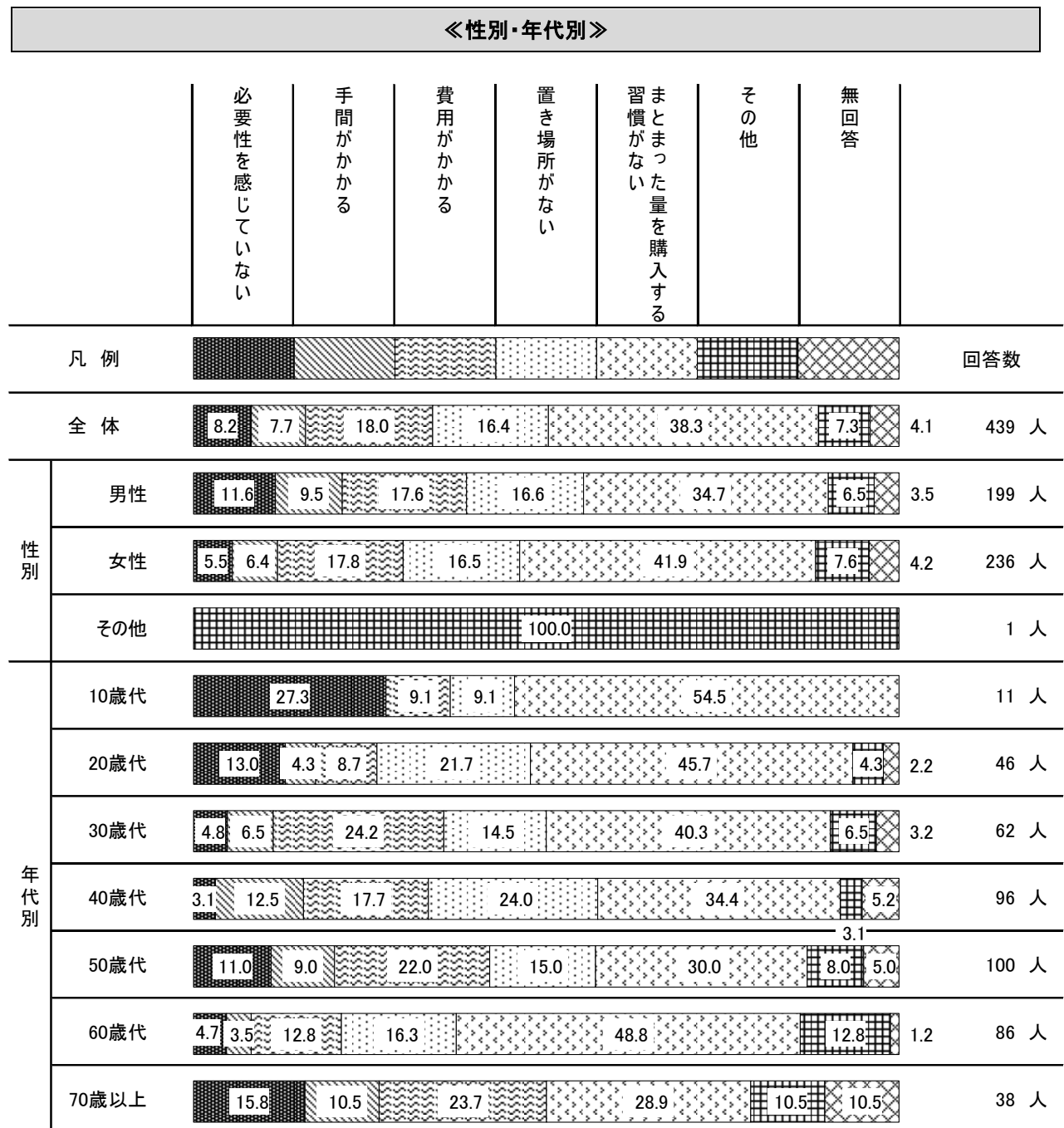


【性別】

男女ともに「まとまった量を購入する習慣がない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「まとまった量を購入する習慣がない」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

副問1（問19で回答した量が、飲料水・食料それぞれ合計しても3日分に満たない方のみお答えください。合計で3日以上を確認できている項目は回答不要です。）

飲料水、食料を3日以上確保していない(できていない)のはどのような理由からですか。

(それぞれ、最も大きな理由に一つだけ○印)

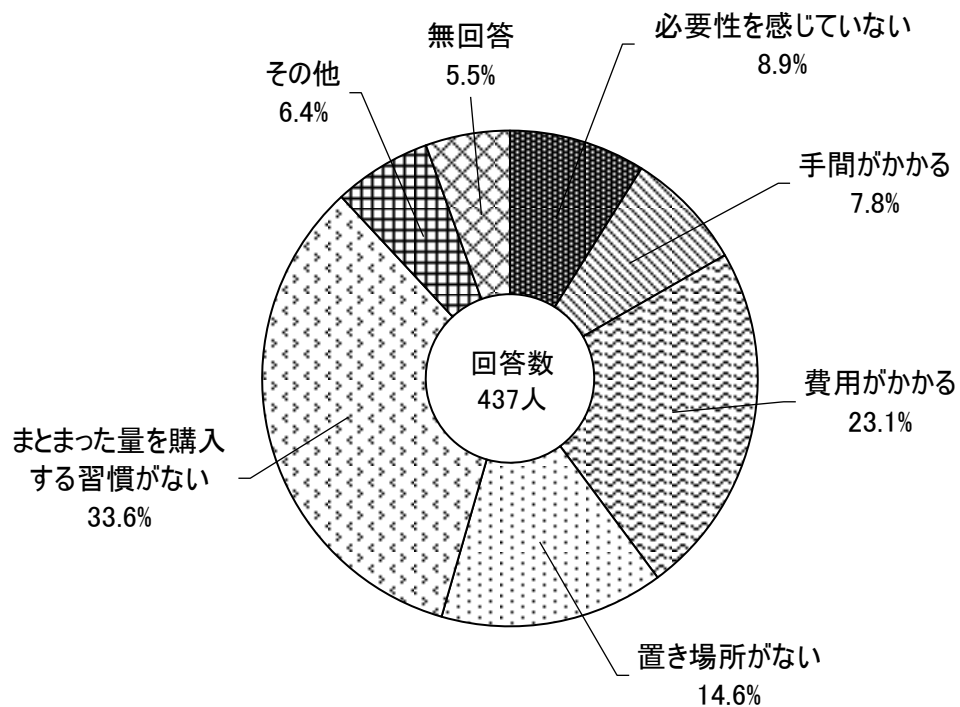
【食料】

【総合】

「まとまった量を購入する習慣がない」が33.6%と1位になっている。

次いで、「費用がかかる」が23.1%、「置き場所がない」が14.6%と続いている。

《総合》



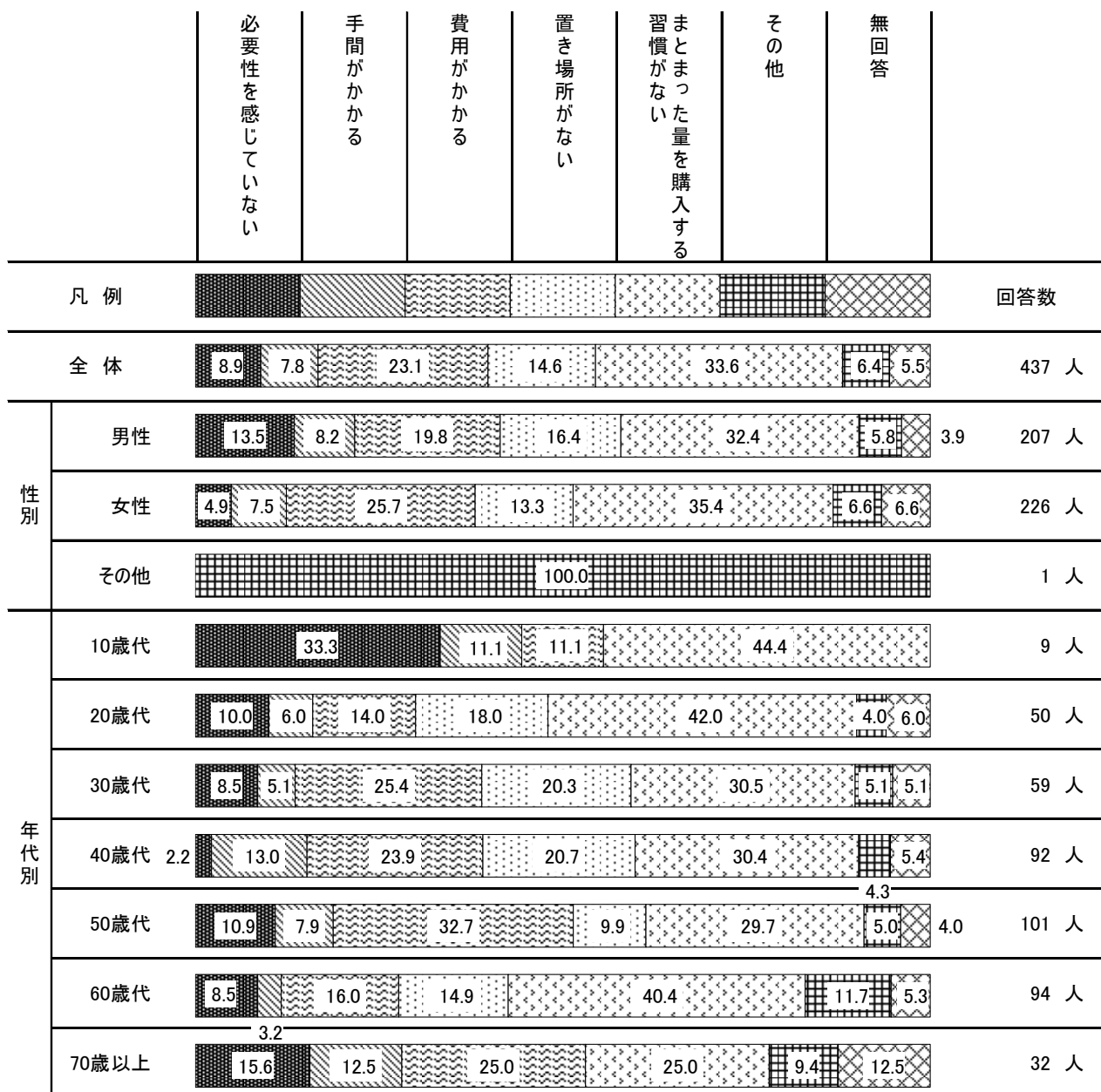
【性別】

男女ともに「まとまった量を購入する習慣がない」が最も高くなっている。

【年代別】

50歳代を除くすべての年代で、「まとまった量を購入する習慣がない」が最も高く、50歳代では「費用がかかる」が最も高くなっている。また、70歳以上では同率で「費用がかかる」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

問 20 大規模災害が発生すると、人命救助を行う緊急車両への給油が優先されるため、一般の車両はしばらくの間、ガソリンスタンドで給油を受けられなくなります。

したがって、災害が発生したときに車を使用するためには、平時からこまめに給油し、車の燃料を多めに保つ必要があります。

あなたは、普段、車への給油をいつ、どのくらい行いますか。（それぞれ1つだけ○印）

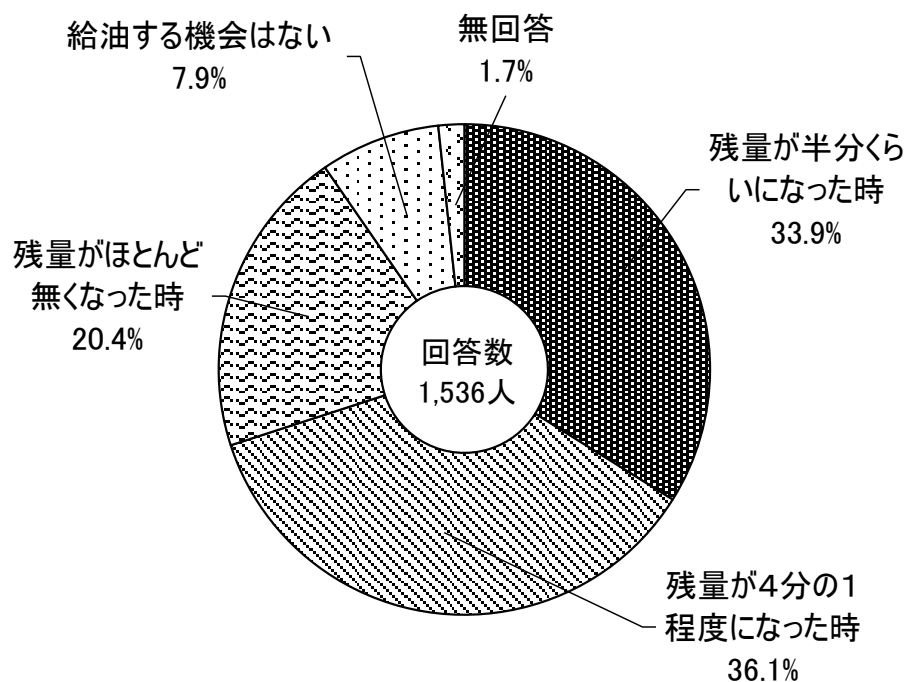
【いつ】

【総合】

「残量が4分の1程度になった時」が36.1%と1位になっている。

次いで、「残量が半分くらいになった時」が33.9%、「残量がほとんど無くなった時」が20.4%と続いている。

《総合》

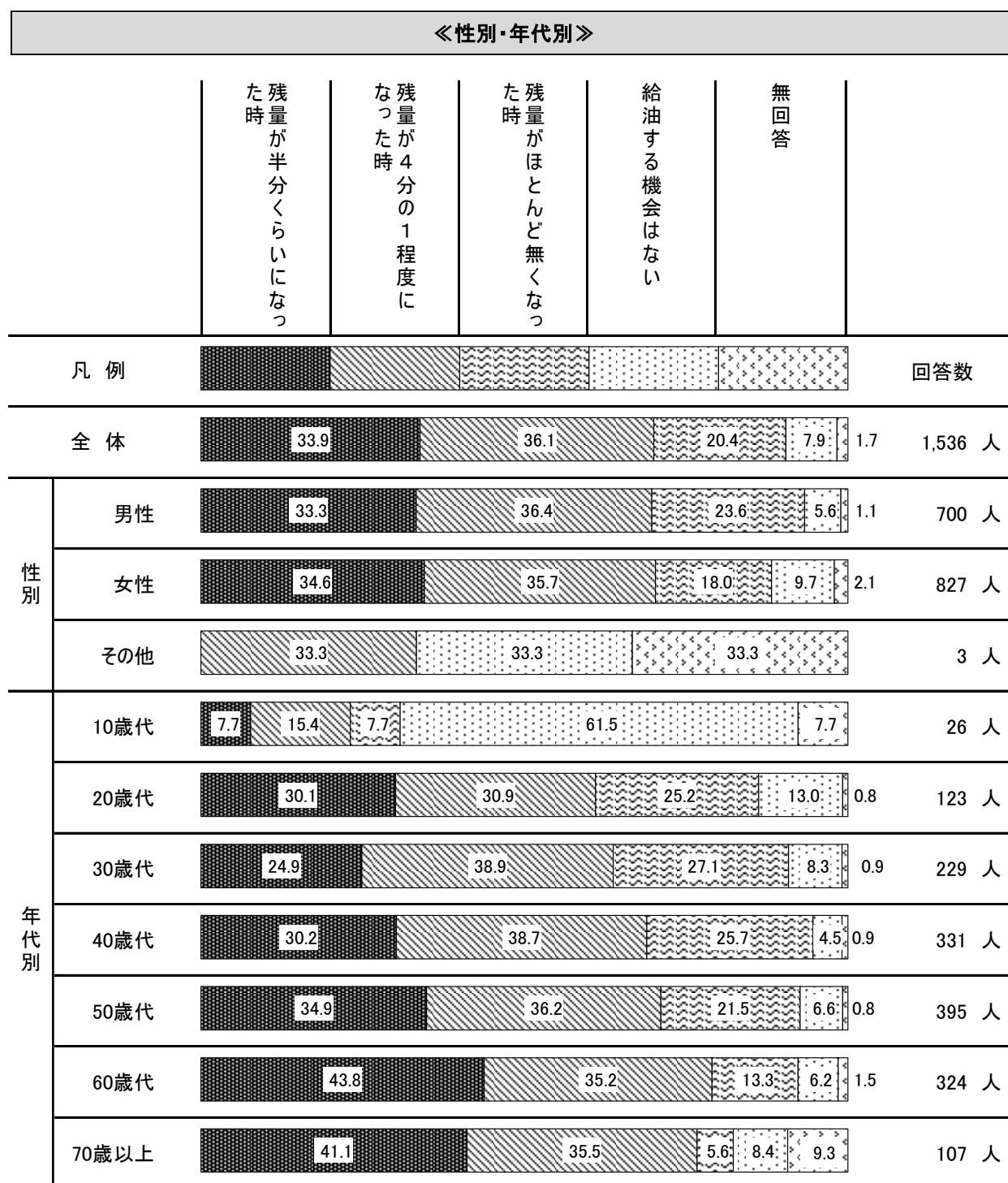


【性別】

男女ともに「残量が4分の1程度になった時」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代では「給油する機会はない」が最も高く、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「残量が4分の1程度になった時」が、60歳代、70歳以上では「残量が半分くらいになった時」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 20 大規模災害が発生すると、人命救助を行う緊急車両への給油が優先されるため、一般の車両はしばらくの間、ガソリンスタンドで給油を受けられなくなります。

したがって、災害が発生したときに車を使用するためには、平時からこまめに給油し、車の燃料を多めに保つ必要があります。

あなたは、普段、車への給油をいつ、どのくらい行いますか。（それぞれ1つだけ○印）

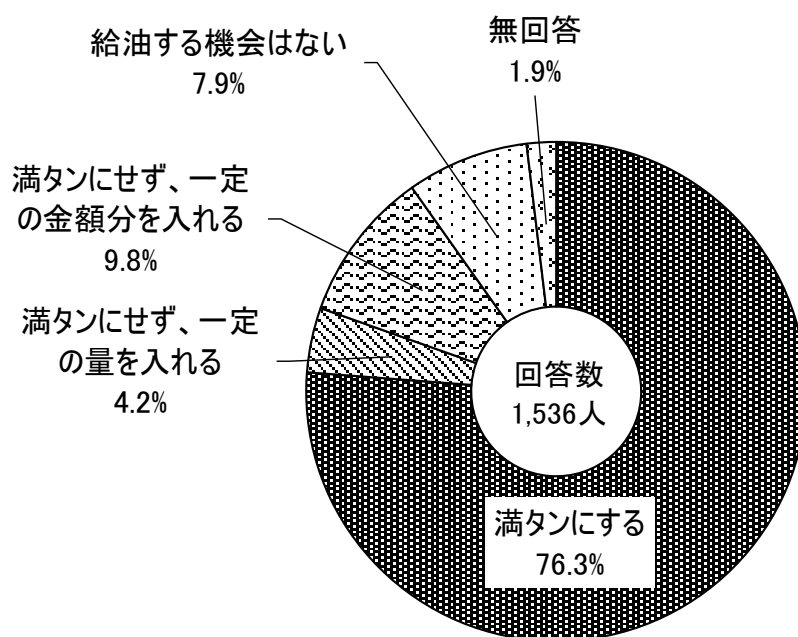
【どのくらい】

【総合】

「満タンにする」が76.3%と1位になっている。

次いで、「満タンにせず、一定の金額分を入れる」が9.8%、「給油する機会はない」が7.9%と続いている。

《総合》

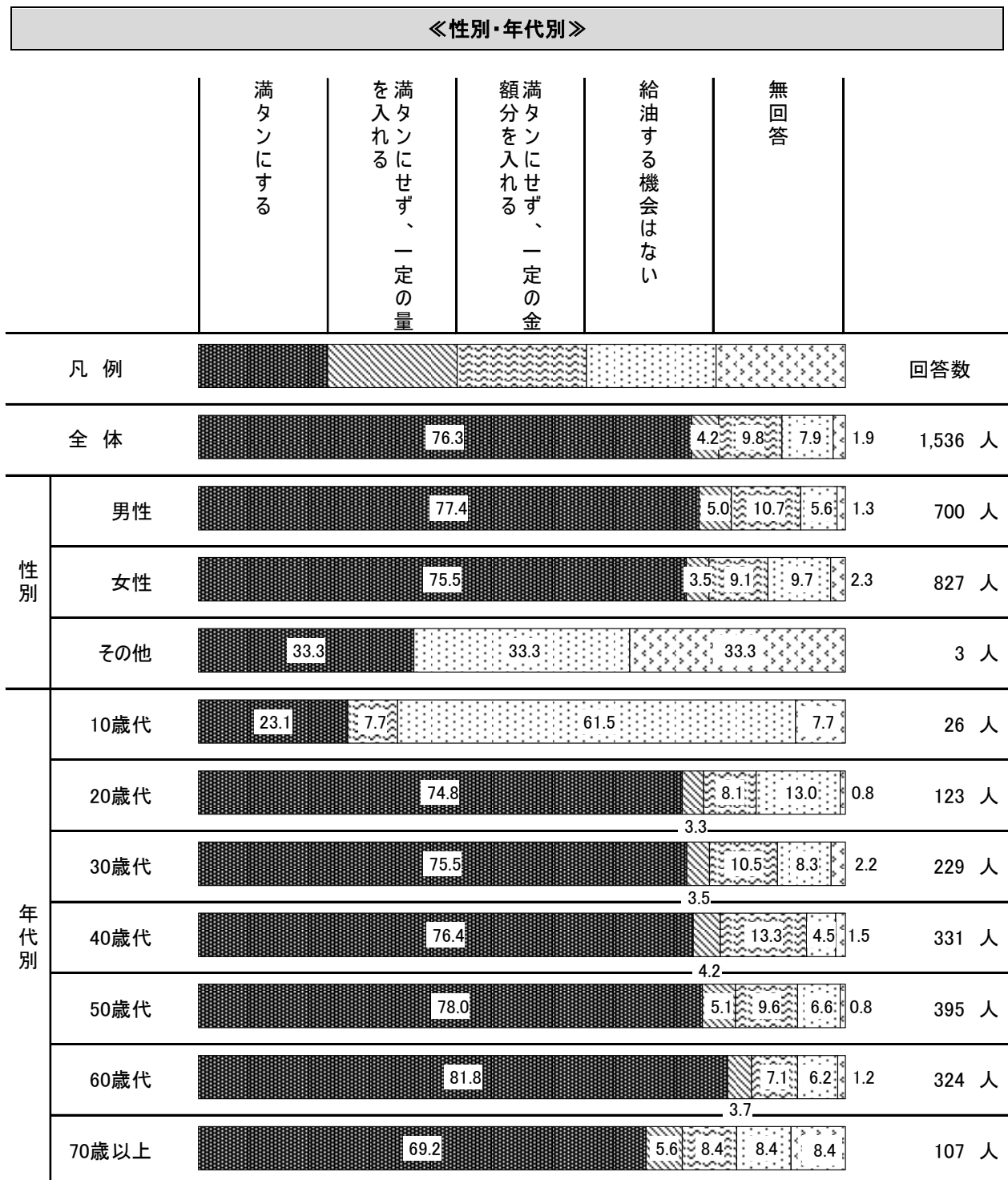


【性別】

男女ともに「満タンにする」が最も高くなっており、次いで、男性では「満タンにせず、一定の金額分を入れる」が、女性では「給油する機会はない」が続いている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「満タンにする」が最も高く、10歳代では「給油する機会はない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

【問 20（いつ）×問 20（どのくらい）のクロス分析】

「車への給油をいつ行いますか」という質問に対し、「車への給油をどのくらい行いますか」の結果を見ると、すべての給油のタイミングで「満タンにする」が最も高くなっている。

《問 20(いつ) × 問 20(どのくらい)のクロス分析》

		全体	車への給油をどのくらい行いますか			
			満タンにする	満タンにせず、一定量の量を入れる	満タンにせず、一定の金額分を入れる	給油する機会はない
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)						
全体		1,536	1,172	64	150	121
		100.0	76.3	4.2	9.8	7.9
車への給油をいつ行いますか	残量が半分くらいになった時	520	91.5	2.3	5.4	－
	残量が4分の1程度になった時	555	81.4	6.3	12.1	－
	残量がほとんど無くなった時	314	76.4	5.4	17.2	－
	給油する機会はない	121	－	－	－	100.0

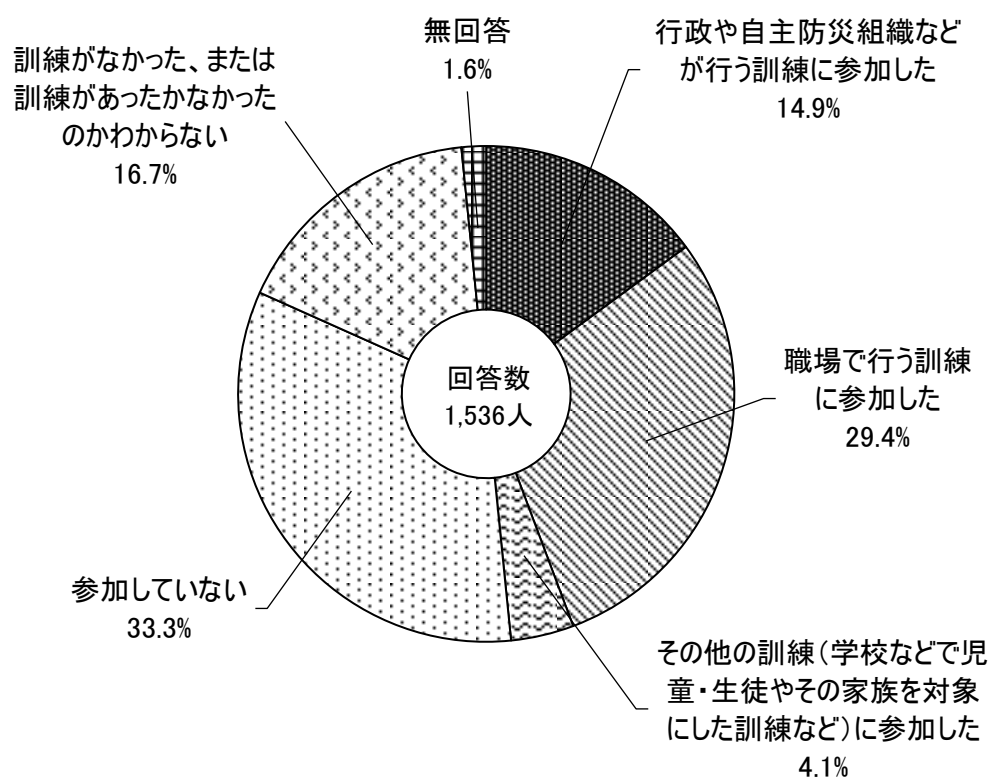
問 21 過去1年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したことがありますか。(1つだけ○印)

【総合】

「参加していない」が33.3%と1位になっている。

次いで、「職場で行う訓練に参加した」が29.4%、「訓練がなかった、または訓練があったかなかったのかわからない」が16.7%と続いている。

《総合》



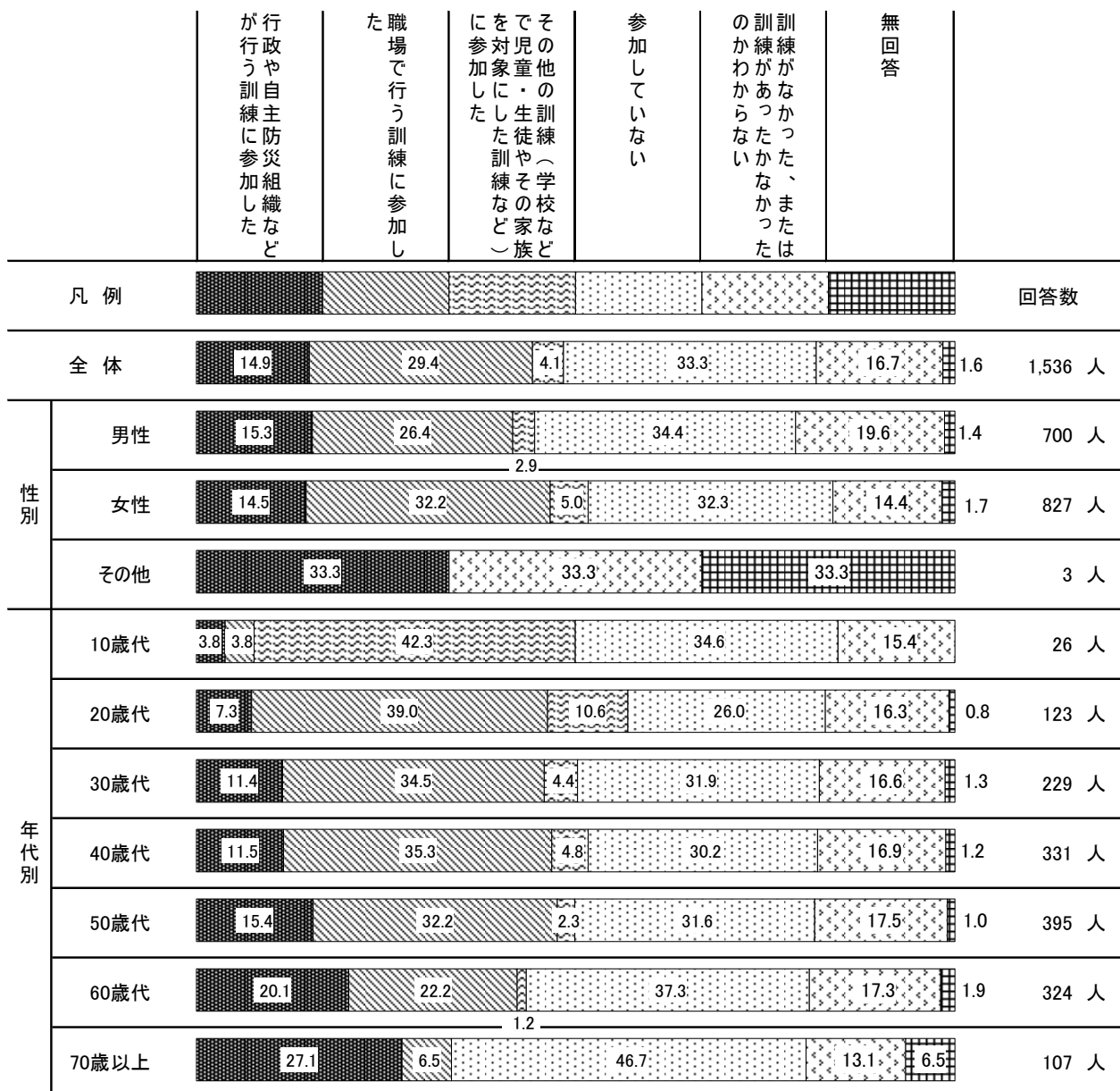
【性別】

男女ともに「参加していない」が最も高くなっている。

【年代別】

10 歳代では「その他の訓練（学校などで児童・生徒やその家族を対象にした訓練など）」に参加した」が最も高く、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「職場で行う訓練に参加した」が、60 歳代、70 歳以上では「参加していない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

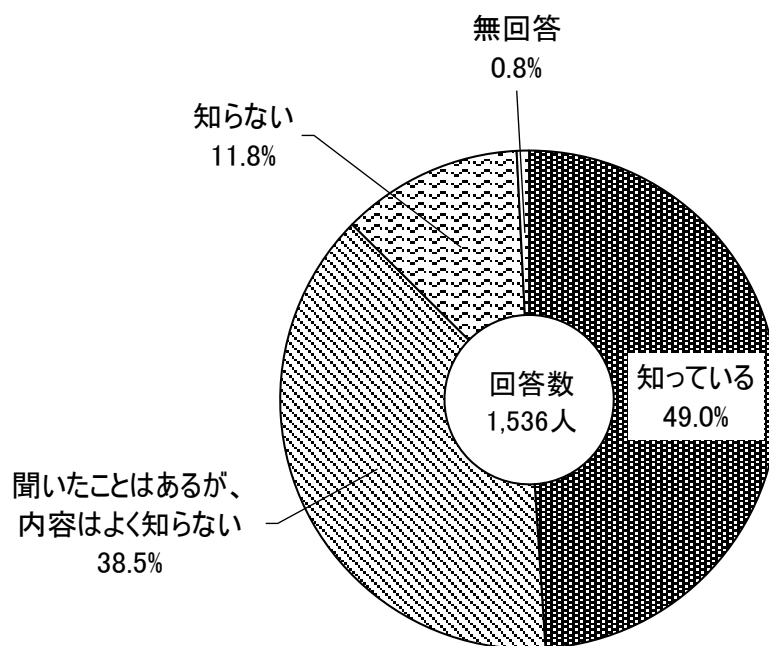
問 22 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されることについて知っていますか。(1つだけ○印)

【総合】

「知っている」が49.0%と1位になっている。

次いで、「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が38.5%、「知らない」が11.8%と続いている。

《総合》



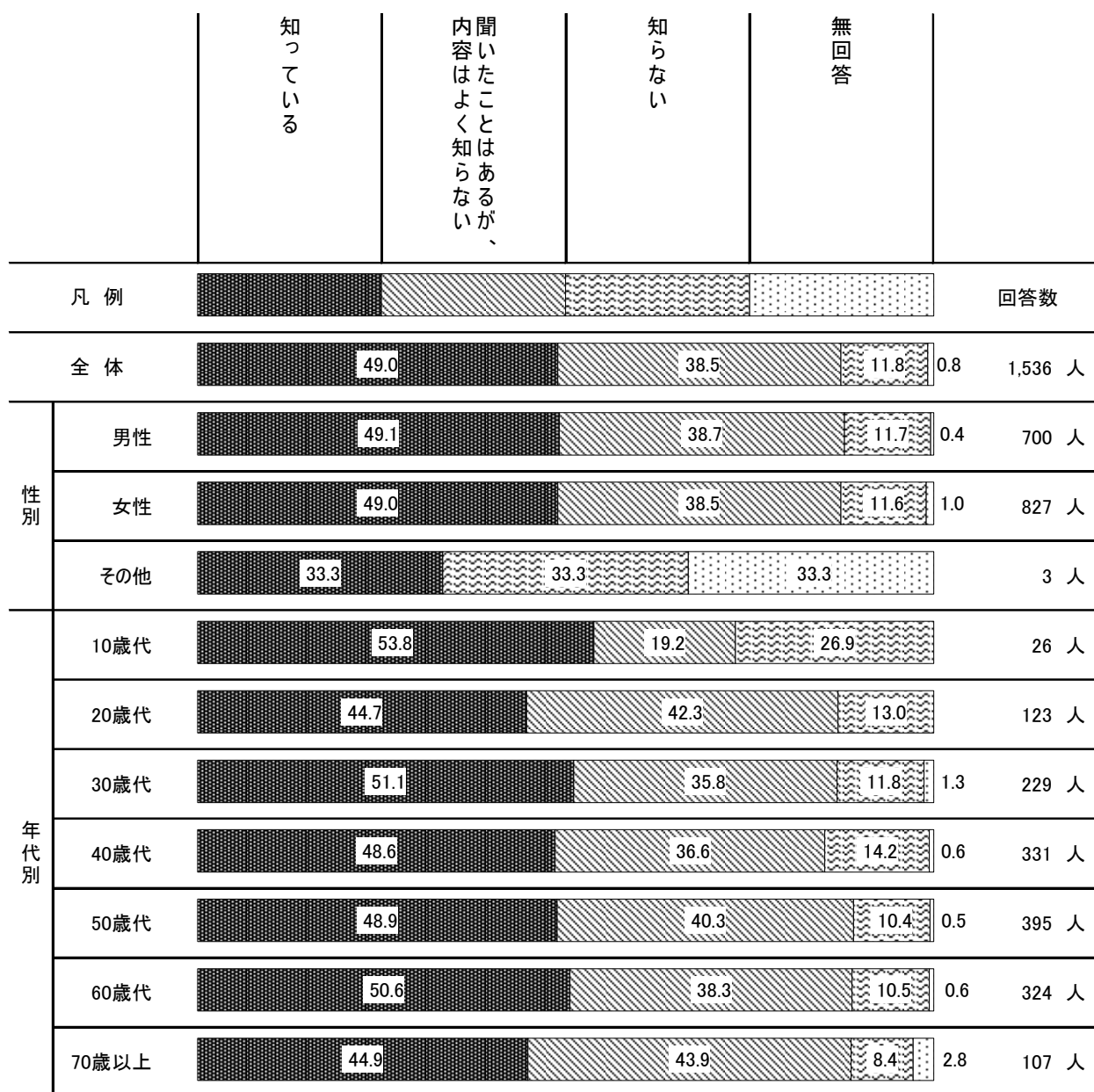
【性別】

男女ともに「知っている」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「知っている」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

【問 22×問 17 のクロス分析】

「臨時情報を知っているか」という質問に対し、「浸水予測地域」の結果を見ると、どの臨時情報の認知状況に関わらず「津波で浸水が予測される地域ではない」が最も高くなっている。

《問 22×問 17 のクロス分析》

		全体	浸水予測地域		
			津波で浸水が予測される地域である	津波で浸水が予測される地域ではない	わからない
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)					
全体		1,536	532	877	117
		100.0	34.6	57.1	7.6
臨時情報を知っているか	知っている	532	38.6	56.6	4.5
	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	290	31.8	57.2	10.7
	知らない	188	29.8	59.1	10.5

【問 22×問 17 副問 3 のクロス分析】

「臨時情報を知っているか」という質問に対し、「津波の到達時間」の結果を見ると、どの臨時情報の認知状況に関わらず「分からない」が最も高くなっている。また、臨時情報を知っているでは、同率で「10 分から 20 分」が最も高くなっている。

《問 22×問 17 副問3のクロス分析》

		全 体	津波の到達時間							
			0 分 から 5 分	5 分 から 1 0 分	1 0 分 から 2 0 分	2 0 分 から 3 0 分	3 0 分 から 4 0 分	4 0 分 から 6 0 分	6 0 分 以 上	分 か ら な い
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)										
全体		532	46	68	80	61	34	27	37	122
		100.0	8.6	12.8	15.0	11.5	6.4	5.1	7.0	22.9
臨時 情報 を知 って いる か	知っている	290	7.9	14.1	17.2	13.1	6.9	5.2	9.3	17.2
	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	188	9.6	13.3	11.2	10.1	6.4	5.3	3.7	27.7
	知らない	54	9.3	3.7	16.7	7.4	3.7	3.7	5.6	37.0

副問1 (問 22 で「1 知っている」を選んだ方のみお答えください。)

「南海トラフ地震臨時情報」には、地震発生後では避難が間に合わない地域に事前に避難指示等が発令される、切迫度の高い「巨大地震警戒」と、それよりは切迫度の低い「巨大地震注意」があります。

それぞれの情報に応じた、ご自身の取るべき下の図のような行動について、理解していますか。

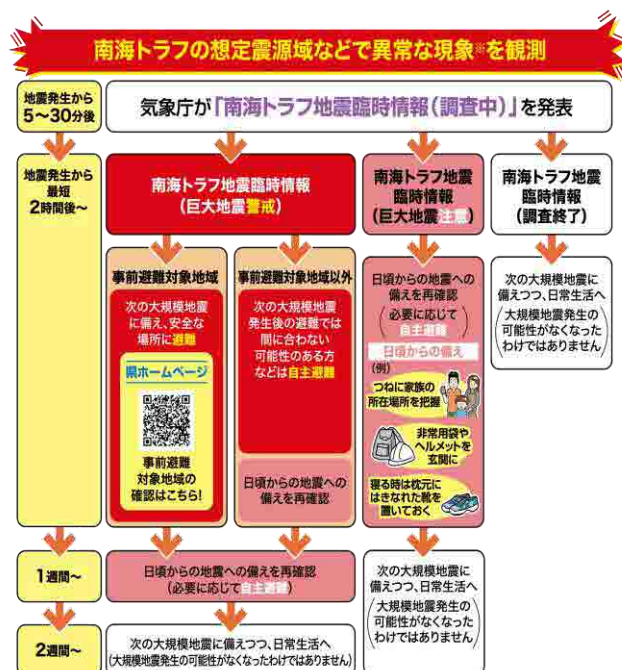
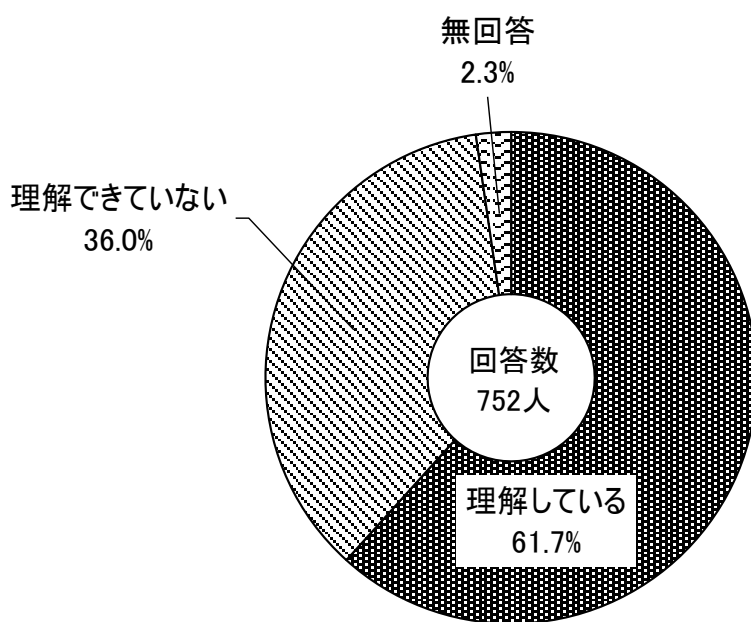
【巨大地震警戒】

【総合】

「理解している」が 61.7%と 1 位になっている。

次いで、「理解できていない」が 36.0%と続いている。

《 総合 》



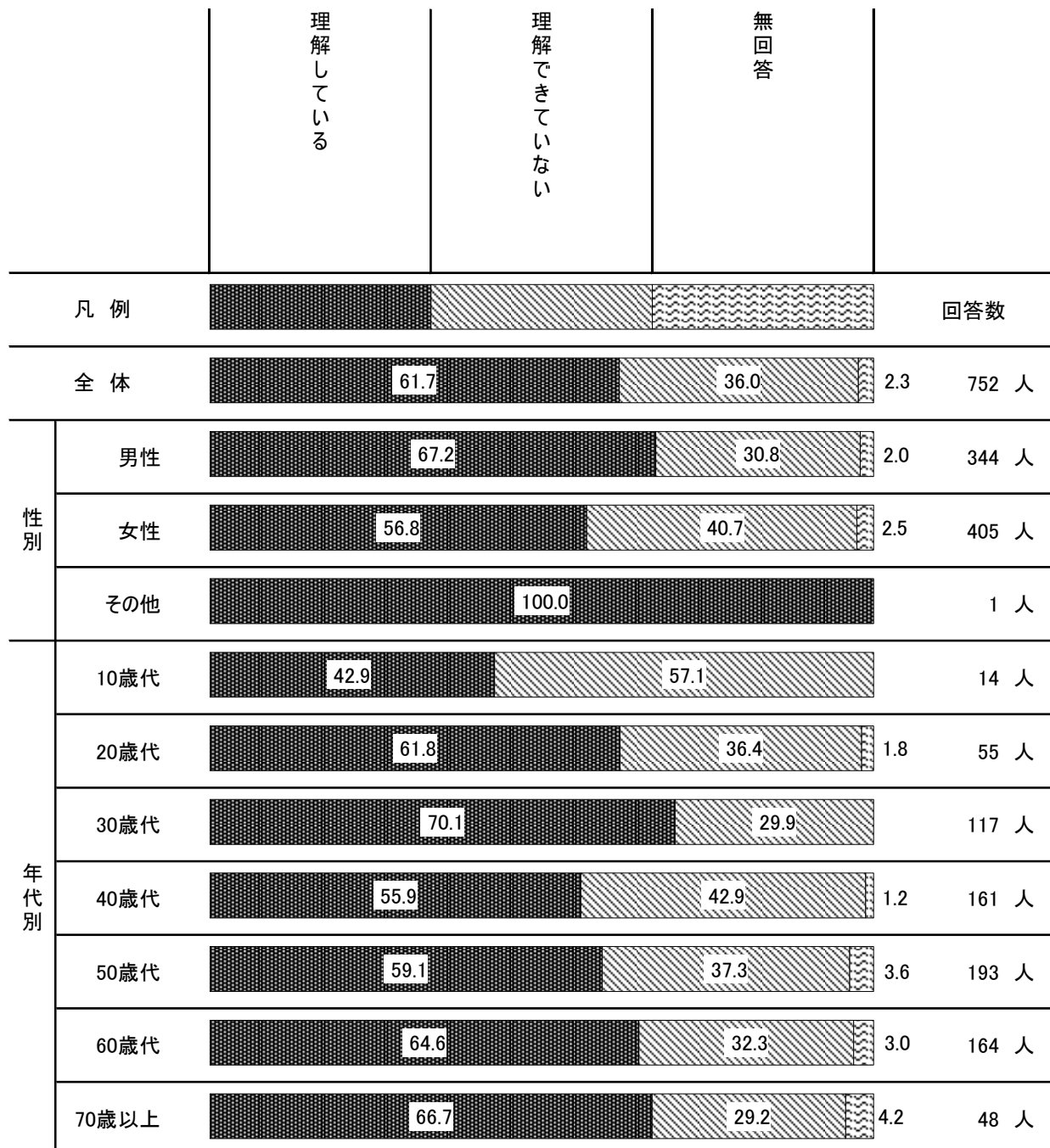
【性別】

男女ともに「理解している」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「理解している」が最も高く、10歳代では「理解できていない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

副問1 (問22で「1 知っている」を選んだ方のみお答えください。)

「南海トラフ地震臨時情報」には、地震発生後では避難が間に合わない地域に事前に避難指示等が発令される、切迫度の高い「巨大地震警戒」と、それよりは切迫度の低い「巨大地震注意」があります。

それぞれの情報に応じた、ご自身の取るべき下の図のような行動について、理解していますか。

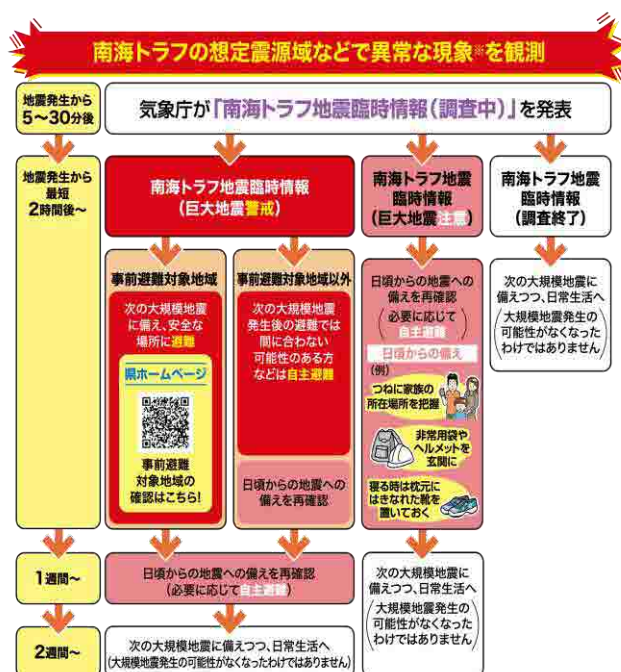
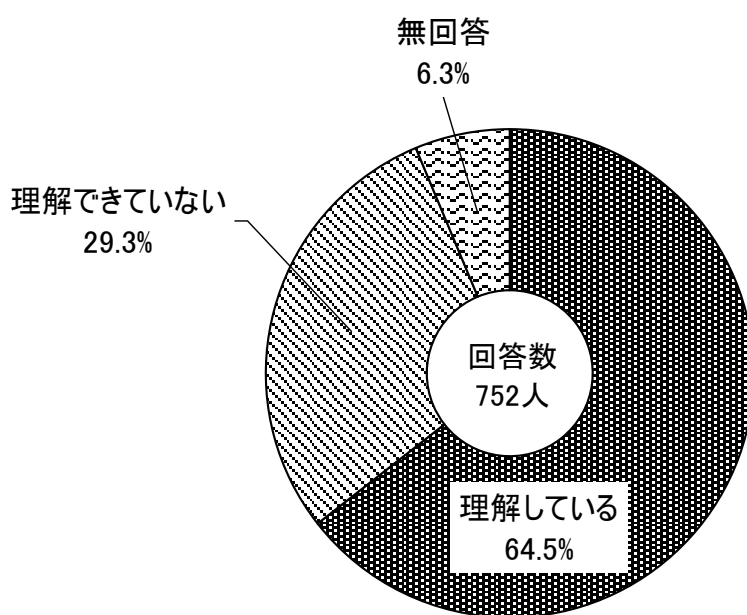
【巨大地震注意】

【総合】

「理解している」が64.5%と1位になっている。

次いで、「理解できていない」が29.3%と続いている。

《総合》

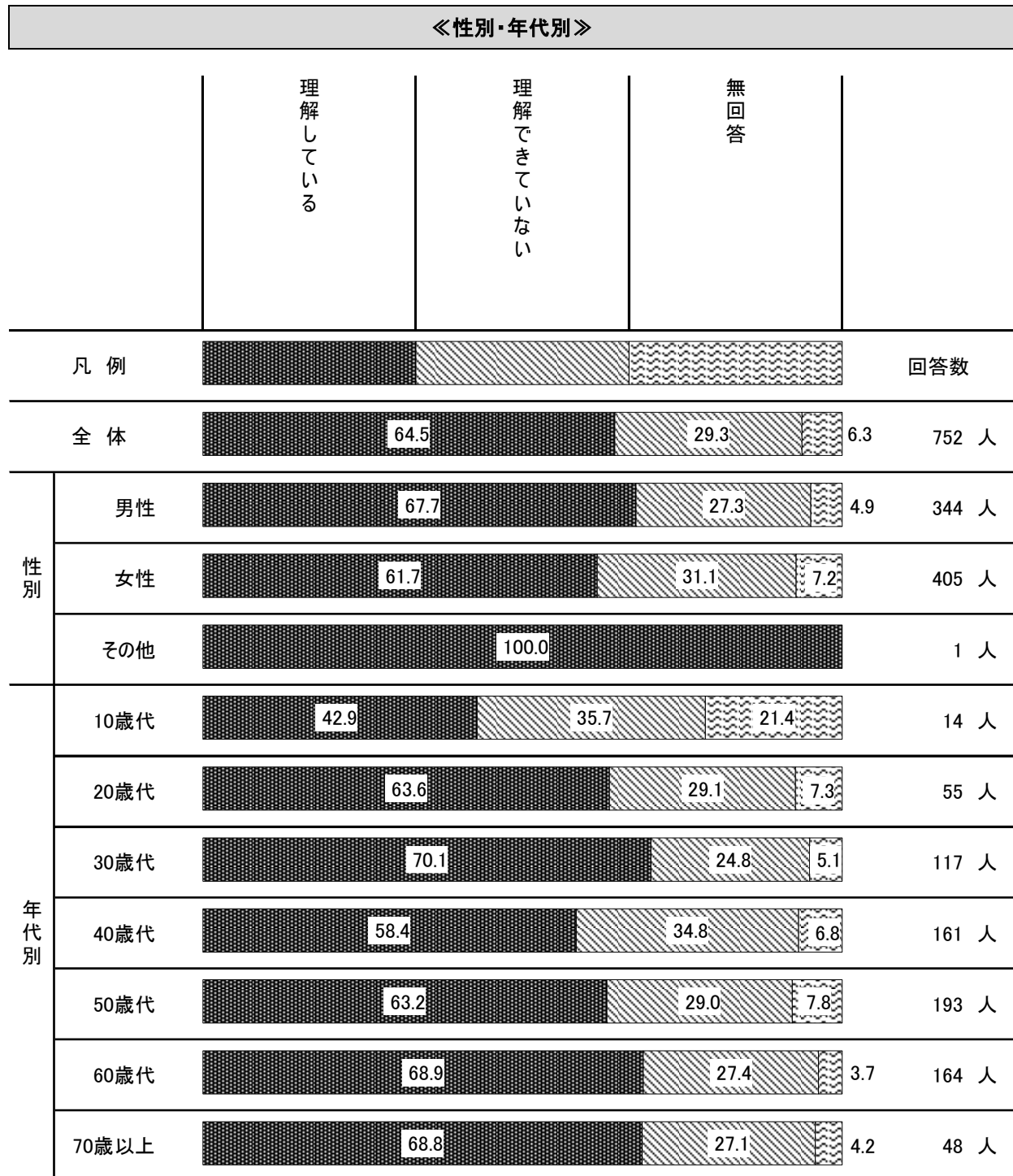


【性別】

男女ともに「理解している」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「理解している」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

4. 県民の健康づくりについて

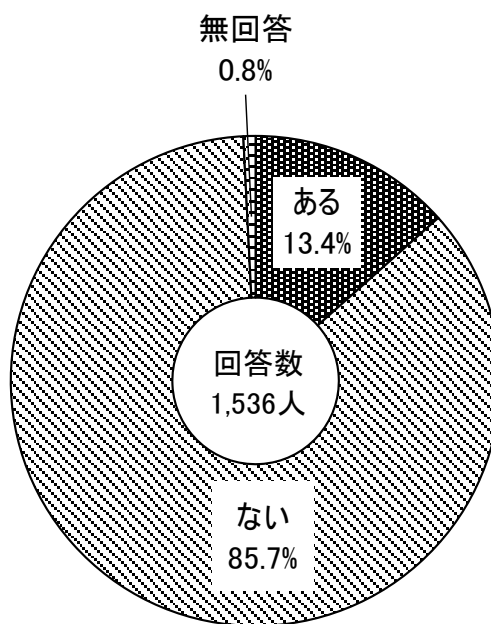
問 23 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

【総合】

「ない」が85.7%と1位になっている。

次いで、「ある」が13.4%と続いている。

《総合》

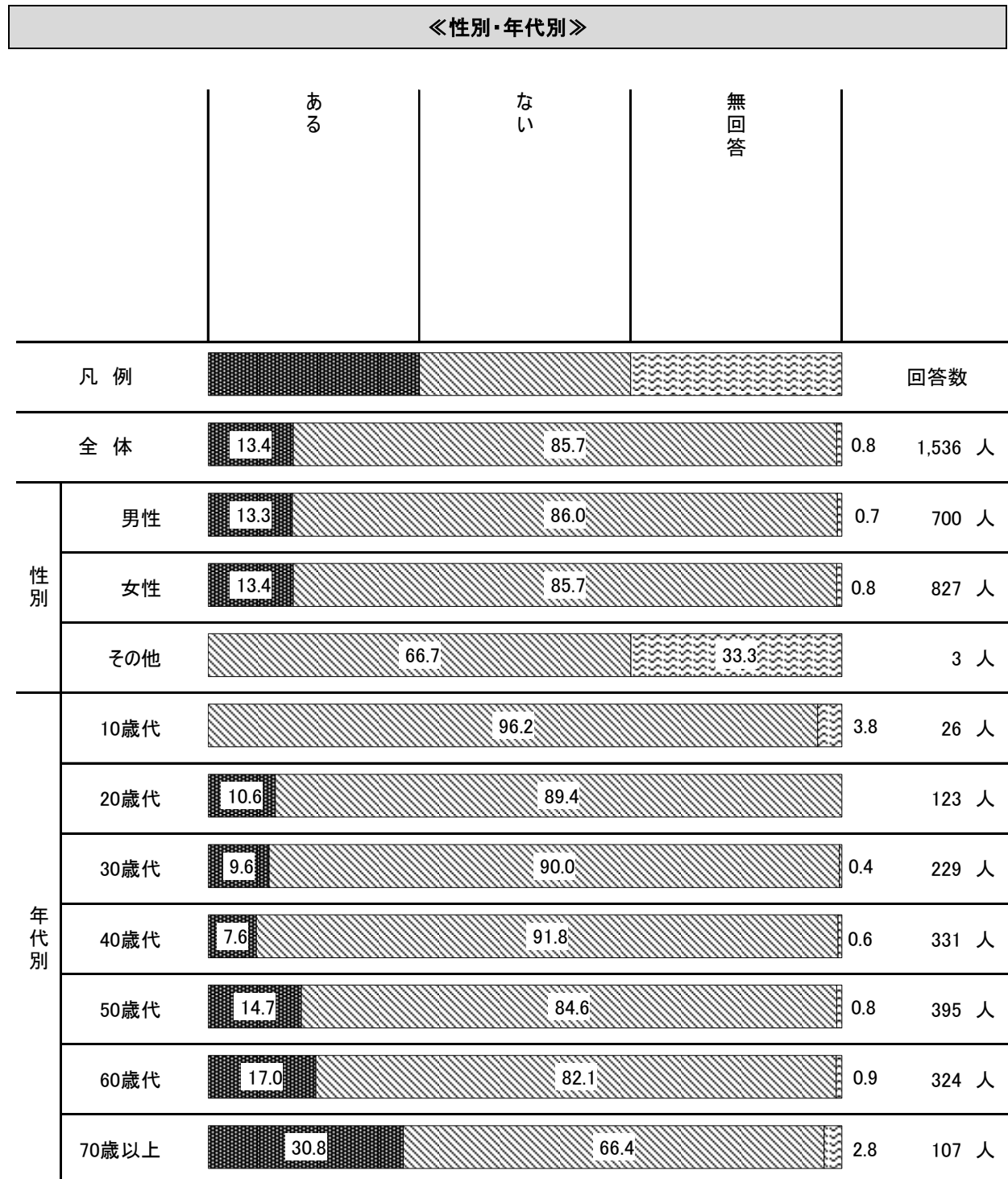


【性別】

男女ともに「ない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「ない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

副問1（問23で「1 ある」を選んだ方のみお答えください。）
それはどのようなことに影響がありますか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】

「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が45.6%と1位になっている。

次いで、「運動（スポーツを含む）」が41.7%、「日常生活動作（起床、衣服脱着、食事、入浴など）」が34.5%と続いている。

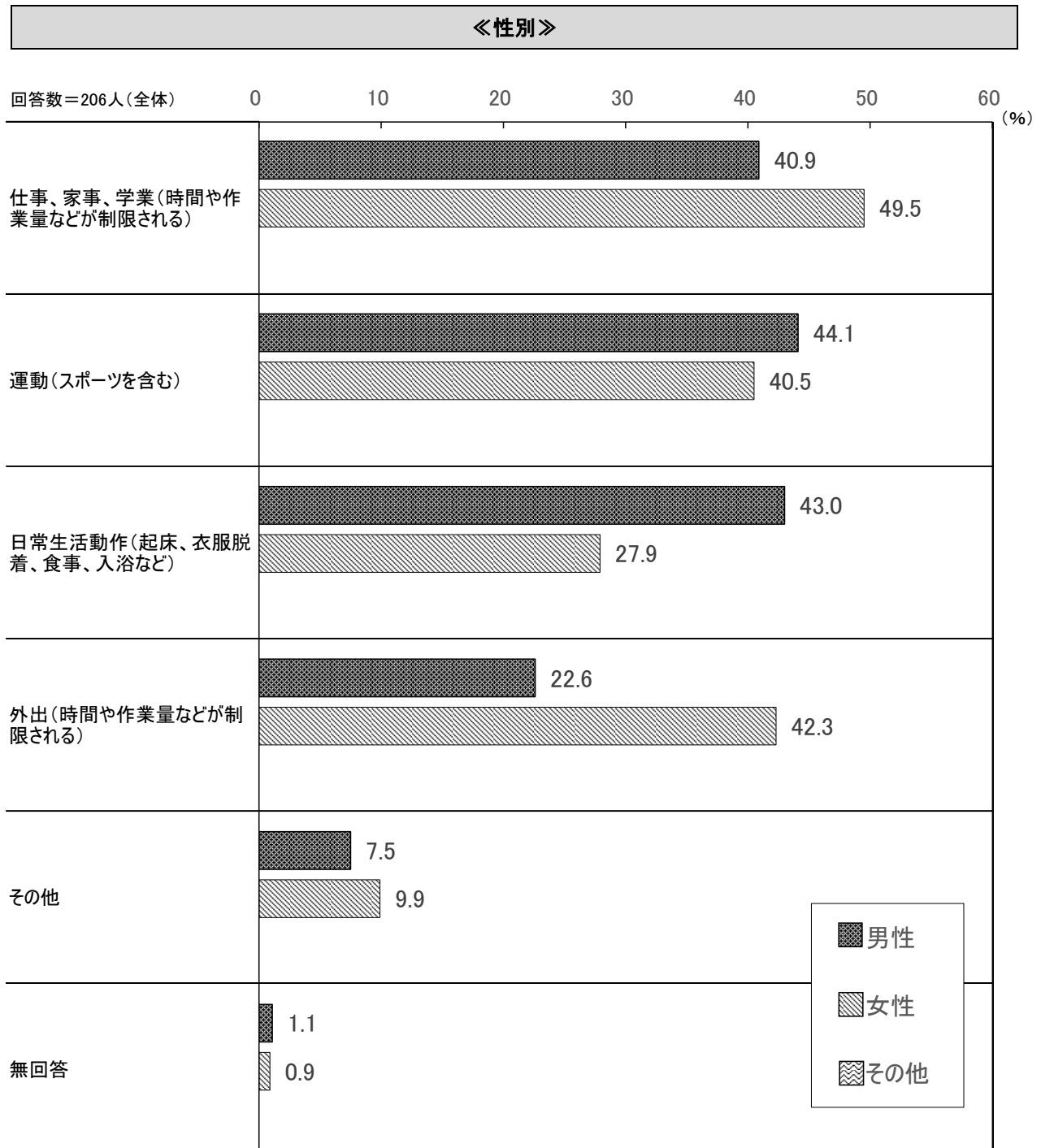
《総合》

		回答数
全 体	100.0	206 人
仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）	45.6	94 人
運動（スポーツを含む）	41.7	86 人
日常生活動作（起床、衣服脱着、食事、入浴など）	34.5	71 人
外出（時間や作業量などが制限される）	33.0	68 人
その他	8.7	18 人
無回答	1.5	3 人

グラフ単位（%）

【性別】

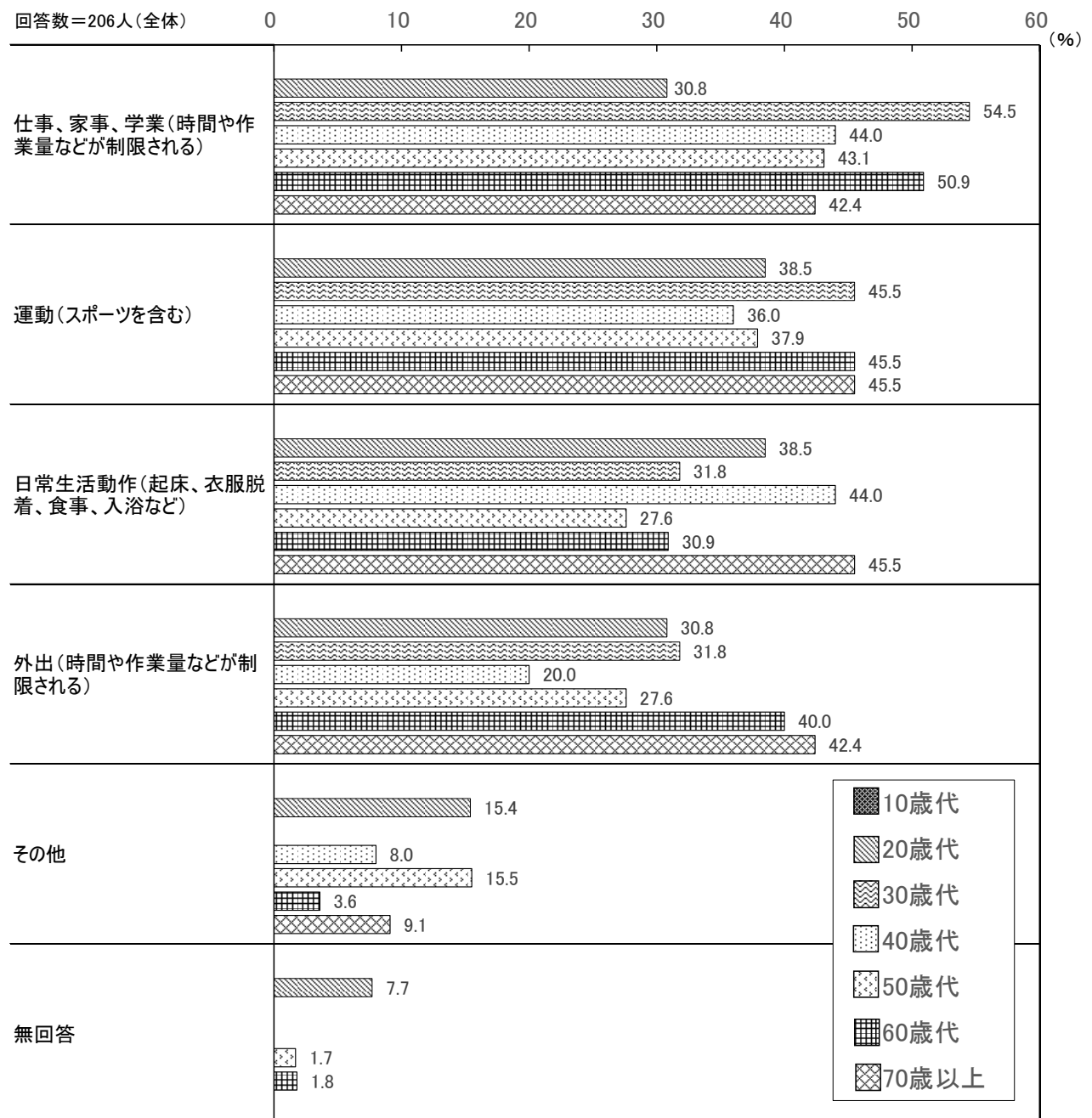
男性では「運動（スポーツを含む）」が、女性では「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が最も高くなっている。また、「日常生活動作（起床、衣服脱着、食事、入浴など）」では男性が43.0%と女性の27.9%より15.1ポイント高く、「外出（時間や作業量などが制限される）」では女性が42.3%と男性の22.6%より19.7ポイント高くなっている。



【年代別】

20 歳代、70 歳以上では同率で「運動（スポーツを含む）」、「日常生活動作（起床、衣服脱着、食事、入浴など）」が最も高く、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代では「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が最も高くなっている。また、40 歳代では同率で「日常生活動作（起床、衣服脱着、食事、入浴など）」が最も高くなっている。

《年代別》



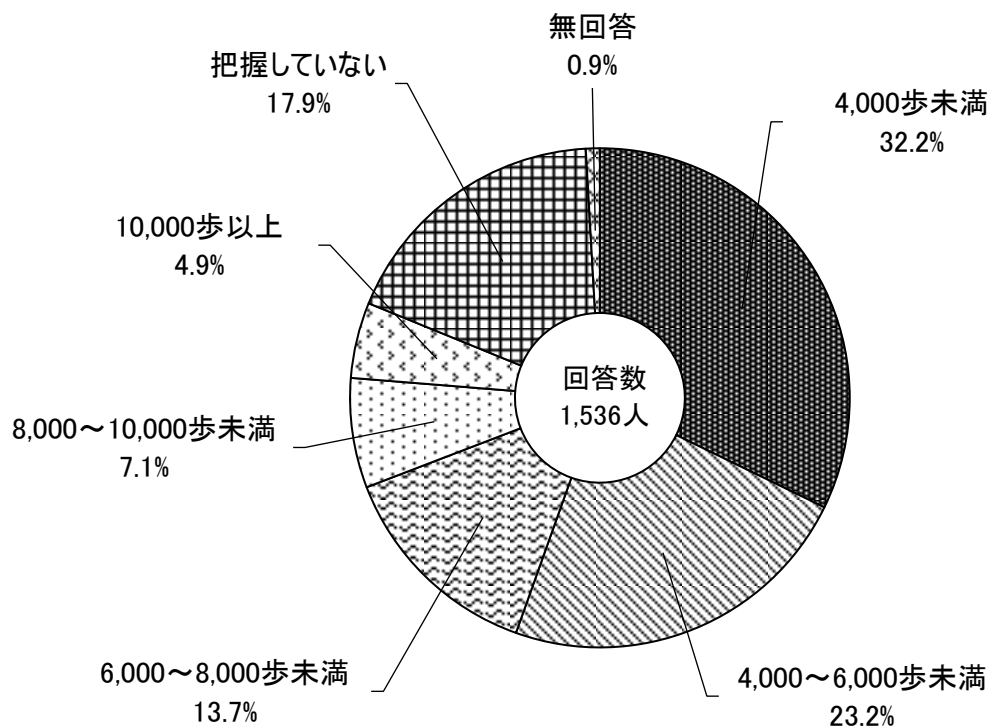
問 24 高知県の1日の平均歩数は、男女ともに全国平均を下回っております。健康づくりのためには、成人で1日約8,000歩以上、高齢者で1日約6,000歩以上の歩行に相当する身体活動が推奨されています。あなたは1日にどのくらい歩いていますか。(1つだけ○印)

【総合】

「4,000歩未満」が32.2%と1位になっている。

次いで、「4,000～6,000歩未満」が23.2%、「把握していない」が17.9%と続いている。

《総合》



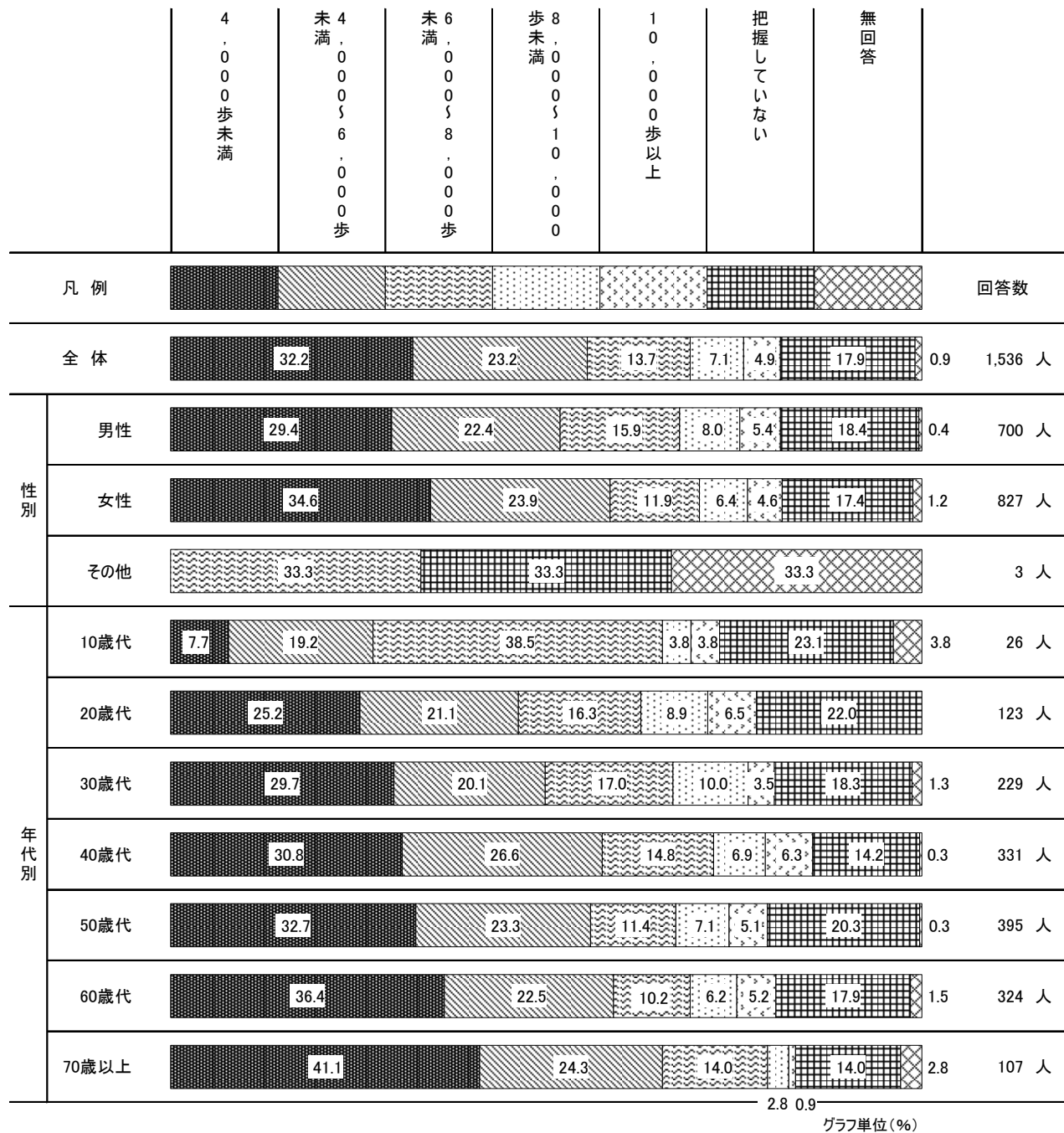
【性別】

男女ともに「4,000歩未満」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「4,000歩未満」が最も高く、10歳代では「6,000～8,000歩未満」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



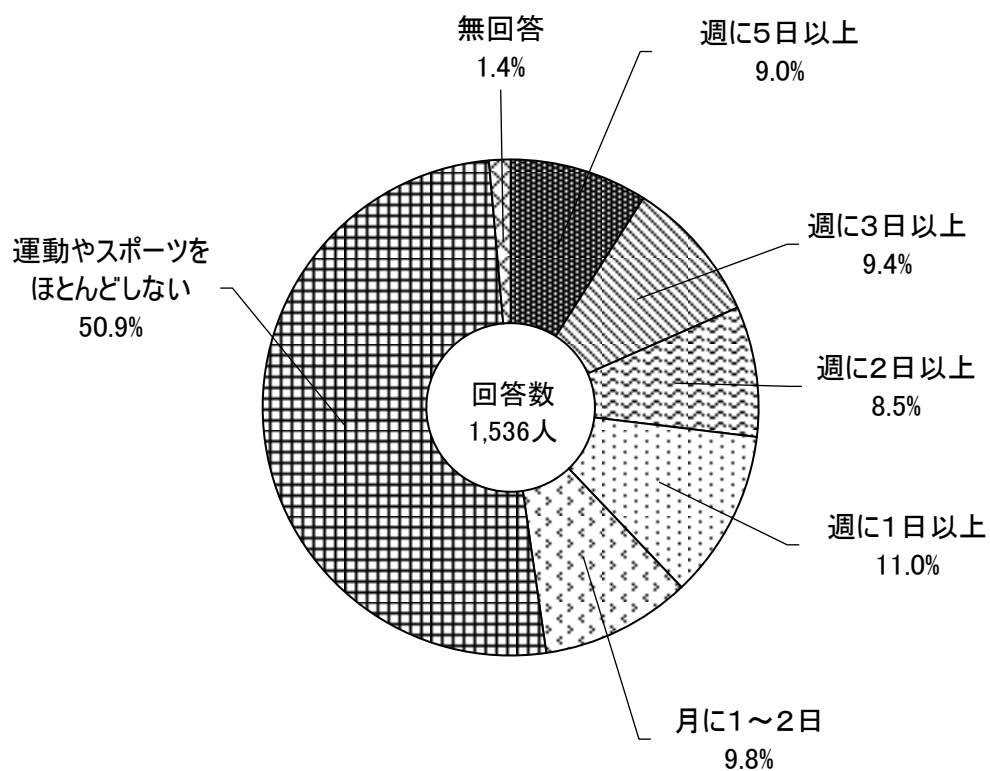
問 25 運動やスポーツを1週間に何日くらい行いますか。(1つだけ○印)

【総合】

「運動やスポーツをほとんどしない」が50.9%と1位になっている。

次いで、「週に1日以上」が11.0%、「月に1～2日」が9.8%と続いている。

《総合》

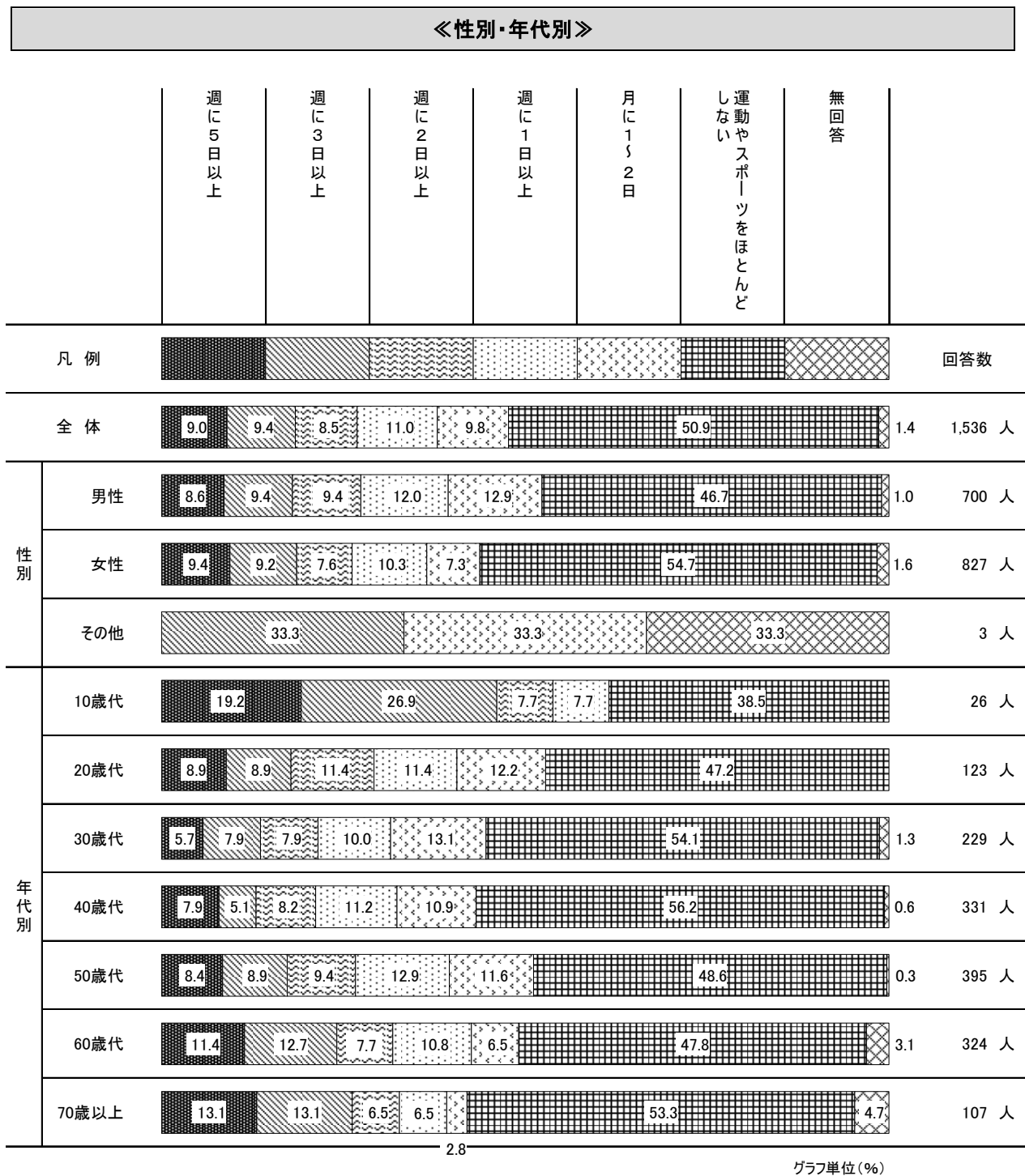


【性別】

男女ともに「運動やスポーツをほとんどしない」が最も高くなっており、次いで、男性では「月に1～2日」が、女性では「週に1日以上」が続いている。

【年代別】

すべての年代で、「運動やスポーツをほとんどしない」が最も高くなっている。



5. 高知型地域共生社会の実現に向けた支え合いの地域づくりについて

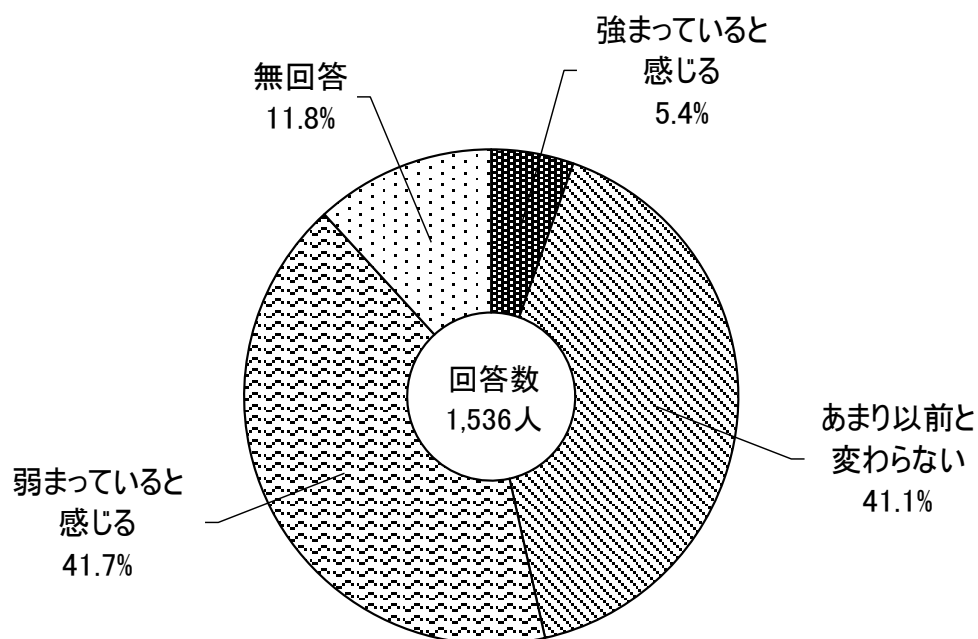
問 26 地域での支え合いの力は、以前(概ね5～10 年前)と比べてどうなっていると感じますか。(1つだけ○印)

【総合】

「弱まっていると感じる」が41.7%と1位になっている。

次いで、「あまり以前と変わらない」が41.1%、「強まっていると感じる」が5.4%と続いている。

《総合》

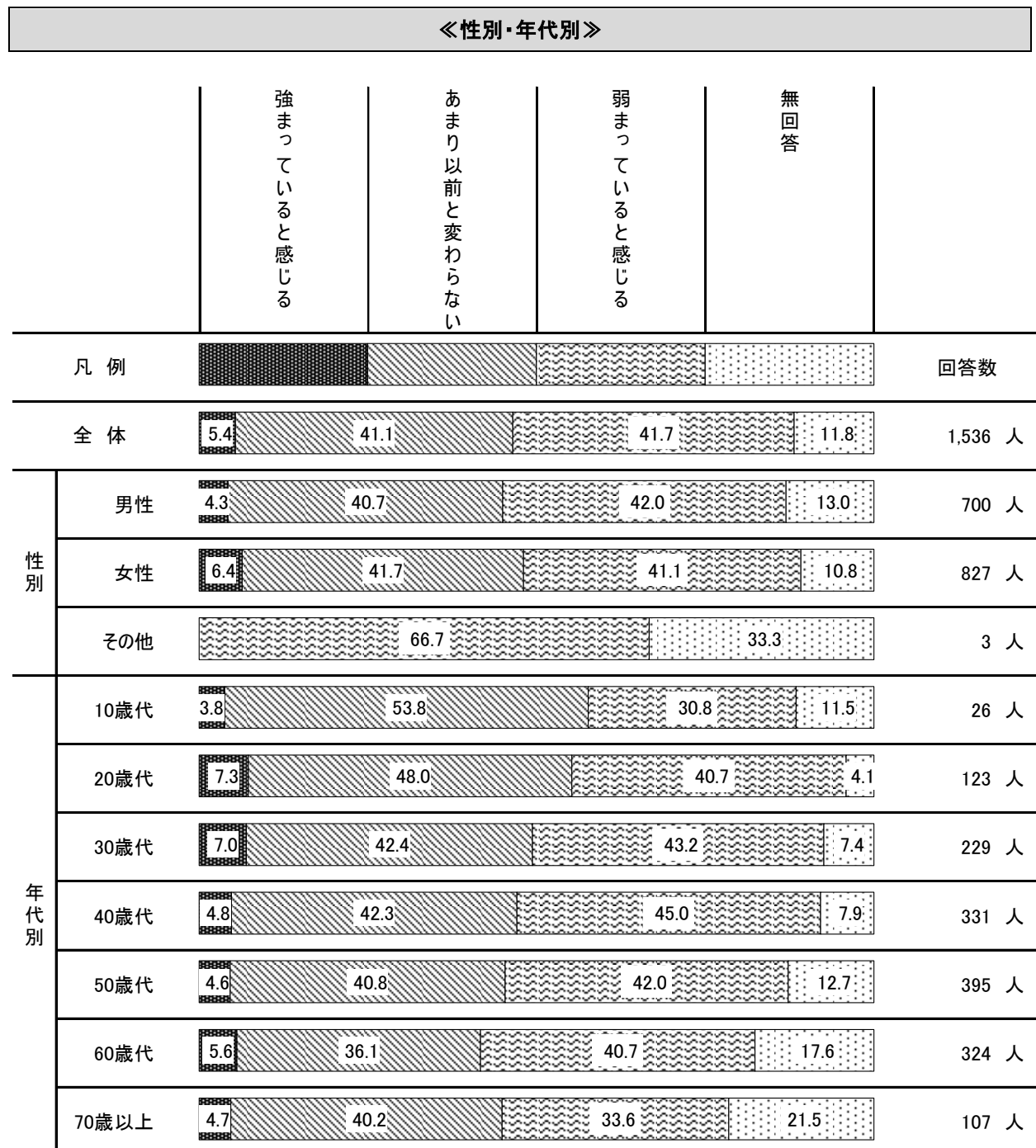


【性別】

男性では「弱まっていると感じる」が、女性では「あまり以前と変わらない」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、70歳以上では「あまり以前と変わらない」が最も高く、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「弱まっていると感じる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

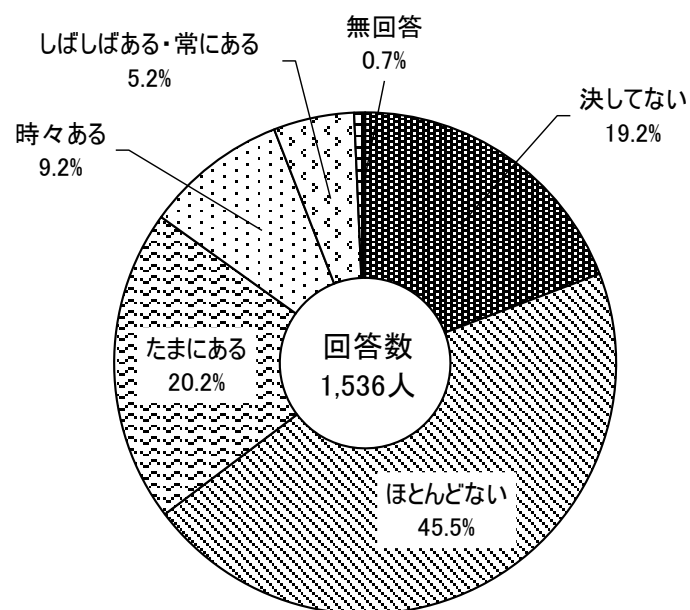
問 27 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つだけ○印)

【総合】

「ほとんどない」が45.5%と1位になっている。

次いで、「たまにある」が20.2%、「決してない」が19.2%と続いている。

《総合》

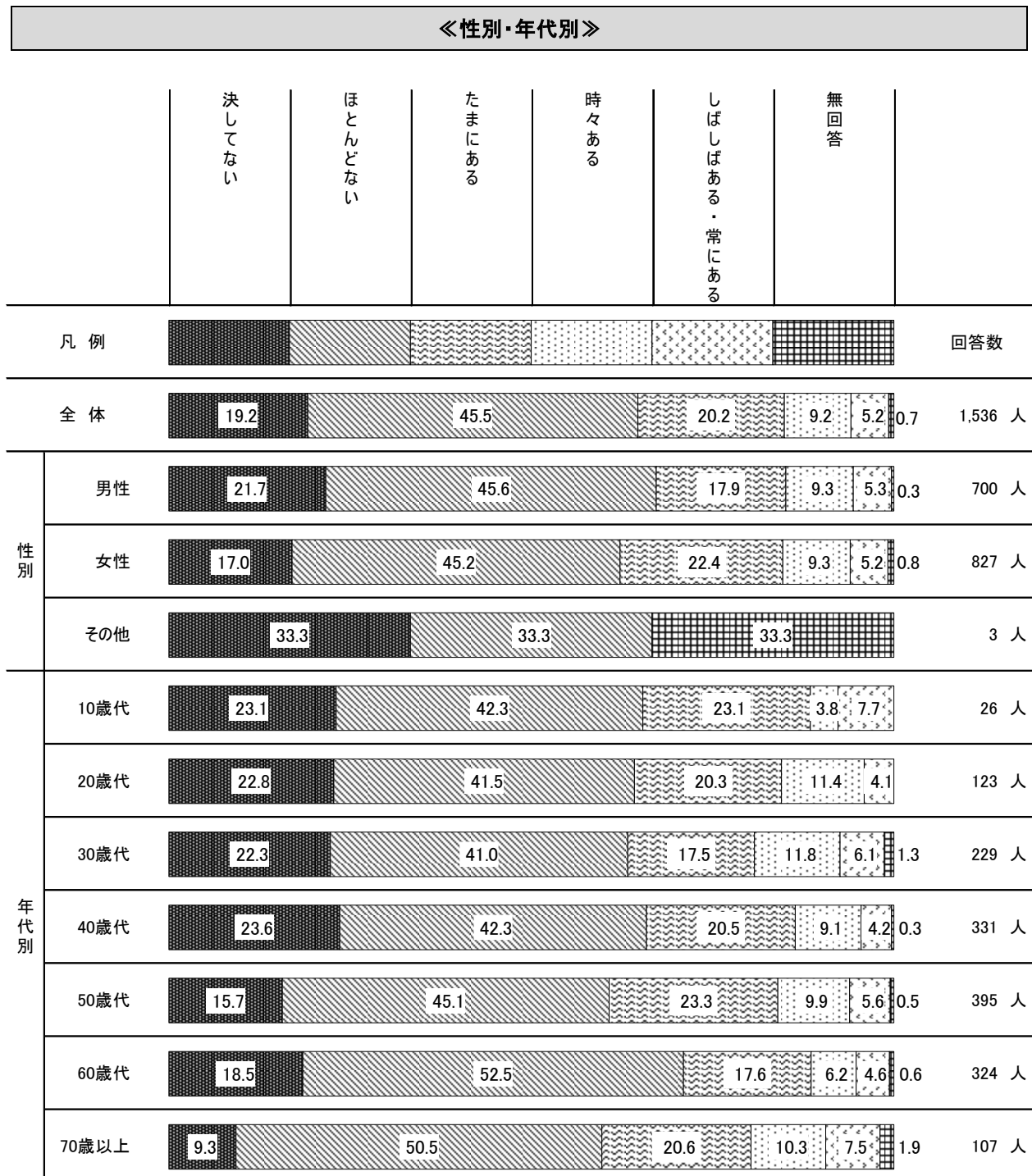


【性別】

男女ともに「ほとんどない」が最も高くなっており、次いで、男性では「決してない」が、女性では「たまにある」が続いている。

【年代別】

すべての年代で、「ほとんどない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

【問 26×問 27 のクロス分析】

「地域での支え合いの力」という質問に対し、「孤独を感じる人の割合」の結果を見ると、どの地域での支え合いの力の状況でも、「ほとんどない」が最も高く、2 番目は「強まっていると感じる」、「あまり以前と変わらない」では「決してない」が、「弱まっていると感じる」では「たまにある」が続いている。

《問 26×問 27 のクロス分析》

		全体	孤独を感じる人の割合				
			決してない	ほとんどない	たまにある	時々ある	しばしばある・常にある
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)							
全体		1,536	295	699	310	142	80
		100.0	19.2	45.5	20.2	9.2	5.2
地域での支え合いの力	強まっていると感じる	83	32.5	43.4	14.5	7.2	2.4
	あまり以前と変わらない	632	21.4	48.1	17.6	8.5	4.3
	弱まっていると感じる	640	15.8	44.8	22.2	10.3	6.7

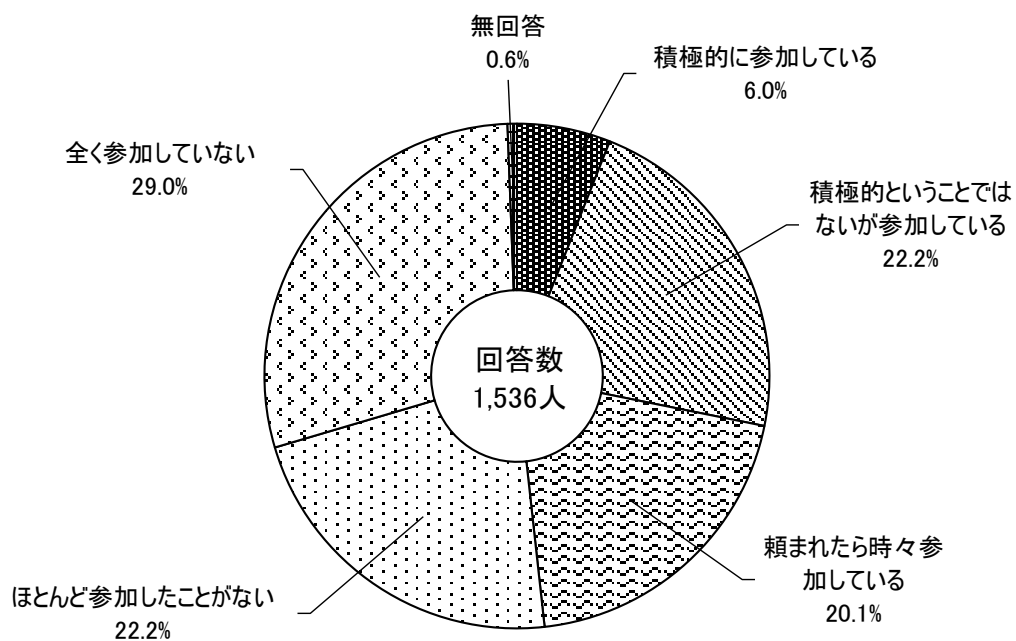
問 28 あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(1つだけ○印)

【総合】

「全く参加していない」が29.0%と1位になっている。

次いで、同率で「積極的ということではないが参加している」、「ほとんど参加したことがない」が22.2%、「頼まれたら時々参加している」が20.1%と続いている。

《総合》

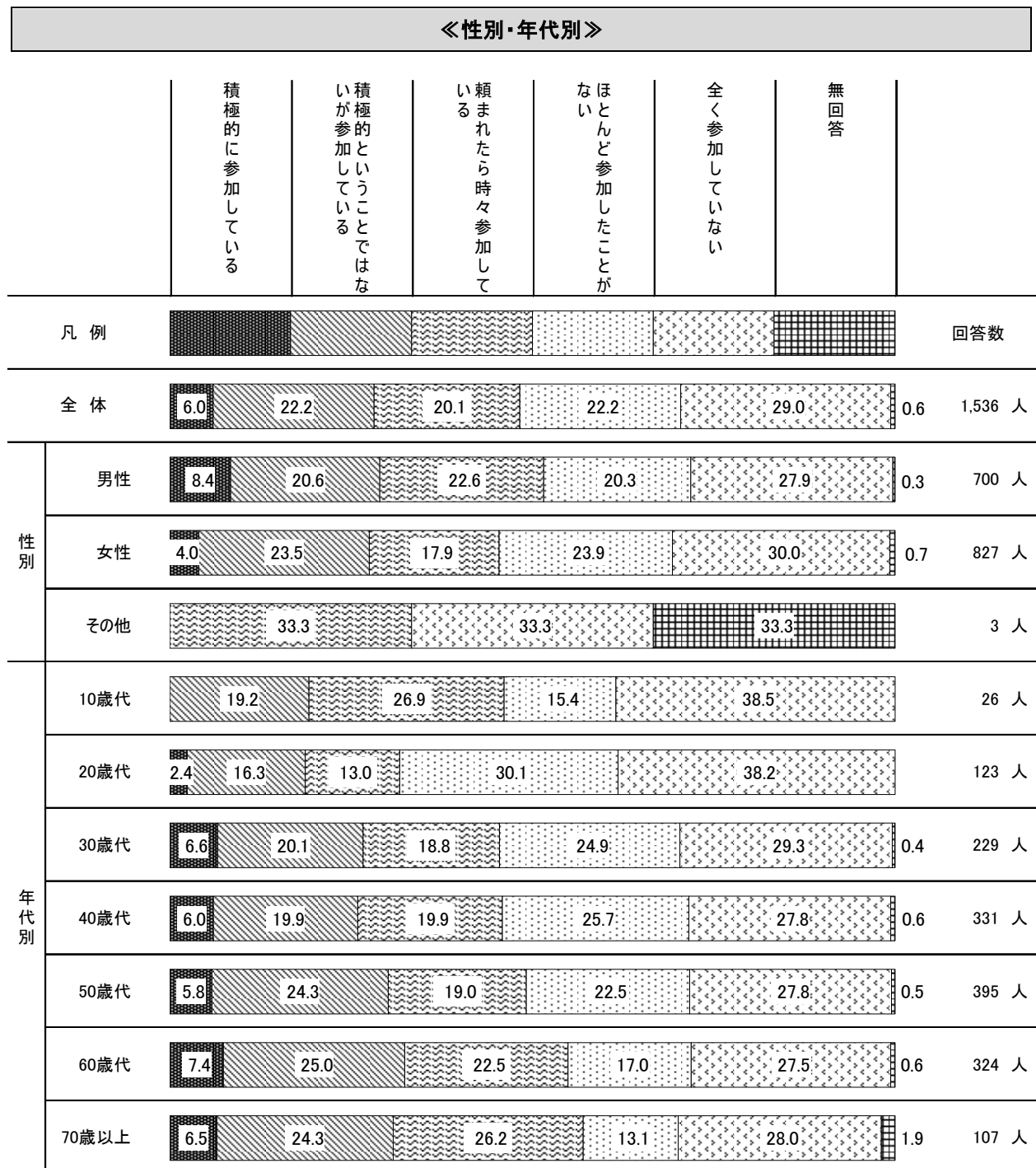


【性別】

男女ともに「全く参加していない」が最も高くなっており、次いで、男性では「頼まれたら時々参加している」が、女性では「ほとんど参加したことがない」が続いている。

【年代別】

すべての年代で、「全く参加していない」が最も高くなっている。また、年代が高いほど「参加している」の割合が高くなっている傾向にある。



グラフ単位(%)

【問 26×問 28 のクロス分析】

「地域での支え合いの力」という質問に対し、「地域活動参加率」の結果を見ると、「強まっている」、「ほとんどない」が最も高く、「あまり以前と変わらない」、「弱まっていると感じる」では「全く参加していない」が最も高くなっている。

《問 26×問 28 のクロス分析》

		全 体	地域活動参加率				
			積 極 的 に 参 加 し て い る	積 極 的 と い う こ と で は な い が 参 加 し て い る	頼 ま れ た ら 時 々 参 加 し て い る	ほ と ん ど 参 加 し た こ と が な い	全 く 参 加 し て い な い
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)							
全体		1,536	295	699	310	142	80
		100.0	19.2	45.5	20.2	9.2	5.2
地 域 で の 支 え 合 い の 力	強まっていると感じる	83	9.6	38.6	21.7	15.7	14.5
	あまり以前と変わらない	632	5.5	22.9	22.5	23.6	25.3
	弱まっていると感じる	640	4.8	21.4	17.8	22.7	33.1

【問 27×問 28 のクロス分析】

「孤独を感じる人の割合」という質問に対し、「地域活動参加率」の結果を見ると、「ほとんどない」を除くすべての割合で「全く参加していない」が最も高く、「ほとんどない」では「積極的ということではないが参加している」が最も高くなっている。

《問 27×問 28 のクロス分析》

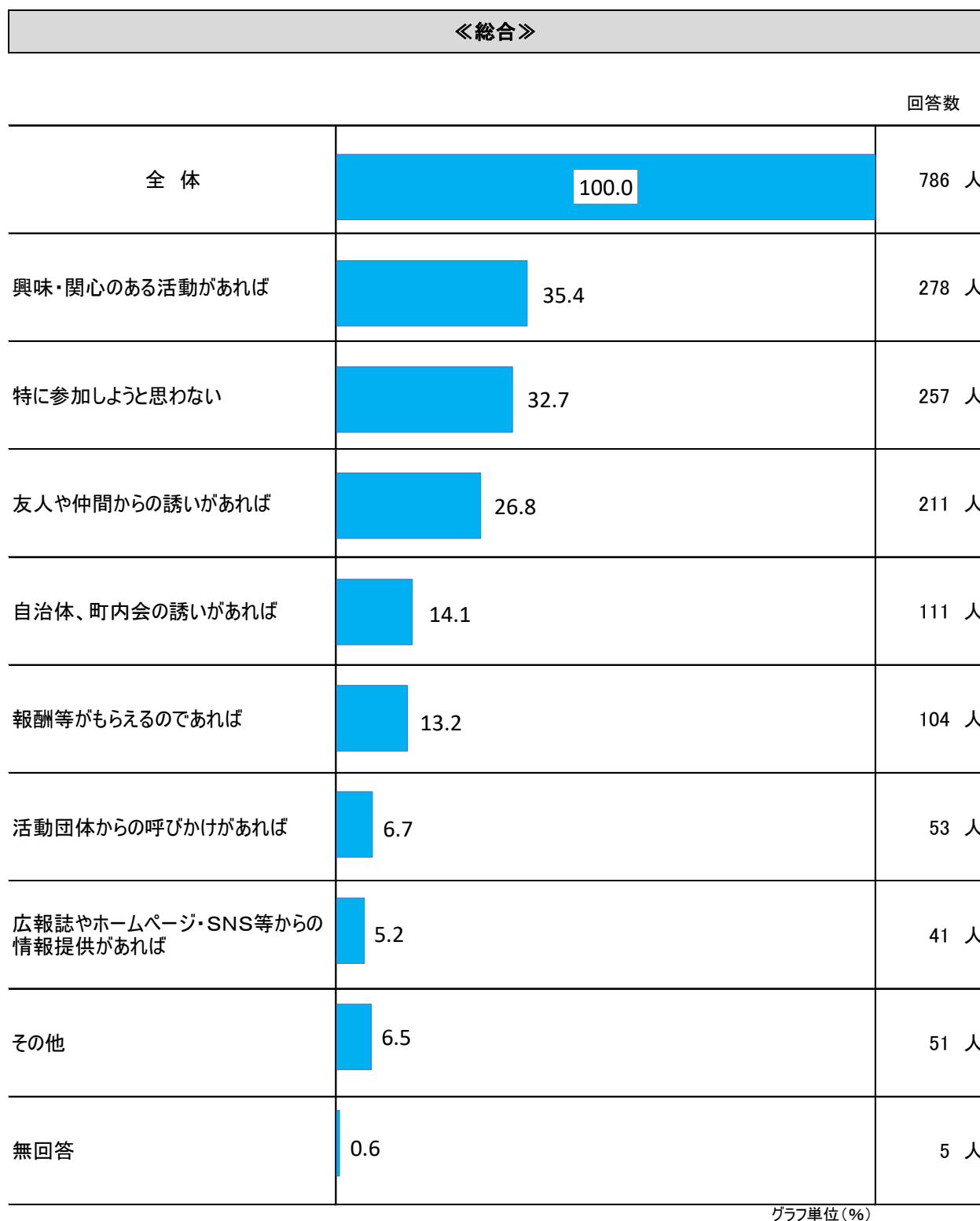
		全体	地域活動参加率				
			積極的に参加している	積極的ということではないが参加している	頼まれたら時々参加している	ほとんど参加したことがない	全く参加していない
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)							
全体		1,536	92	341	308	341	445
		100.0	6.0	22.2	20.1	22.2	29.0
孤独を感じる人の割合	決してない	295	13.2	24.1	19.7	18.3	24.4
	ほとんどない	699	5.3	27.8	21.6	21.9	23.5
	たまにある	310	2.9	17.1	20.6	26.8	32.6
	時々ある	142	2.8	9.9	20.4	25.4	41.5
	しばしばある・常にある	80	2.5	11.3	7.5	16.3	61.3

副問1（問28で「4 ほとんど参加したことがない」「5 全く参加していない」を選んだ方のみお答えください。）
どのようなきっかけがあれば、地域の活動に参加したいと思いますか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】

「興味・関心のある活動があれば」が35.4%と1位になっている。

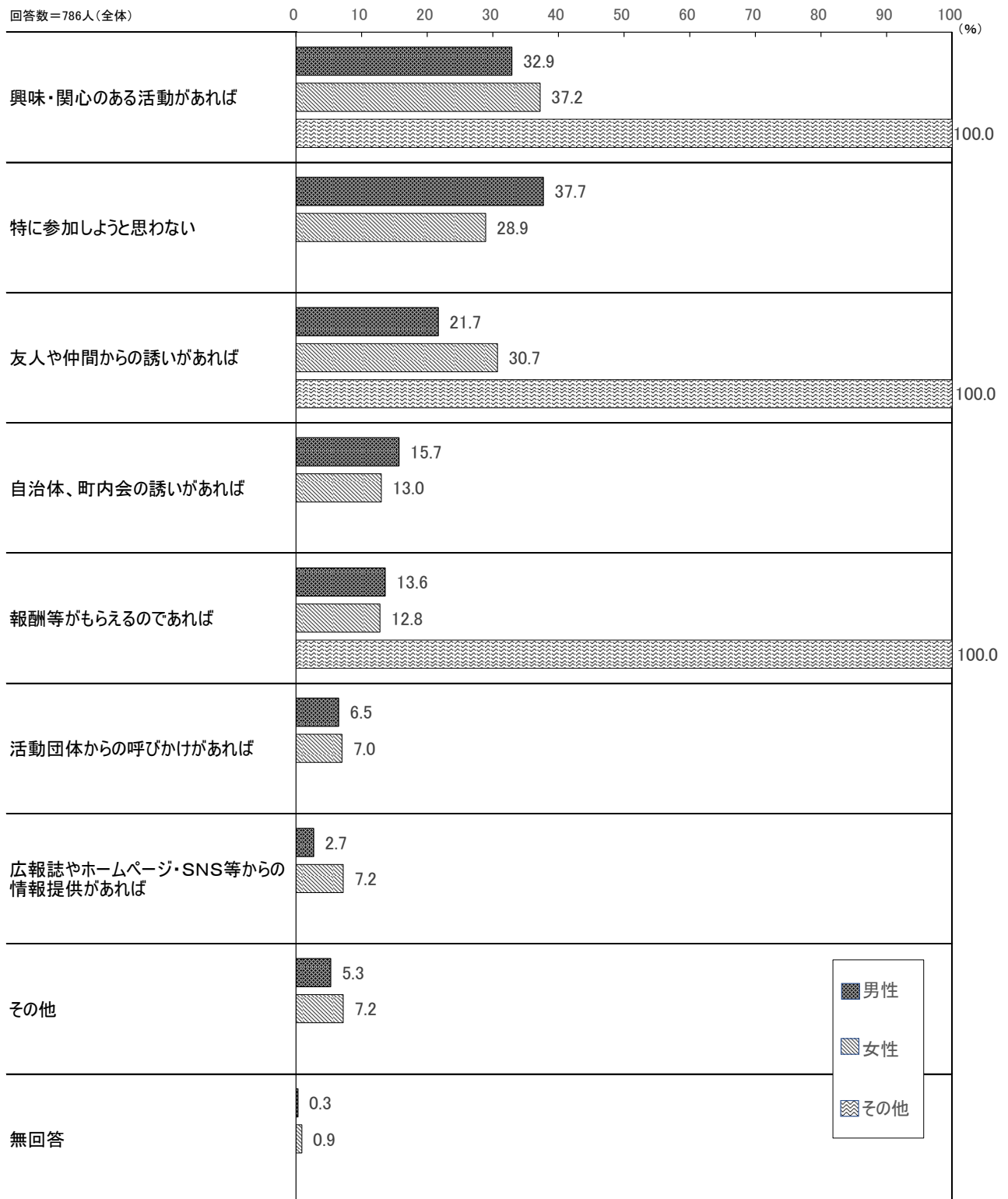
次いで、「特に参加しようと思わない」が32.7%、「友人や仲間からの誘いがあれば」が26.8%と続いている。



【性別】

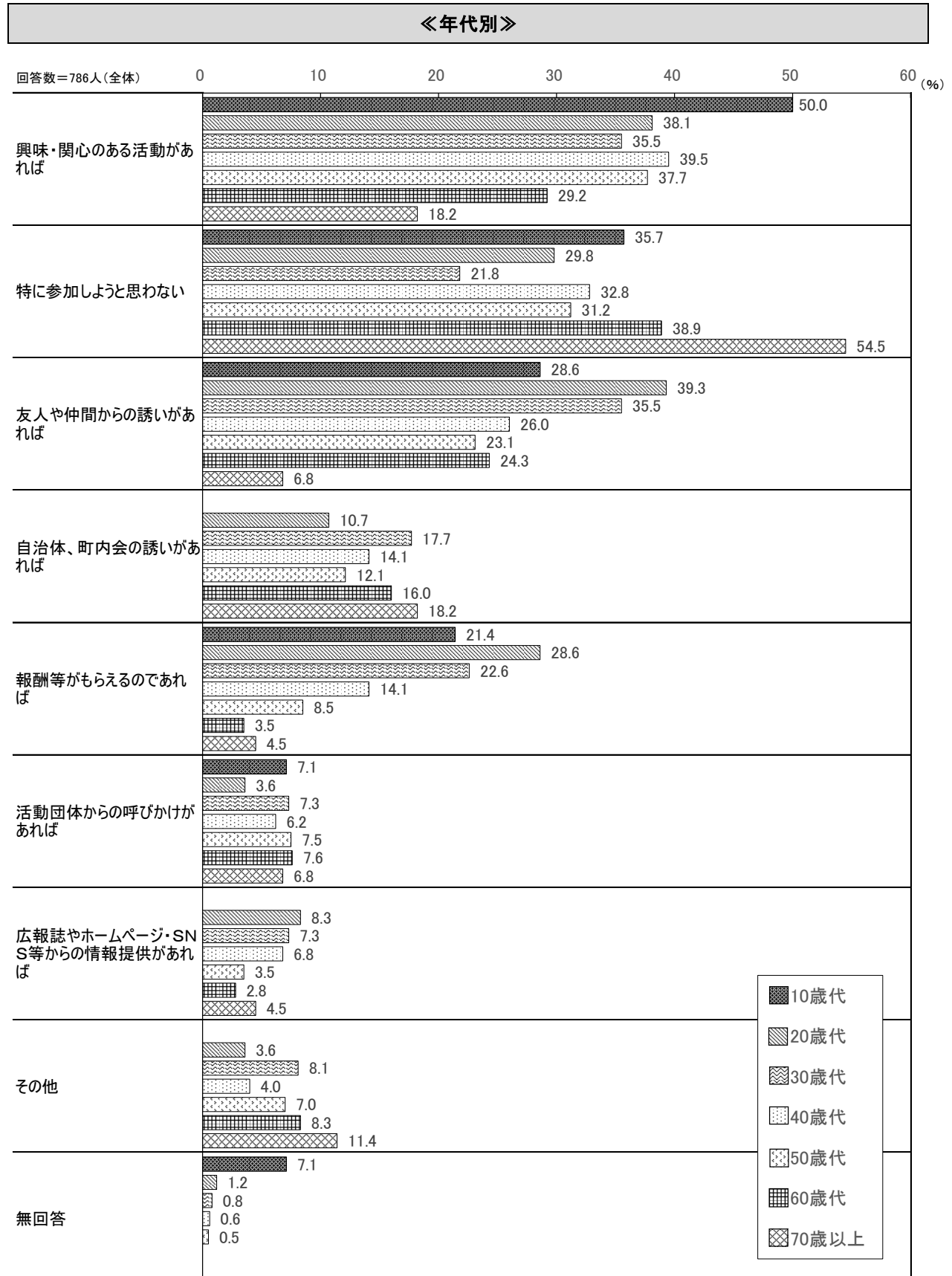
男性では「特に参加しようと思わない」が、女性では「興味・関心のある活動があれば」が最も高くなっている。

《性別》



【年代別】

10 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「興味・関心のある活動があれば」が最も高く、60 歳代、70 歳以上では「特に参加しようと思わない」が、20 歳代では「友人や仲間からの誘いがあれば」が最も高くなっている。また、30 歳代では同率で「友人や仲間からの誘いがあれば」が最も高くなっている。



6. ヤングケアラーについて

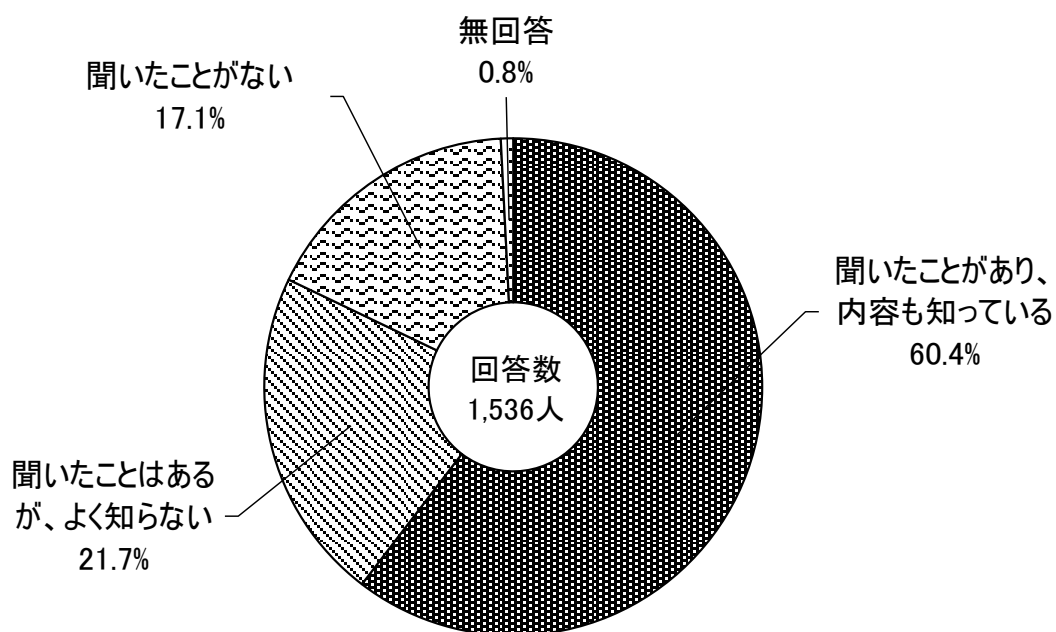
問 29 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。（1つだけ○印）

【総合】

「聞いたことがあります、内容も知っている」が 60.4%と 1 位になっている。

次いで、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 21.7%、「聞いたことがない」が 17.1%と続いている。

《総合》

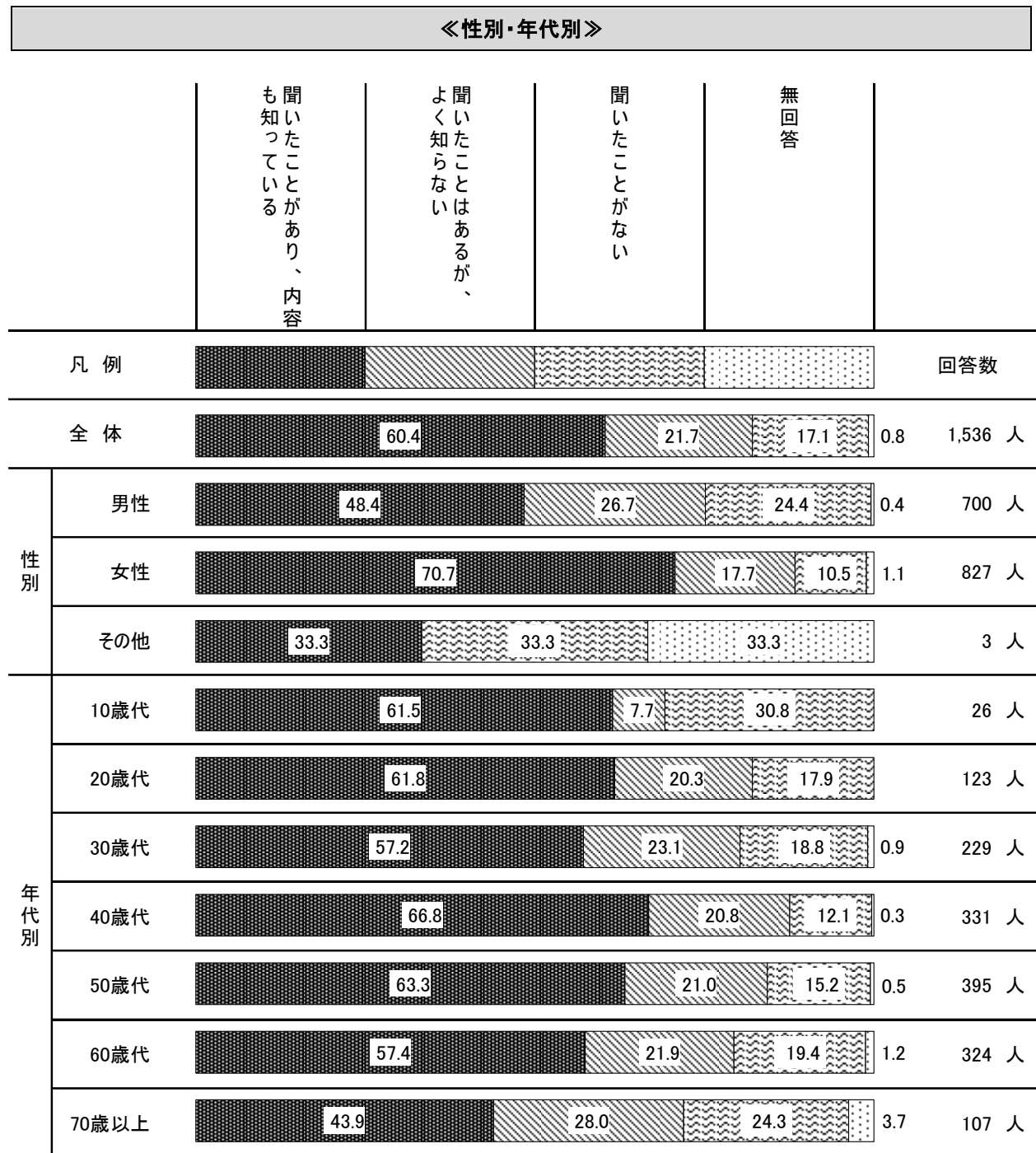


【性別】

男女ともに「聞いたことがあり、内容も知っている」が最も高くなっており、女性では70.7%と男性の48.4%よりも22.3ポイント高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「聞いたことがあり、内容も知っている」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

副問1（問 29 で「1 聞いたことがあり、内容も知っている」または「2 聞いたことはあるが、よく知らない」を選んだ方のみお答えください。）

「ヤングケアラー」という言葉を聞いたきっかけは何ですか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】

「テレビ」が 76.7%と 1 位になっている。

次いで、「インターネット（各機関のホームページ、ニュースサイトなど）」が 37.1%、「新聞」が 25.7%と続いている。

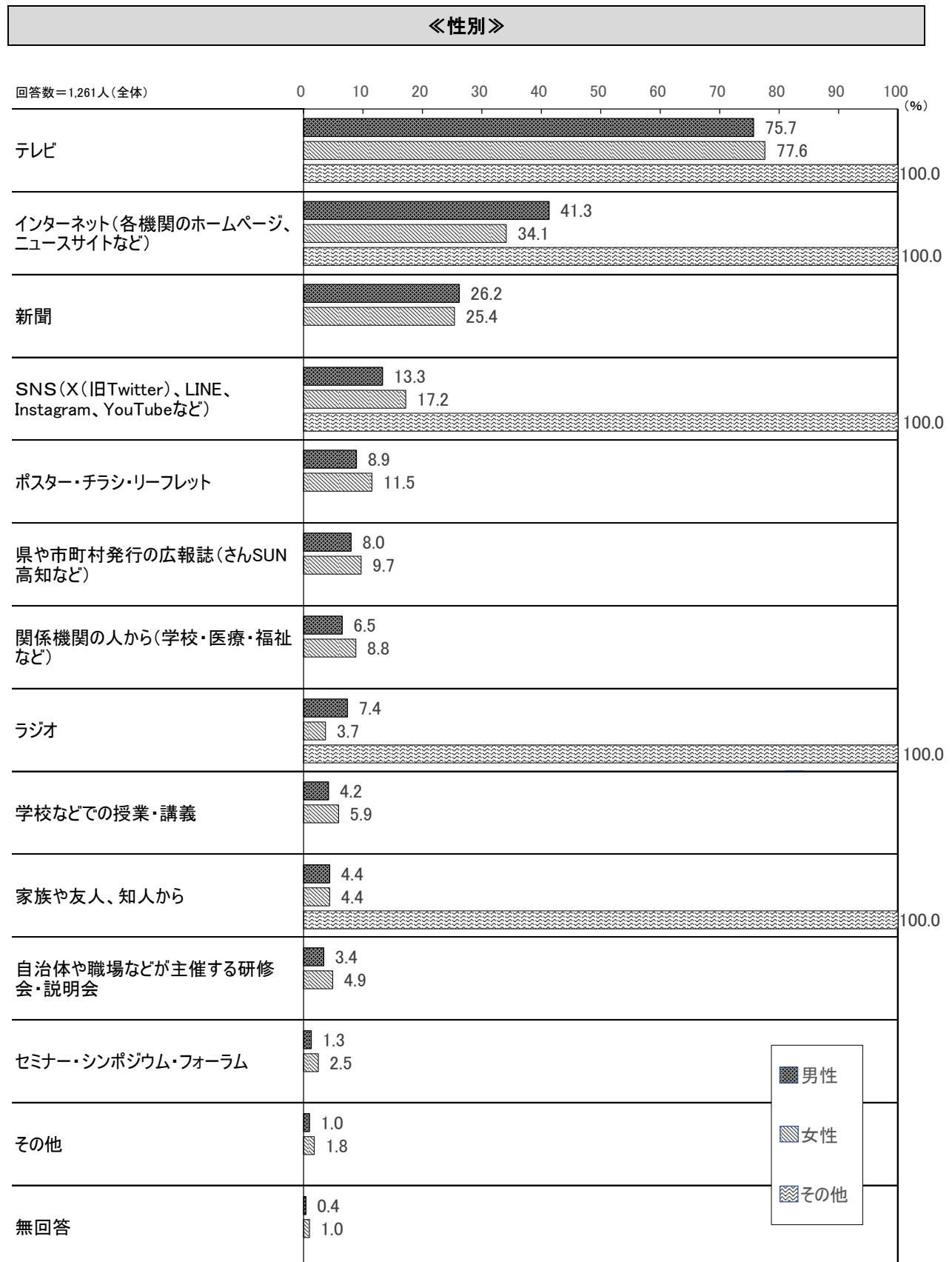
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,261 人
テレビ	76.7	967 人
インターネット(各機関のホームページ、 ニュースサイトなど)	37.1	468 人
新聞	25.7	324 人
SNS(X(旧Twitter)、LINE、 Instagram、YouTubeなど)	15.6	197 人
ポスター・チラシ・リーフレット	10.4	131 人
県や市町村発行の広報誌(さんSUN 高知など)	9.0	113 人
関係機関の人から(学校・医療・福祉 など)	7.8	98 人
ラジオ	5.3	67 人
学校などでの授業・講義	5.2	65 人
家族や友人、知人から	4.4	56 人
自治体や職場などが主催する研修 会・説明会	4.3	54 人
セミナー・シンポジウム・フォーラム	2.0	25 人
その他	1.5	19 人
無回答	0.7	9 人

グラフ単位 (%)

【性別】

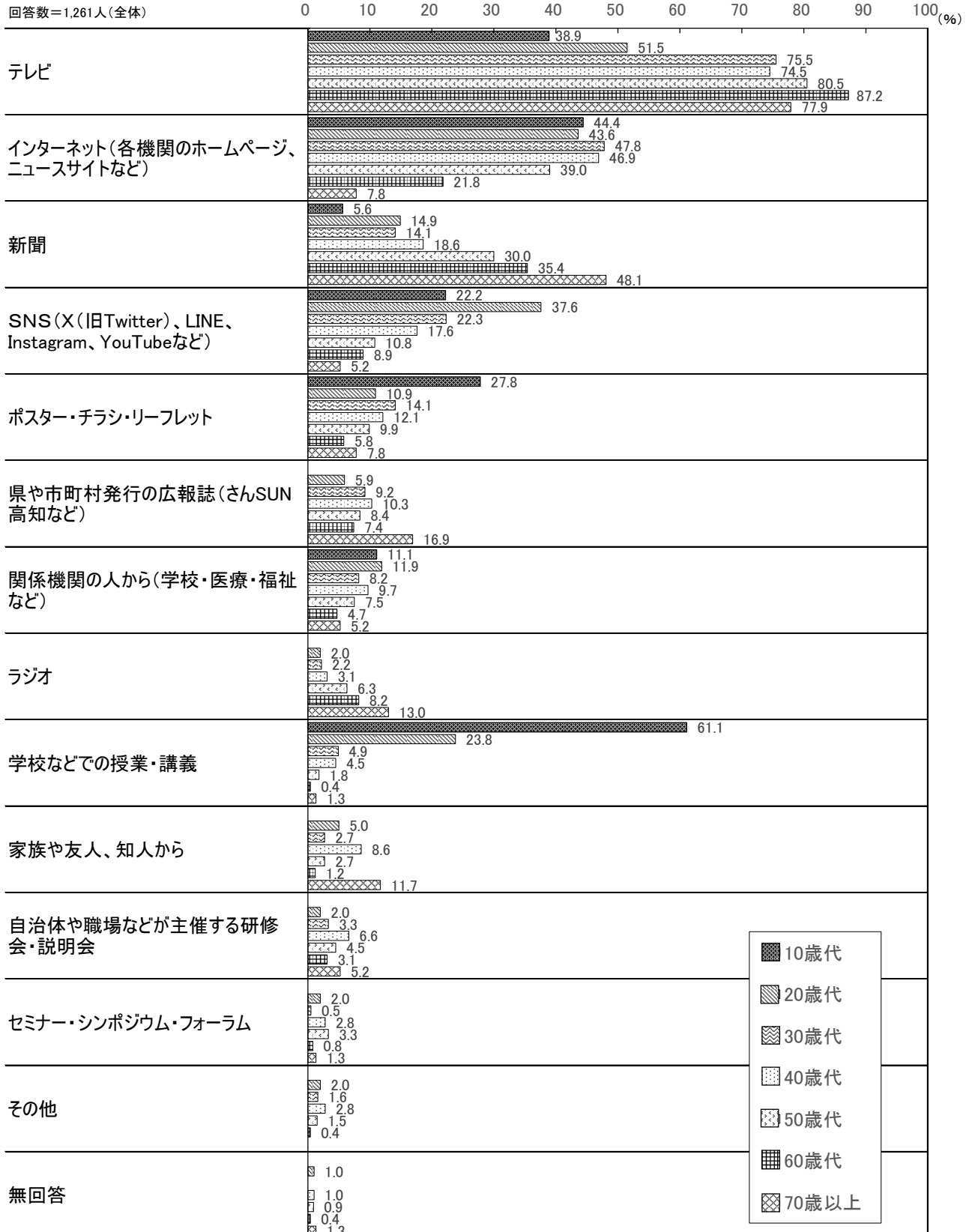
男女ともに「テレビ」が最も高くなっており、以降に順位も同じ傾向にある。



【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「テレビ」が最も高く、10歳代では「学校などでの授業・講義」が最も高くなっている。

《年代別》



【問 29×問 29 副問 1 のクロス分析】

「ヤングケアラーの認知度」という質問に対し、「ヤングケアラーという言葉聞いたきっかけ」の結果を見ると、どの認知度でも「テレビ」が最も高く、次いで「インターネット（各機関のホームページ、ニュースサイトなど）」、「新聞」と続いている。

《問 29×問 29 副問1のクロス分析》

		全体	ヤングケアラーという言葉聞いたきっかけ												
			インターネット（各機関のホームページ、ニュースサイトなど）	SNS（X（旧Twitter）、Instagram、YouTubeなど）	テレビ	ラジオ	新聞	県や市町村発行の広報誌（さんSUN高知など）	ポスター・チラシ・リーフレット	学校などでの授業・講義	自治体や職場などが主催する研修会・説明会	セミナー・シンポジウム・フォーラム	関係機関の人から（学校・医療・福祉など）	家族や友人、知人から	その他
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)															
全体		1,261	468 37.1	197 15.6	967 76.7	67 5.3	324 25.7	113 9.0	131 10.4	65 5.2	54 4.3	25 2.0	98 7.8	56 4.4	19 1.5
ヤングケアラーの認知度	聞いたことがあり、内容も知っている	928	39.7	18.0	78.2	5.3	28.6	9.6	12.2	6.6	5.6	2.3	9.9	5.1	1.4
	聞いたことはあるが、よく知らない	333	30.0	9.0	72.4	5.4	17.7	7.2	5.4	1.2	0.6	1.2	1.8	2.7	1.8
	聞いたことがない	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

【表の見方】
上段＝回答数(人)
下段＝比率(%)

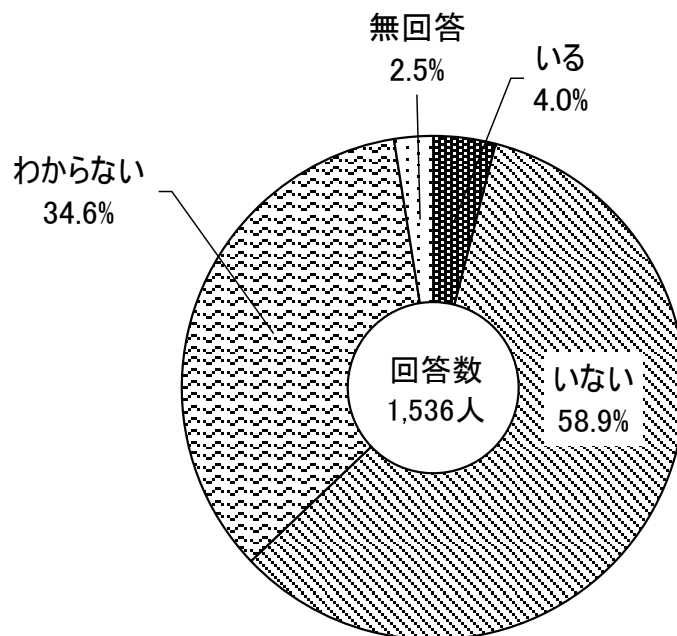
問 30 「ヤングケアラー」と思われる子ども・若者が身近(家族・親戚、地域など)にいますか。(1つだけ○印)

【総合】

「いない」が58.9%と1位になっている。

次いで、「わからない」が34.6%、「いる」が4.0%と続いている。

《総合》

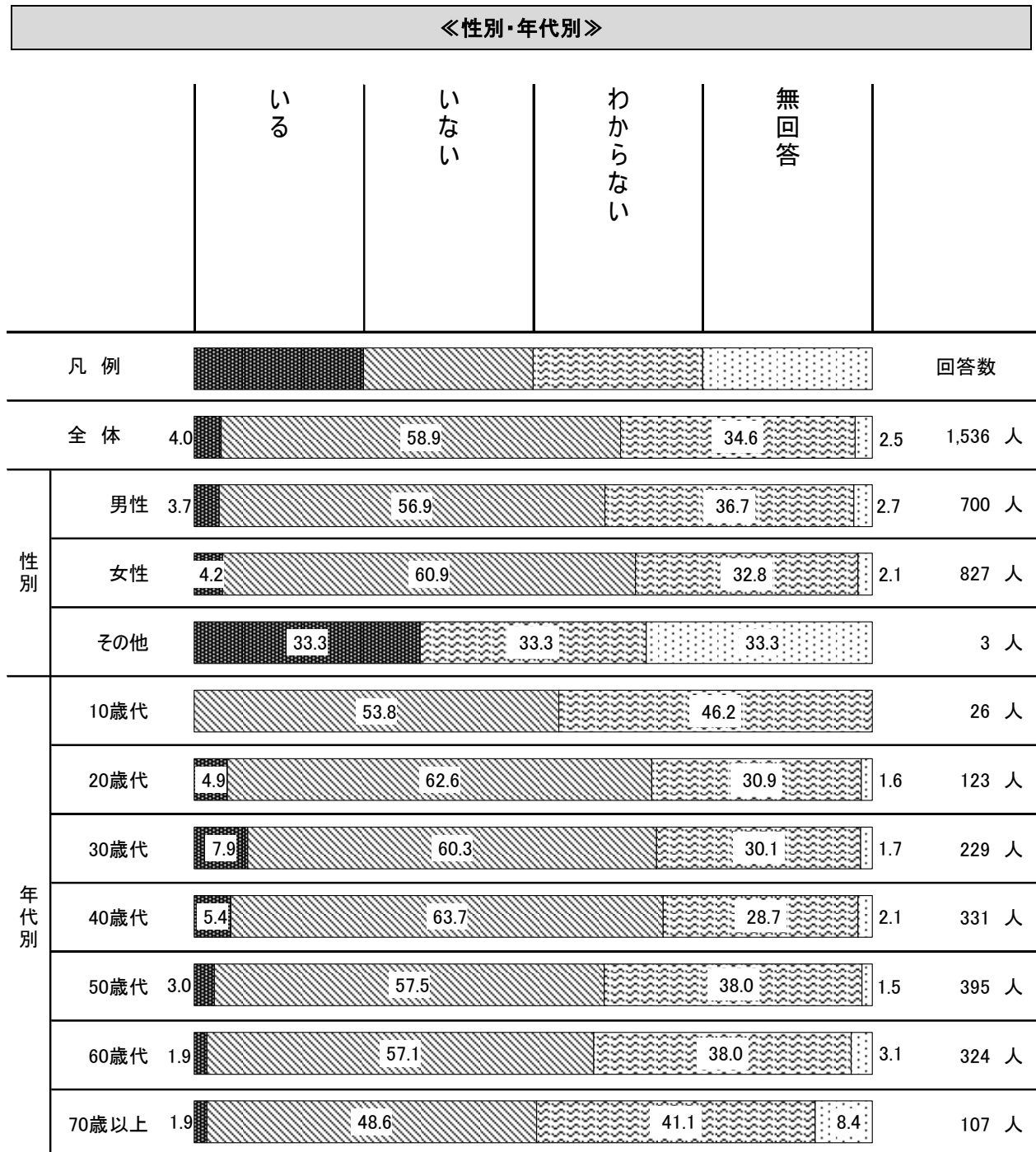


【性別】

男女ともに「いない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「いない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

副問1（問 30 で「1 いる」を選んだ方のみお答えください。）

その子ども・若者をどこで知りましたか。（当てはまるものすべてに○印）

【総合】

「自分の仕事や所属（学校、職場等）の中で知った」が 46.8%と 1 位になっている。

次いで、「家族、親戚にいる」が 27.4%、「友人・知人関係等のつながりの中で知った」が 24.2%と続いている。

《総合》

		回答数
全 体	100.0	62 人
自分の仕事や所属（学校、職場等）の中で知った	46.8	29 人
家族、親戚にいる	27.4	17 人
友人・知人関係等のつながりの中で知った	24.2	15 人
自身の活動（ボランティア活動、町内会、民生委員等）の中で知った	6.5	4 人
近隣住民であり、関わりを持つ中で知った	4.8	3 人
その他	4.8	3 人
無回答		0 人

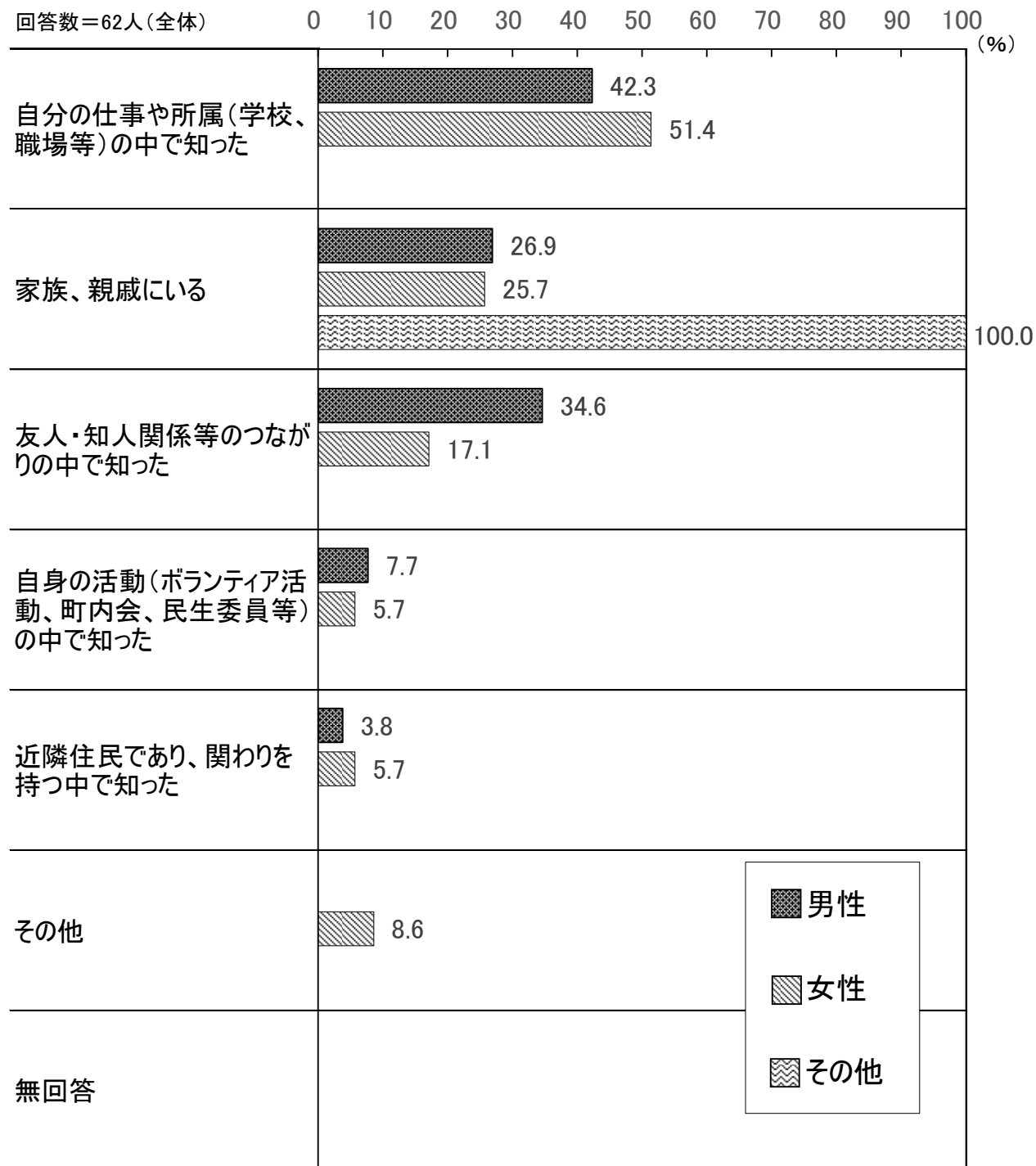
グラフ単位（%）

【性別】

男女ともに「自分の仕事や所属（学校、職場等）の中で知った」が最も高く、次いで、男性では「友人・知人関係等のつながりの中で知った」が、女性では「家族、親戚にいる」が続いている。

《性別》

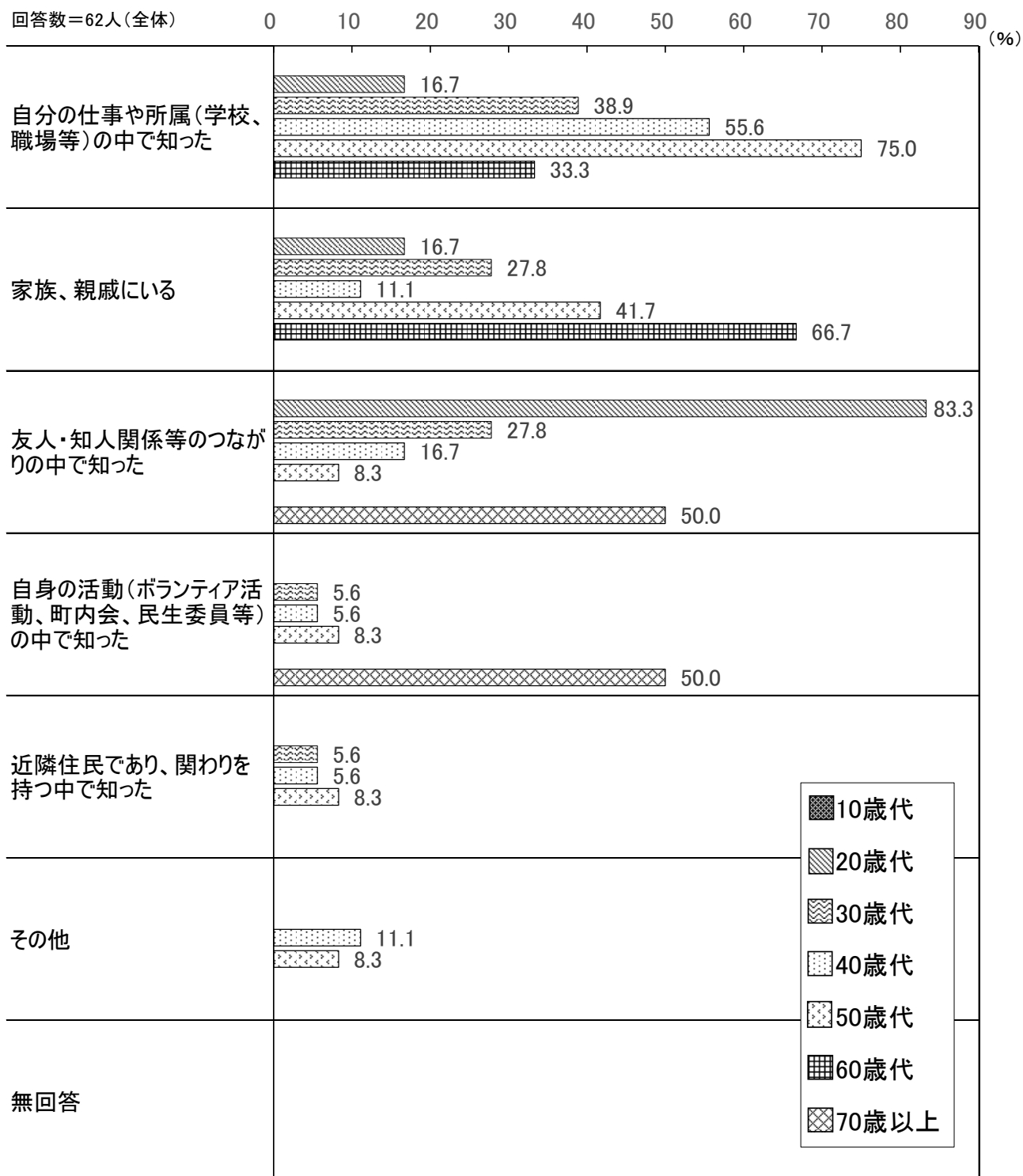
回答数＝62人（全体）



【年代別】

30 歳代、40 歳代、50 歳代では「自分の仕事や所属（学校、職場等）の中で知った」が最も高く、20 歳代では「友人・知人関係等のつながりの中で知った」が、60 歳代では「家族、親戚にいる」が、また、70 歳以上では同率で「友人・知人関係等のつながりの中で知った」、「自身の活動（ボランティア活動、町内会、民生委員等）の中で知った」が最も高くなっている。

《年代別》



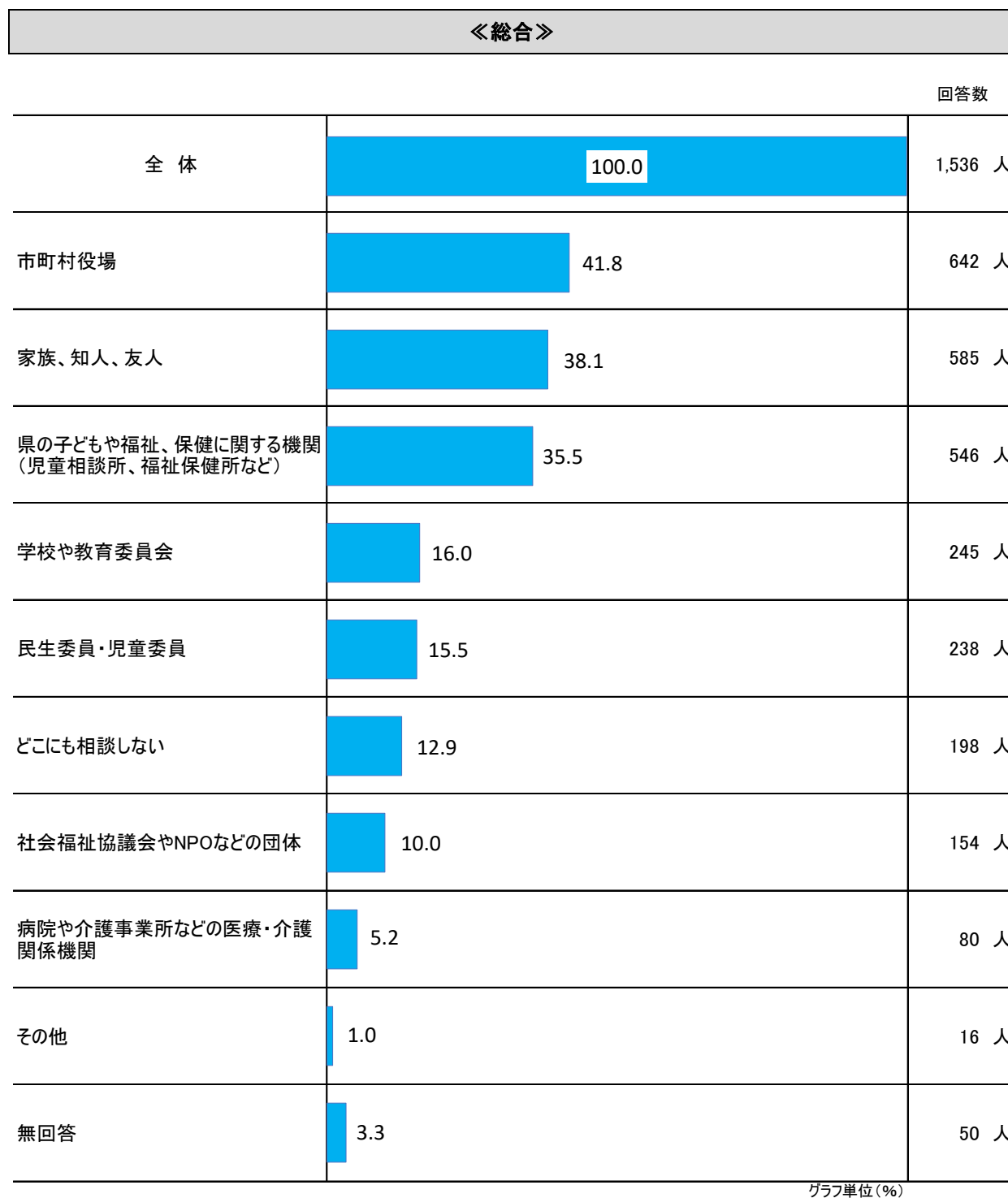
問 31 身近に「ヤングケアラー」と思われる子ども・若者がいた場合、どこに相談しますか。

(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

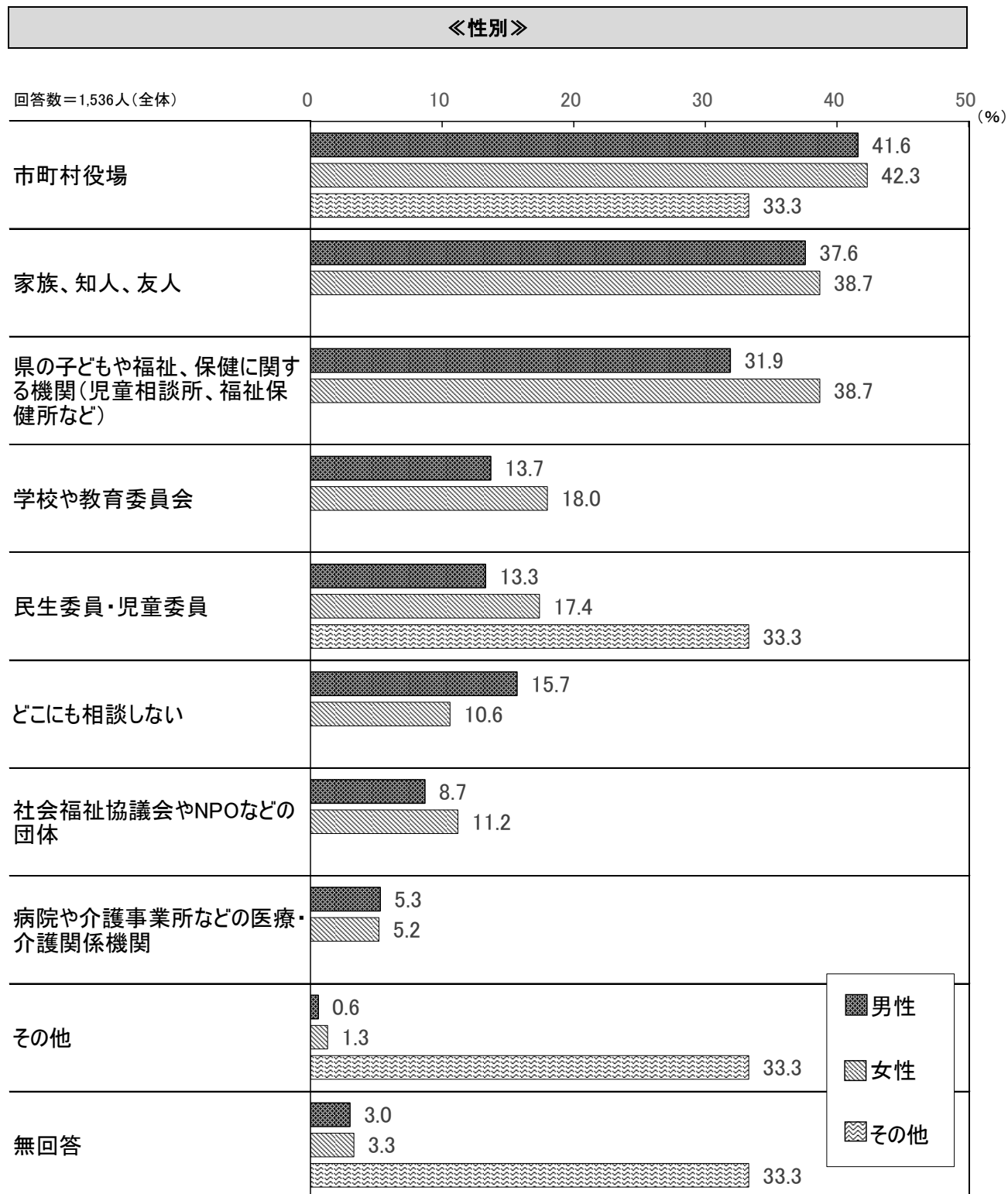
「市町村役場」が41.8%と1位になっている。

次いで、「家族、知人、友人」が38.1%、「県の子どもや福祉、保健に関する機関（児童相談所、福祉保健所など）」が35.5%と続いている。



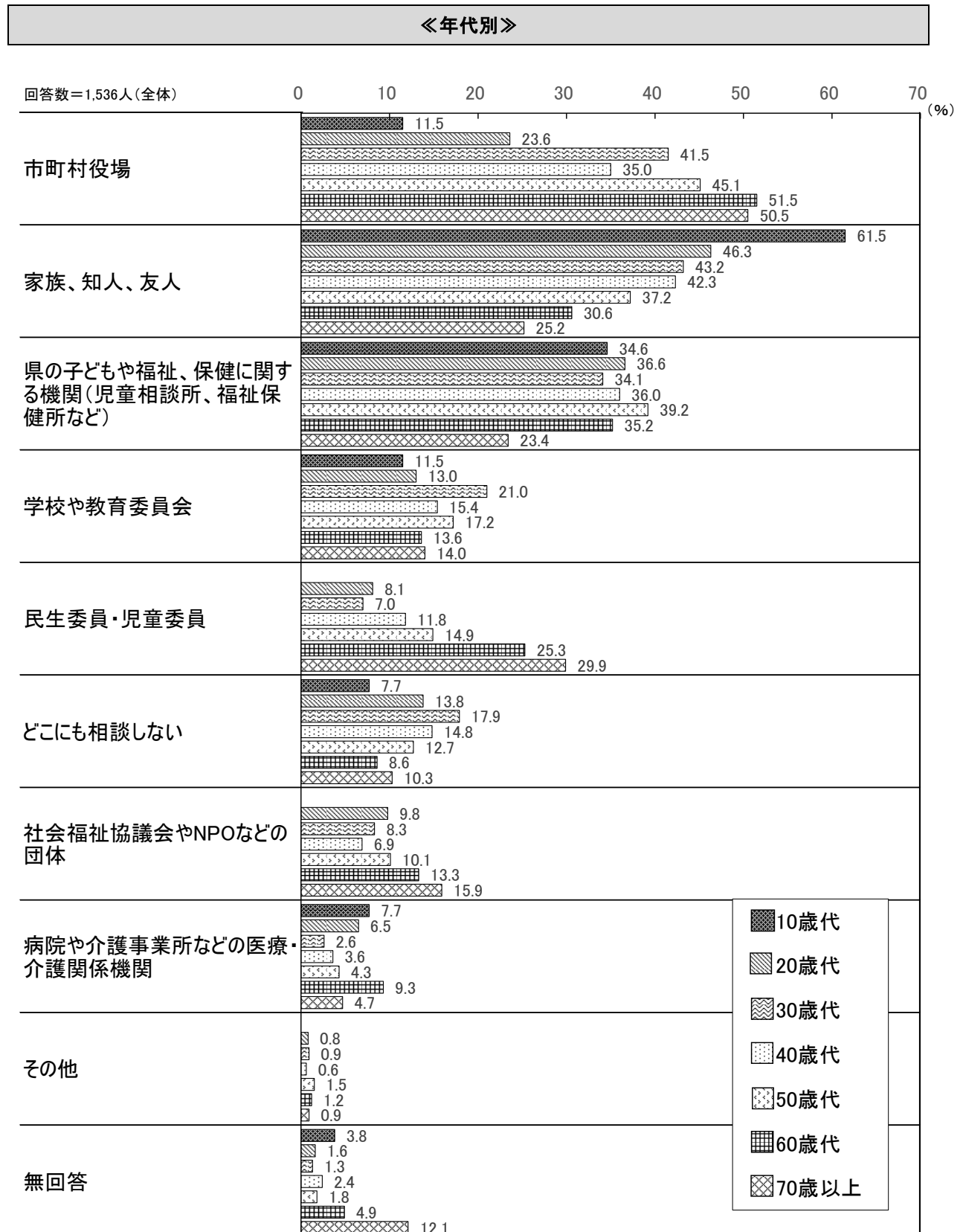
【性別】

男女ともに「市町村役場」が最も高く、次いで、男性では「家族、知人、友人」が、女性では同率で「家族、知人、友人」、「県の子どもや福祉、保健に関する機関（児童相談所、福祉保健所など）」が続いている。



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、40歳代では「家族、知人、友人」が最も高く、50歳代、60歳代、70歳以上では「市町村役場」が最も高くなっている。



【問 29×問 31 のクロス分析】

「ヤングケアラーの認知度」という質問に対し、「身近にヤングケアラーと思われる子どもがいた場合、どこに相談するか」の結果を見ると、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」では「市町村役場」が最も高く、「聞いたことがない」では「家族、知人、友人」が最も高くなっている。

《問 29×問 31 のクロス分析》

		全体	身近にヤングケアラーと思われる子どもがいた場合、どこに相談するか							
			家族、知人、友人	市町村役場	県の子ども福祉保健所など	学校や教育委員会	病院や介護事業所などの医療・介護関係機関	民生委員・児童委員	社会福祉協議会やNPOなどの団体	どこにも相談しない その他
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)										
全体		1,536	585 38.1	642 41.8	546 35.5	245 16.0	80 5.2	238 15.5	154 10.0	198 12.9 16 1.0
ヤングケアラーの認知度	聞いたことがあり、内容も知っている	1,261	38.8	45.4	43.1	19.0	5.0	16.8	11.6	11.5 0.6
	聞いたことはあるが、よく知らない	928	34.5	43.2	28.8	14.1	6.3	18.3	8.4	15.9 1.5
	聞いたことがない	333	41.6	29.0	18.7	8.4	4.2	7.6	6.9	14.5 1.9

【問 30×問 31 のクロス分析】

「身近にヤングケアラーと思われる子ども・若者がいるか」という質問に対し、「身近にヤングケアラーと思われる子どもがいた場合、どこに相談するか」の結果を見ると、「いる」では「県の子どもや福祉、保健に関する機関（児童相談所、福祉保健所など）」が最も高く、「いない」、「わからない」では「市町村役場」が最も高くなっている。

《問 30×問 31 のクロス分析》

		全 体	身近にヤングケアラーと思われる子ども・若者がいた場合、どこに相談するか								
			家 族、 知人、 友人	市 町 村 役 場	県 の 子 ど も や 福 祉 保 健 所 な ど ） （ 保 健 に 関 す る 機 関 （ 児 童 相 談	学 校 や 教 育 委 員 会	病 院 や 介 護 事 業 所 な ど の 医 療 ・ 介 護 関 係 機 関	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	社 会 福 祉 協 議 会 や N P O な ど の 団 体	ど こ に も 相 談 し な い	そ の 他
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)											
全体		1,536	585 38.1	642 41.8	546 35.5	245 16.0	80 5.2	238 15.5	154 10.0	198 12.9	16 1.0
者と身 が近 に い る か ヤ ン グ ケ ア ラ ー ・ 若	いる	54	35.5	35.5	37.1	19.4	6.5	16.1	6.5	19.4	1.6
	いない	818	40.4	45.2	39.8	17.3	5.5	16.5	9.8	10.7	0.6
	わからない	387	35.4	39.2	30.3	14.1	4.7	14.9	11.3	16.8	1.9

副問1（問 31 で「8 どこにも相談しない」を選んだ方のみお答えください。）

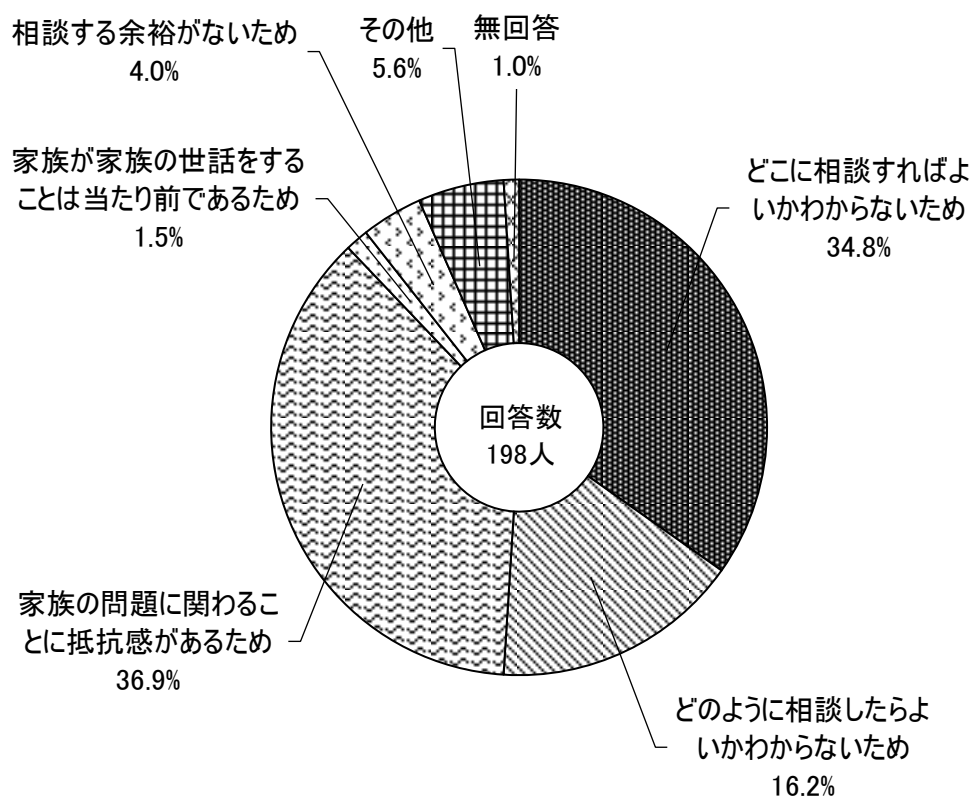
その理由としてもっともあてはまるものをお答えください。（最も当てはまるもの1つだけ○印）

【総合】

「家族の問題に関わることに抵抗感があるため」が 36.9%と 1 位になっている。

次いで、「どこに相談すればよいかわからないため」が 34.8%、「どのように相談したらよいかわからないため」が 16.2%と続いている。

《総合》



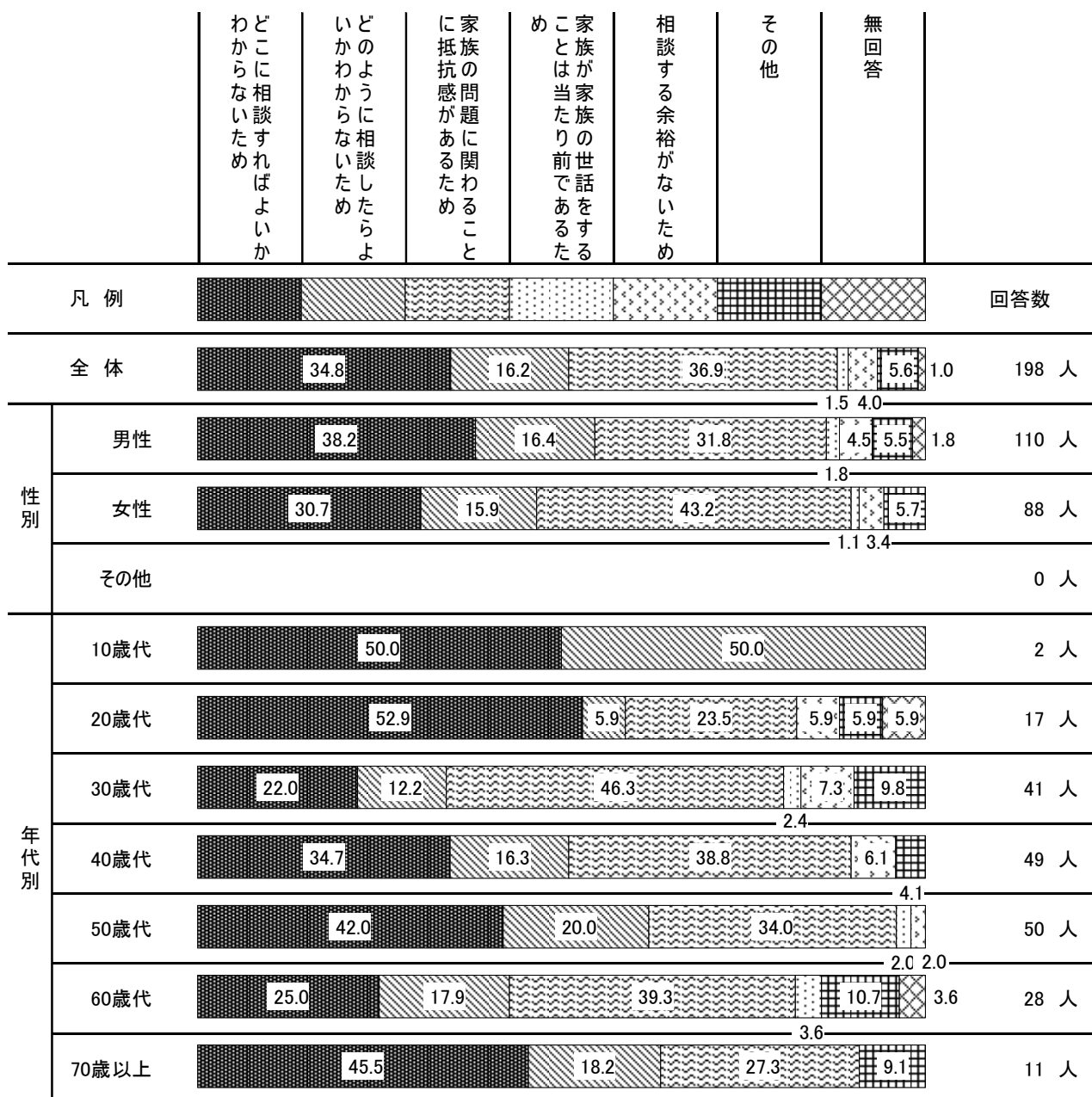
【性別】

男性では「どこに相談すればよいかわからないため」が、女性では「家族の問題に関わることに抵抗感があるため」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、50歳代、70歳以上では「どこに相談すればよいかわからないため」が最も高く、30歳代、40歳代、60歳代では「家族の問題に関わることに抵抗感があるため」が最も高くなっている。また、10歳代では同率で「どのように相談したらよいかわからないため」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

7. 文化芸術の振興について

問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

1 音楽(オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップスなど)

【総合】

「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が37.0%と1位になっている。

次いで、「今後新たに取り組みたいと思っている」が23.0%、「現在、鑑賞している」が22.3%と続いている。

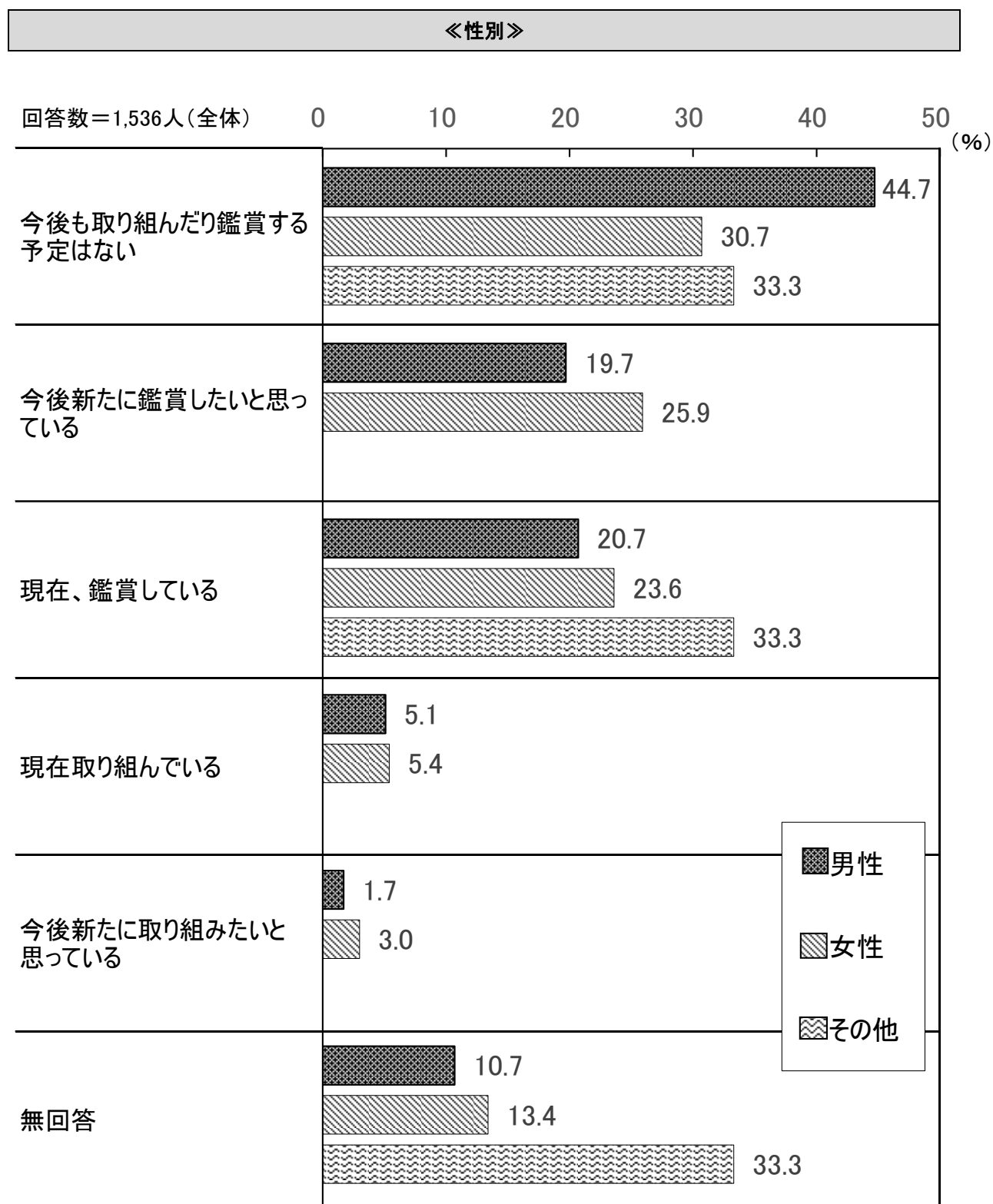
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
今後も取り組んだり鑑賞する予定はない	37.0	569 人
今後新たに鑑賞したいと思っている	23.0	354 人
現在、鑑賞している	22.3	343 人
現在取り組んでいる	5.3	82 人
今後新たに取り組みたいと思っている	2.4	37 人
無回答	12.2	187 人

グラフ単位(%)

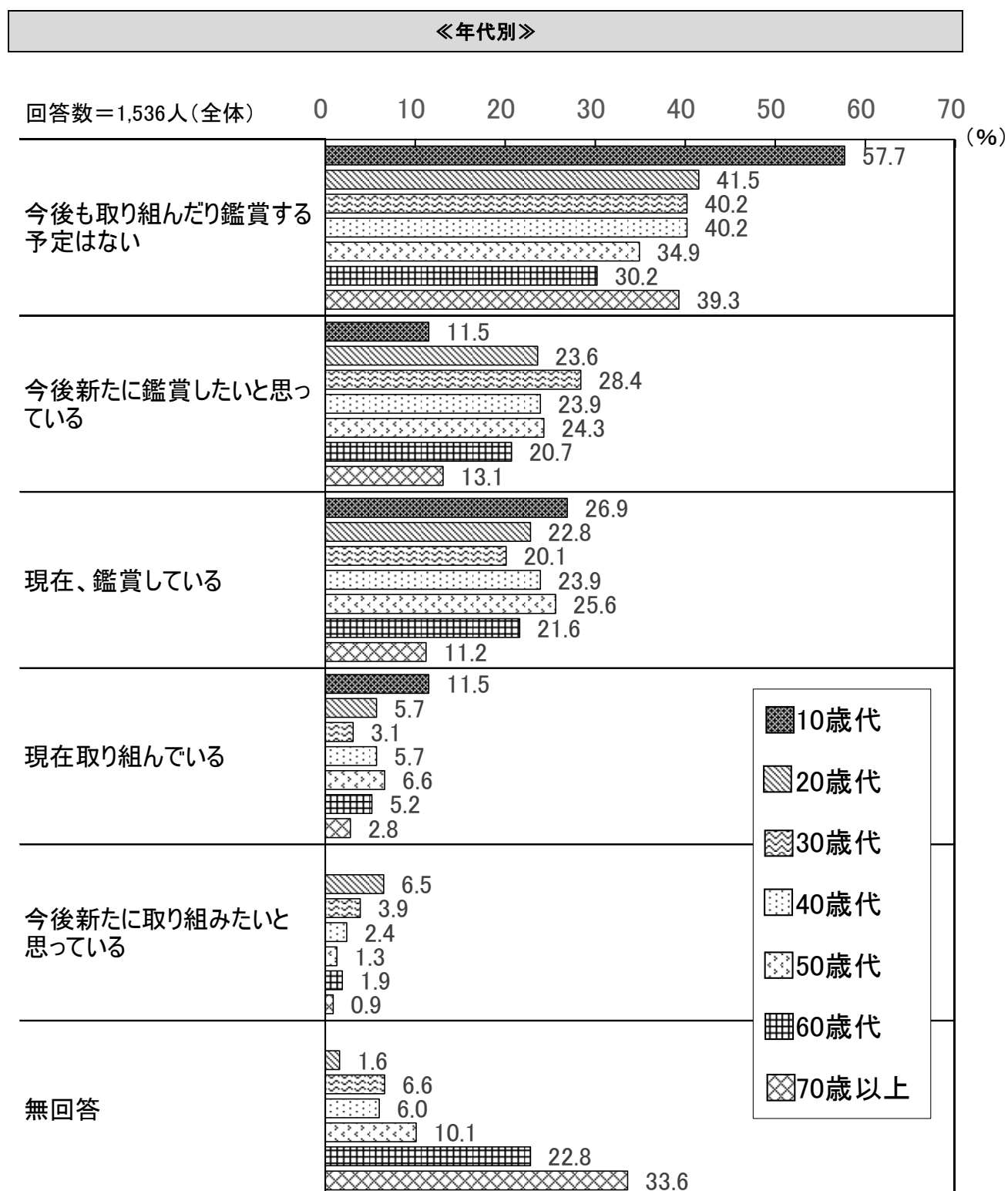
【性別】

男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっており、次いで、男性では「現在、鑑賞している」が、女性では「今後新たに組みたいと思っている」が続いている。



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

2 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真など）

【総合】

「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が40.7%と1位になっている。

次いで、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が26.6%、「現在、鑑賞している」が14.3%と続いている。

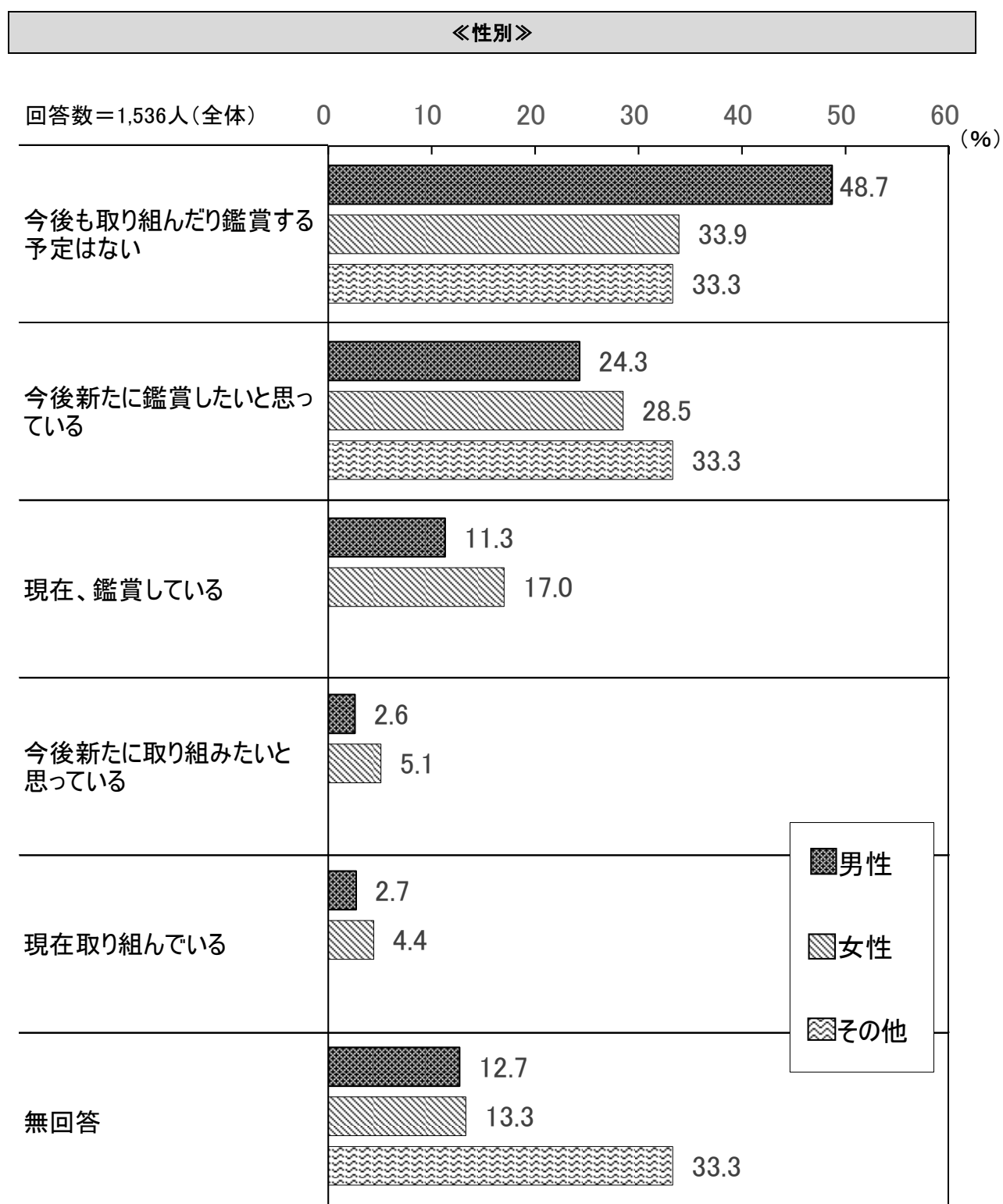
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
今後も取り組んだり鑑賞する予定はない	40.7	625 人
今後新たに鑑賞したいと思っている	26.6	409 人
現在、鑑賞している	14.3	220 人
今後新たに取り組みたいと思っている	3.9	60 人
現在取り組んでいる	3.6	55 人
無回答	13.1	201 人

グラフ単位(%)

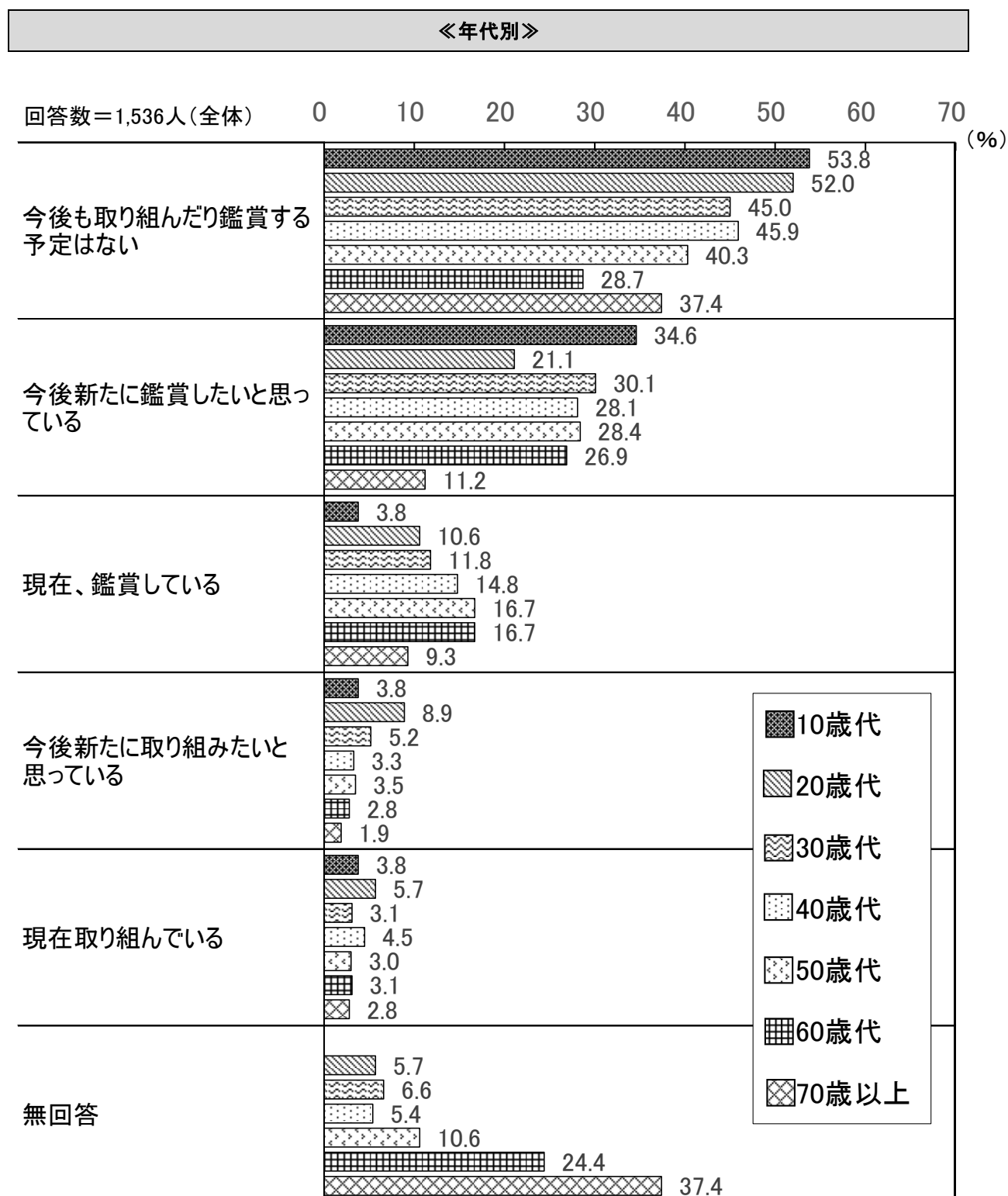
【性別】

男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



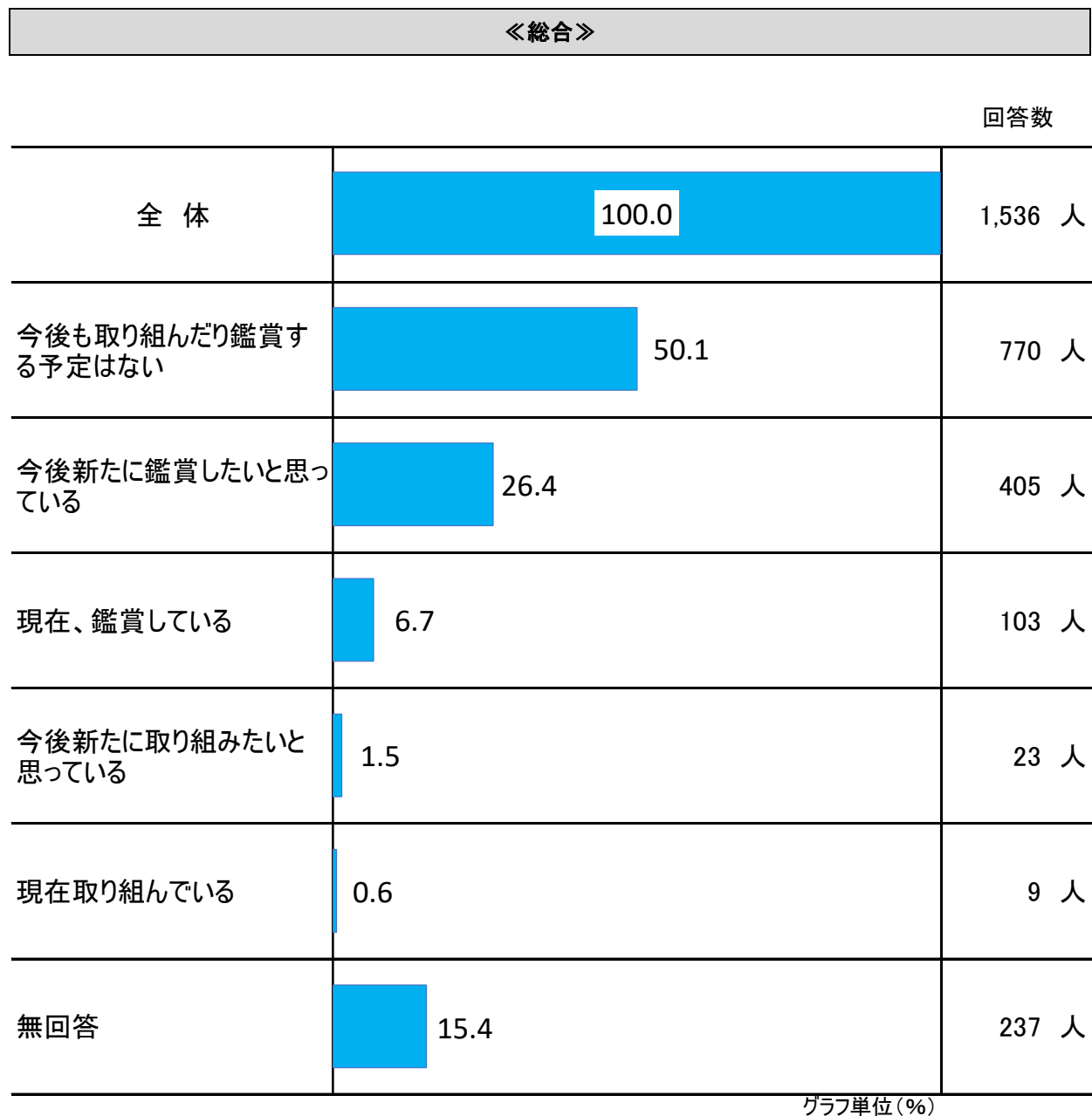
問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

3 演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）

【総合】

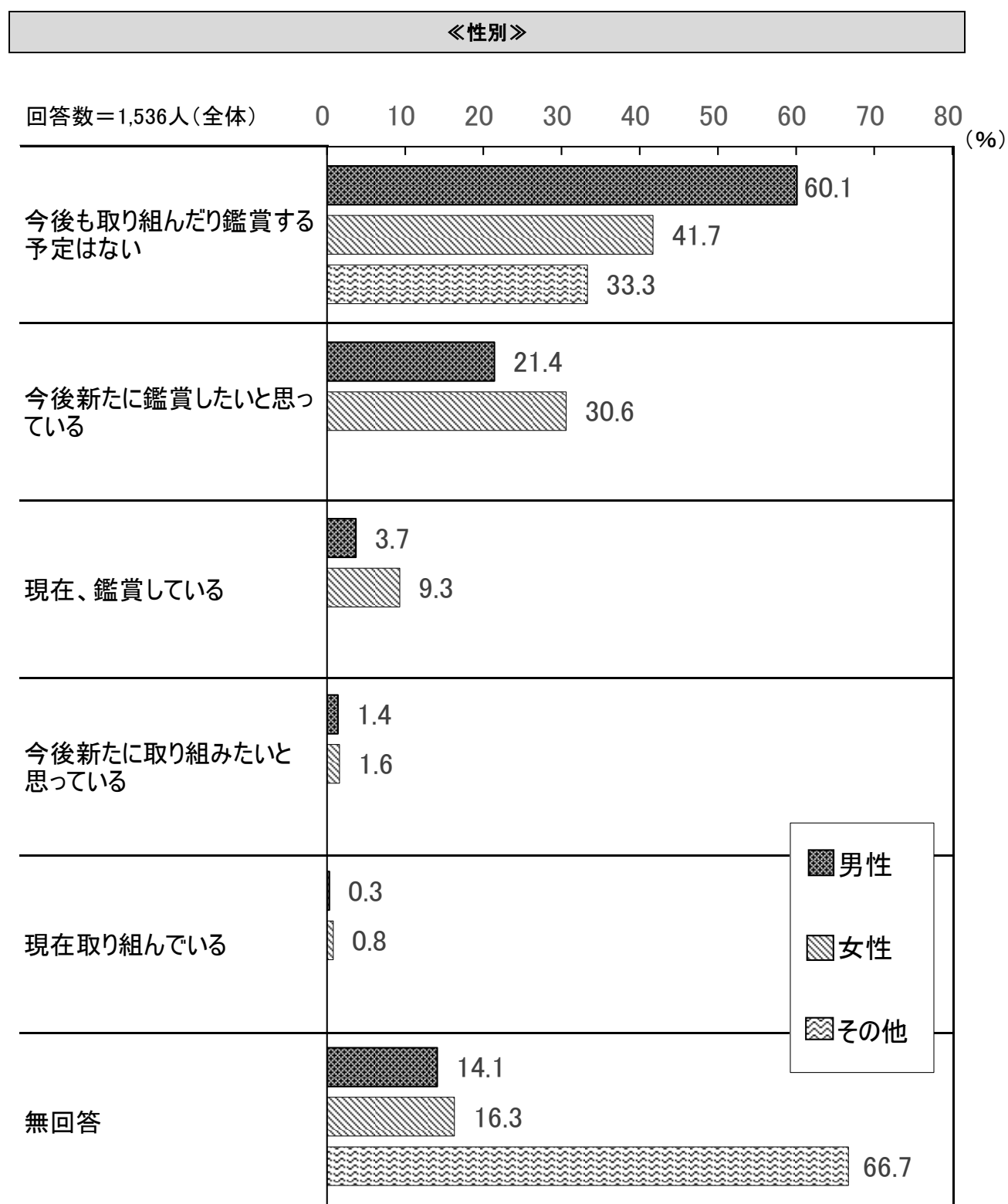
「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が50.1%と1位になっている。

次いで、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が26.4%、「現在、鑑賞している」が6.7%と続いている。



【性別】

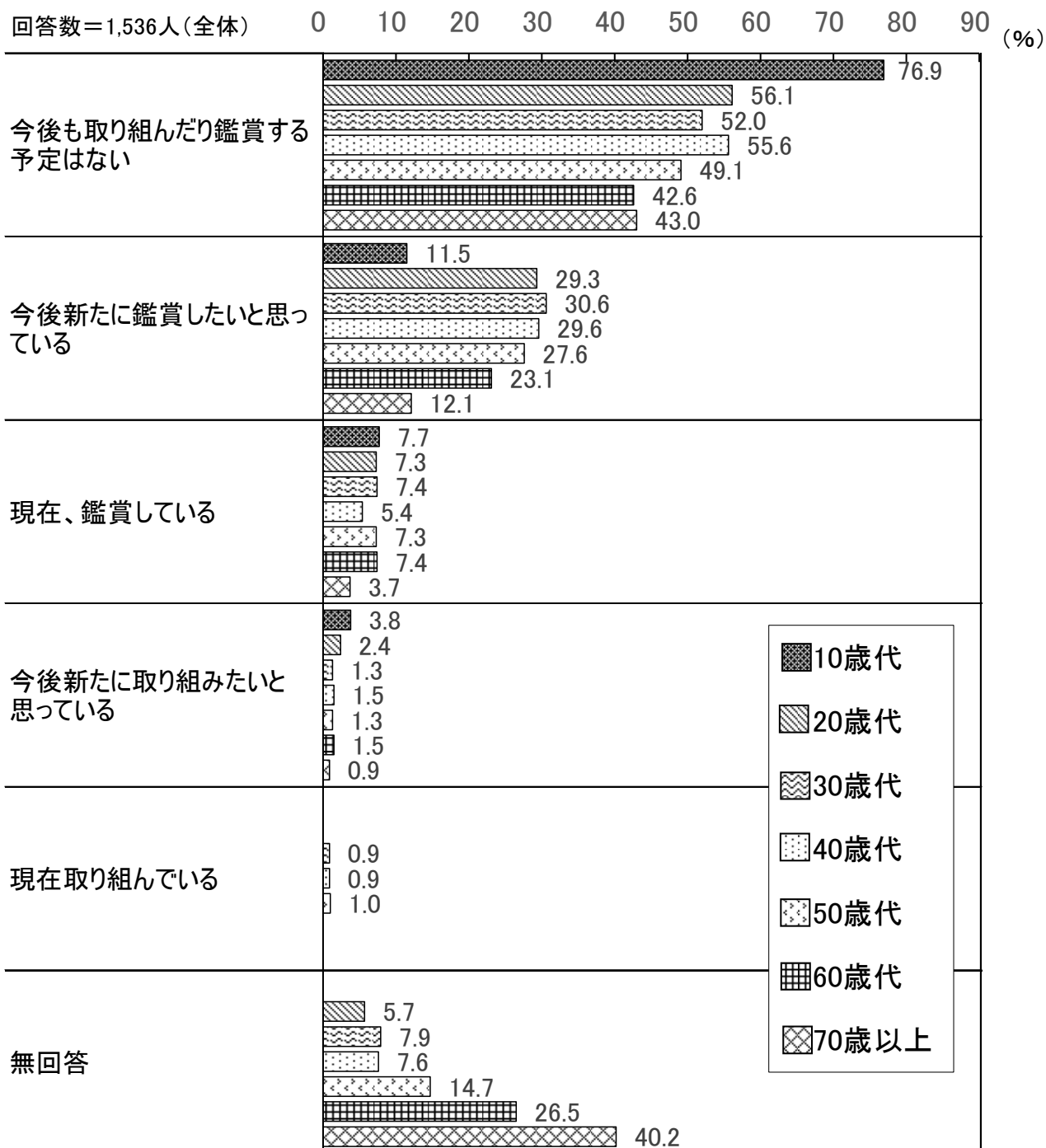
男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。

《年代別》



問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

4 舞踊(日本舞踊、バレエ、モダンダンスなど)

【総合】

「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が 65.6%と 1 位になっている。

次いで、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が 13.2%、「現在、鑑賞している」が 3.7%と続いている。

《総合》

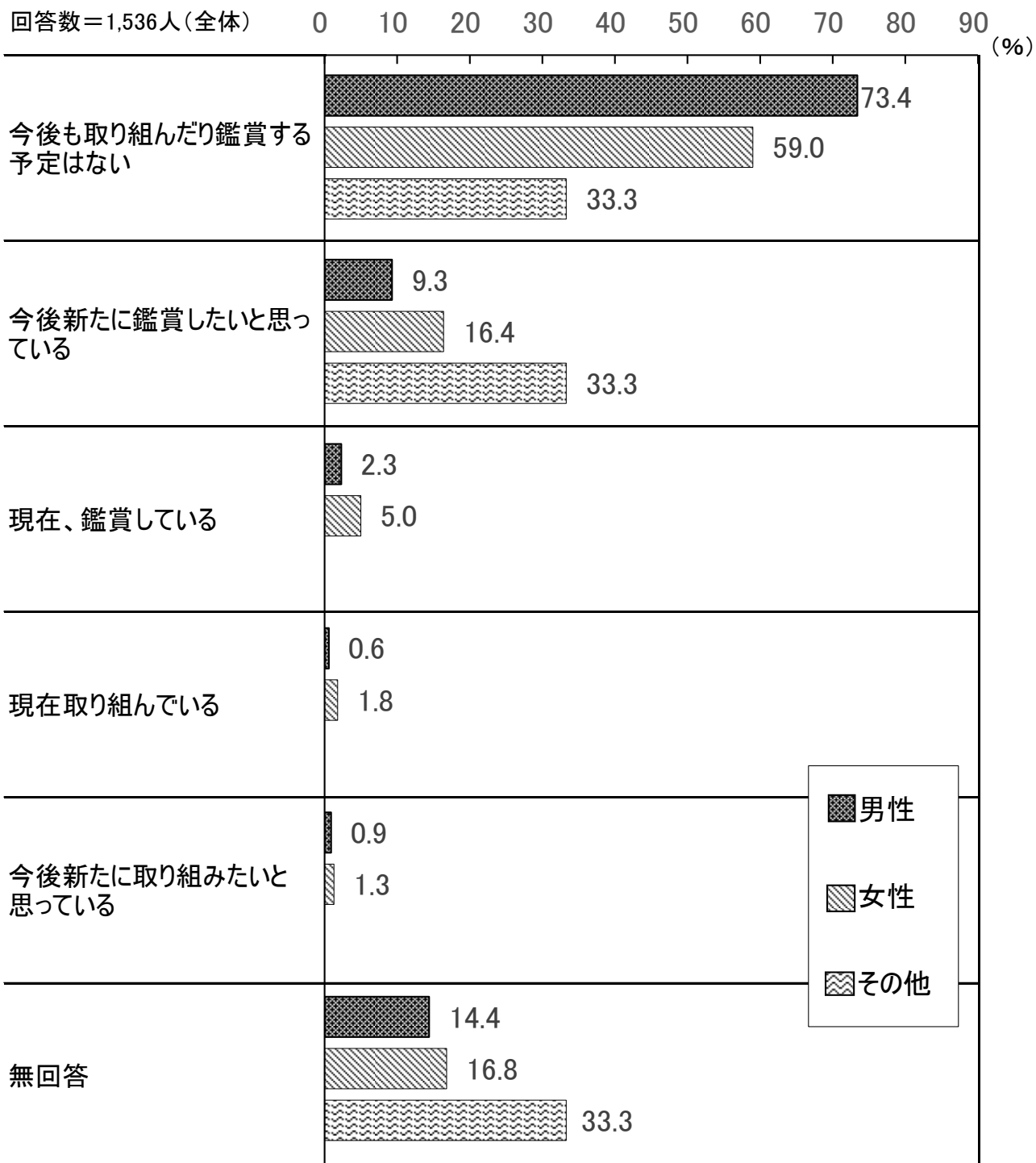
		回答数
全 体	100.0	1,536 人
今後も取り組んだり鑑賞する予定はない	65.6	1,007 人
今後新たに鑑賞したいと思っている	13.2	203 人
現在、鑑賞している	3.7	57 人
現在取り組んでいる	1.2	19 人
今後新たに取り組みたいと思っている	1.1	17 人
無回答	15.8	242 人

グラフ単位(%)

【性別】

男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。

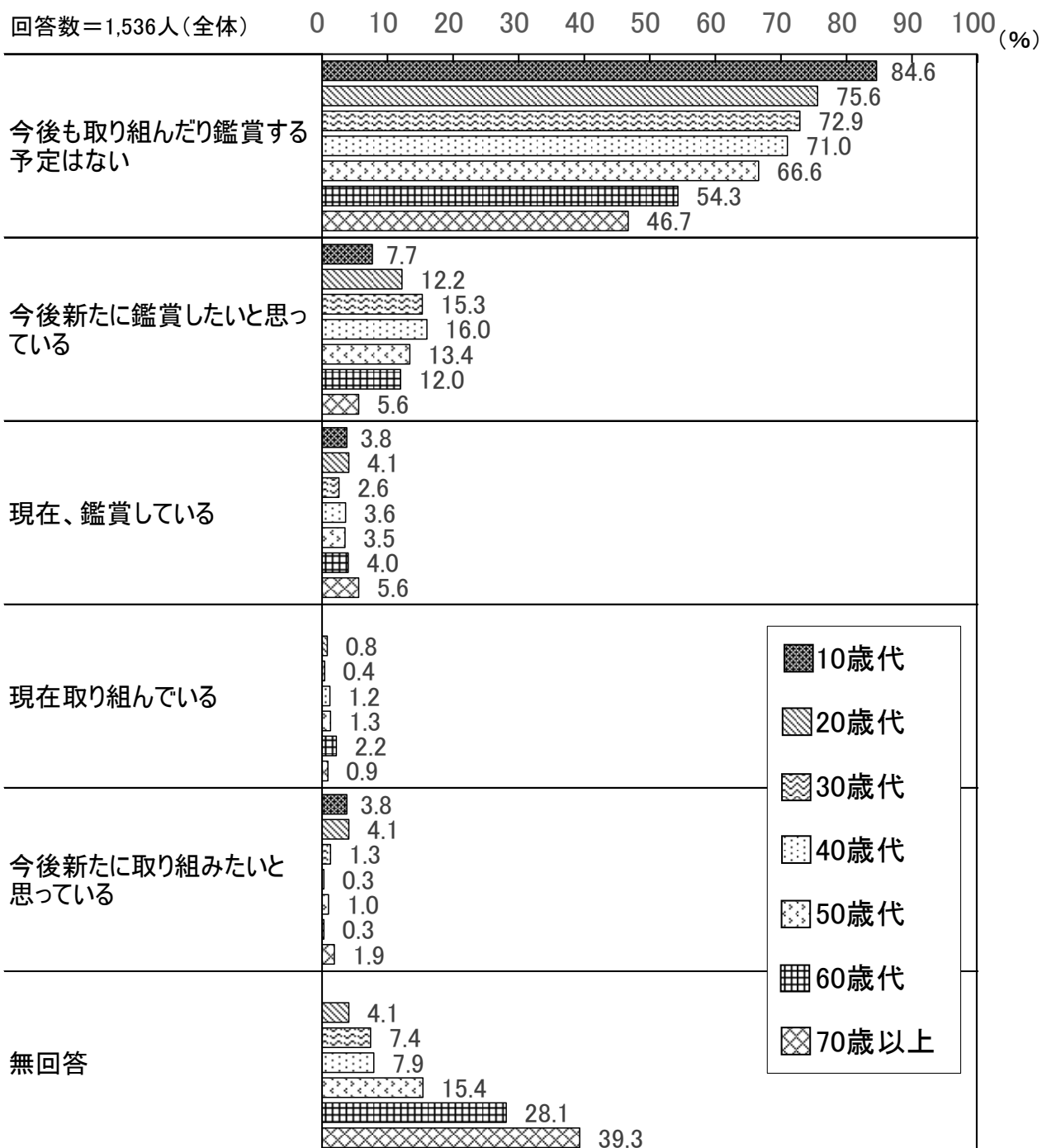
《性別》



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。

《年代別》



問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

5 文学(小説、詩、短歌、俳句など)

【総合】

「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が49.3%と1位になっている。

次いで、「現在、鑑賞している」が16.9%、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が15.0%と続いている。

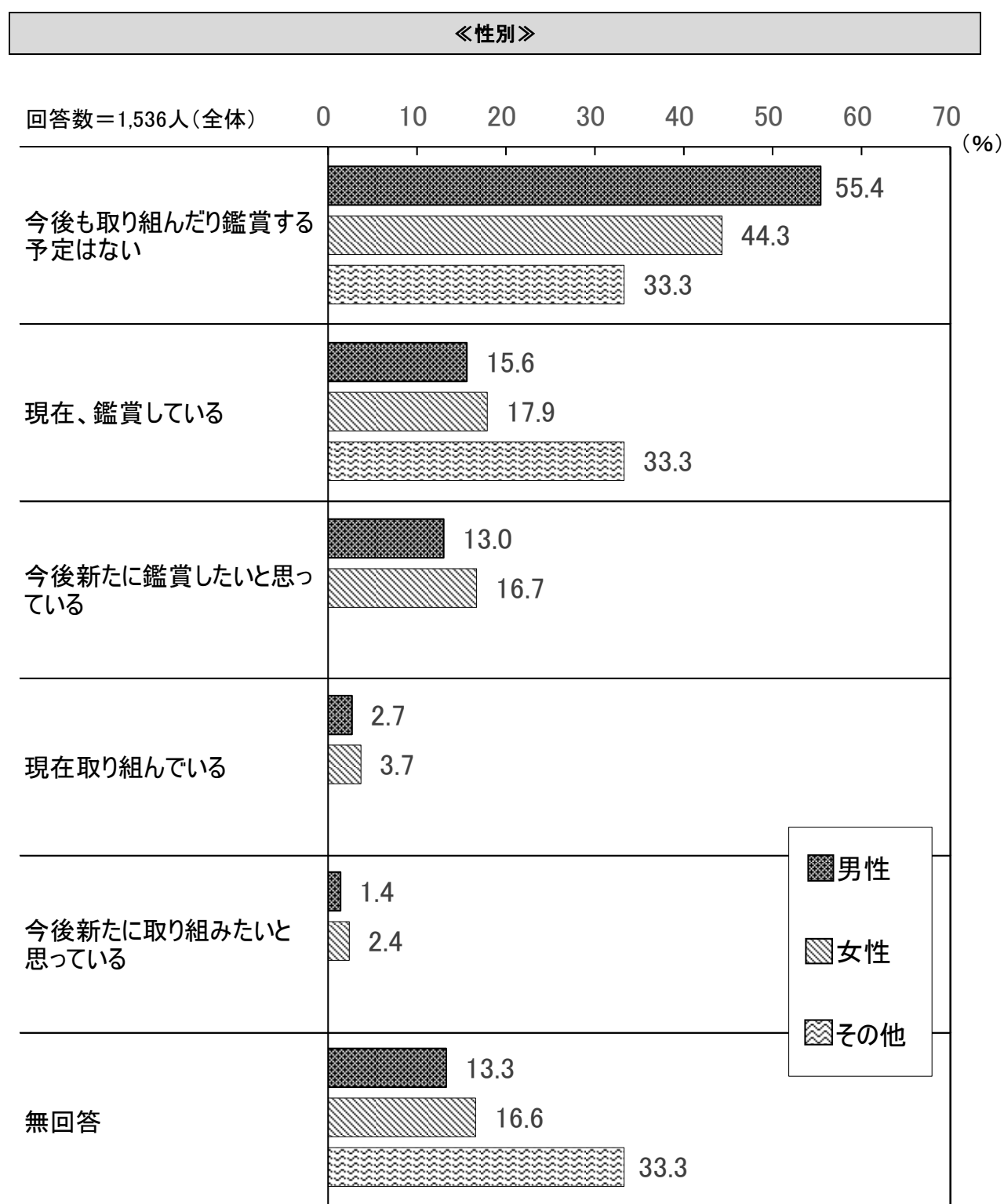
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
今後も取り組んだり鑑賞する予定はない	49.3	758 人
現在、鑑賞している	16.9	259 人
今後新たに鑑賞したいと思っている	15.0	230 人
現在取り組んでいる	3.3	50 人
今後新たに取り組みたいと思っている	2.0	30 人
無回答	15.1	232 人

グラフ単位(%)

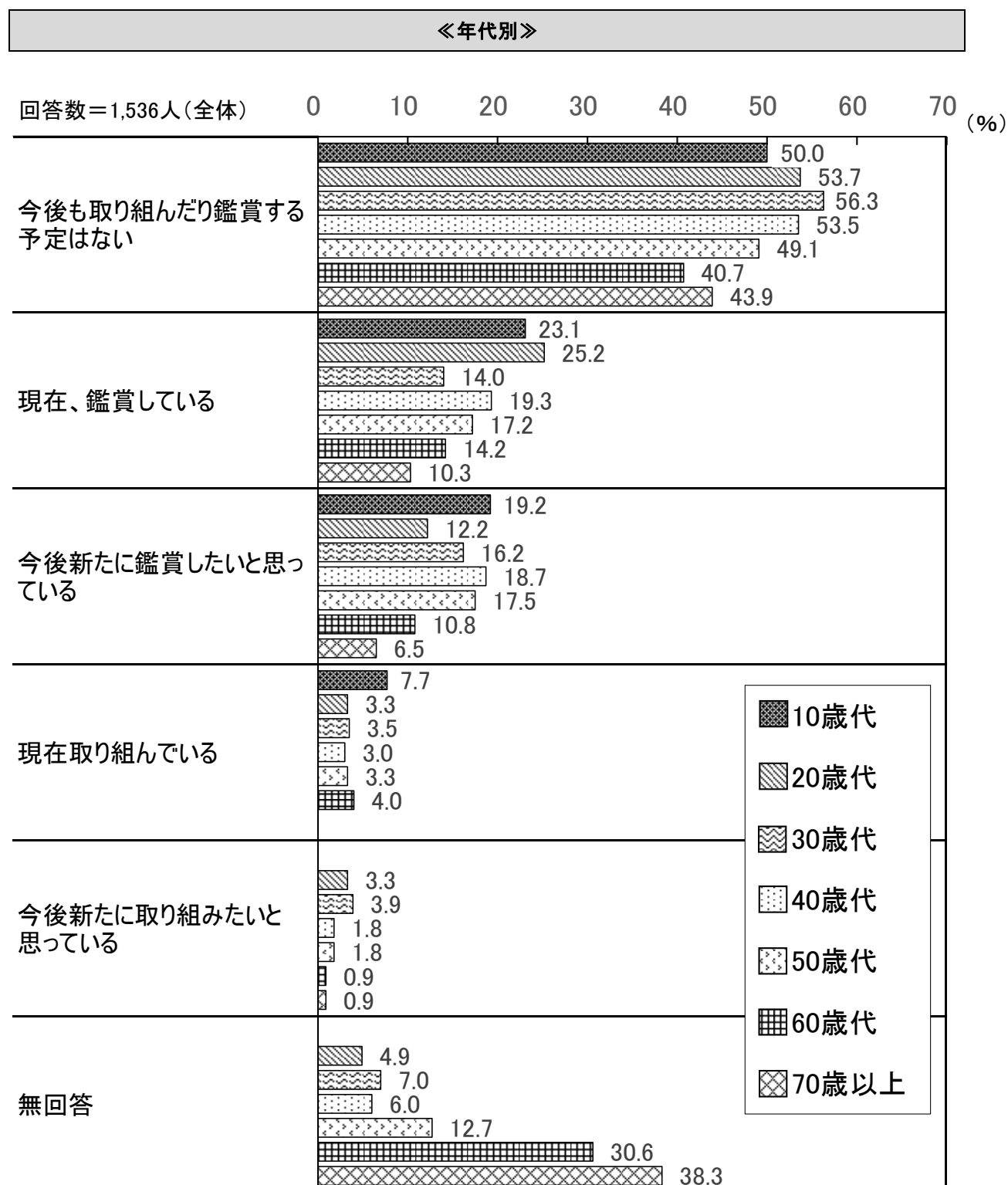
【性別】

男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

6 メディア芸術(まんが、アニメーション、映画など)

【総合】

「現在、鑑賞している」が38.6%と1位になっている。

次いで、「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が24.2%、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が18.8%と続いている。

《総合》

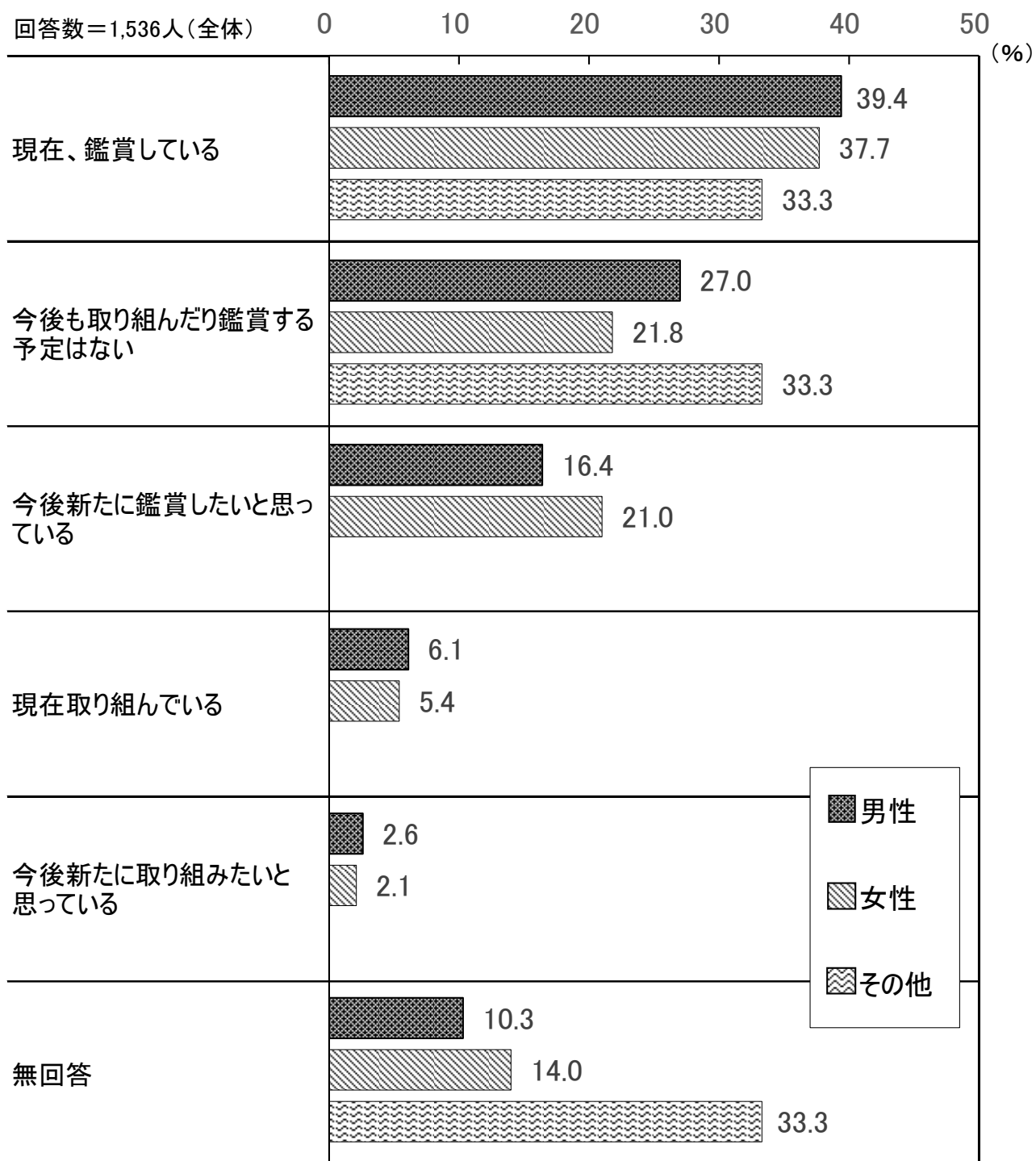
		回答数
全 体	100.0	1,536 人
現在、鑑賞している	38.6	593 人
今後も取り組んだり鑑賞する予定はない	24.2	371 人
今後新たに鑑賞したいと思っている	18.8	289 人
現在取り組んでいる	5.8	89 人
今後新たに取り組みたいと思っている	2.3	35 人
無回答	12.3	189 人

グラフ単位(%)

【性別】

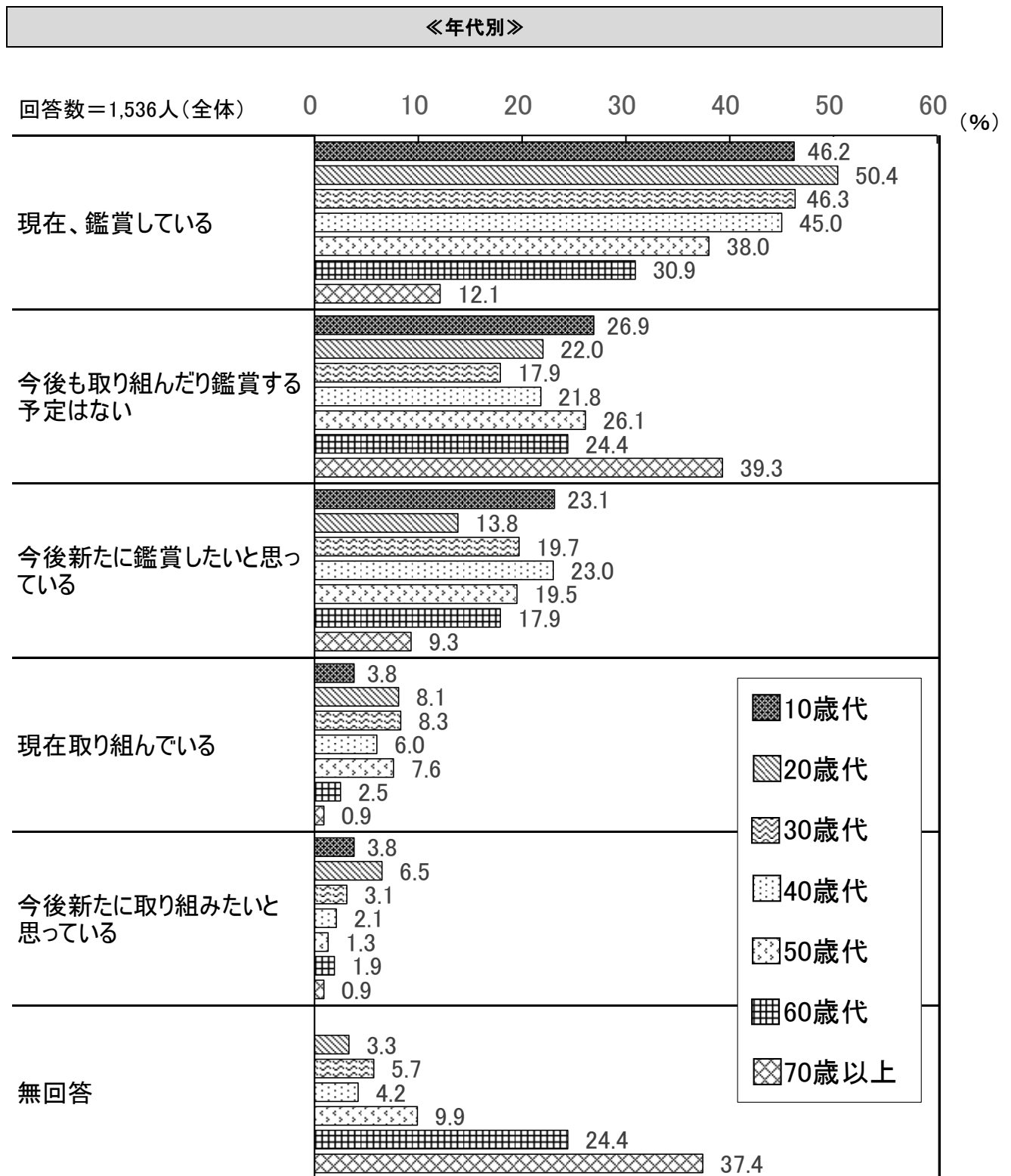
男女ともに「現在、鑑賞している」が最も高くなっている。

《性別》



【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「現在、鑑賞している」が最も高く、70歳以上では「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

7 生活文化(茶道、華道、書道、囲碁、将棋など)

【総合】

「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が55.5%と1位になっている。

次いで、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が16.7%、「今後新たに取り組みたいと思っている」が5.0%と続いている。

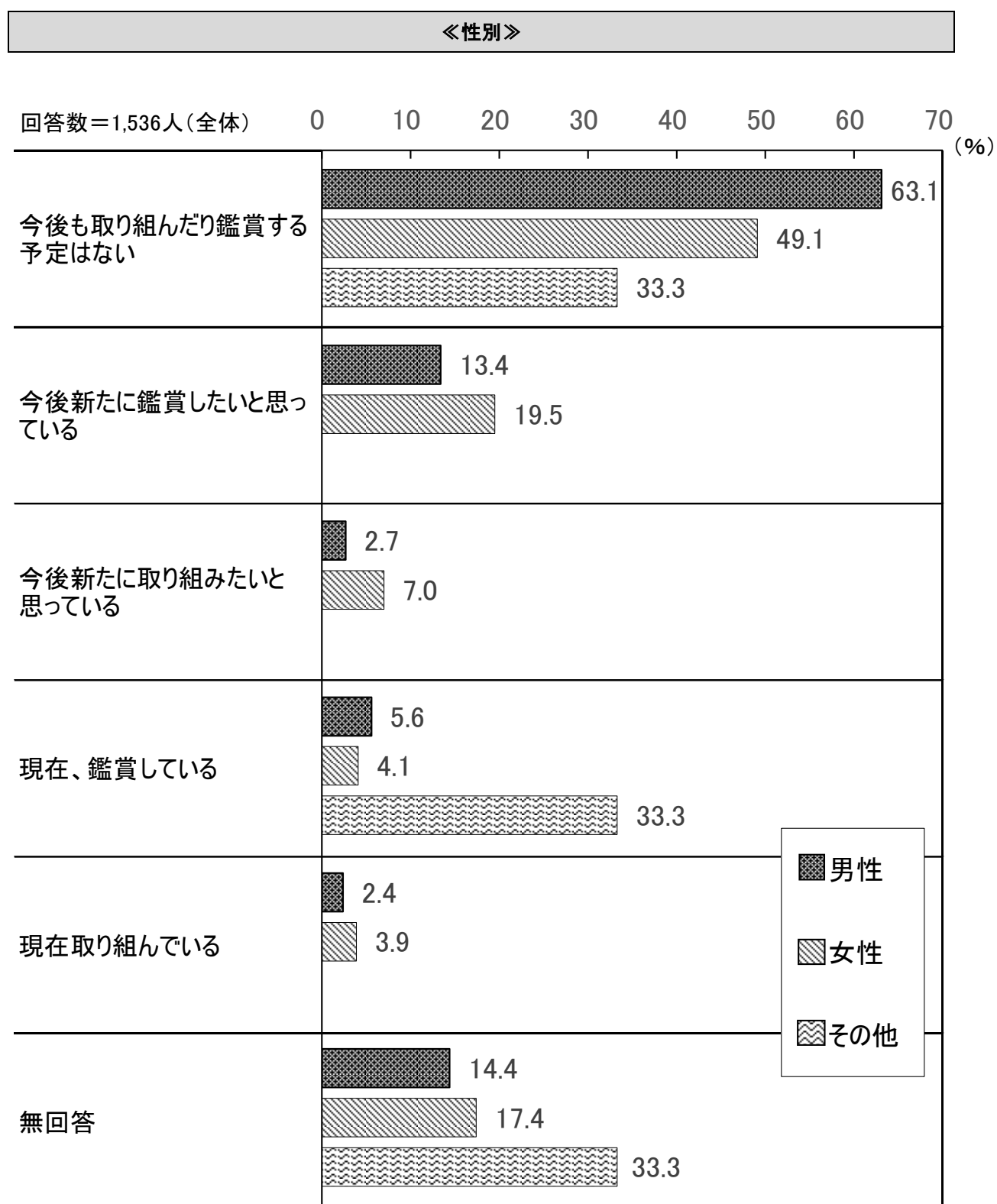
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
今後も取り組んだり鑑賞する予定はない	55.5	852 人
今後新たに鑑賞したいと思っている	16.7	256 人
今後新たに取り組みたいと思っている	5.0	77 人
現在、鑑賞している	4.9	75 人
現在取り組んでいる	3.2	49 人
無回答	16.1	247 人

グラフ単位(%)

【性別】

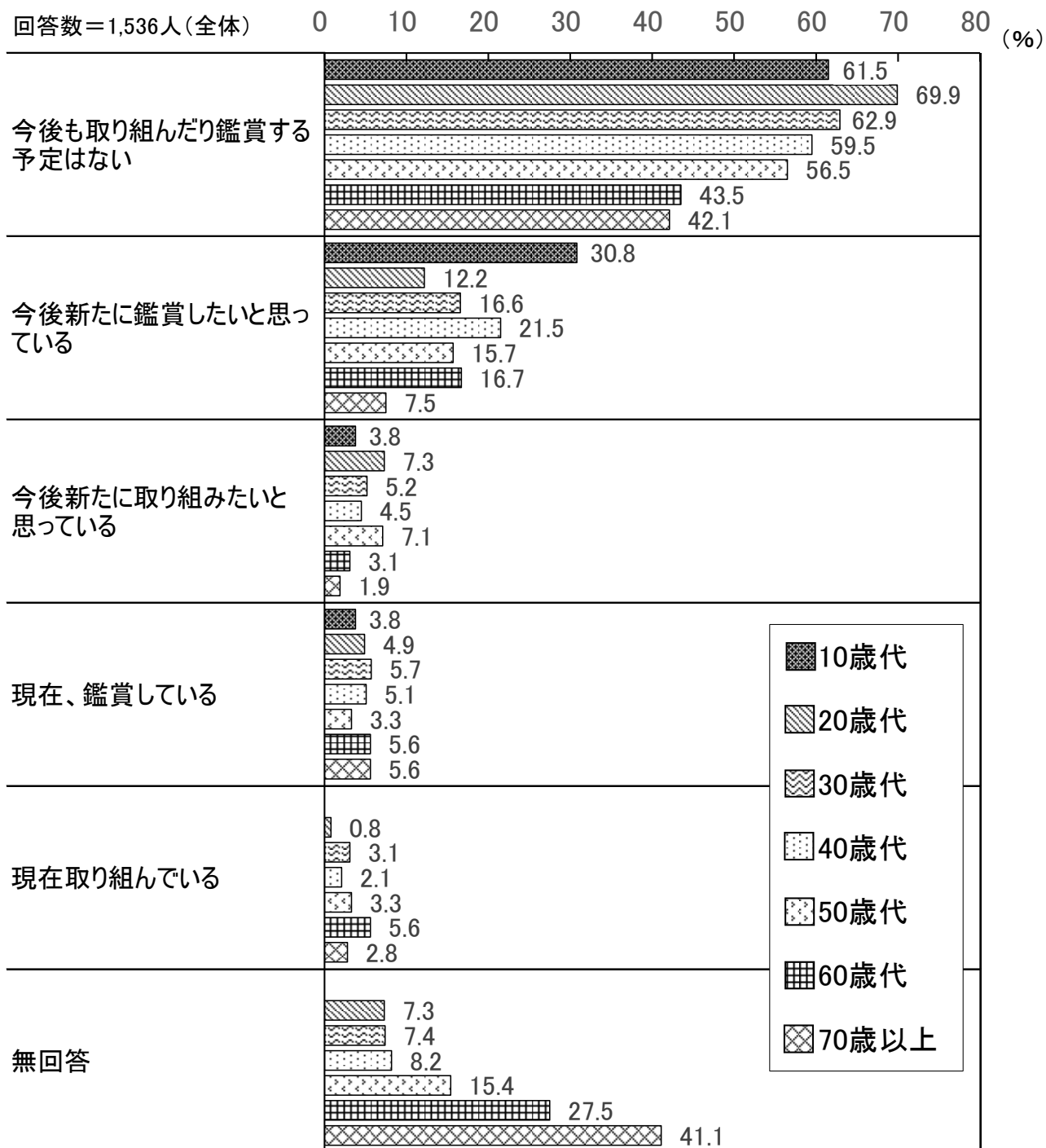
男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。

《年代別》



問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

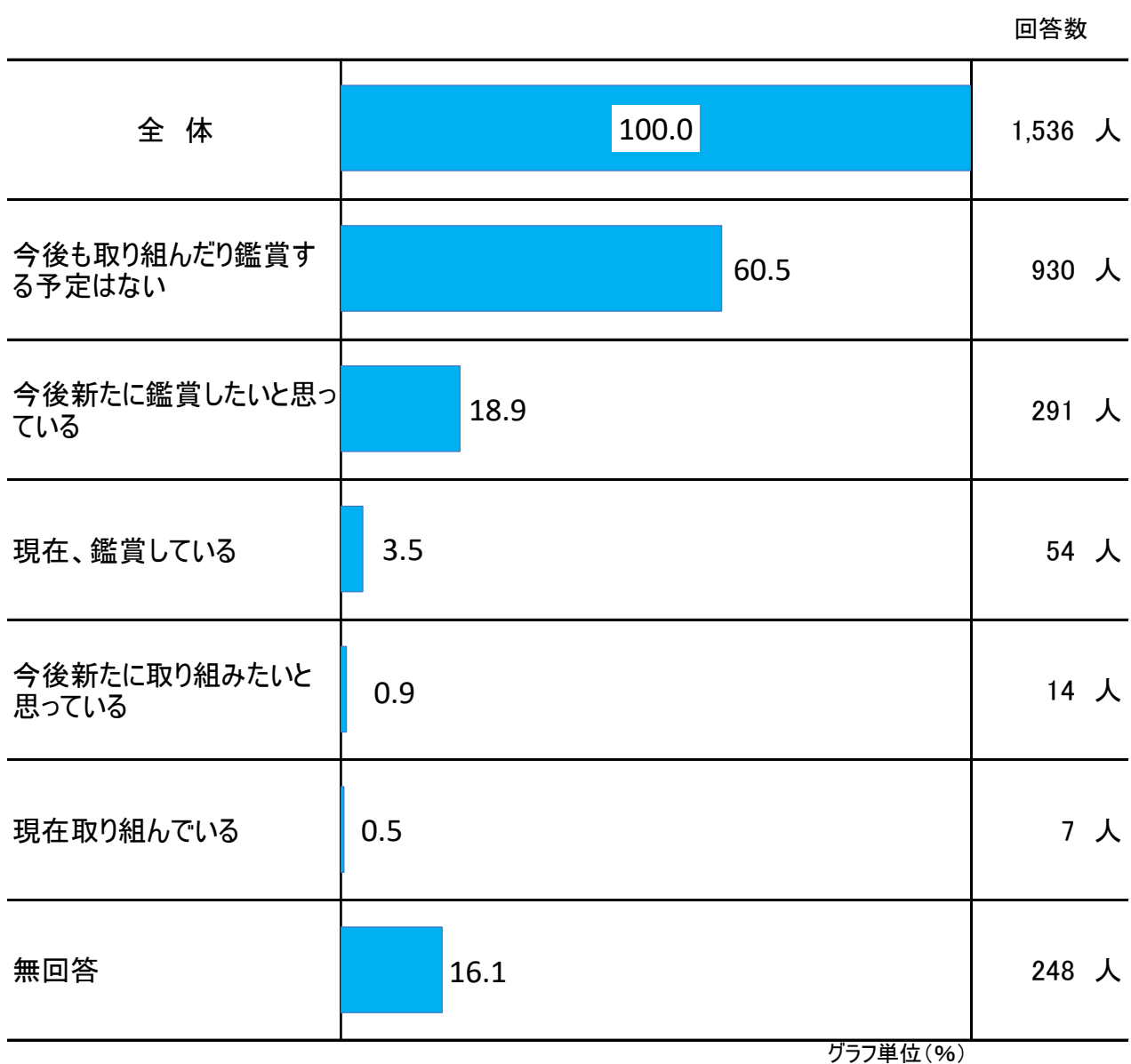
8 伝統芸能(能楽、歌舞伎、箏曲など)

【総合】

「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が60.5%と1位になっている。

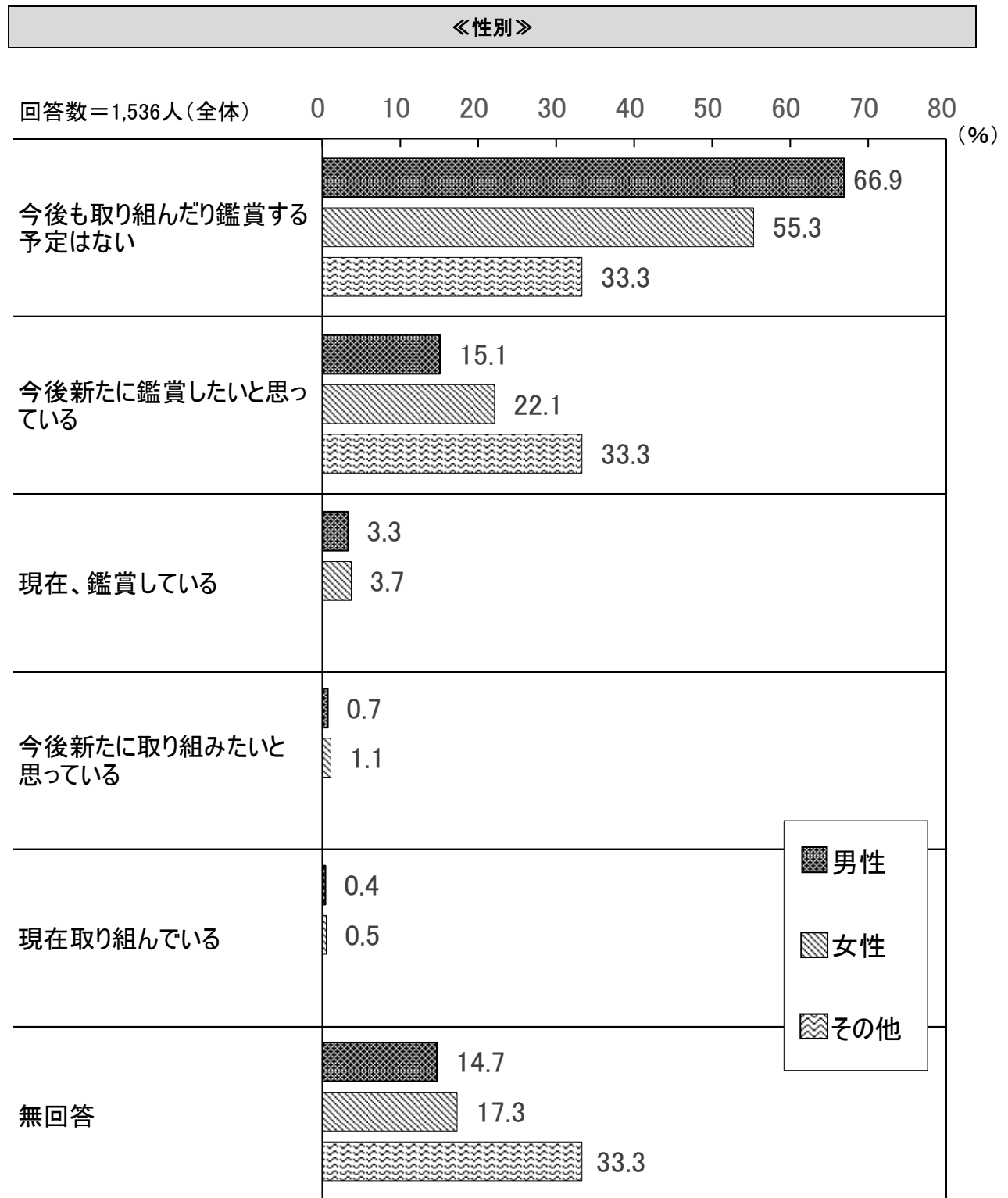
次いで、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が18.9%、「現在、鑑賞している」が3.5%と続いている。

《総合》



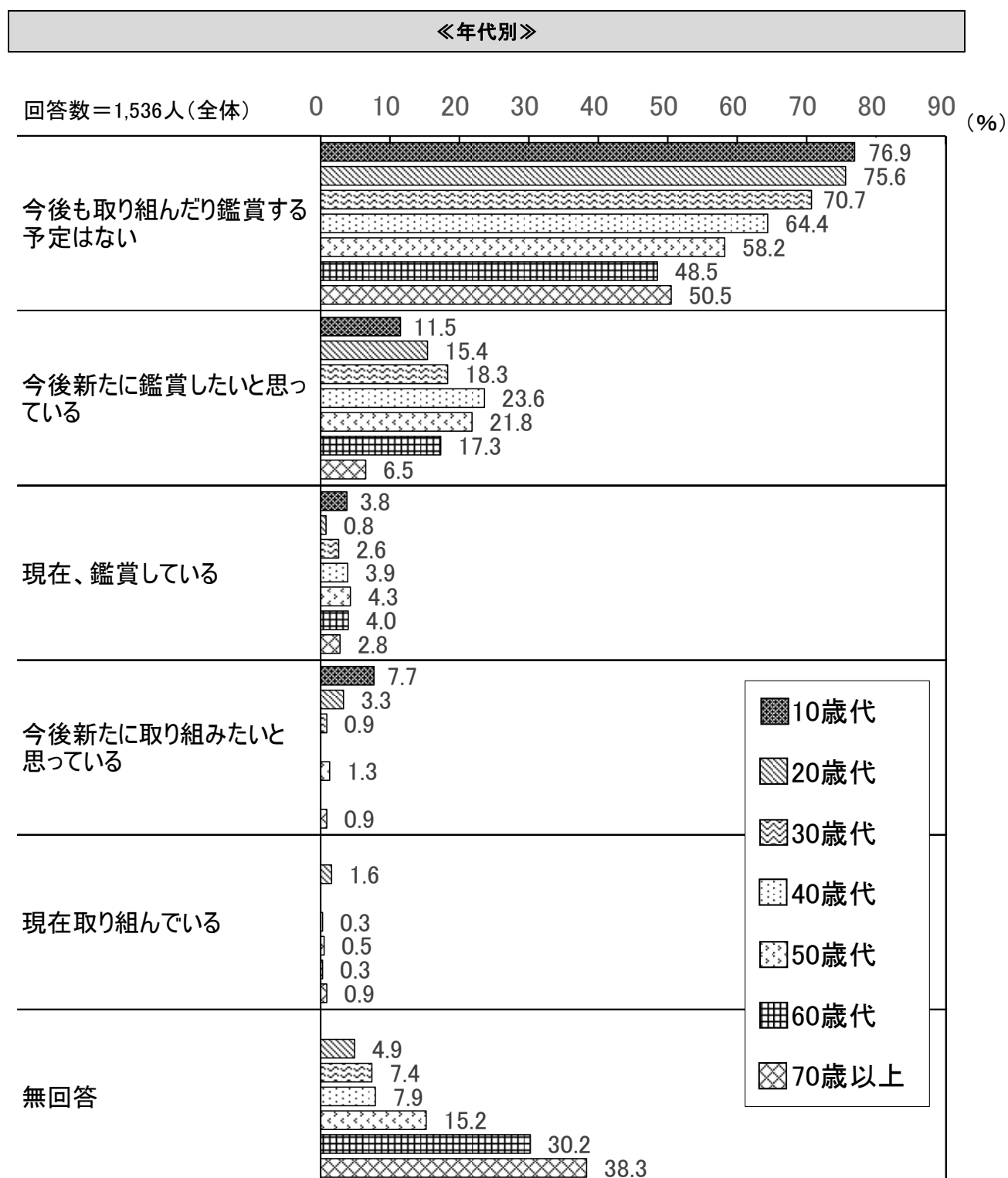
【性別】

男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

9 歴史・文化財(建造物、史跡、名勝など)

【総合】

「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が40.3%と1位になっている。

次いで、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が26.8%、「現在、鑑賞している」が14.1%と続いている。

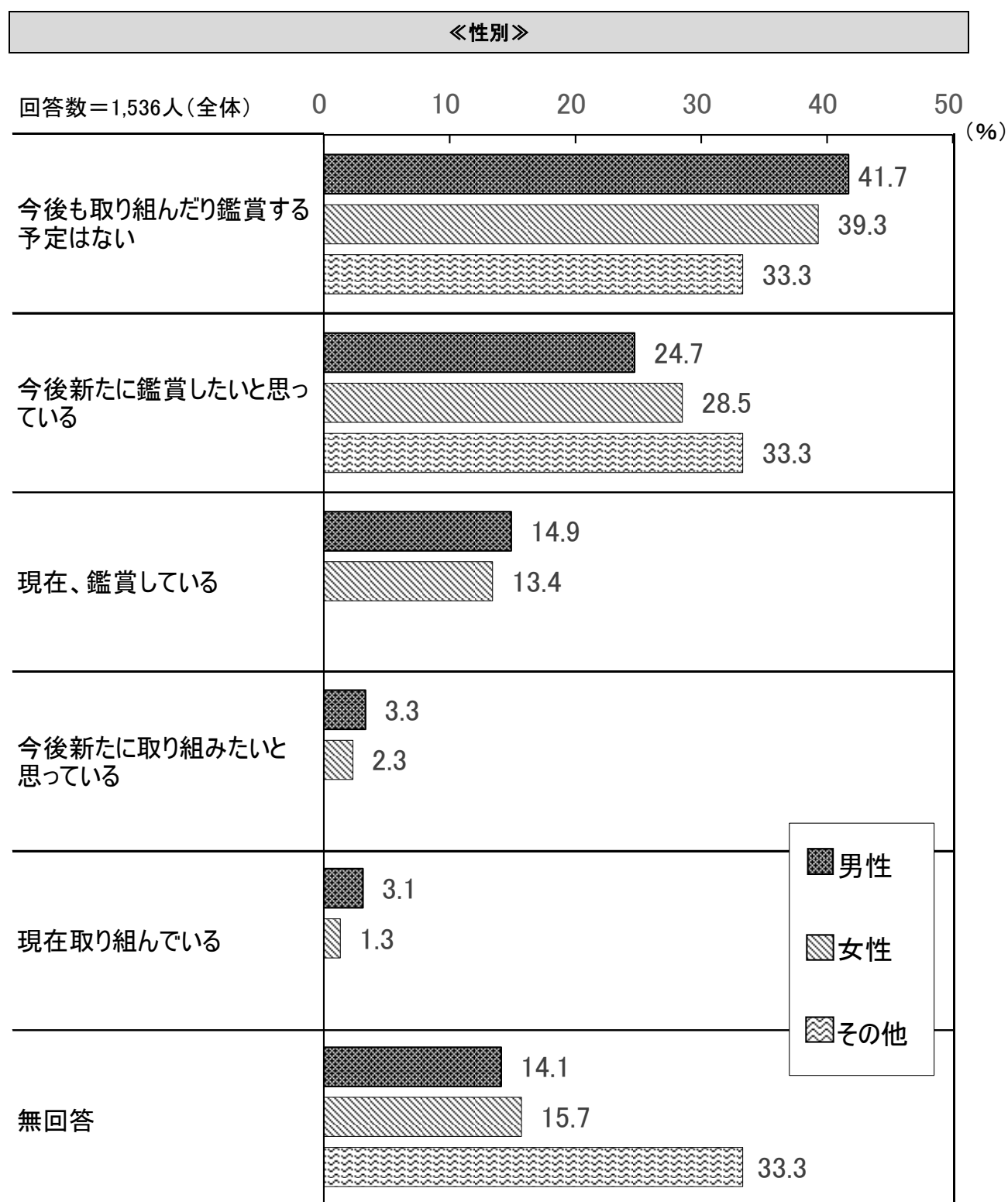
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
今後も取り組んだり鑑賞する予定はない	40.3	619 人
今後新たに鑑賞したいと思っている	26.8	412 人
現在、鑑賞している	14.1	217 人
今後新たに取り組みたいと思っている	2.7	42 人
現在取り組んでいる	2.1	33 人
無回答	15.0	231 人

グラフ単位(%)

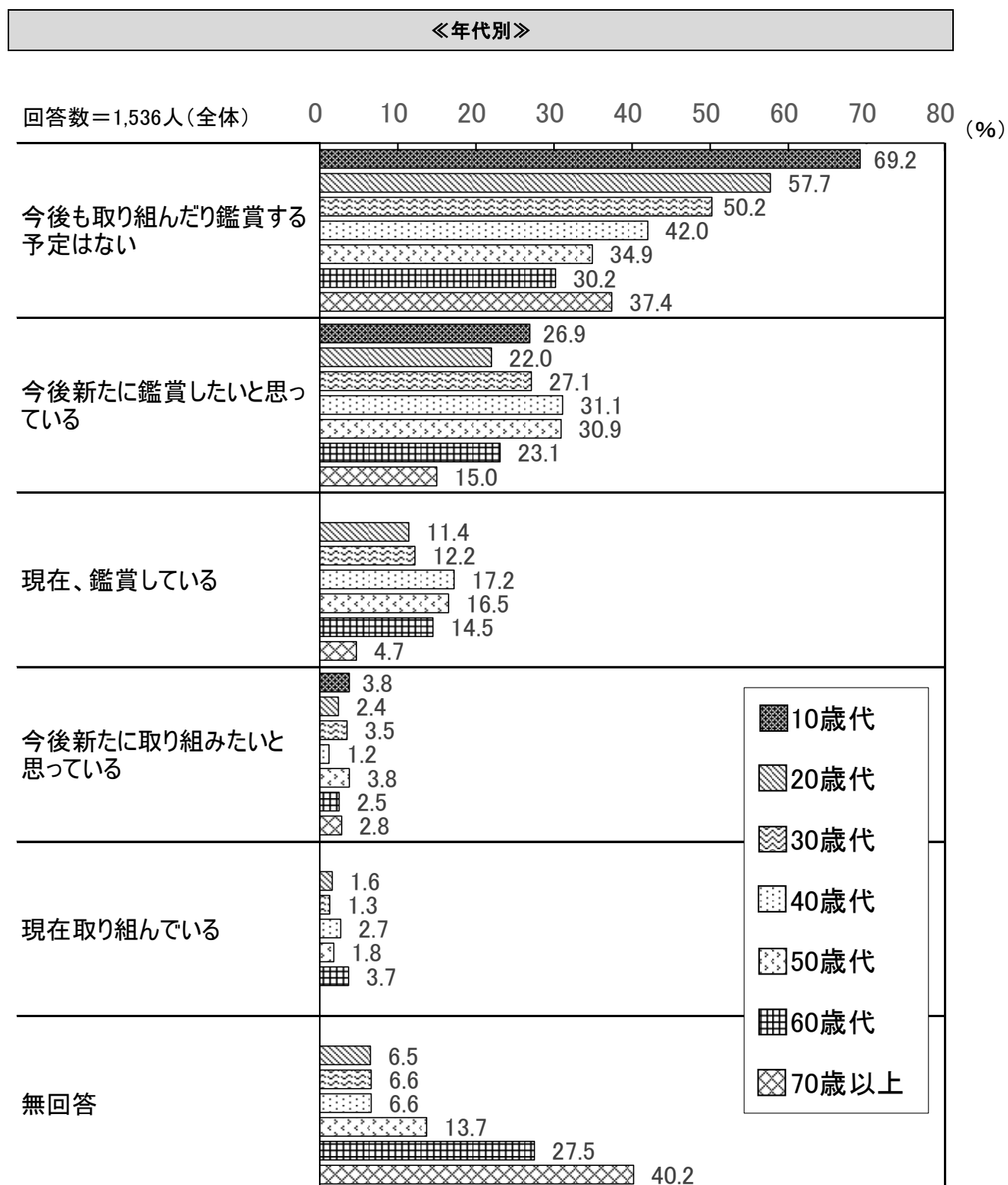
【性別】

男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きます。

10 芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)

【総合】

「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が45.3%と1位になっている。

次いで、「今後新たに鑑賞したいと思っている」が25.1%、「現在、鑑賞している」が12.2%と続いている。

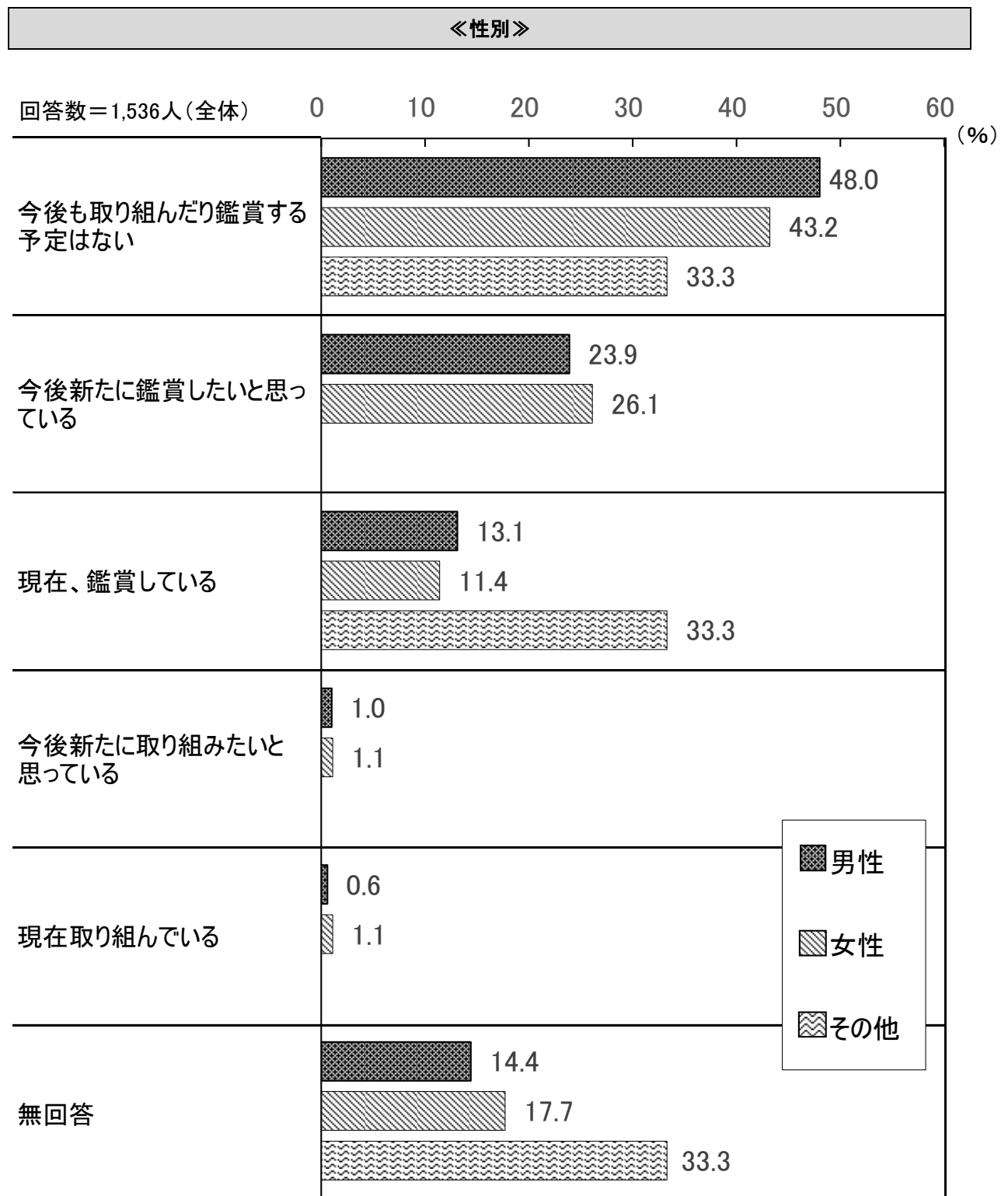
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
今後も取り組んだり鑑賞する予定はない	45.3	696 人
今後新たに鑑賞したいと思っている	25.1	385 人
現在、鑑賞している	12.2	188 人
今後新たに取り組みたいと思っている	1.0	16 人
現在取り組んでいる	0.8	13 人
無回答	16.2	249 人

グラフ単位(%)

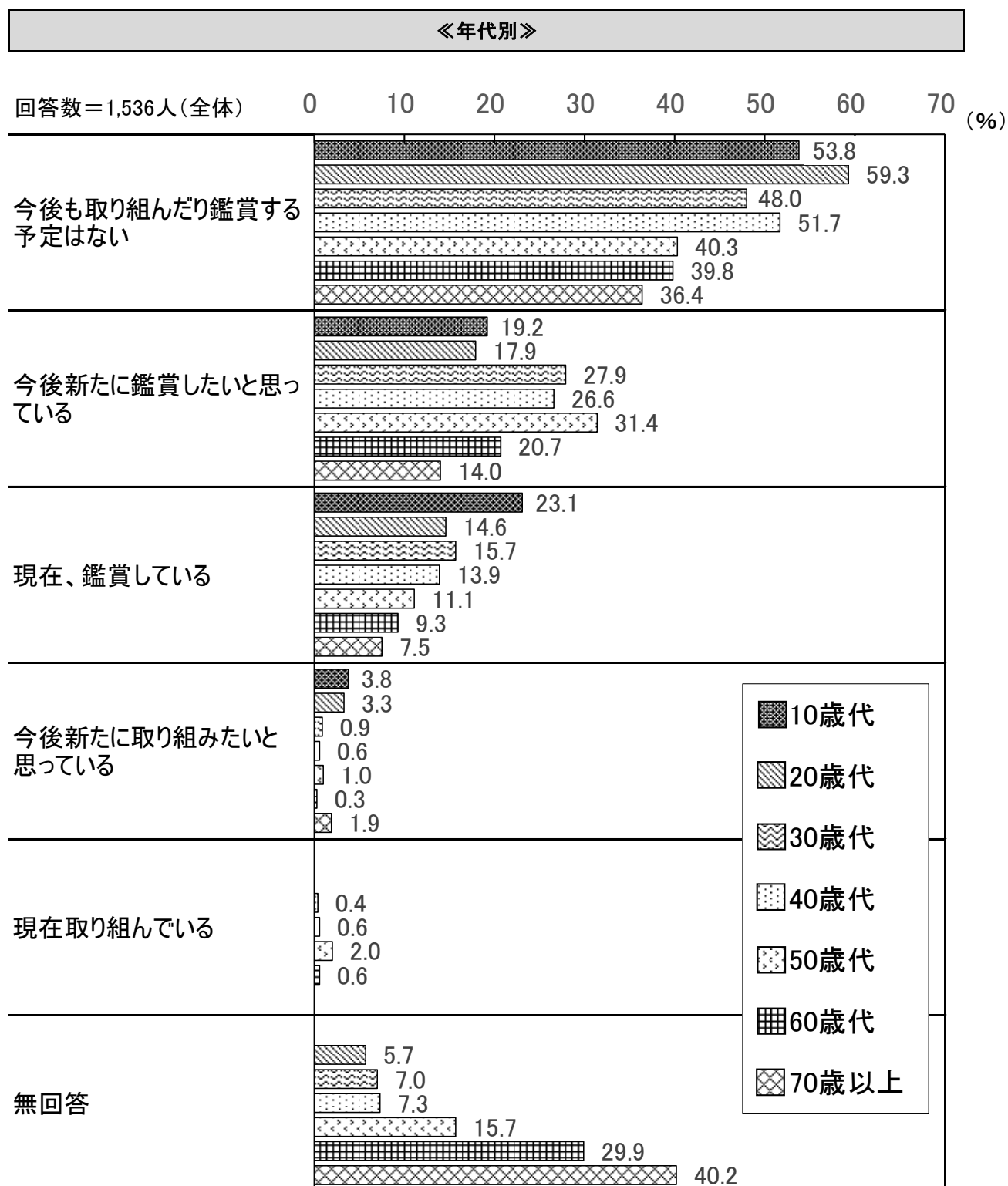
【性別】

男女ともに「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「今後も取り組んだり鑑賞する予定はない」が最も高くなっている。



問 33 今後、国内外に発信していきたい本県の文化芸術は何だと思われますか。(2つまで○印)

【総合】

「よさこい祭り」が61.3%と1位になっている。

次いで、「食文化（皿鉢料理、おきやく等）」が48.0%、「お遍路文化」が24.1%と続いている。

《総合》

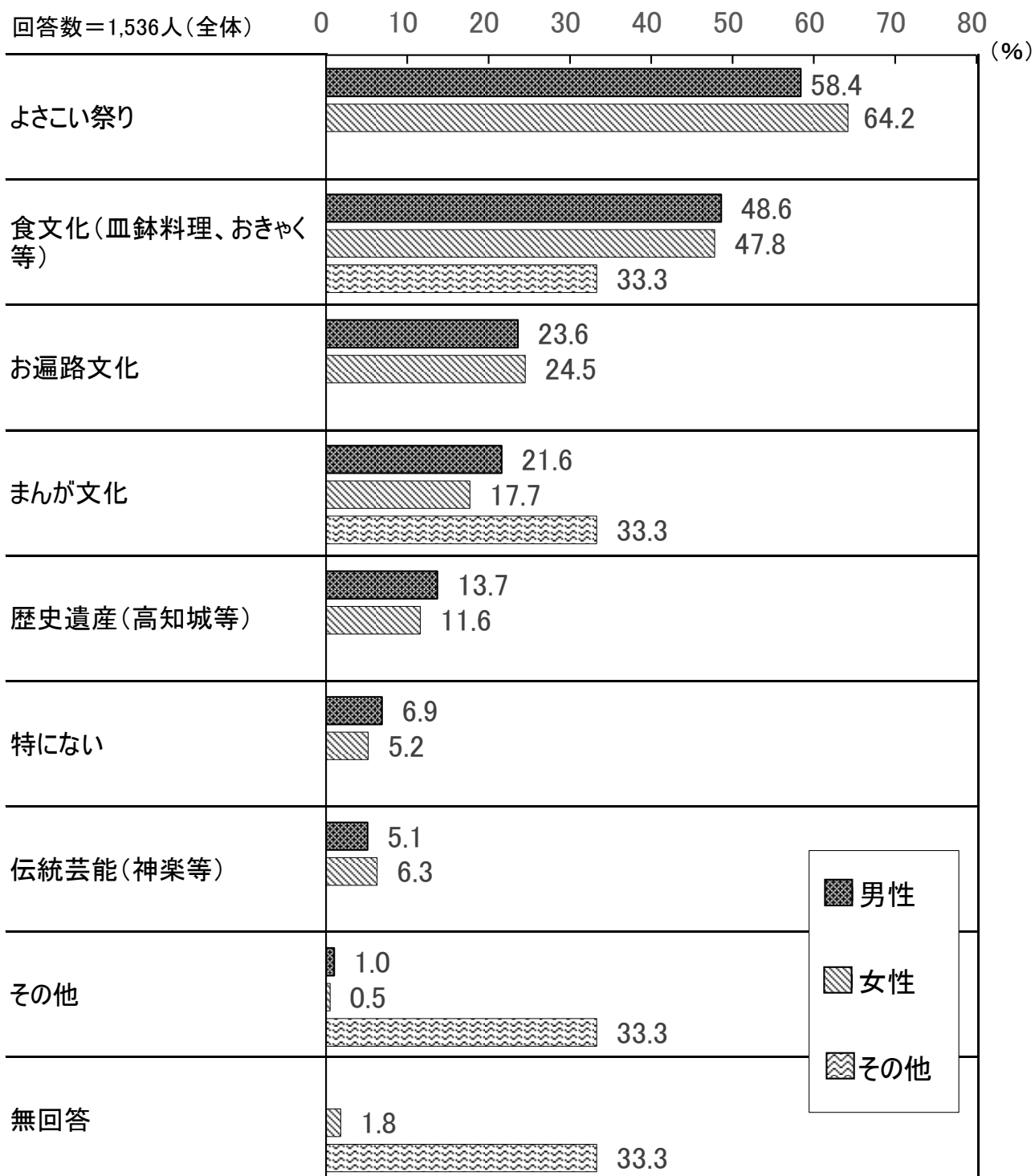
		回答数
全 体	100.0	1,536 人
よさこい祭り	61.3	942 人
食文化（皿鉢料理、おきやく等）	48.0	738 人
お遍路文化	24.1	370 人
まんが文化	19.5	300 人
歴史遺産（高知城等）	12.6	194 人
特にない	5.9	91 人
伝統芸能（神楽等）	5.7	88 人
その他	0.8	13 人
無回答	1.0	16 人

グラフ単位(%)

【性別】

男女ともに「よさこい祭り」が最も高くなっている。

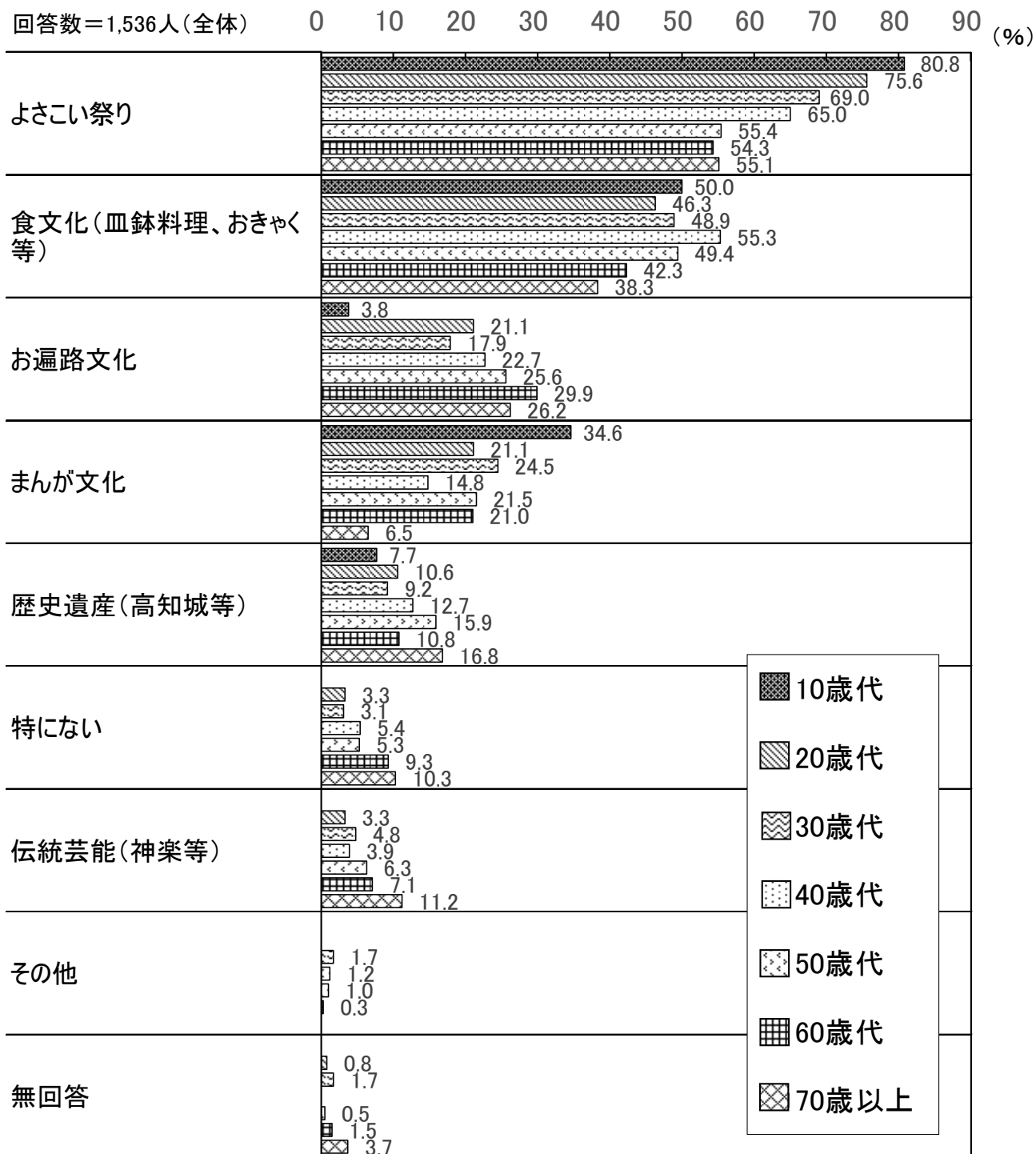
《性別》



【年代別】

すべての年代で「よさこい祭り」が最も高くなっている。

《年代別》



問 34 文化芸術の振興により、社会にもたらされる効果として期待することは何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「地域社会・経済の活性化」が 62.7%と 1 位になっている。

次いで、「観光客や移住者の増加」が 53.4%、「人々が生きる楽しみを見出せる」が 41.3%と続いている。

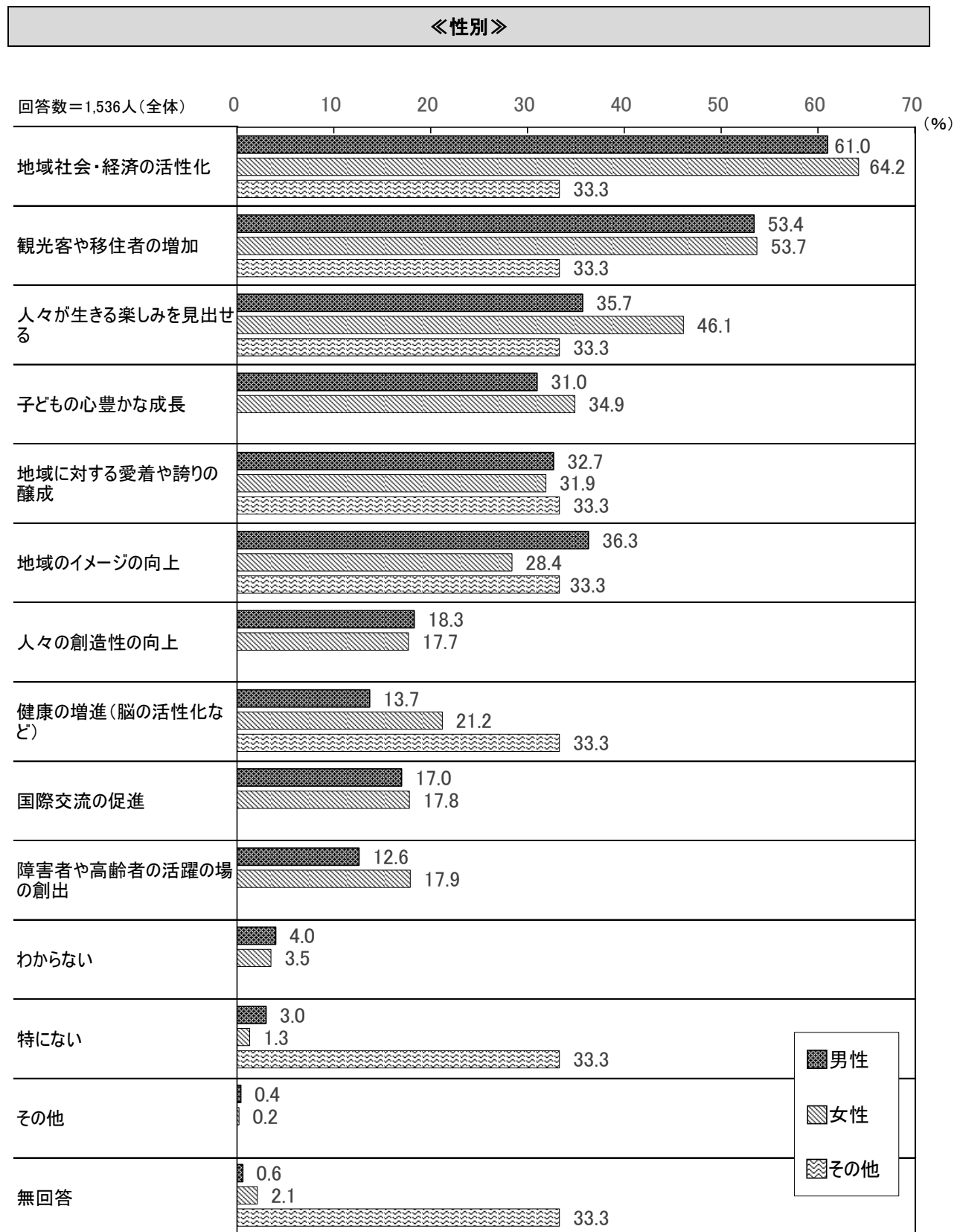
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
地域社会・経済の活性化	62.7	963 人
観光客や移住者の増加	53.4	820 人
人々が生きる楽しみを見出せる	41.3	635 人
子どもの心豊かな成長	33.0	507 人
地域に対する愛着や誇りの醸成	32.3	496 人
地域のイメージの向上	32.1	493 人
人々の創造性の向上	17.8	274 人
健康の増進(脳の活性化など)	17.7	272 人
国際交流の促進	17.4	267 人
障害者や高齢者の活躍の場の創出	15.4	237 人
わからない	3.7	57 人
特にない	2.2	34 人
その他	0.3	5 人
無回答	1.4	22 人

グラフ単位 (%)

【性別】

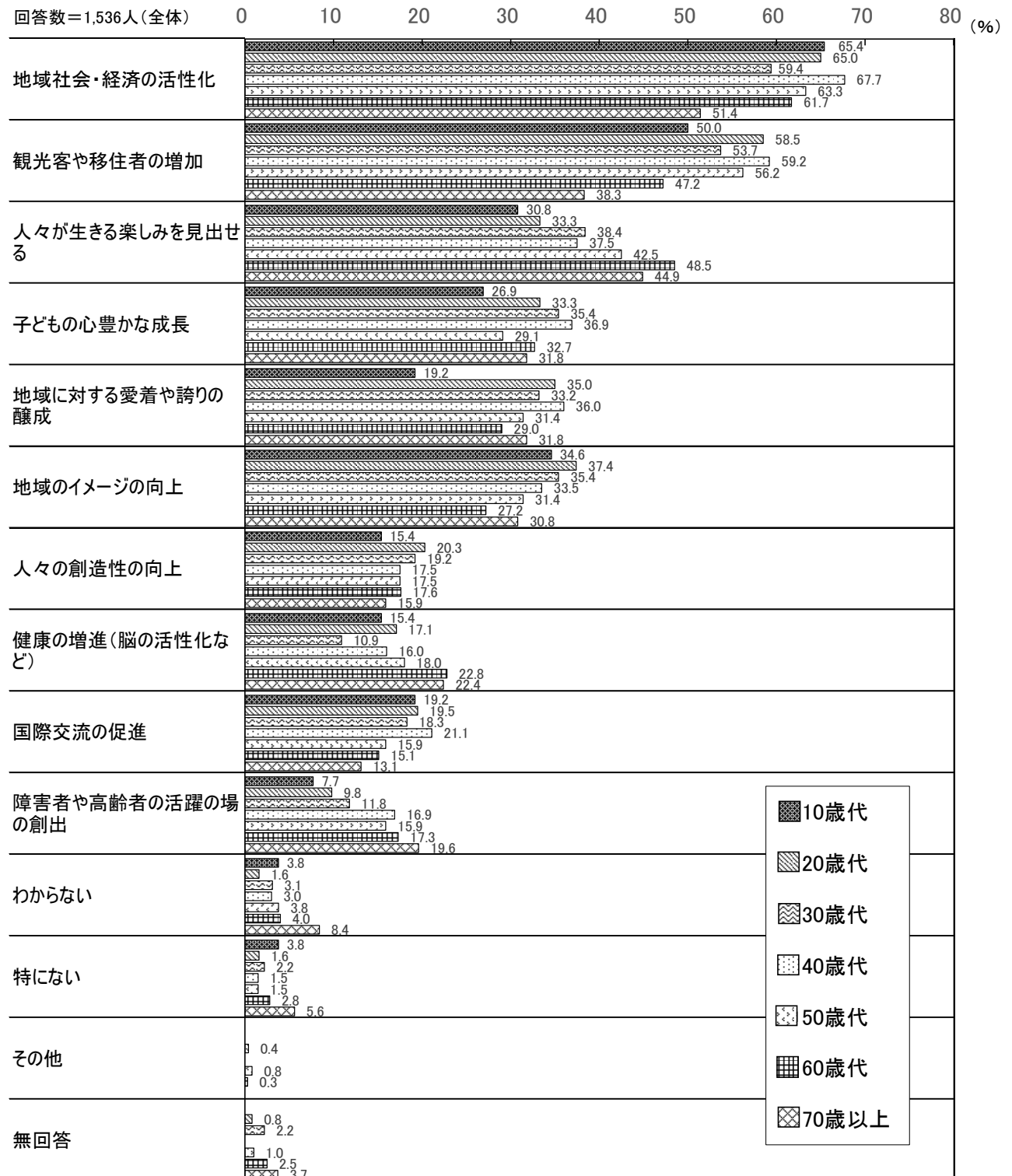
男女ともに「地域社会・経済の活性化」が最も高くなっている。また、「人々が生きる楽しみを見出せる」では女性が46.1%と、男性の35.7%より10.4ポイント高くなっている



【年代別】

すべての年代で「地域社会・経済の活性化」が最も高くなっている。

《年代別》



【問 32-①×問 34 のクロス分析】

「現在、取り組んでいる文化芸術活動」という質問に対し、「文化芸術の振興により、社会にもたらされる効果として期待すること」の結果を見ると、「音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップスなど）」、「演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）」、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンスなど）」、「文学（小説、詩、短歌、俳句など）」、「生活文化（茶道、華道、書道、囲碁、将棋など）」、「伝統芸能（能楽、歌舞伎、箏曲など）」、「芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才など）」では「地域社会・経済の活性化」が最も高く、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真など）」、「メディア芸術（まんが、アニメーション、映画など）」、「歴史・文化財（建造物、史跡、名勝など）」では「観光客や移住者の増加」が最も高くなっている。

《問 32-①×問 34 のクロス分析》

		合計	文化芸術の振興により、社会にもたらされる効果として期待すること												
			地域社会・経済の活性化	観光客や移住者の増加	障害者や高齢者の活躍の場の創出	地域のイメージの向上	地域に対する愛着や誇りの醸成	人々の創造性の向上	人々が生きる楽しみを見出せる	子どもの心豊かな成長	健康の増進（脳の活性化など）	国際交流の促進	その他	特にない	わからない
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)															
現在、取り組んでいる文化芸術活動	1 音楽(オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップスなど)	82 100.0	48 58.5	43 52.4	13 15.9	25 30.5	27 32.9	19 23.2	37 45.1	34 41.5	22 26.8	21 25.6	— —	2 2.4	— —
	2 美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真など)	55 100.0	32 58.2	35 63.6	8 14.5	19 34.5	20 36.4	16 29.1	30 54.5	23 41.8	12 21.8	12 21.8	— —	— —	— —
	3 演劇(現代演劇、人形劇、ミュージカルなど)	9 100.0	7 77.8	5 55.6	4 44.4	4 44.4	5 55.6	3 33.3	4 44.4	5 55.6	3 33.3	5 55.6	— —	— —	— —
	4 舞踊(日本舞踊、バレエ、モダンダンスなど)	19 100.0	13 68.4	12 63.2	6 31.6	11 57.9	8 42.1	9 47.4	9 47.4	11 57.9	9 47.4	7 36.8	— —	— —	1 5.3
	5 文学(小説、詩、短歌、俳句など)	50 100.0	36 72.0	33 66.0	13 26.0	20 40.0	22 44.0	17 34.0	25 50.0	20 40.0	14 28.0	20 40.0	1 2.0	— —	1 2.0
	6 メディア芸術(まんが、アニメーション、映画など)	89 100.0	57 64.0	63 70.8	17 19.1	32 36.0	32 36.0	17 19.1	41 46.1	38 42.7	21 23.6	21 23.6	— —	3 3.4	3 3.4
	7 生活文化(茶道、華道、書道、囲碁、将棋など)	49 100.0	36 73.5	29 59.2	18 36.7	19 38.8	24 49.0	16 32.7	32 65.3	24 49.0	19 38.8	18 36.7	1 2.0	— —	1 2.0
	8 伝統芸能(能楽、歌舞伎、箏曲など)	7 100.0	7 100.0	5 71.4	4 57.1	3 42.9	4 57.1	4 57.1	3 42.9	3 42.9	5 71.4	4 57.1	— —	— —	— —
	9 歴史・文化財(建造物、史跡、名勝など)	33 100.0	20 60.6	25 75.8	7 21.2	14 42.4	18 54.5	10 30.3	17 51.5	14 42.4	7 21.2	11 33.3	— —	1 3.0	1 3.0
	10 芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)	13 100.0	8 61.5	7 53.8	6 46.2	5 38.5	6 46.2	3 23.1	6 46.2	4 30.8	5 38.5	4 30.8	— —	— —	— —

【問 32-③×問 34 のクロス分析】

「現在、鑑賞等をしている文化芸術活動」という質問に対し、「文化芸術の振興により、社会にもたらされる効果として期待すること」の結果を見ると、すべての鑑賞等をしている文化芸術活動で「地域社会・経済の活性化」が最も高くなっている。2 番目には、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンスなど）」を除くすべての鑑賞等をしている文化芸術活動で「観光客や移住者の増加」が、「舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンスなど）」では「子どもの心豊かな成長」が続いている。

《問 32-③×問 34 のクロス分析》

		合計	文化芸術の振興により、社会にもたらされる効果として期待すること												
			地域社会・経済の活性化	観光客や移住者の増加	障害者や高齢者の活躍の場の創出	地域のイメージの向上	地域に対する愛着や誇りの醸成	人々の創造性の向上	人々が生きる楽しみを見出せる	子どもの心豊かな成長	健康の増進（脳の活性化など）	国際交流の促進	その他	特になし	わからない
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)															
現在、鑑賞等をしている文化芸術活動	1 音楽(オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップスなど)	324 100.0	220 67.9	182 56.2	56 17.3	121 37.3	129 39.8	79 24.4	147 45.4	123 38.0	68 21.0	66 20.4	1 0.3	—	5 1.5
	2 美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真など)	208 100.0	154 74.0	116 55.8	48 23.1	79 38.0	101 48.6	61 29.3	111 53.4	102 49.0	52 25.0	52 25.0	1 0.5	1 0.5	2 1.0
	3 演劇(現代演劇、人形劇、ミュージカルなど)	101 100.0	72 71.3	60 59.4	18 17.8	33 32.7	49 48.5	29 28.7	46 45.5	48 47.5	24 23.8	17 16.8	1 1.0	—	2 2.0
	4 舞踊(日本舞踊、バレエ、モダンダンスなど)	53 100.0	38 71.7	24 45.3	12 22.6	17 32.1	24 45.3	21 39.6	30 56.6	32 60.4	17 32.1	16 30.2	1 1.9	—	—
	5 文学(小説、詩、短歌、俳句など)	248 100.0	172 69.4	146 58.9	51 20.6	104 41.9	115 46.4	65 26.2	127 51.2	106 42.7	65 26.2	54 21.8	2 0.8	—	4 1.6
	6 メディア芸術(まんが、アニメーション、映画など)	586 100.0	398 67.9	352 60.1	87 14.8	239 40.8	244 41.6	136 23.2	265 45.2	229 39.1	116 19.8	118 20.1	3 0.5	4 0.7	12 2.0
	7 生活文化(茶道、華道、書道、囲碁、将棋など)	63 100.0	42 66.7	39 61.9	12 19.0	19 30.2	30 47.6	22 34.9	34 54.0	34 54.0	17 27.0	17 27.0	—	—	—
	8 伝統芸能(能楽、歌舞伎、箏曲など)	52 100.0	38 73.1	31 59.6	11 21.2	18 34.6	25 48.1	19 36.5	27 51.9	26 50.0	12 23.1	16 30.8	1 1.9	—	1 1.9
	9 歴史・文化財(建造物、史跡、名勝など)	205 100.0	148 72.2	122 59.5	35 17.1	79 38.5	88 42.9	54 26.3	99 48.3	97 47.3	43 21.0	52 25.4	2 1.0	—	3 1.5
	10 芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)	181 100.0	123 68.0	103 56.9	27 14.9	68 37.6	80 44.2	48 26.5	84 46.4	75 41.4	42 23.2	42 23.2	1 0.6	2 1.1	2 1.1

8. 外国人との共生に関する意識調査について

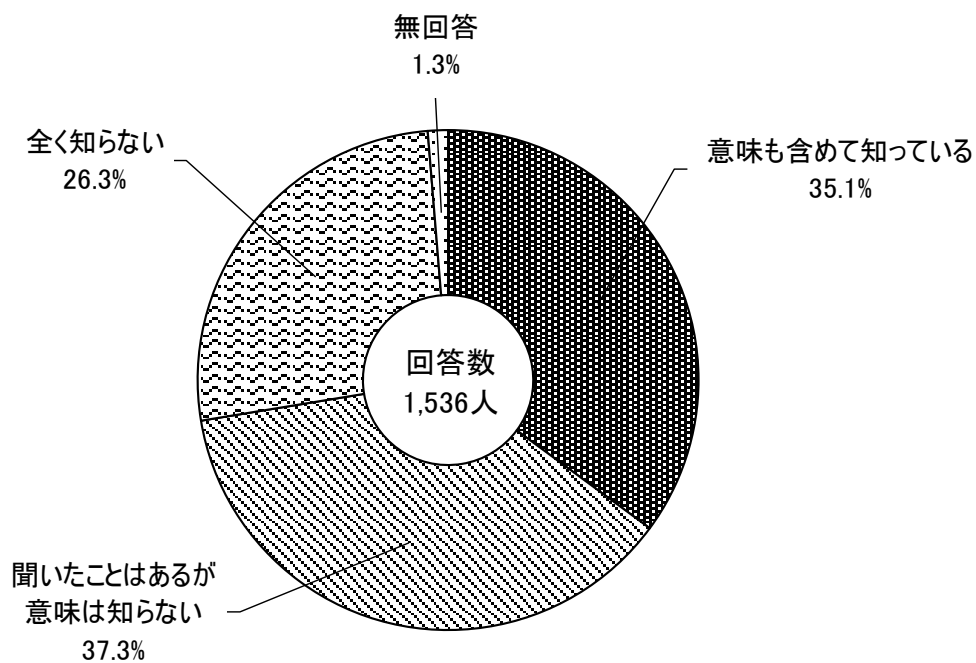
問 35 「多文化共生」という言葉を知っていますか。(1つだけ○印)

【総合】

「聞いたことはあるが意味は知らない」が 37.3%と 1 位になっている。

次いで、「意味も含めて知っている」が 35.1%、「全く知らない」が 26.3%と続いている。

《総合》



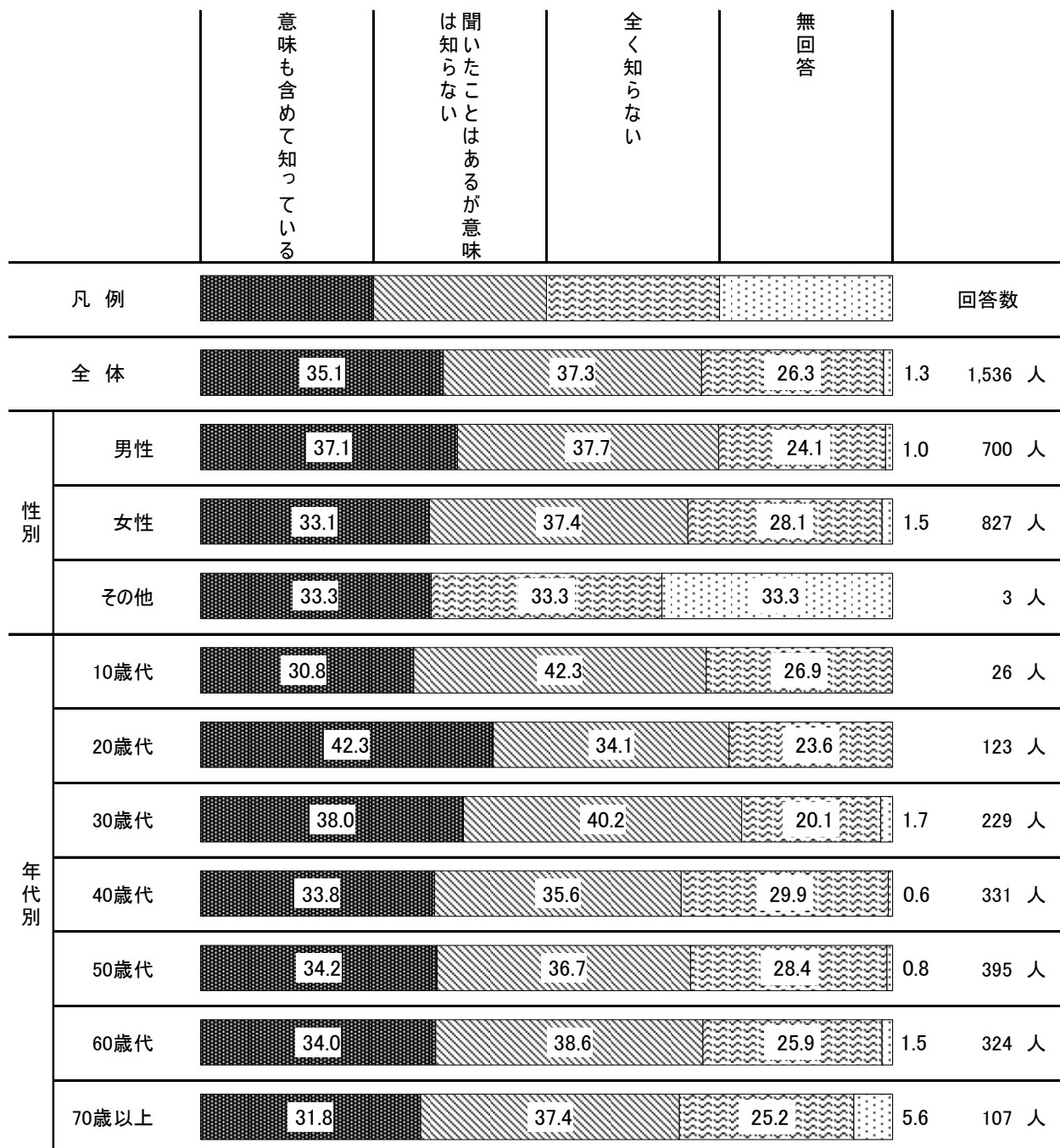
【性別】

男女ともに「聞いたことはあるが意味は知らない」が最も高くなっている。

【年代別】

20歳代を除くすべての年代で、「聞いたことはあるが意味は知らない」が最も高く、20歳代では「意味も含めて知っている」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

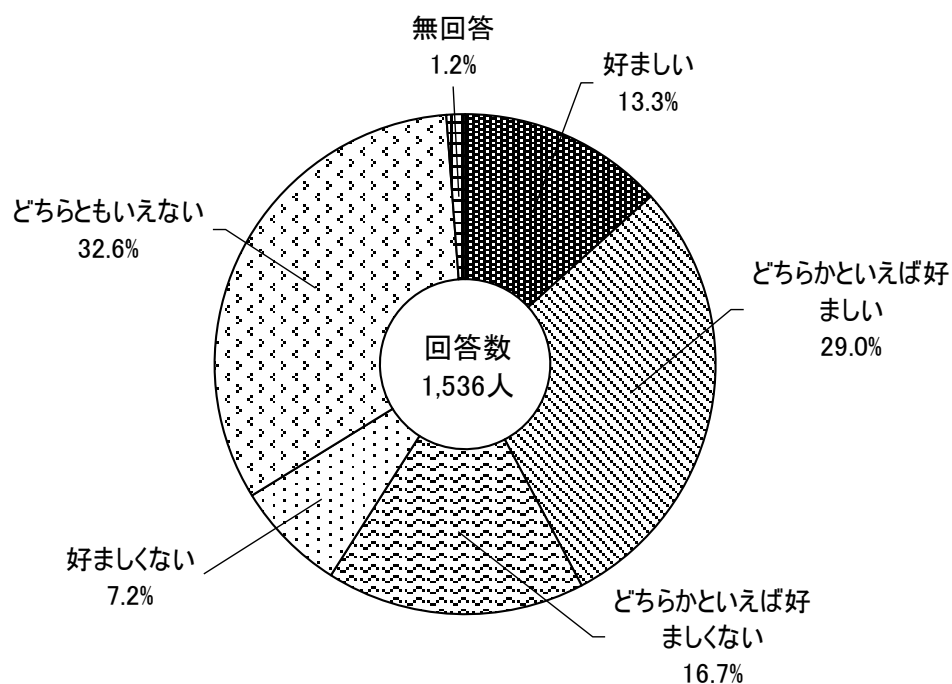
問 36 県内に住む外国人が年々増加していることについて、あなたはどのように感じていますか。(1つだけ○印)

【総合】

「どちらともいえない」が32.6%と1位になっている。

次いで、「どちらかといえば好ましい」が29.0%、「どちらかといえば好ましくない」が16.7%と続いている。

《総合》



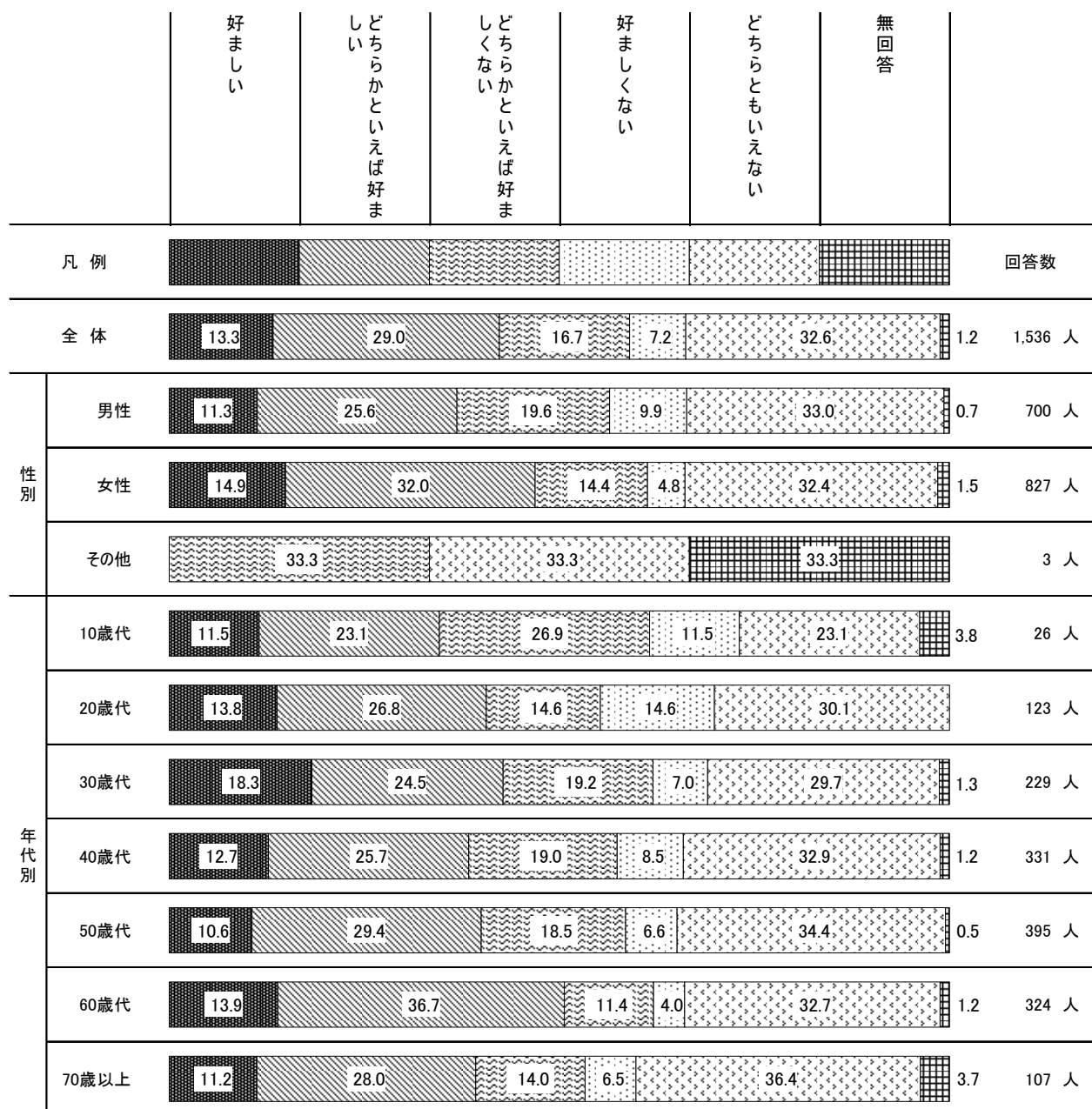
【性別】

男女ともに「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代では「どちらかといえば好ましくない」が最も高く、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、70歳以上では「どちらともいえない」が、60歳代では「どちらかといえば好ましい」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

【問 35×問 36 のクロス分析】

「多文化共生の認知度」という質問に対し、「県内に住む外国人が年々増加していることについて、どう感じているか」の結果を見ると、「意味も含めて知っている」では「どちらかといえば好ましい」が最も高く、「聞いたことはあるが意味は知らない」、「全く知らない」では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

≪問 35×問 36 のクロス分析≫

		全 体	県内に住む外国人が年々増加していることについて、どう感じているか				
			好 ま し い	ど ち ら か と い え ば 好 ま し い	ど ち ら か と い え ば 好 ま し く な い	好 ま し く な い	ど ち ら と も い え な い
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)							
全体		1,536	204	445	257	111	501
		100.0	13.3	29.0	16.7	7.2	32.6
多 文 化 共 生 の 認 知 度	意味も含めて知っている	539	16.7	34.0	16.3	7.8	24.9
	聞いたことはあるが意味は知らない	573	10.5	32.3	17.8	4.9	34.4
	全く知らない	404	13.1	18.6	16.1	10.1	41.6

問 37 外国人が身近に増えることについてどのような変化があると思いますか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「人手不足の解消につながると思う」が 59.0%と 1 位になっている。

次いで、「言葉や文化の違いによるトラブルが心配だと感じる」が 48.3%、「外国の言葉や文化等を知る機会が増えると思う」が 38.0%と続いている。

《総合》

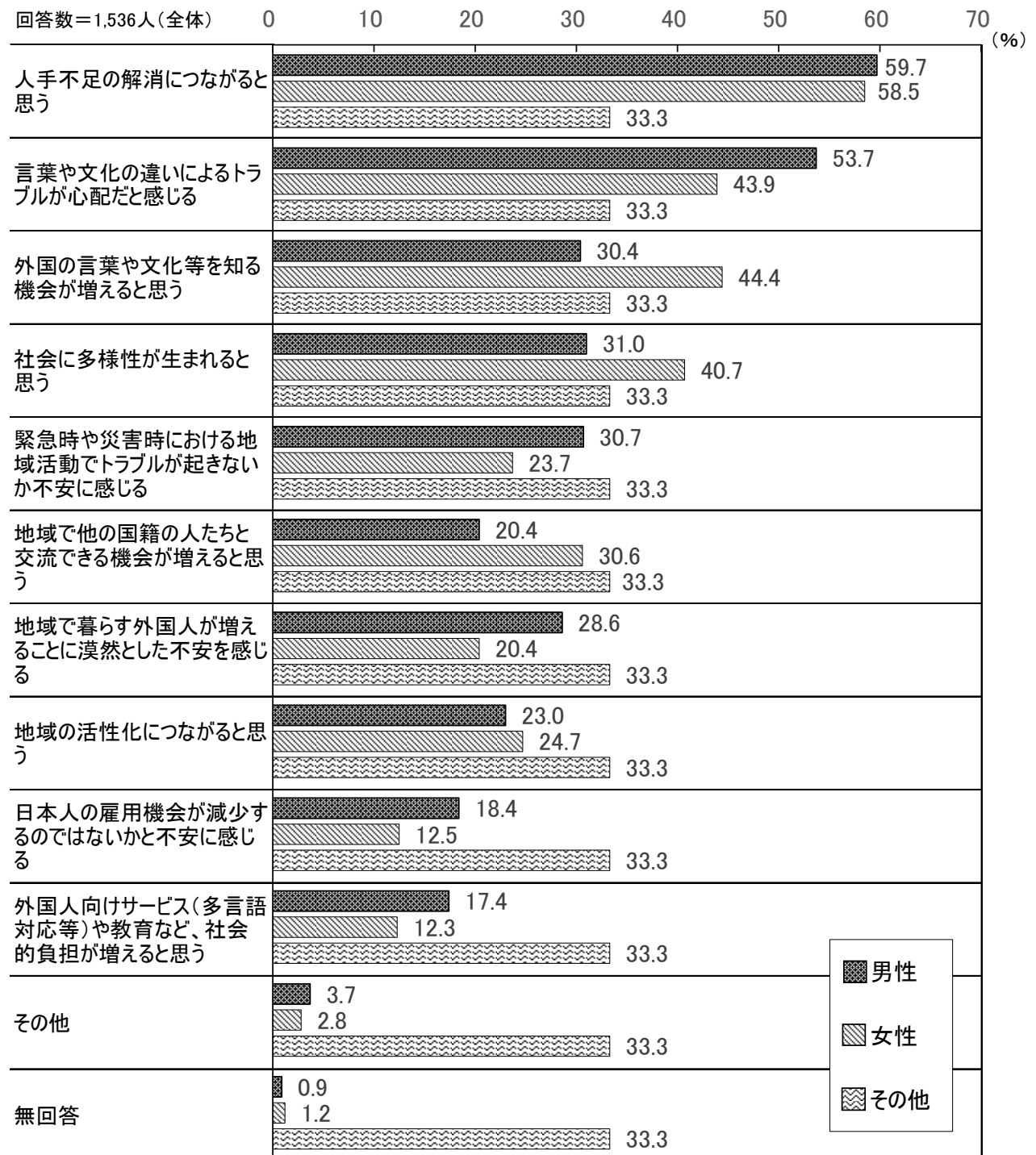
		回答数
全 体	100.0	1,536 人
人手不足の解消につながると思う	59.0	906 人
言葉や文化の違いによるトラブルが心配だと感じる	48.3	742 人
外国の言葉や文化等を知る機会が増えると思う	38.0	584 人
社会に多様性が生まれると思う	36.2	556 人
緊急時や災害時における地域活動でトラブルが起きないか不安に感じる	26.9	413 人
地域で他の国籍の人たちと交流できる機会が増えると思う	26.0	399 人
地域で暮らす外国人が増えることに漠然とした不安を感じる	24.2	372 人
地域の活性化につながると思う	24.0	368 人
日本人の雇用機会が減少するのではないかと不安に感じる	15.2	234 人
外国人向けサービス(多言語対応等)や教育など、社会的負担が増えると思う	14.6	225 人
その他	3.3	51 人
無回答	1.1	17 人

グラフ単位 (%)

【性別】

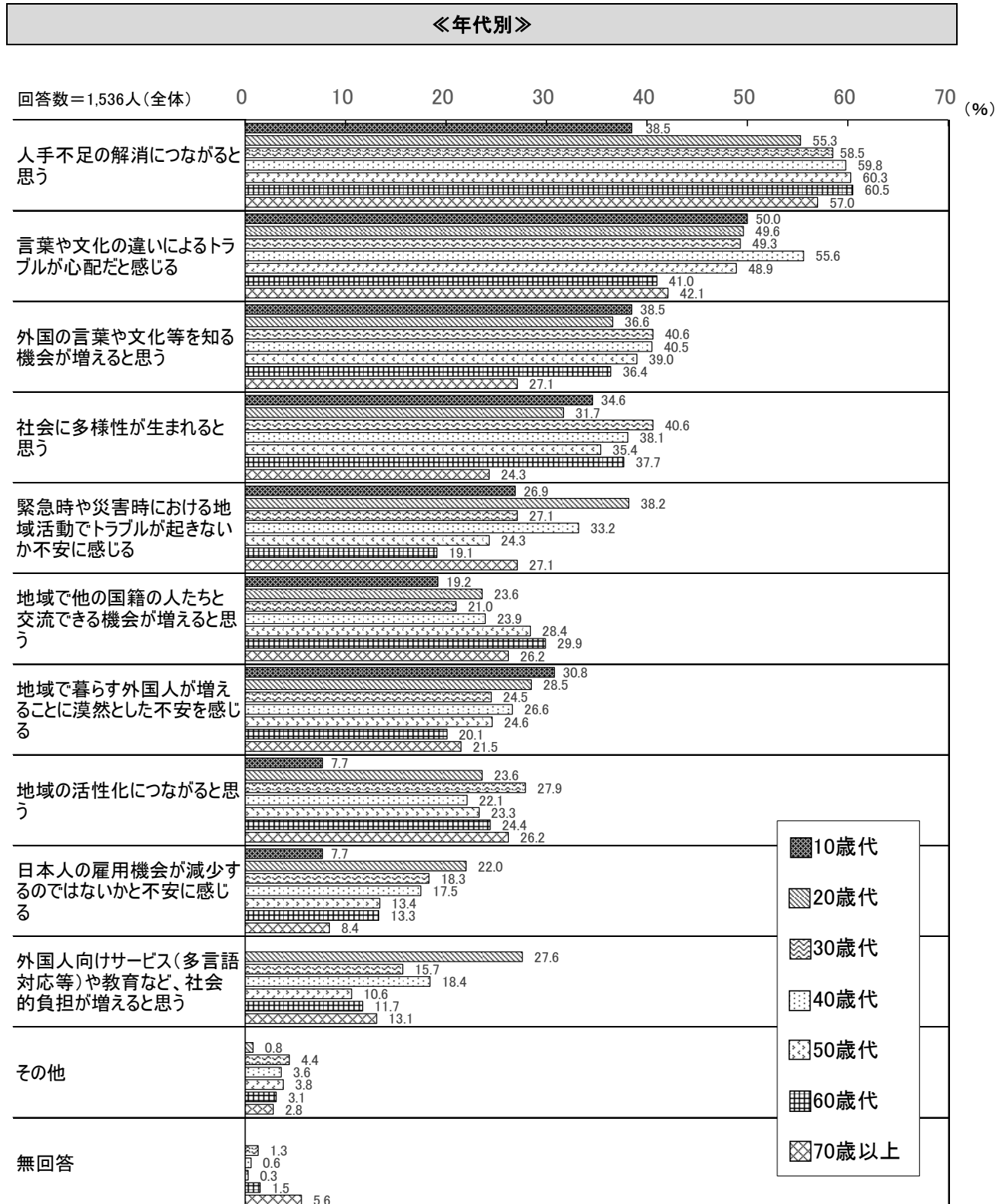
男女ともに「人手不足の解消につながると思う」が最も高くなっており、次いで、男性では「言葉や文化の違いによるトラブルが心配だと感じる」が、女性では「外国の言葉や文化等を知る機会が増えると思う」が続いている。

《性別》



【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「人手不足の解消につながると思う」が最も高く、10歳代では「言葉や文化の違いによるトラブルが心配だと感じる」が最も高くなっている



【問 36×問 37 のクロス分析】

「県内に住む外国人が年々増加していることについて、どう感じているか」という質問に対し、「外国人が身近に増えることについてどのような変化があると思うか」の結果を見ると、「好ましい」、「どちらかといえば好ましい」、「どちらともいえない」では「人手不足の解消につながると思う」が最も高く、「どちらかといえば好ましくない」、「好ましくない」では「言葉や文化の違いによるトラブルが心配だと感じる」が最も高くなっている。

《問 36×問 37 のクロス分析》

		全体	外国人が身近に増えることについてどのような変化があると思うか										
			人手不足の解消につながると思う	外国の言葉や文化等を知る機会が増えると思う	社会に多様性が生まれると思う	地域の活性化につながると思う	地域で他の国籍の人たちと交流できる機会が増えると思う	言葉や文化の違いによるトラブルが心配だと感じる	日本人の雇用機会が減少するのではないかと不安を感じる	外国人向けサービス（多言語対応等）や教育など、社会的負担が増えると思う	緊急時や災害時における地域活動でトラブルが起きないか不安を感じる	地域で暮らす外国人が増えることに漠然とした不安を感じる	その他
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)													
全体		1,536	906 59.0	584 38.0	556 36.2	368 24.0	399 26.0	742 48.3	234 15.2	225 14.6	413 26.9	372 24.2	51 3.3
県内に住む外国人が年々増加しているか	好ましい	204	75.5	64.2	60.8	51.0	52.9	19.6	3.9	11.8	18.1	2.0	1.5
	どちらかといえば好ましい	445	70.8	50.8	54.8	35.3	36.2	37.5	8.1	9.7	20.0	9.2	1.1
	どちらかといえば好ましくない	257	43.6	22.6	16.0	7.0	9.7	73.2	26.1	22.6	41.6	50.6	2.7
	好ましくない	111	18.9	4.5	6.3	3.6	5.4	66.7	40.5	31.5	46.8	65.8	17.1
	どちらともいえない	501	60.3	32.3	27.3	17.0	19.6	54.1	15.2	13.0	25.3	24.6	3.4

9. 食品ロス削減について

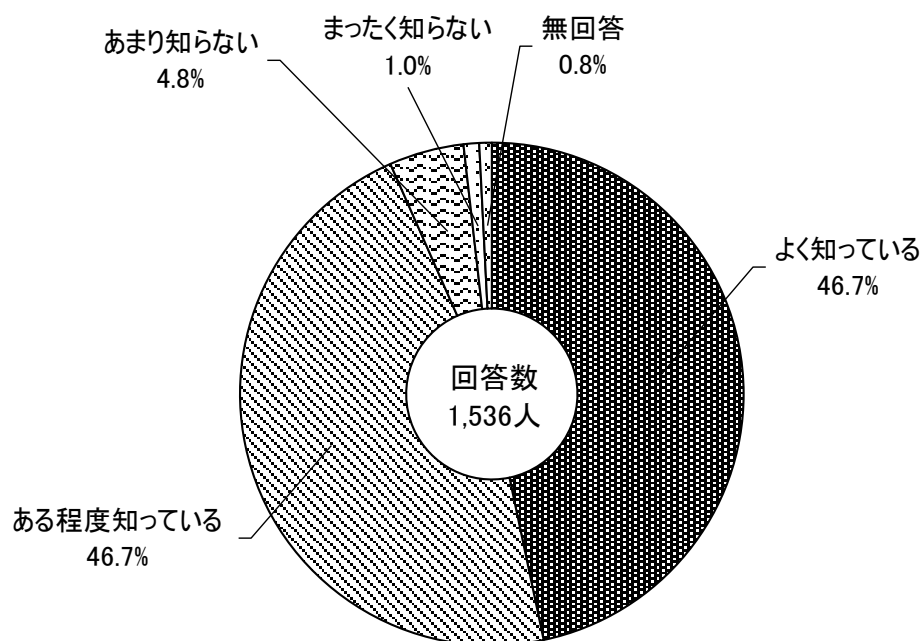
問 38 「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。(1つだけ○印)

【総合】

「ある程度知っている」が46.7%（718人）と1位になっている。

次いで、「よく知っている」が46.7%（717人）、「あまり知らない」が4.8%と続いている。

《総合》

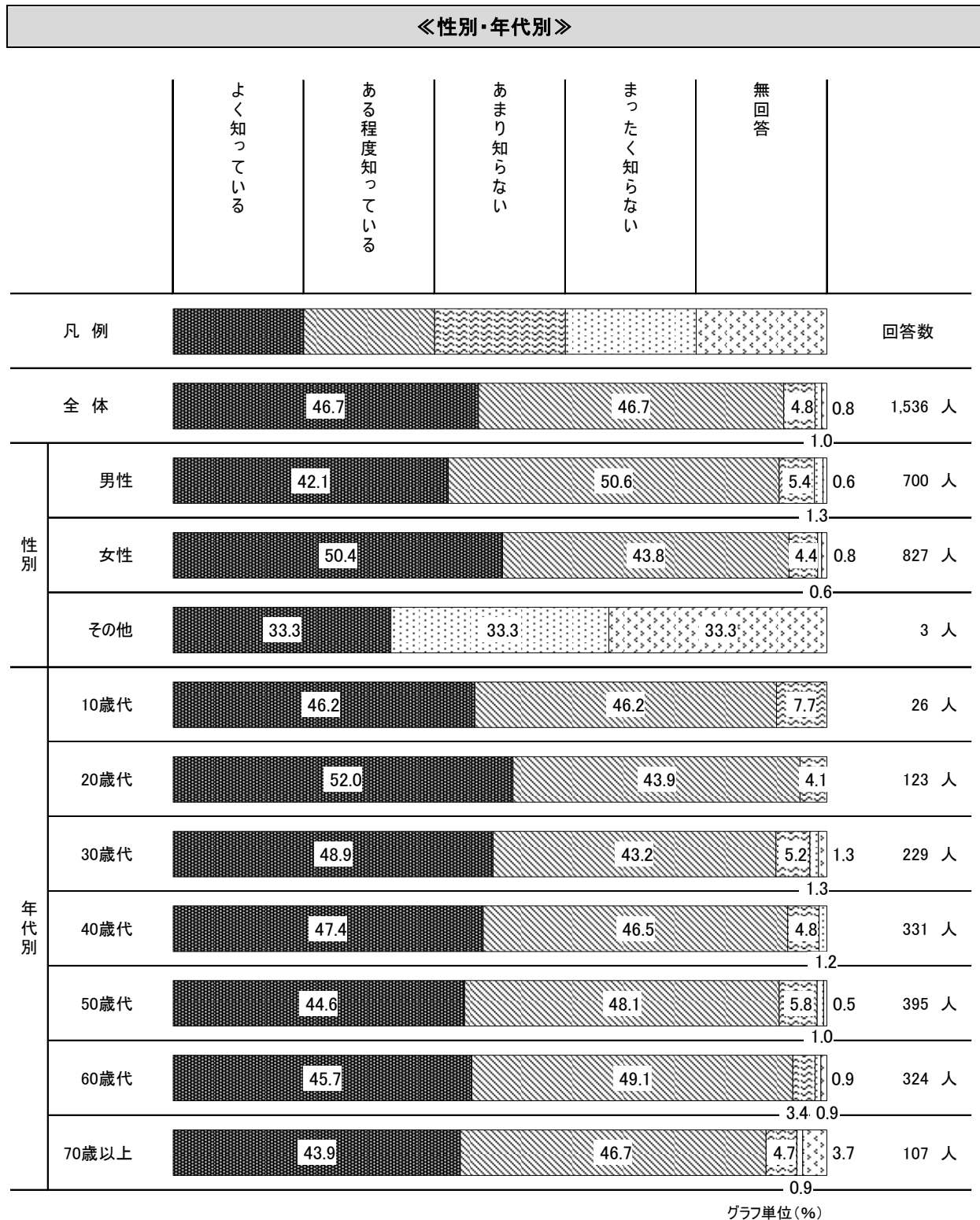


【性別】

男性では「ある程度知っている」が、女性では「よく知っている」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、40歳代では「よく知っている」が、50歳代、60歳代、70歳以上では「ある程度知っている」が最も高くなっている。また、10歳代では同率で「ある程度知っている」が最も高くなっている。



問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

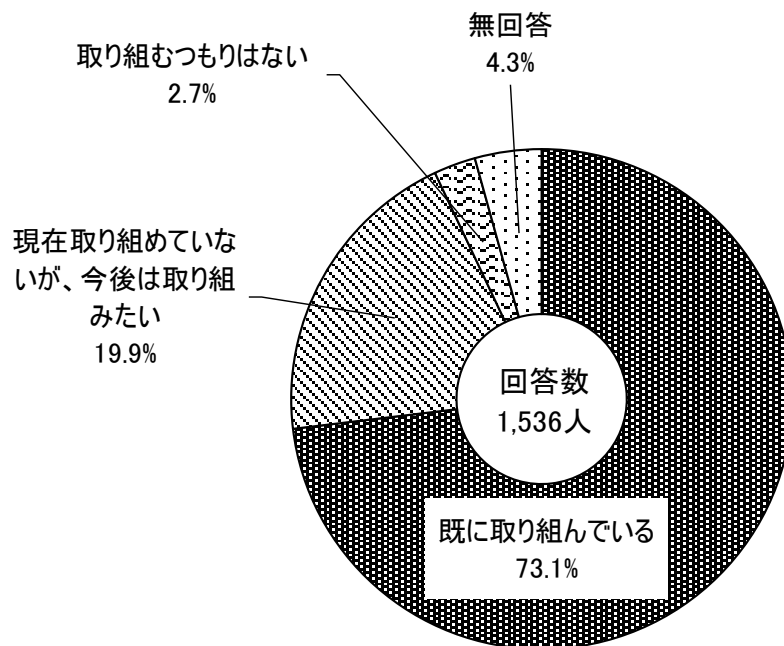
1 料理を作り過ぎない

【総合】

「既に取り組んでいる」が 73.1%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 19.9%、「取り組むつもりはない」が 2.7%と続いている。

《総合》

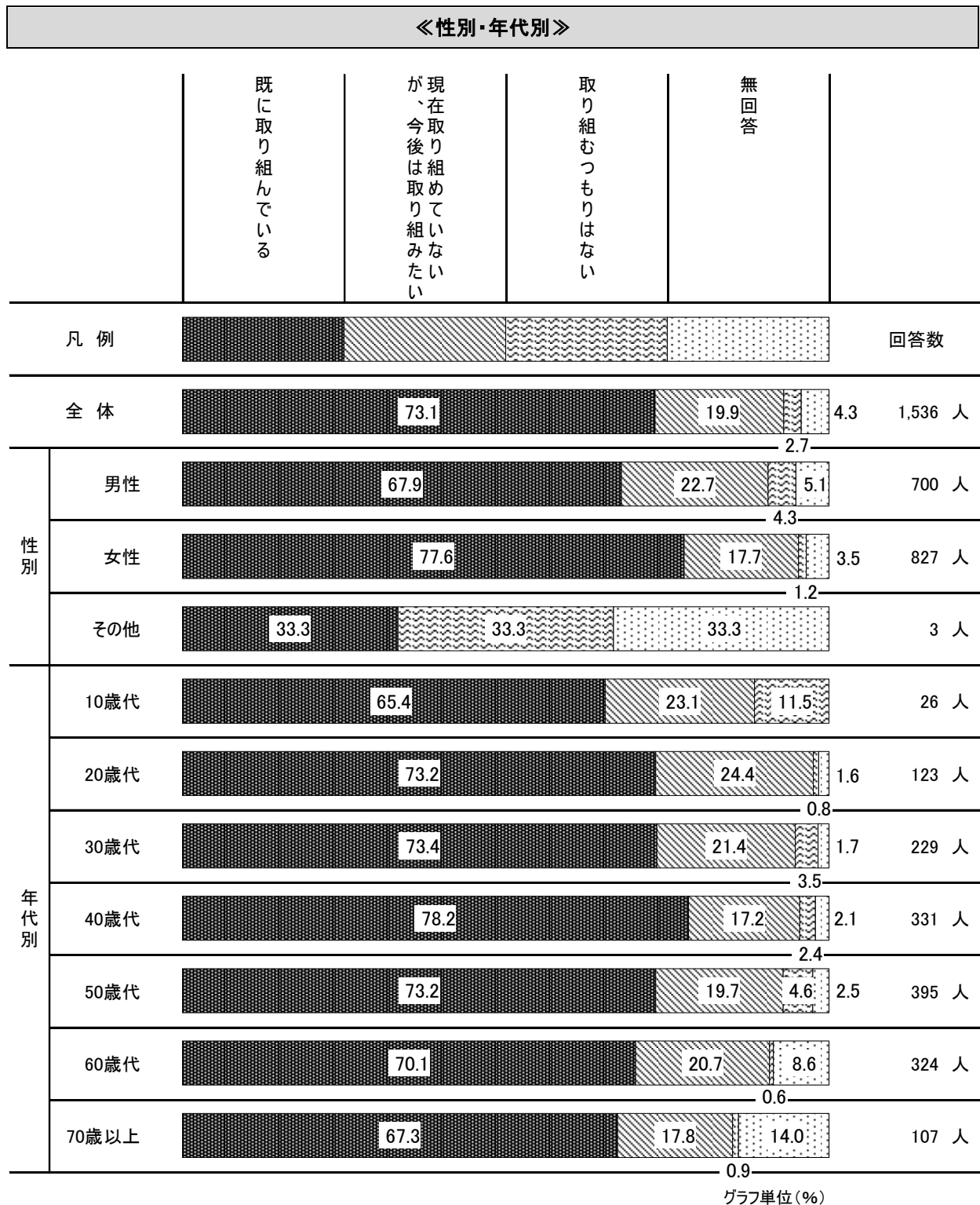


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっており、女性では77.6%と、男性の67.9%より9.7ポイント高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



【問 38×問 39-①のクロス分析】

「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか」という質問に対し、「食品ロス」を減らすため、次の中で、あなたがすでに取り組んでいることはありますか」の結果を見ると、「よく知っている」、「ある程度知っている」では「残さずに食べる」が最も高く、「あまり知らない」では「冷凍保存を活用する」が、「まったく知らない」では同率で「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示（消費期限・賞味期限）を確認する」、「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が最も高くなっている。

《問 38×問 39-①のクロス分析》

		合計	「食品ロス」を減らすため、次の中で、あなたがすでに取り組んでいることはありますか											
			1 料理を作り過ぎない	2 残さずに食べる	3 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクす）	4 冷凍保存を活用する	5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示（消費期限・賞味期限）を確認する	6 賞味期限を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する	8 商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する	9 消費期限や賞味期限間近による値引き商品やポイント還元の商品を率先して選ぶ	10 飲食店等で注文し過ぎない	11 外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	12 食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄附をする
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)														
全体		1,536	1,123	1,328	769	1,269	1,135	1,291	1,098	649	1,106	1,245	562	123
		100.0	73.1	86.5	50.1	82.6	73.9	84.0	71.5	42.3	72.0	81.1	36.6	8.0
「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか	よく知っている	717	563	638	428	622	542	634	543	353	549	612	322	72
		100.0	78.5	89.0	59.7	86.8	75.6	88.4	75.7	49.2	76.6	85.4	44.9	10.0
	ある程度知っている	718	514	625	310	580	529	587	498	273	508	573	219	40
		100.0	71.6	87.0	43.2	80.8	73.7	81.8	69.4	38.0	70.8	79.8	30.5	5.6
	あまり知らない	74	37	52	24	55	48	54	45	17	35	47	14	8
		100.0	50.0	70.3	32.4	74.3	64.9	73.0	60.8	23.0	47.3	63.5	18.9	10.8
	まったく知らない	15	6	9	4	6	10	10	8	4	8	9	4	2
		100.0	40.0	60.0	26.7	40.0	66.7	66.7	53.3	26.7	53.3	60.0	26.7	13.3

問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

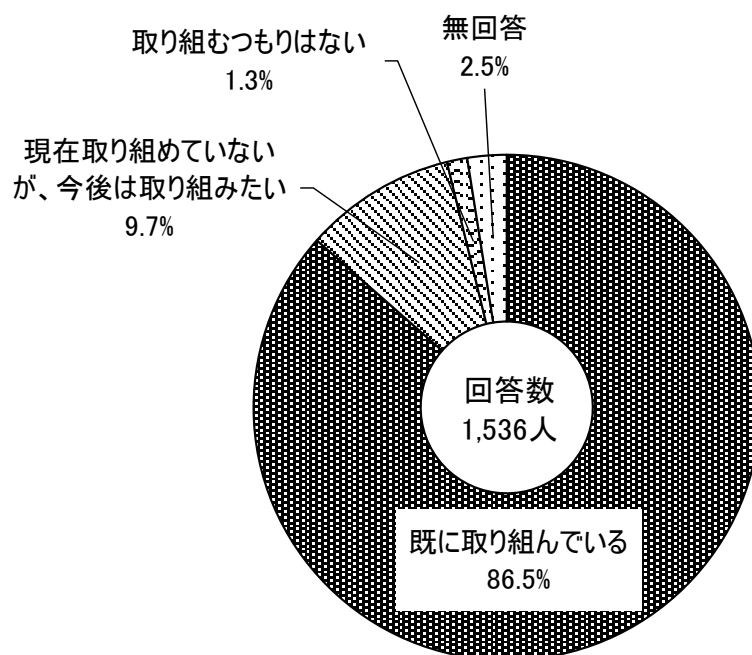
2 残さずに食べる

【総合】

「既に取り組んでいる」が 86.5%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 9.7%、「取り組むつもりはない」が 1.3%と続いている。

《総合》

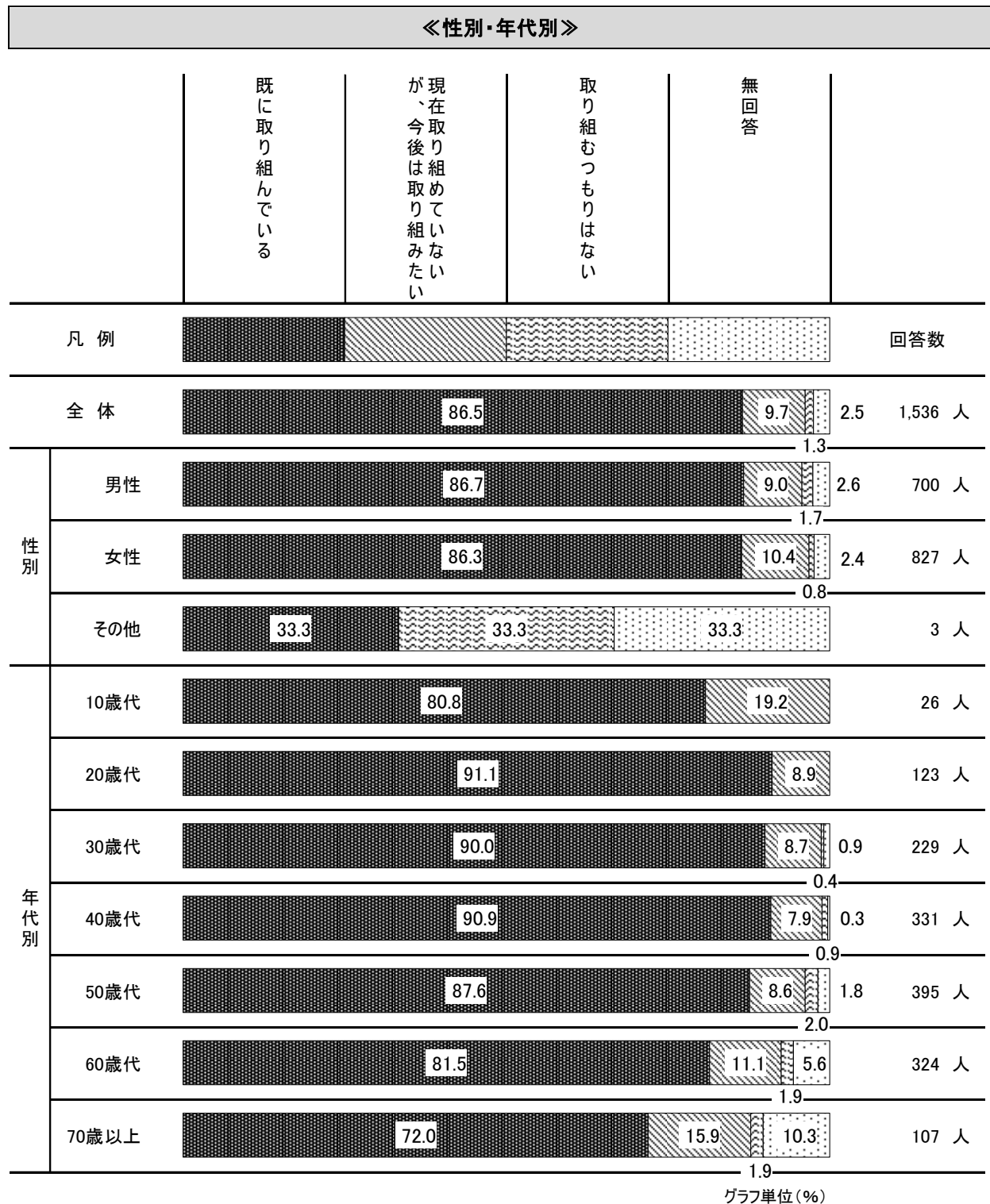


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっており、年代が高くなるほど割合が低くなる傾向にある。



問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

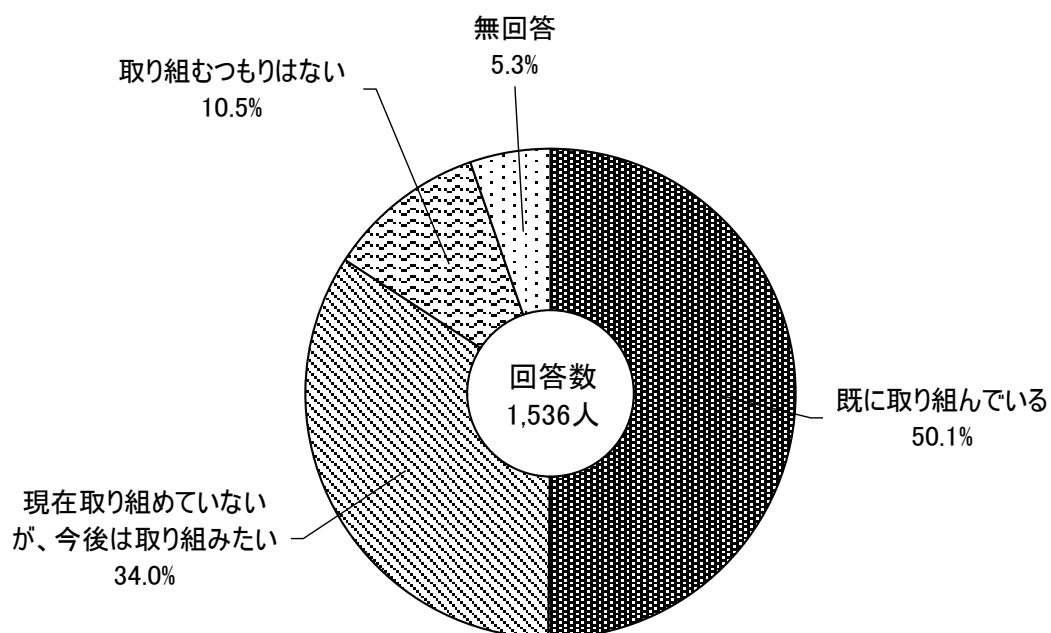
3 残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)

【総合】

「既に取り組んでいる」が 50.1%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 34.0%、「取り組むつもりはない」が 10.5%と続いている。

《総合》



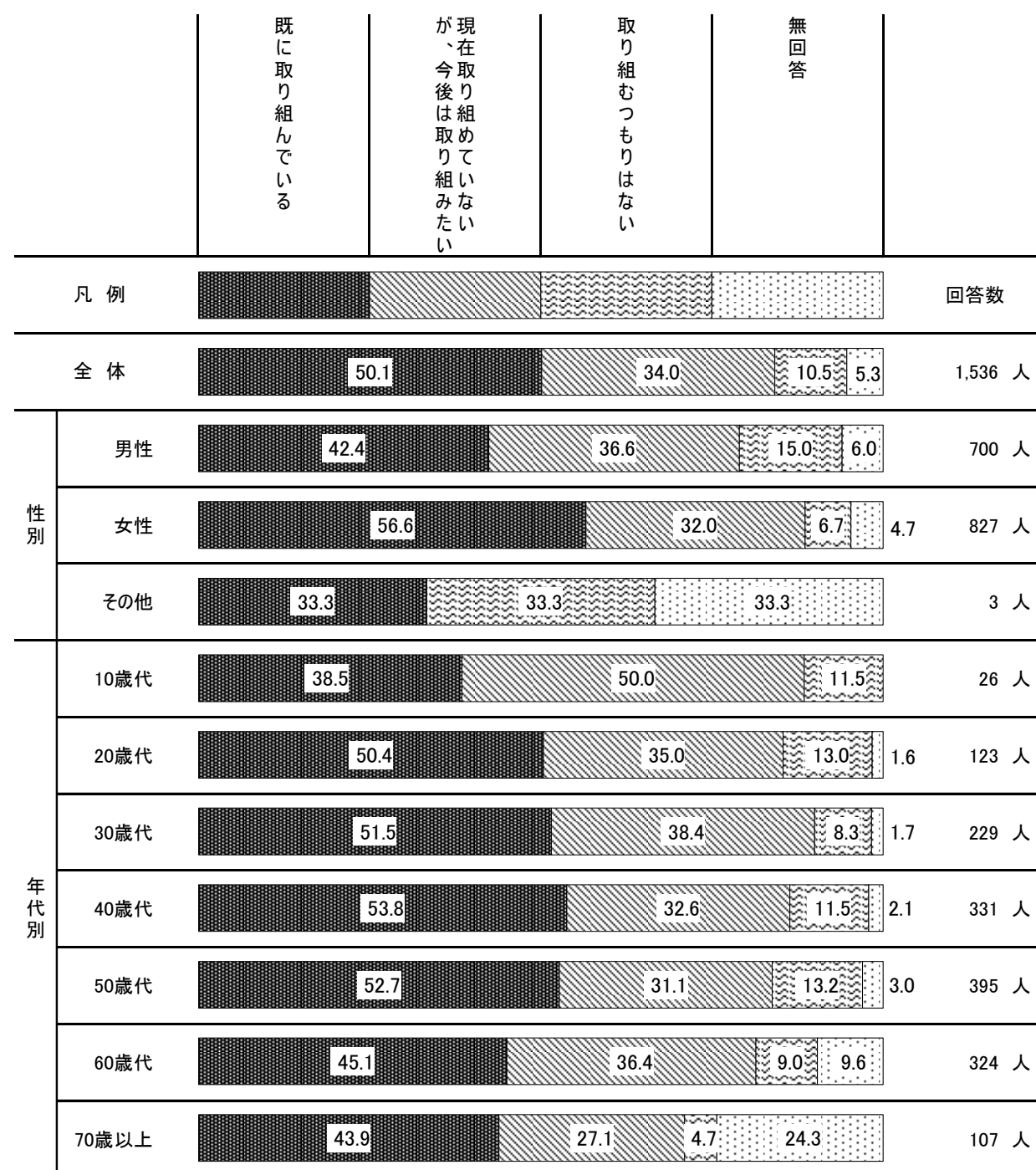
【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高く、10歳代では「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

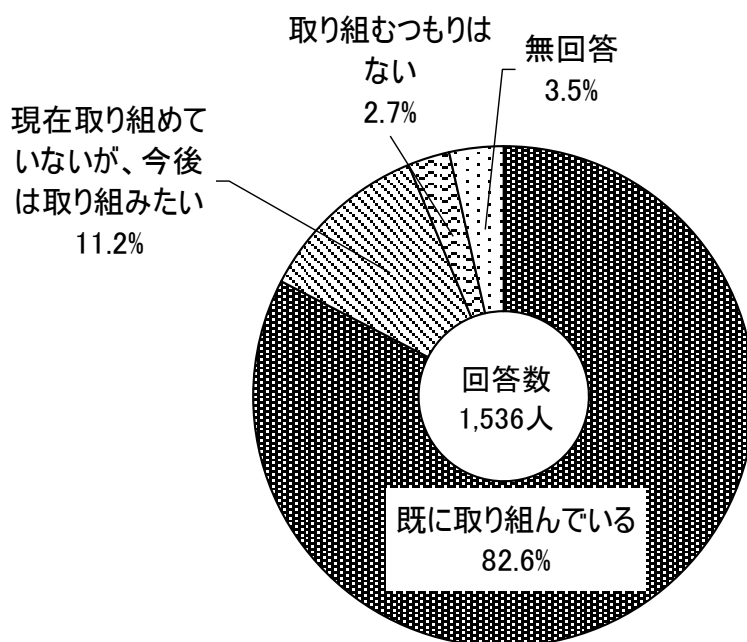
4 冷凍保存を活用する

【総合】

「既に取り組んでいる」が 82.6%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 11.2%、「取り組むつもりはない」が 2.7%と続いている。

《総合》



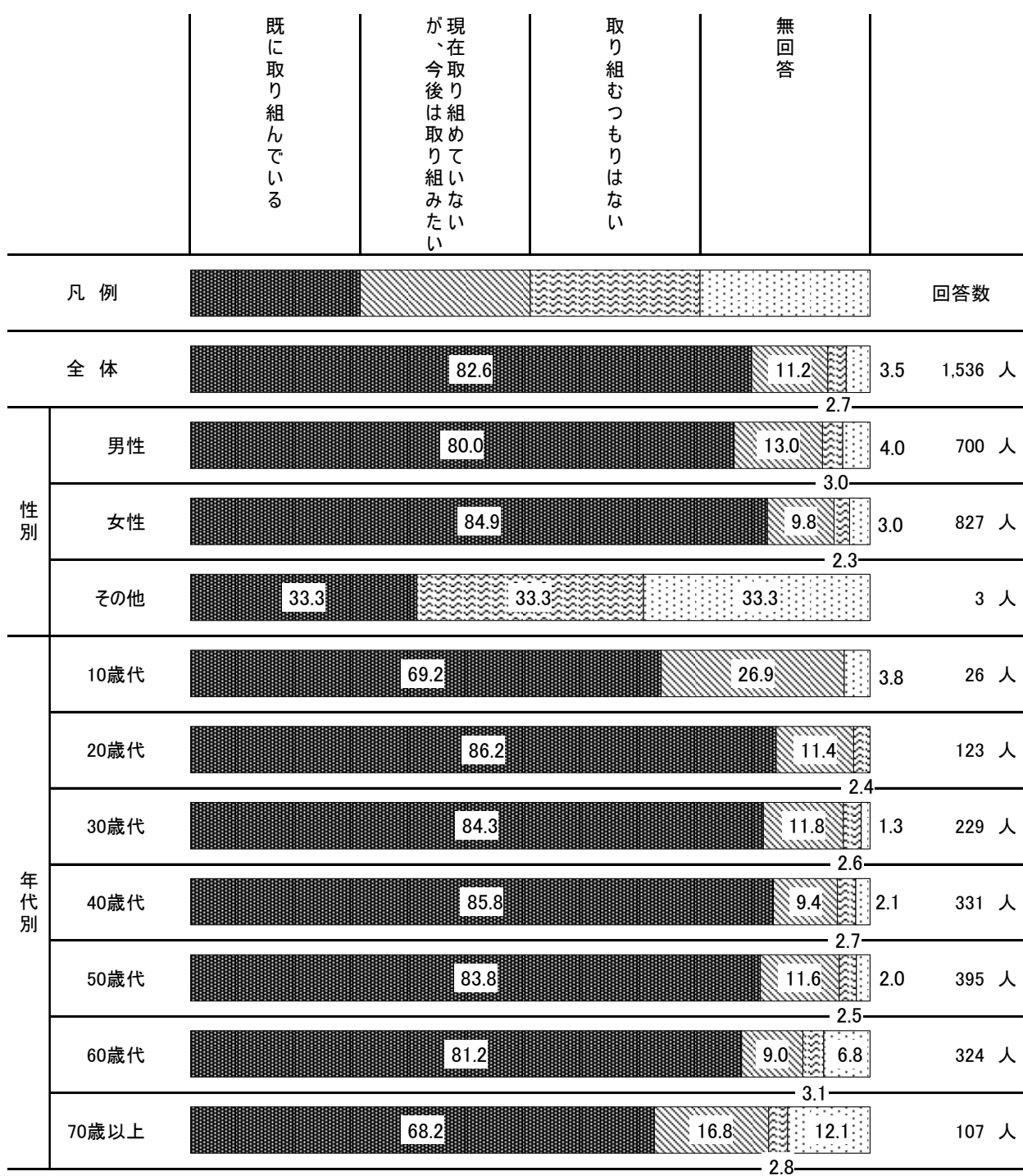
【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

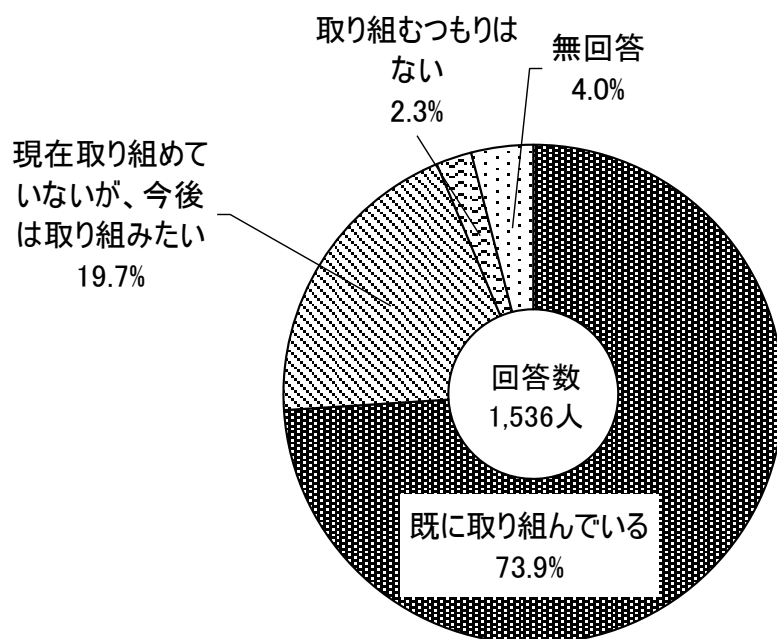
5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示(消費期限・賞味期限)を確認する

【総合】

「既に取り組んでいる」が 73.9%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 19.7%、「取り組むつもりはない」が 2.3%と続いている。

《総合》



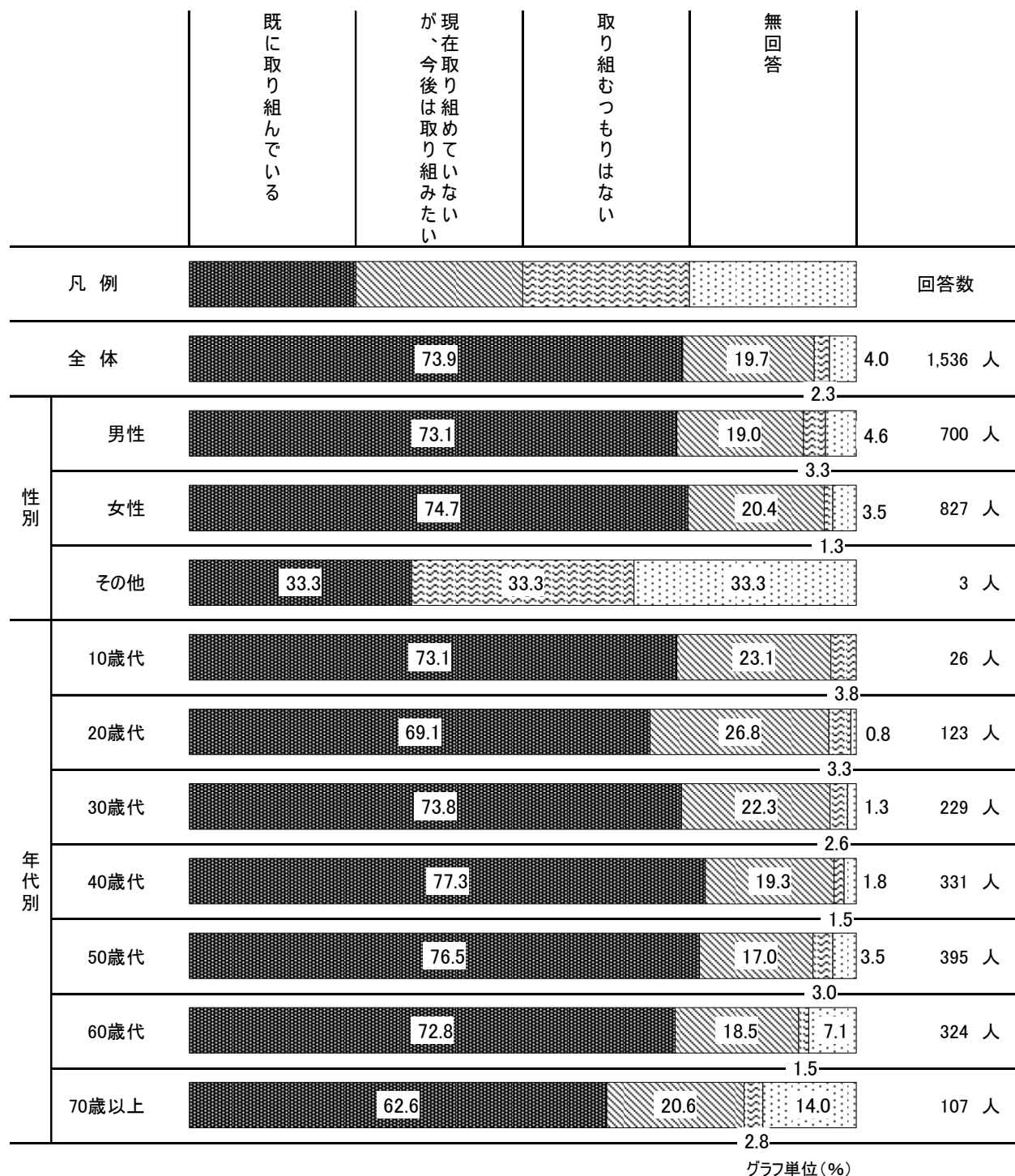
【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

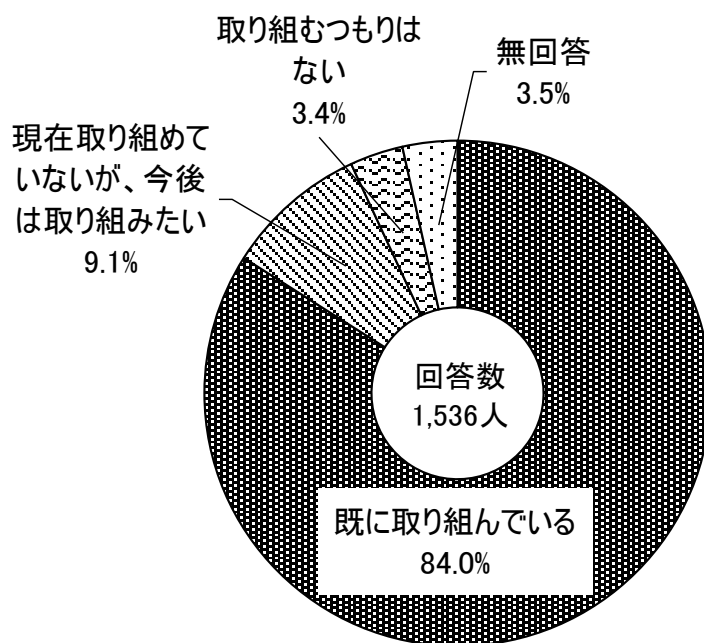
6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する

【総合】

「既に取り組んでいる」が 84.0%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 9.1%、「取り組むつもりはない」が 3.4%と続いている。

《総合》

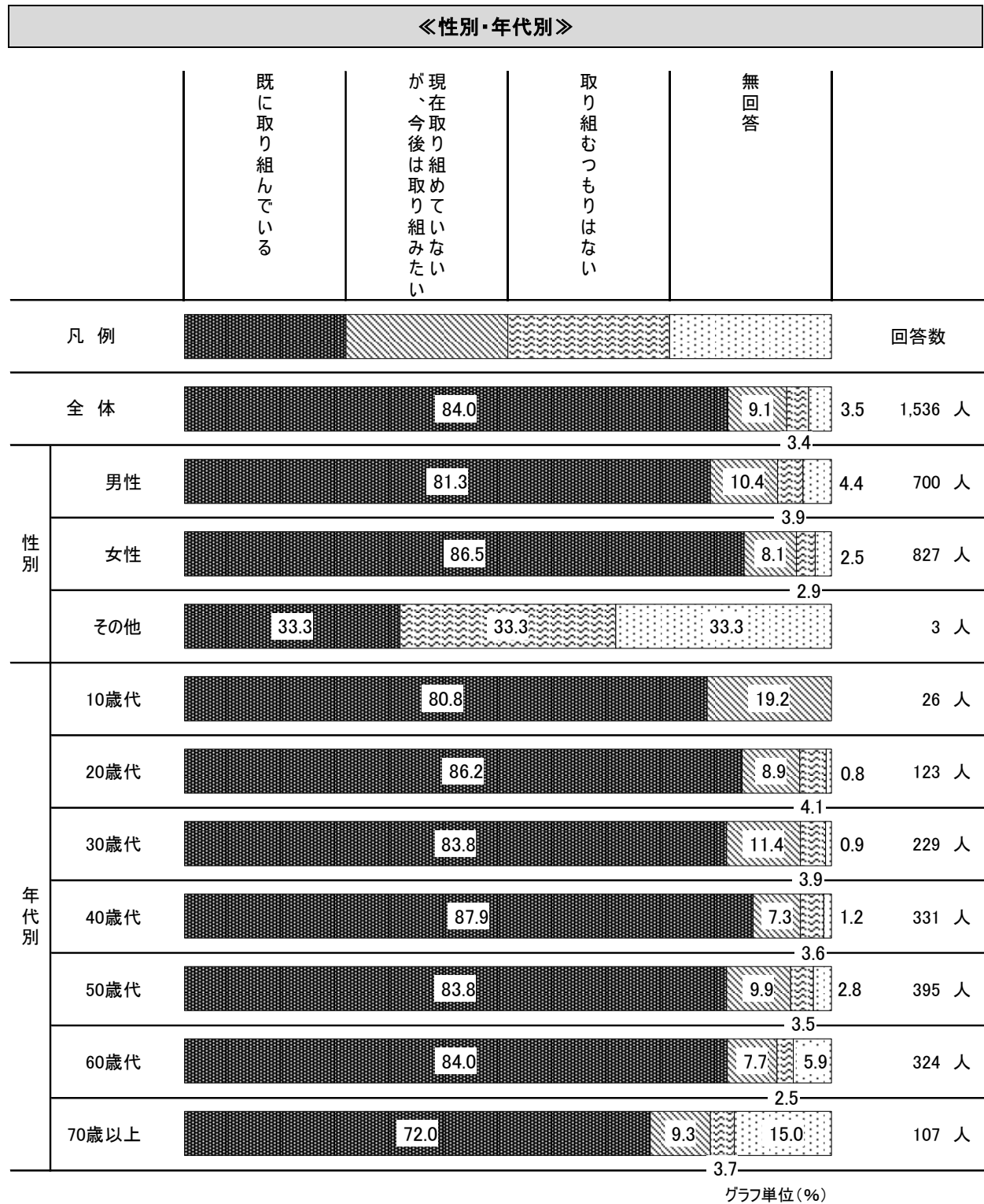


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

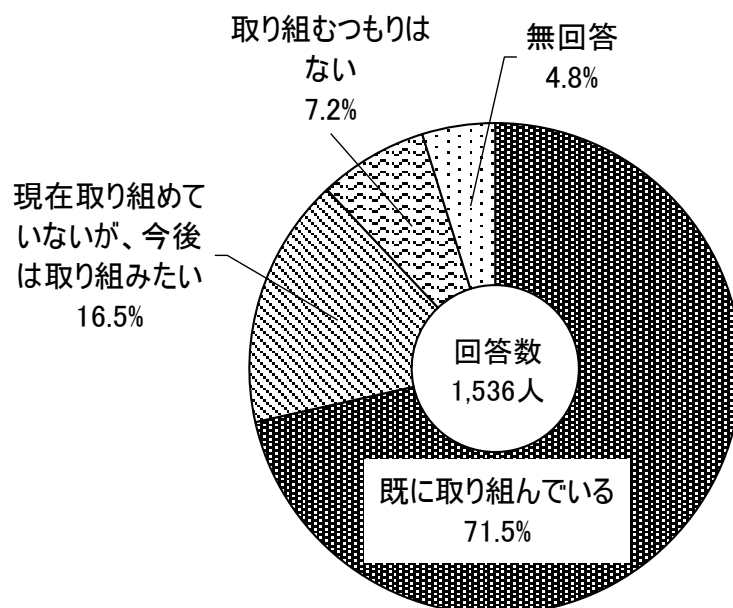
7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量を購入する

【総合】

「既に取り組んでいる」が 71.5%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 16.5%、「取り組むつもりはない」が 7.2%と続いている。

《総合》

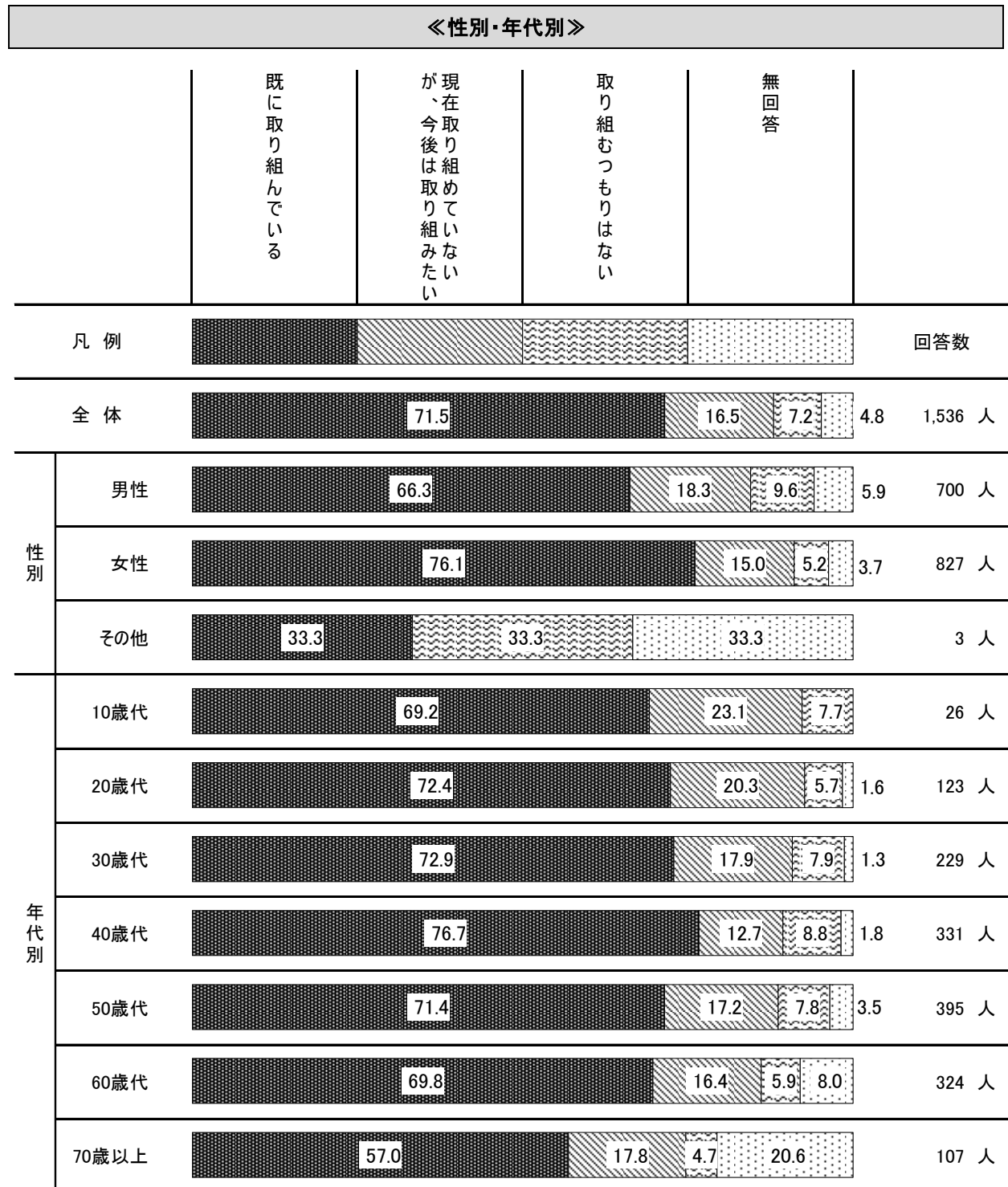


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

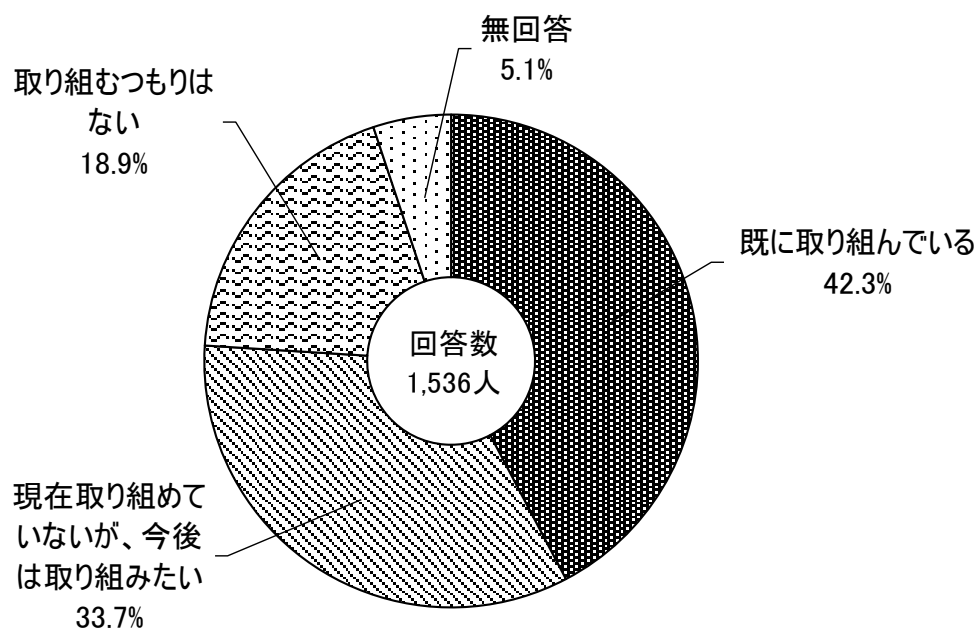
8 商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する

【総合】

「既に取り組んでいる」が42.3%と1位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が33.7%、「取り組むつもりはない」が18.9%と続いている。

《総合》

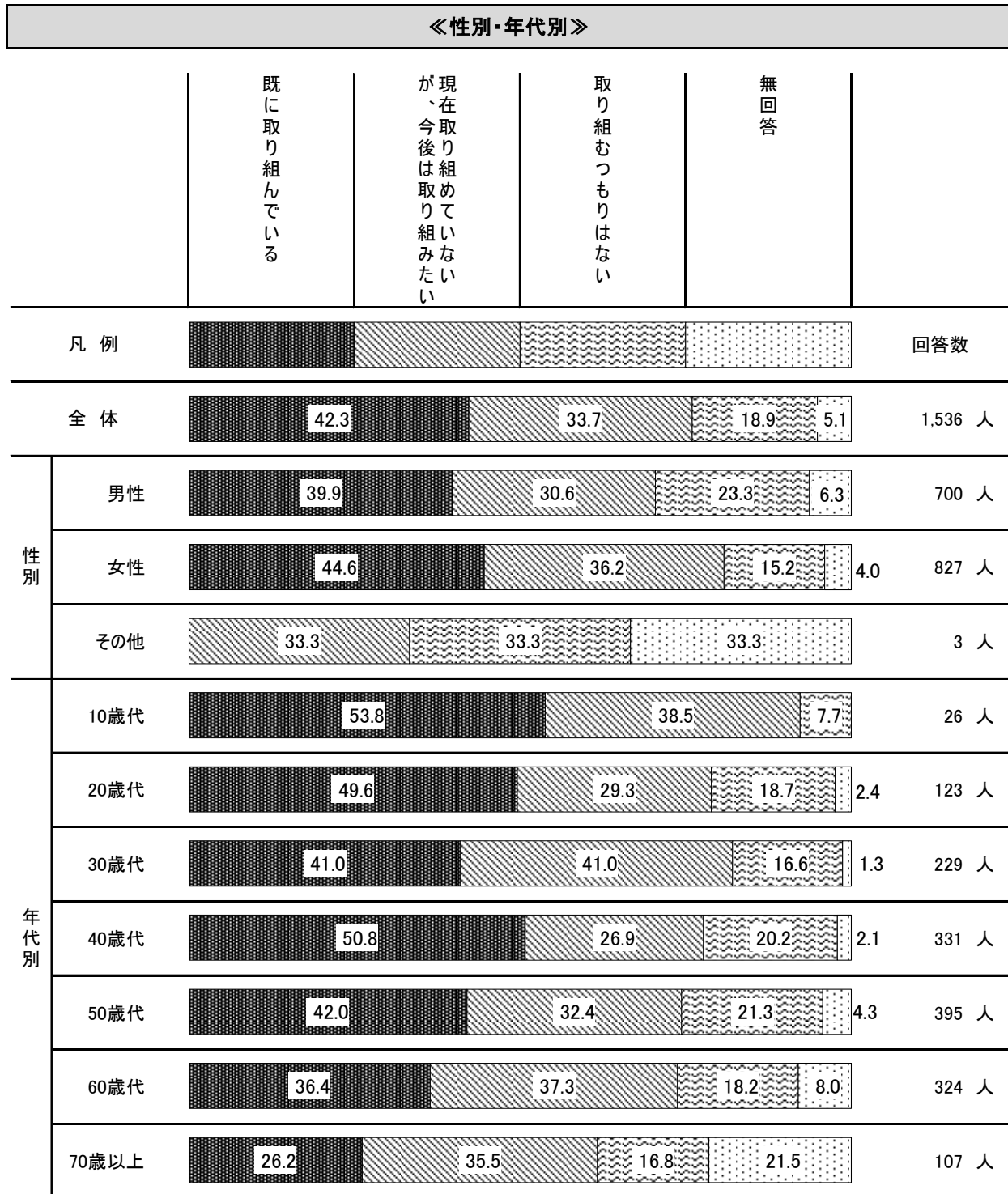


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代では「既に取り組んでいる」が最も高く、60歳代、70歳以上では「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が最も高くなっている。また、30歳代は同率で「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

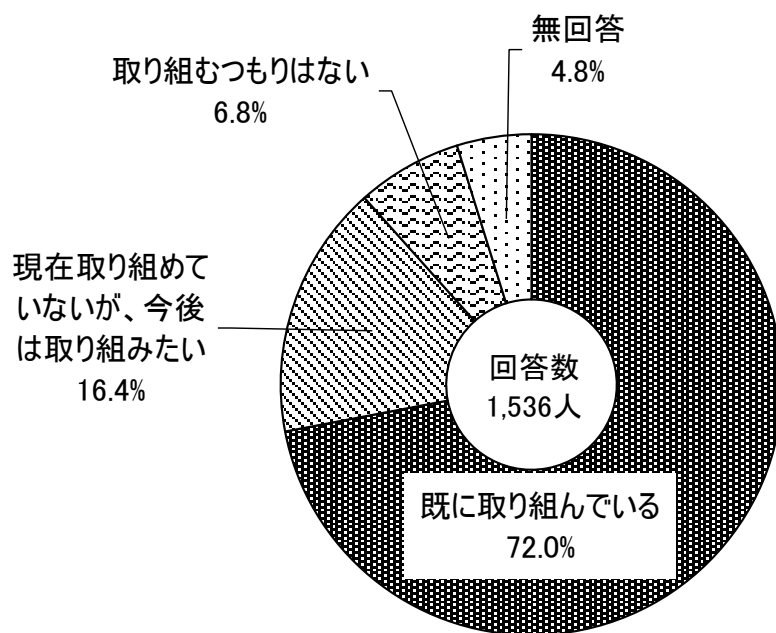
9 消費期限や賞味期限間近による値引き商品やポイント還元の商品を率先して選ぶ

【総合】

「既に取り組んでいる」が 72.0%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 16.4%、「取り組むつもりはない」が 6.8%と続いている。

《総合》

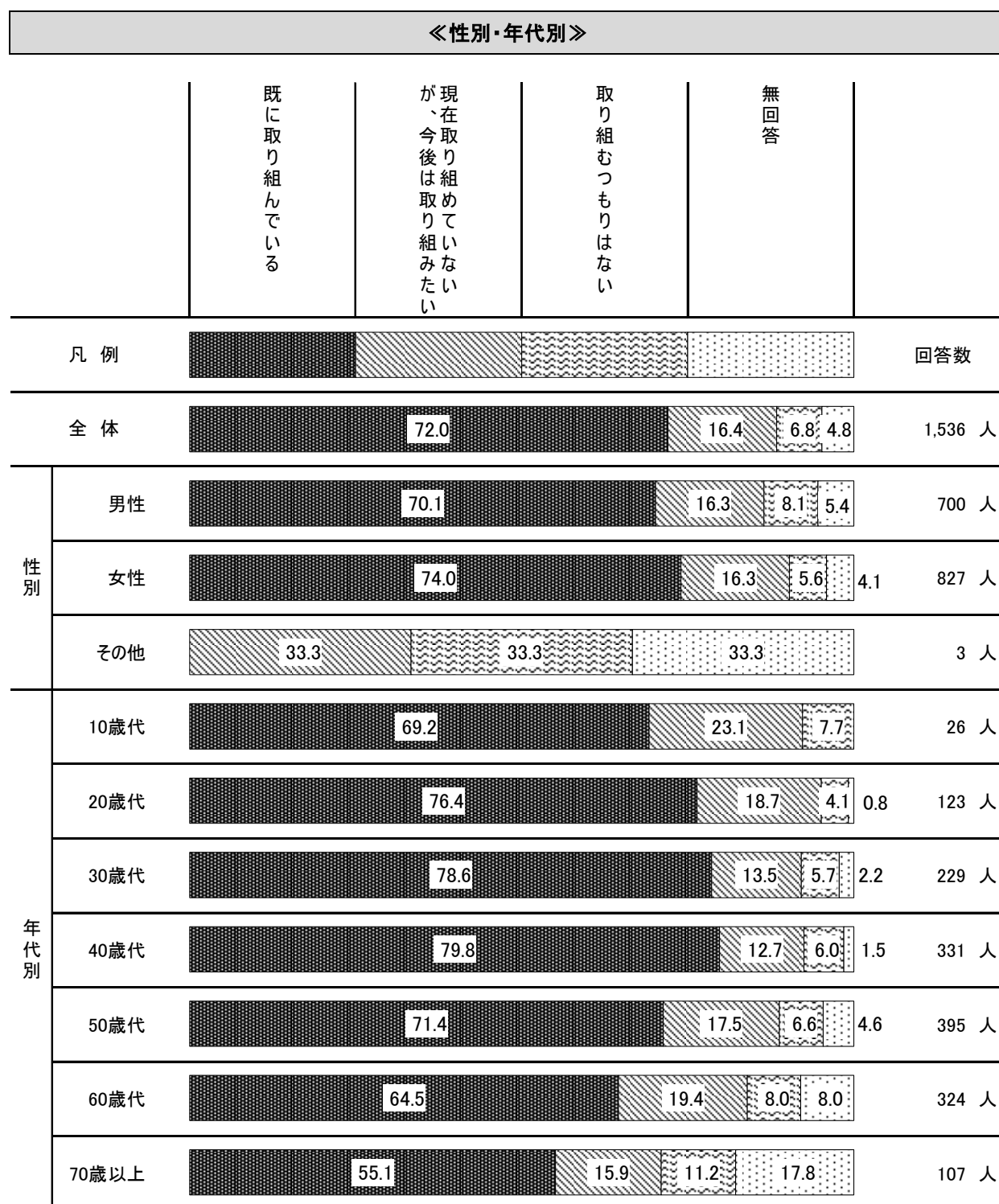


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

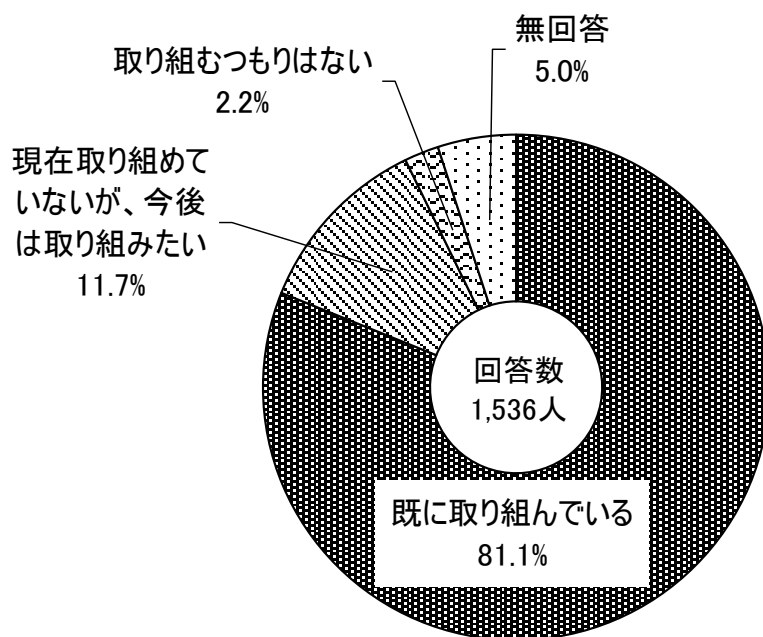
10 飲食店等で注文し過ぎない

【総合】

「既に取り組んでいる」が81.1%と1位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が11.7%、「取り組むつもりはない」が2.2%と続いている。

《総合》



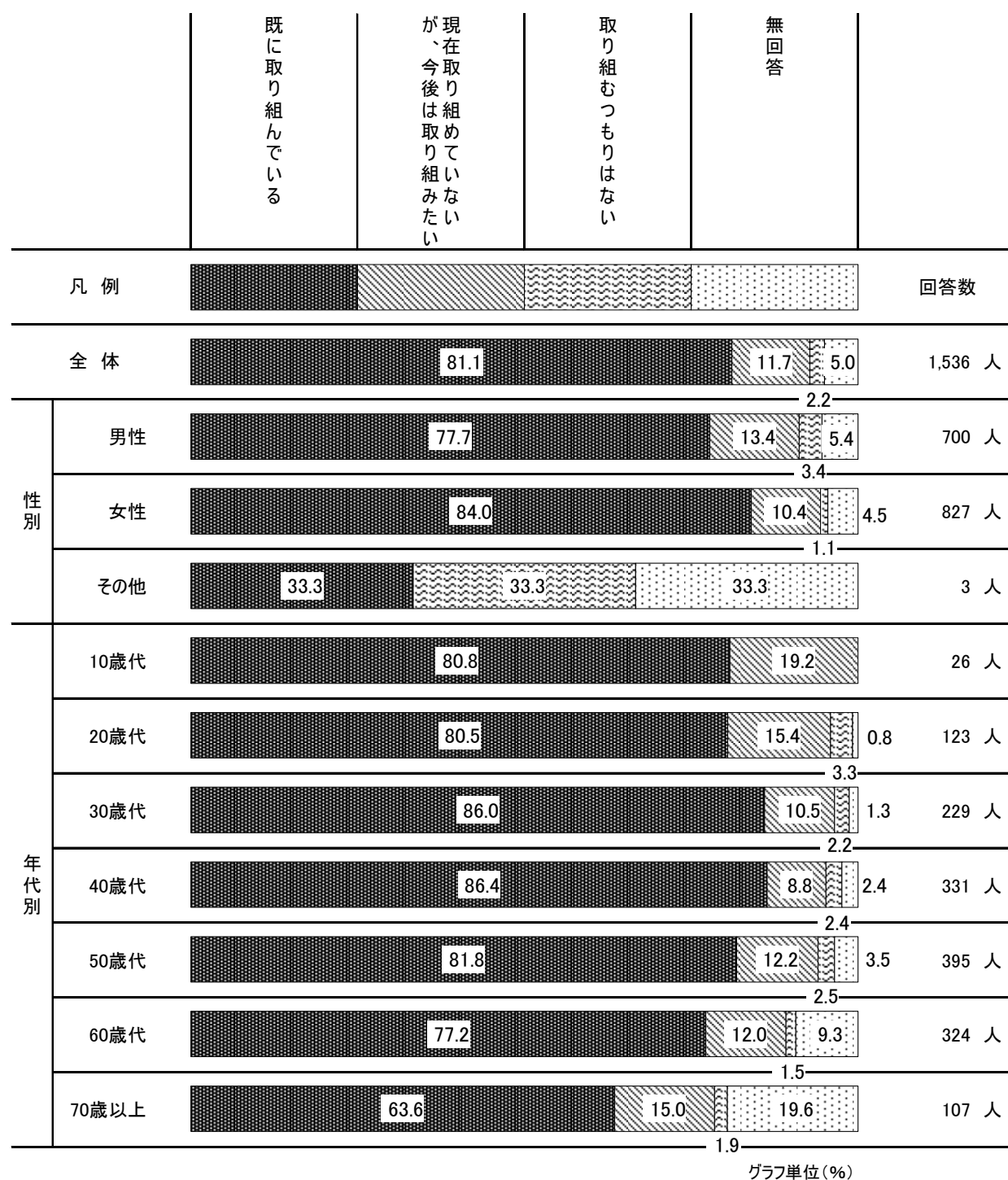
【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

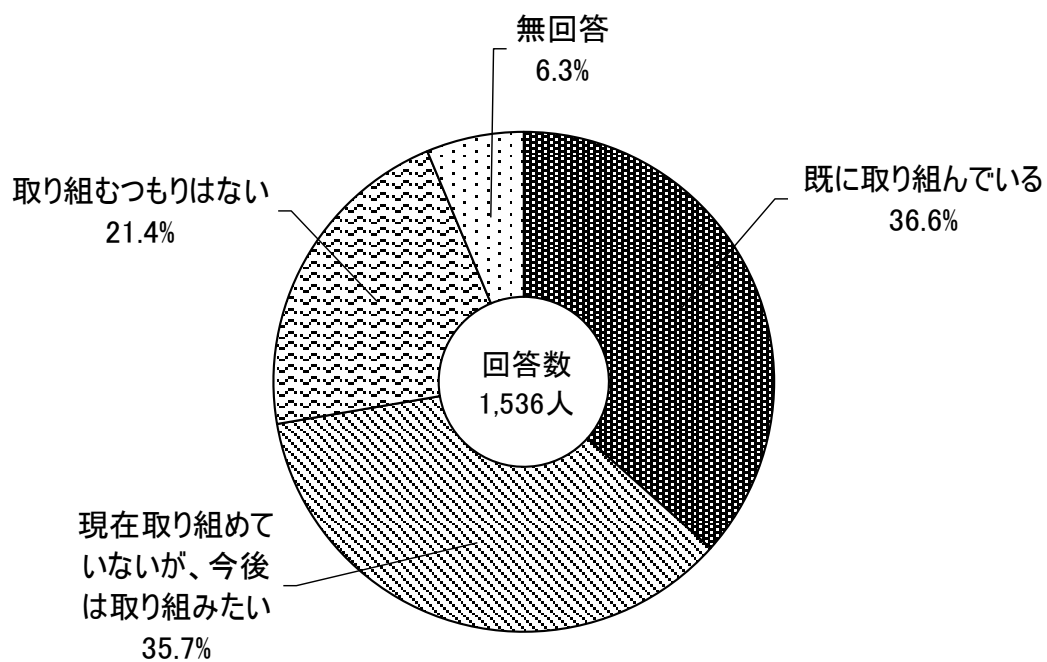
11 外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ

【総合】

「既に取り組んでいる」が 36.6%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 35.7%、「取り組むつもりはない」が 21.4%と続いている。

《総合》

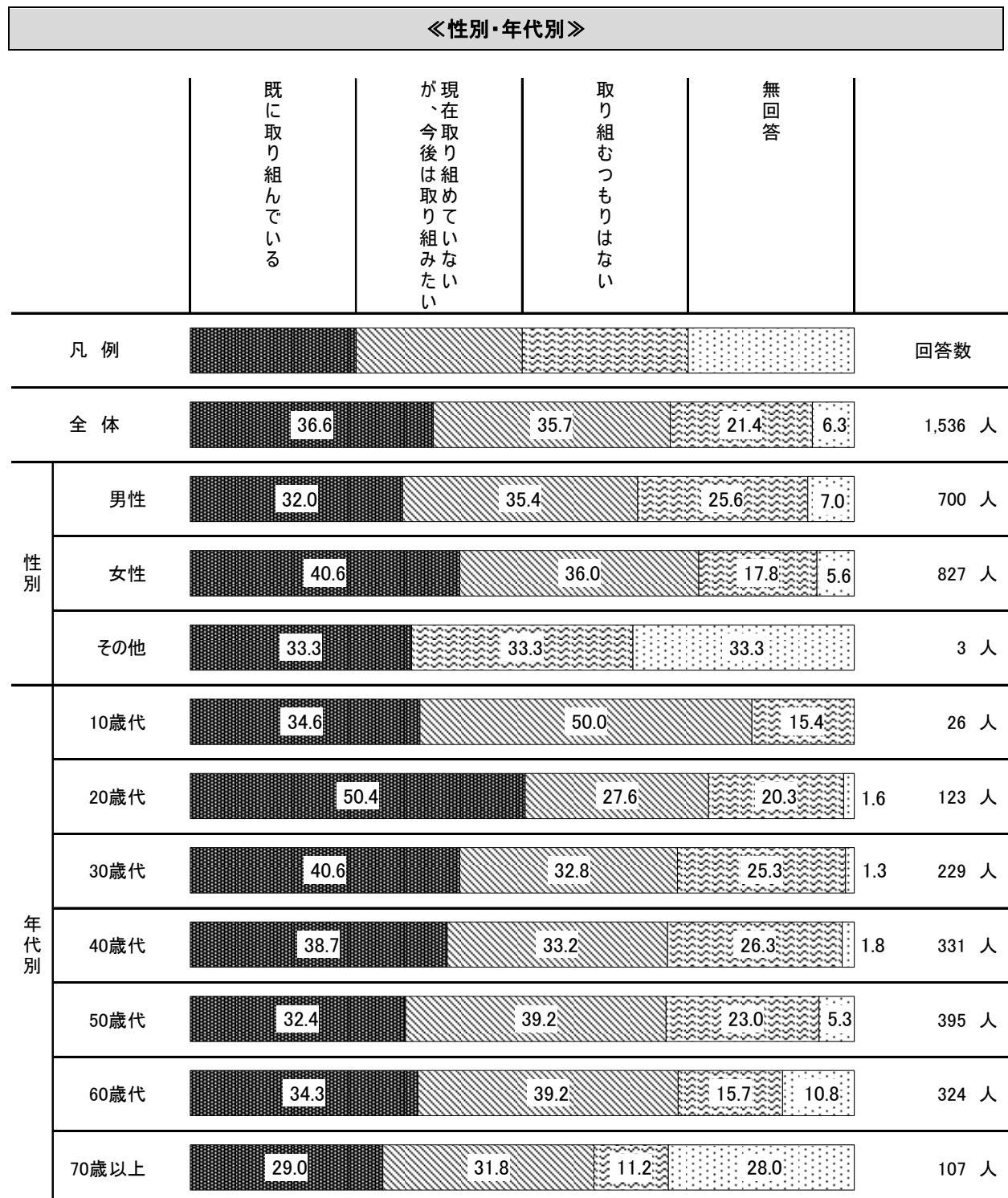


【性別】

男性では「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が、女性では「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が最も高く、20歳代、30歳代、40歳代では「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

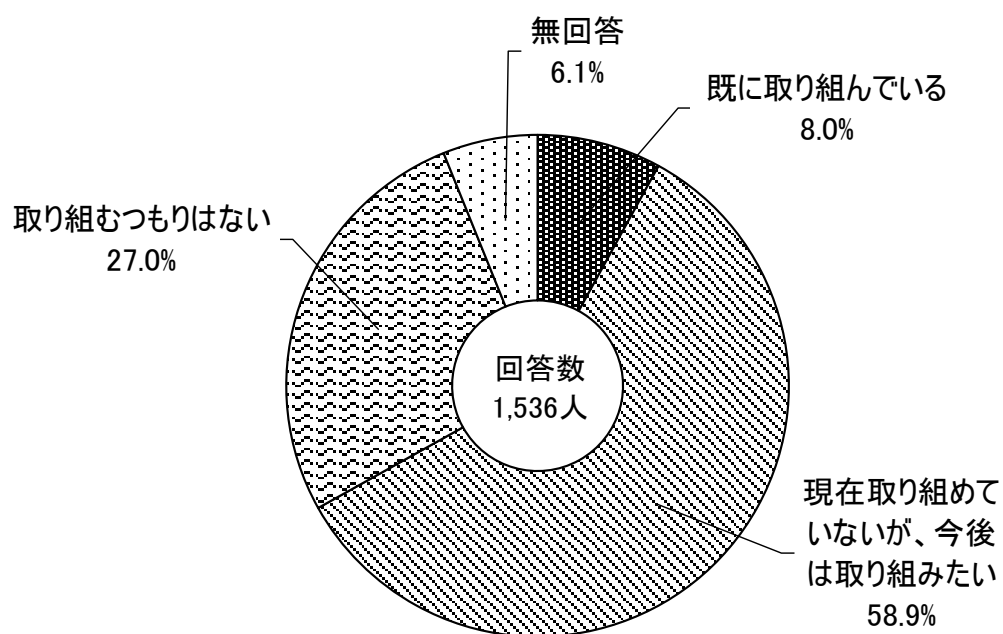
12 食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄附をする

【総合】

「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が 58.9%と 1 位になっている。

次いで、「取り組むつもりはない」が 27.0%、「既に取り組んでいる」が 8.0%と続いている。

《総合》



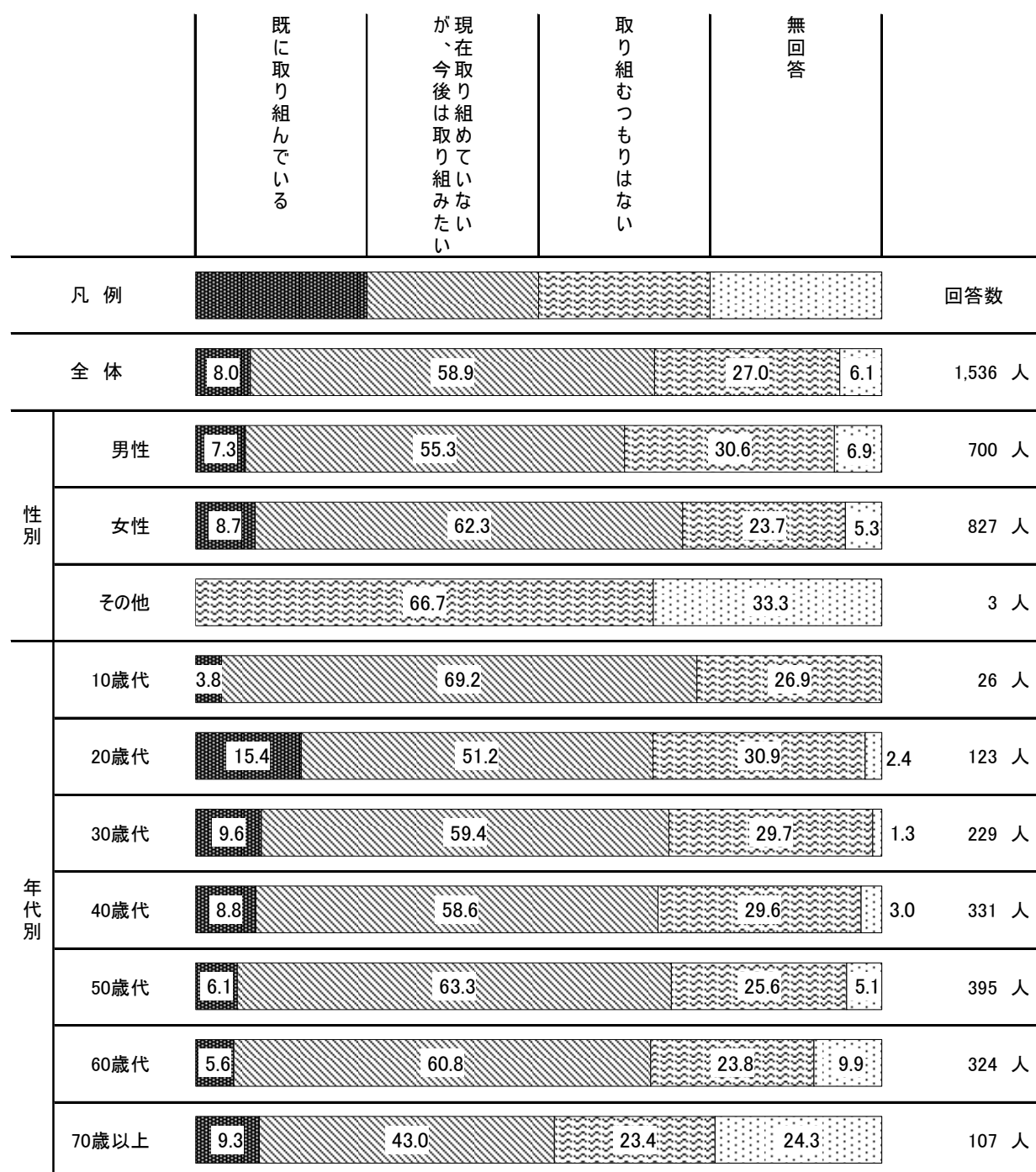
【性別】

男女ともに「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「現在取り組めていないが、今後は取り組みたい」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

10. グリーン化(地球温暖化対策)、環境について

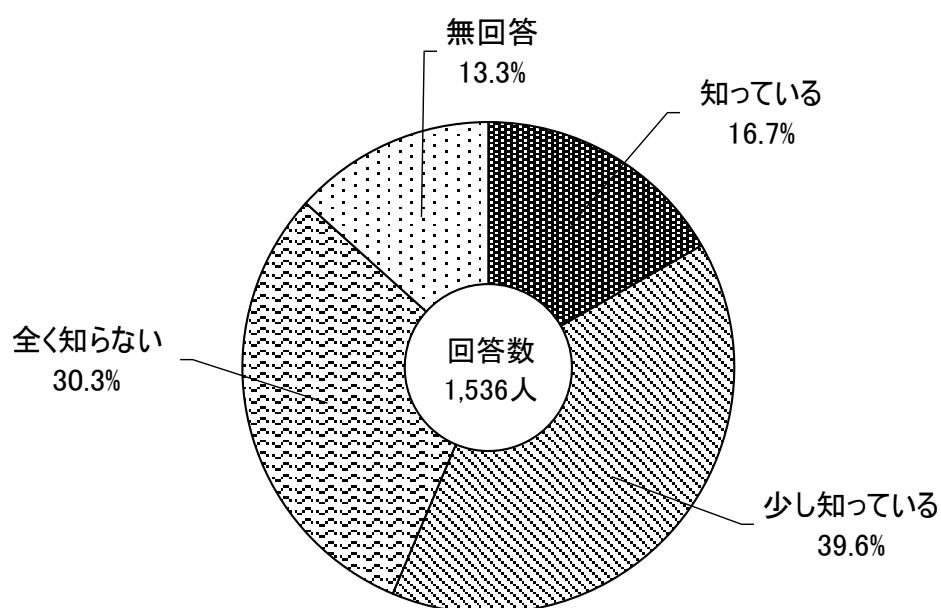
問 40 高知県が地球温暖化防止対策として様々な取組を進めていることを知っていますか。(1つだけ○印)

【総合】

「少し知っている」が39.6%と1位になっている。

次いで、「全く知らない」が30.3%、「知っている」が16.7%が続いている。

《総合》

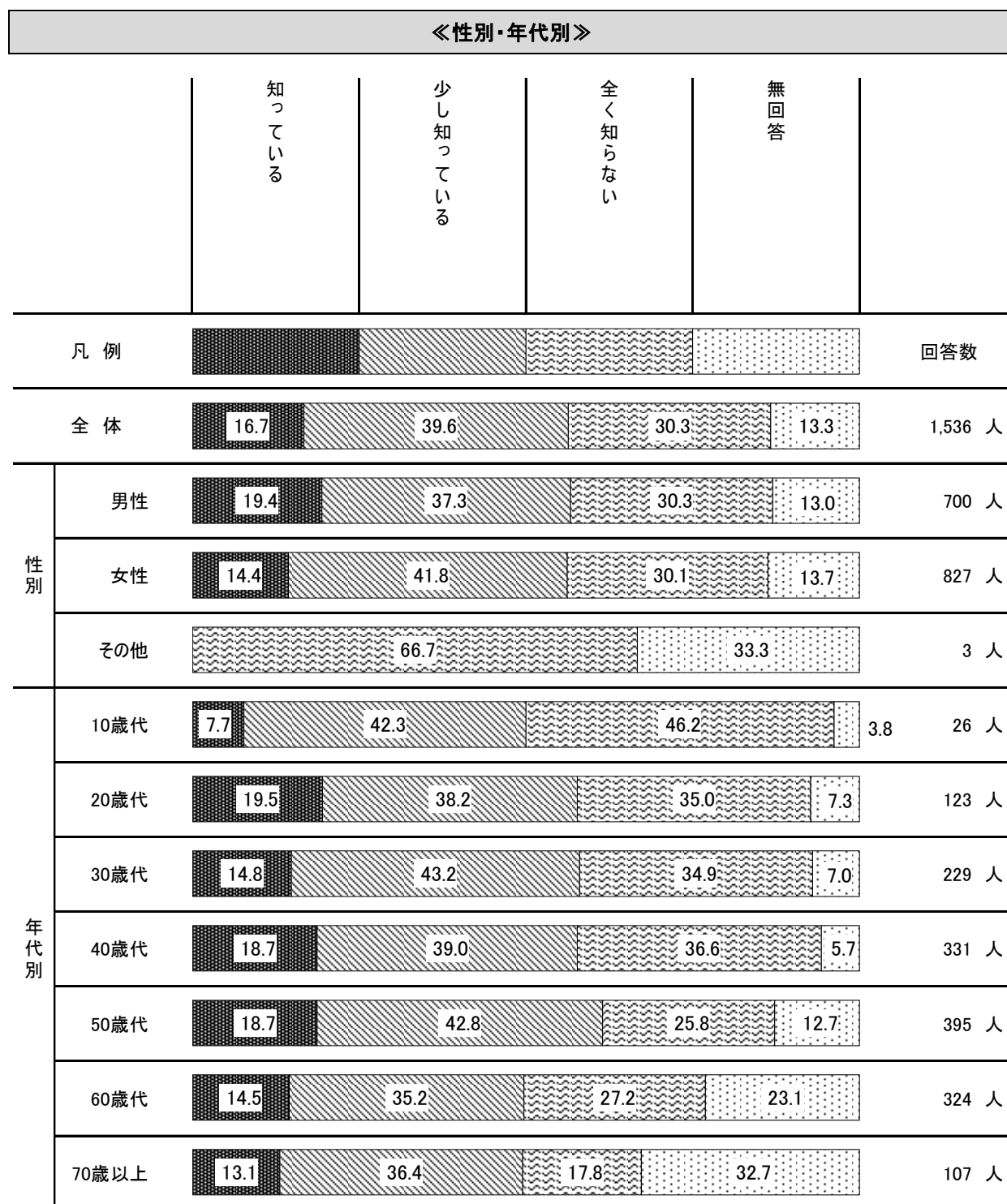


【性別】

男女ともに「少し知っている」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「少し知っている」が最も高く、10歳代では「全く知らない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

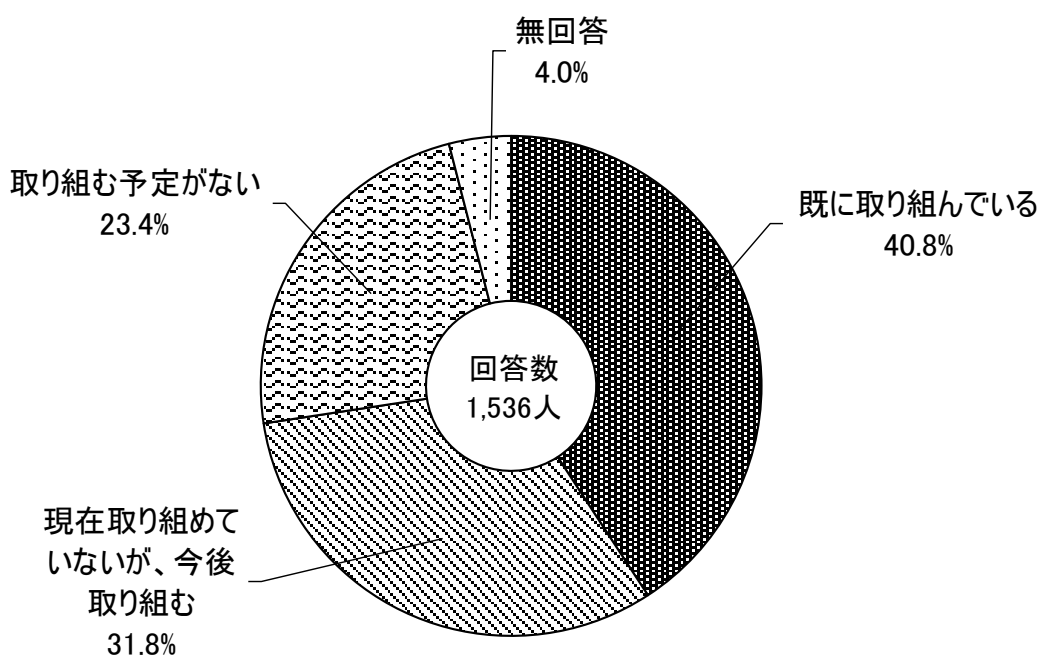
1 エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしている、体調や気温に応じて利用時間をできるだけ短くする

【総合】

「既に取り組んでいる」が 40.8%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 31.8%、「取り組む予定がない」が 23.4%と続いている。

《総合》

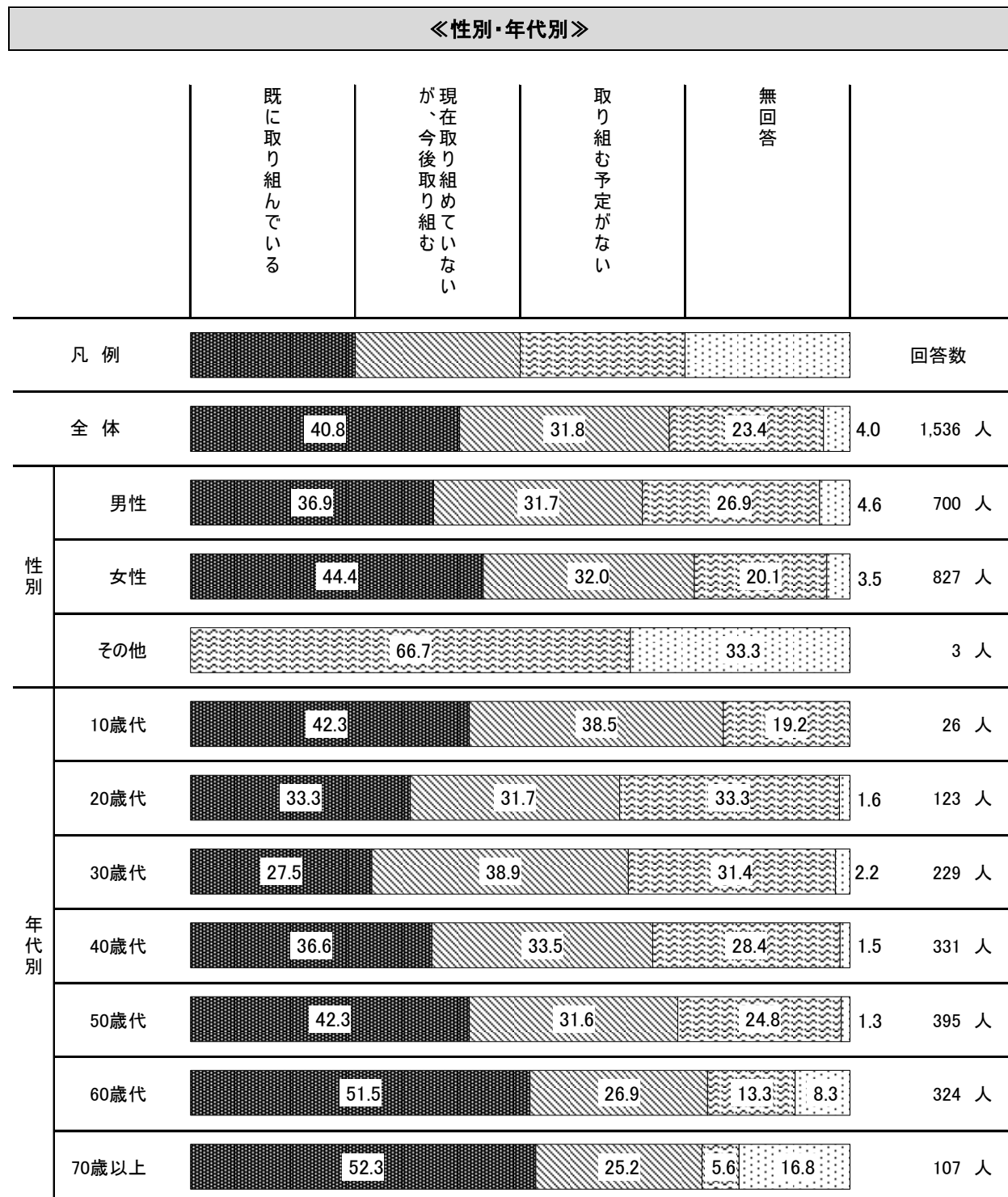


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

30歳代を除くすべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高く、30歳代では「現在取り組めていないが、今後取り組む」が最も高くなっている。また、20歳代では同率で「取り組む予定がない」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

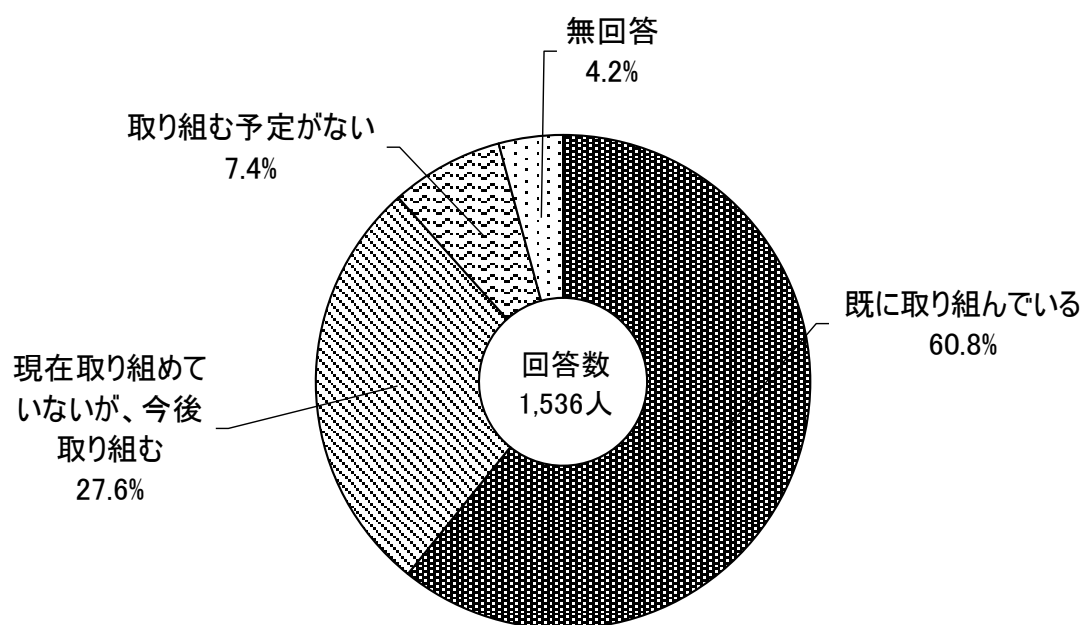
2 電気の使用量を減らす(こまめに消灯する、テレビの視聴時間を少なくする、冷蔵庫にものを詰め込みすぎないなど)

【総合】

「既に取り組んでいる」が 60.8%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 27.6%、「取り組む予定がない」が 7.4%と続いている。

《総合》

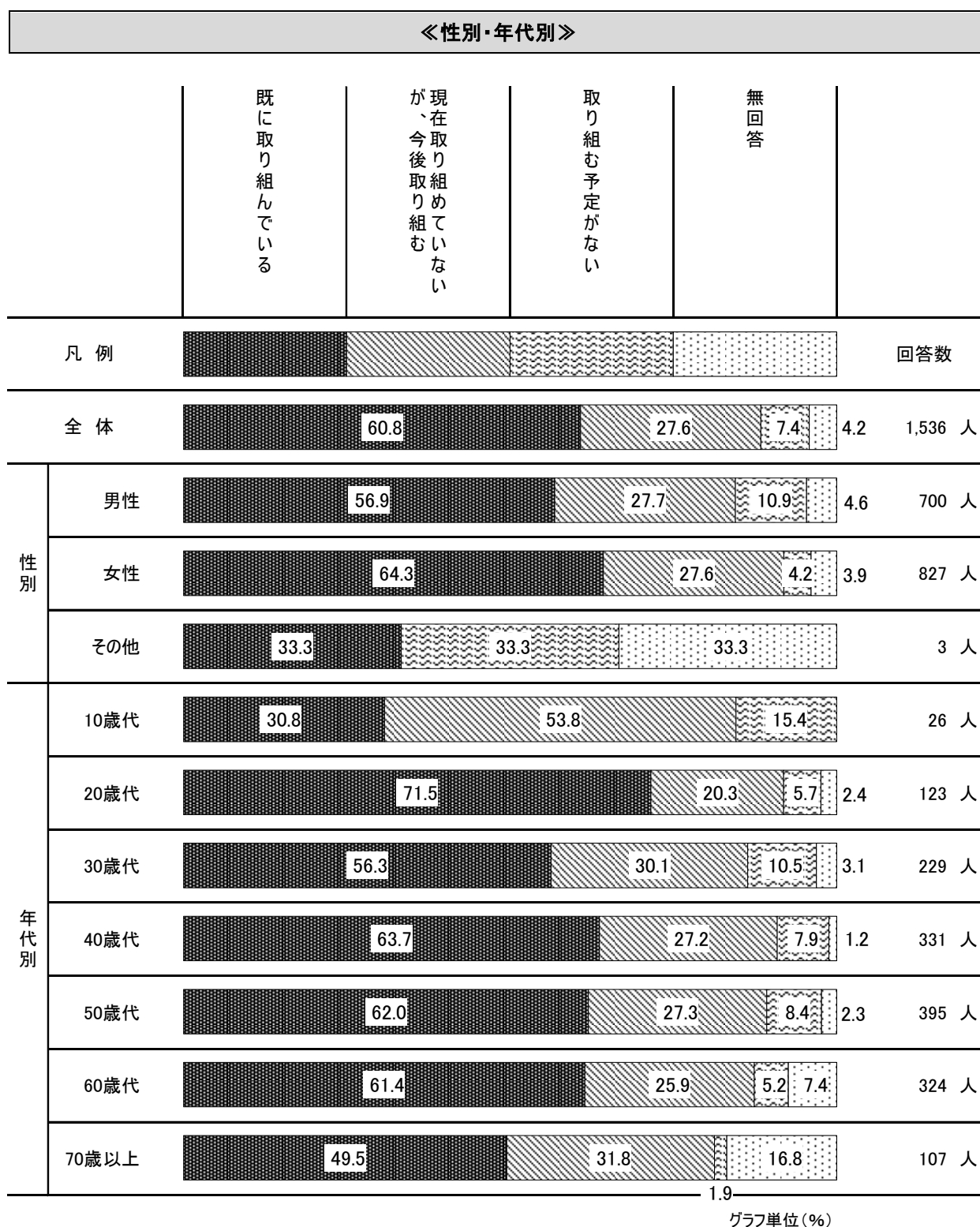


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高く、10歳代では「現在取り組めていないが、今後取り組む」が最も高くなっている。



問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

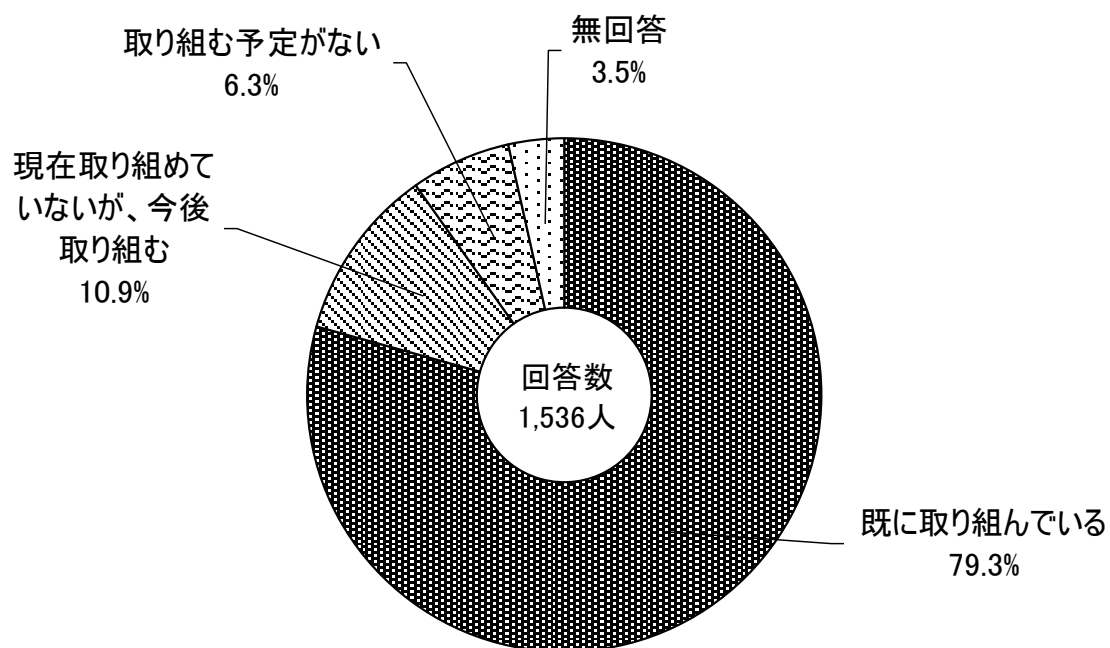
3 エコバッグでの買い物を心がける

【総合】

「既に取り組んでいる」が 79.3%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 10.9%、「取り組む予定がない」が 6.3%と続いている。

《総合》

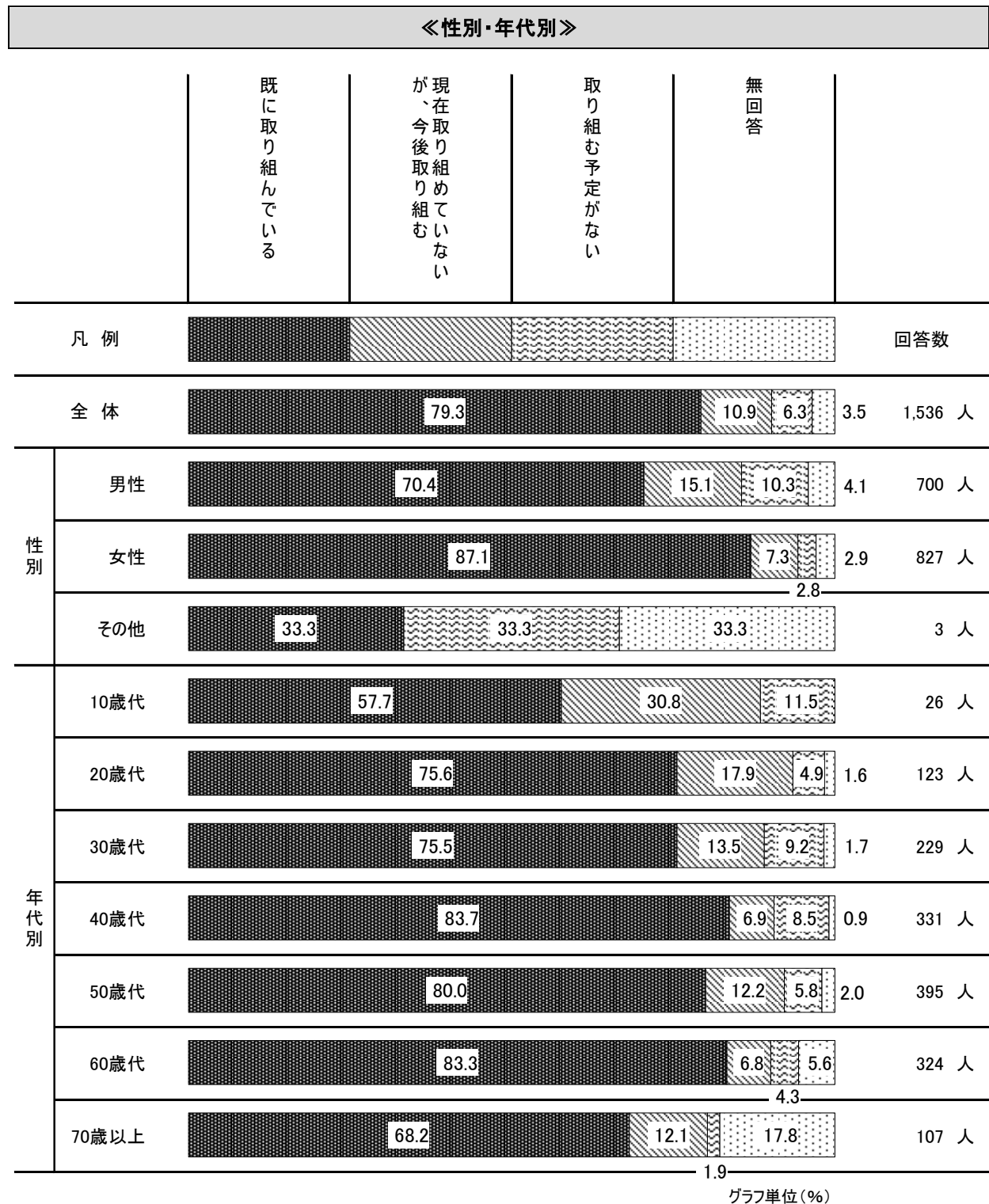


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

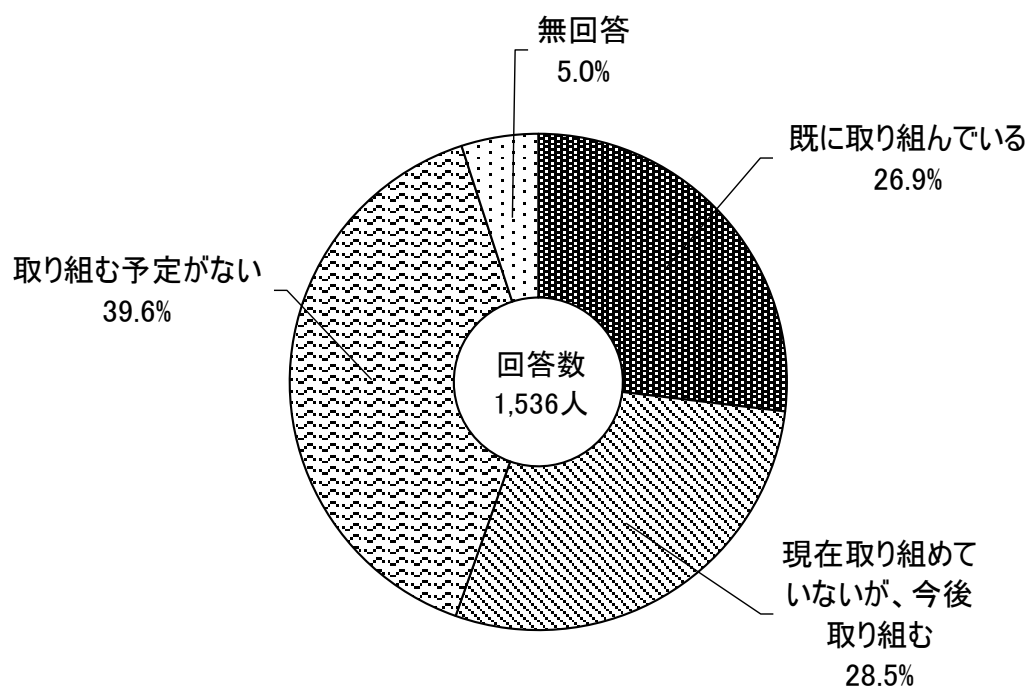
4 普段の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する

【総合】

「取り組む予定がない」が 39.6%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 28.5%、「既に取り組んでいる」が 26.9%と続いている。

《総合》

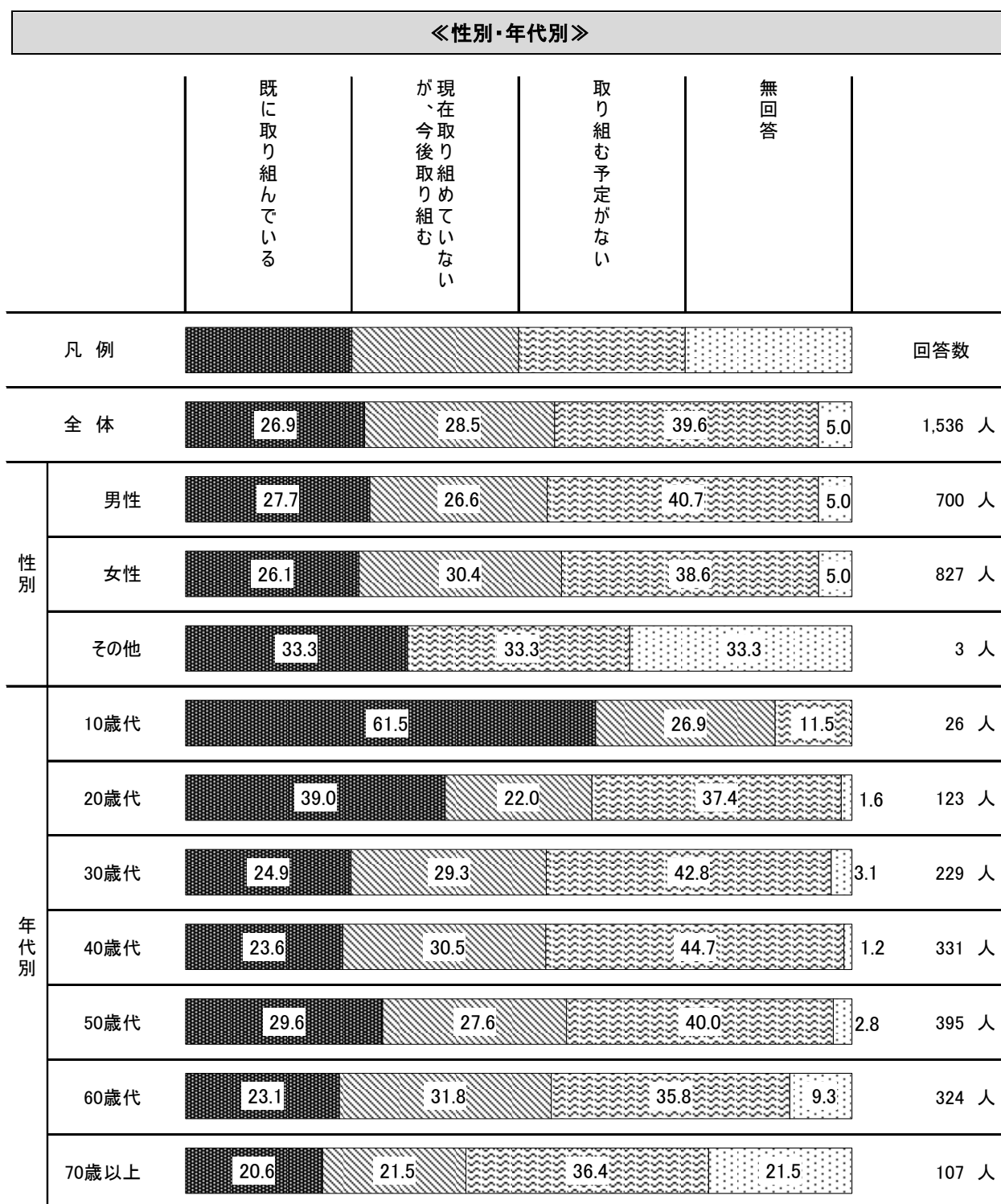


【性別】

男女ともに「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代では「既に取り組んでいる」が最も高く、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「取り組む予定がない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

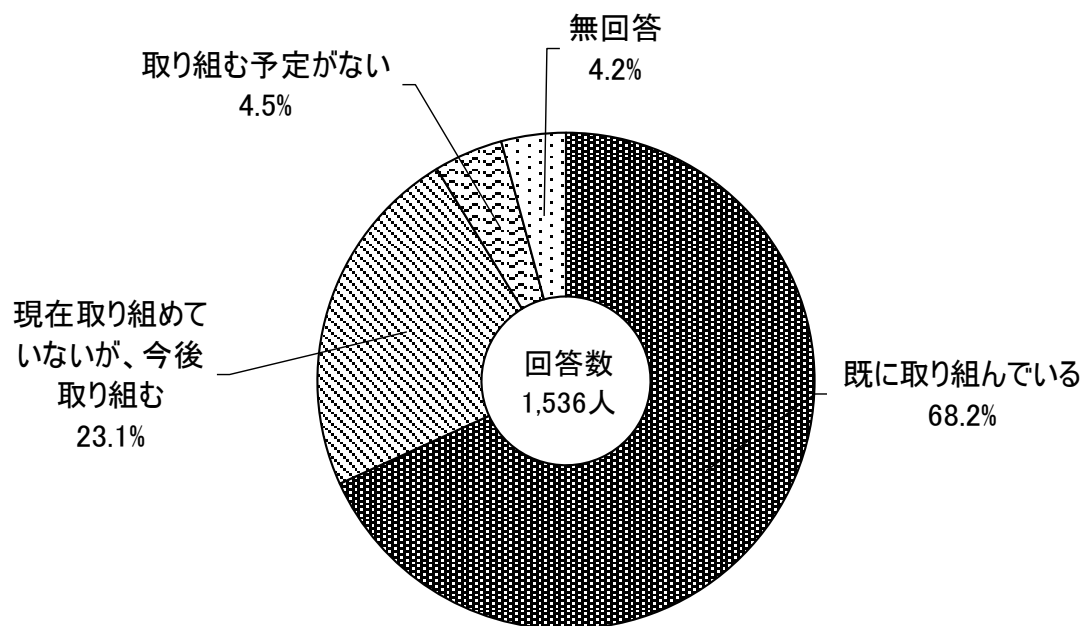
5 家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える

【総合】

「既に取り組んでいる」が68.2%と1位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が23.1%、「取り組む予定がない」が4.5%と続いている。

《総合》

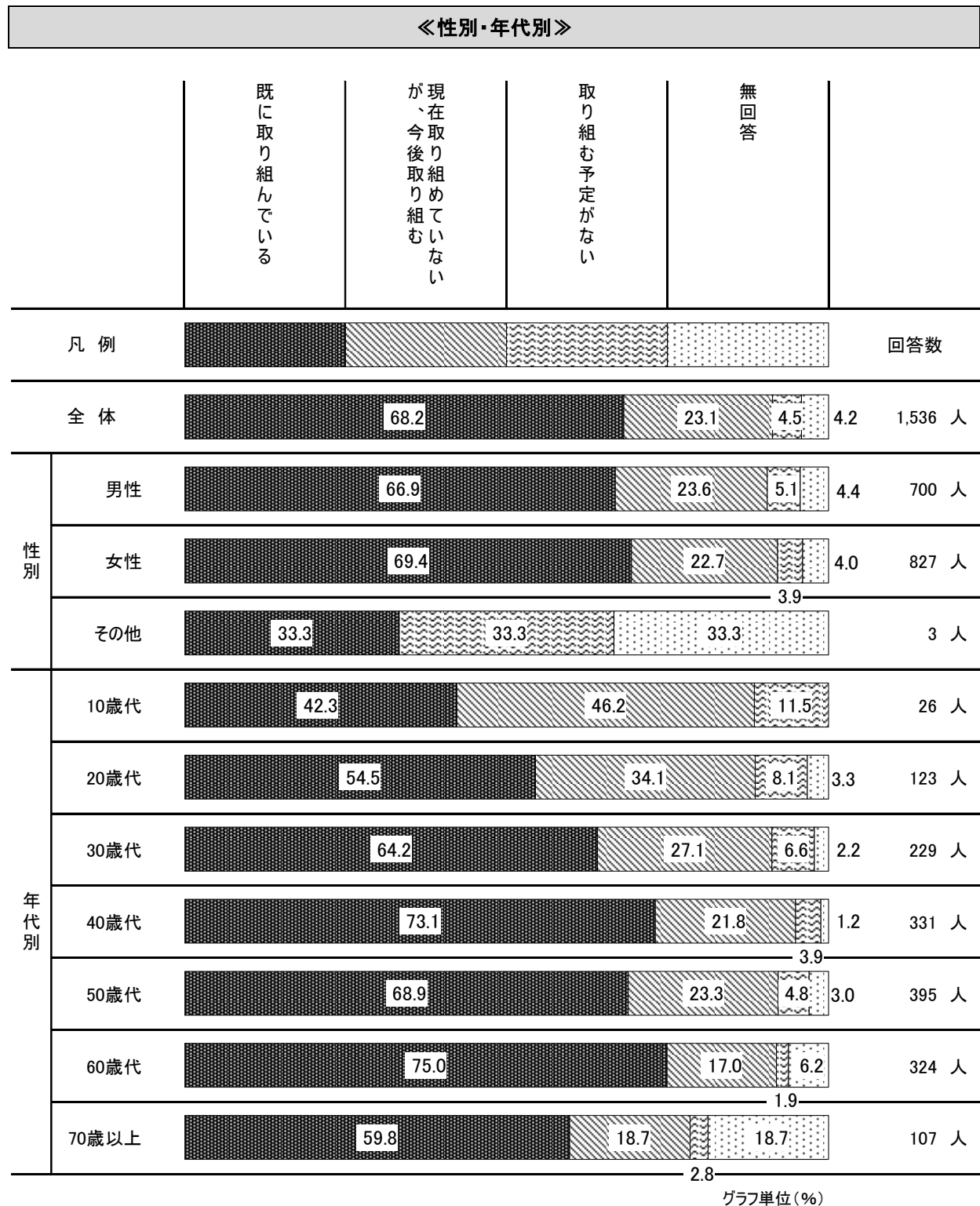


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高く、10歳代では「現在取り組んでいるが今後取り組む」が最も高くなっている。



問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

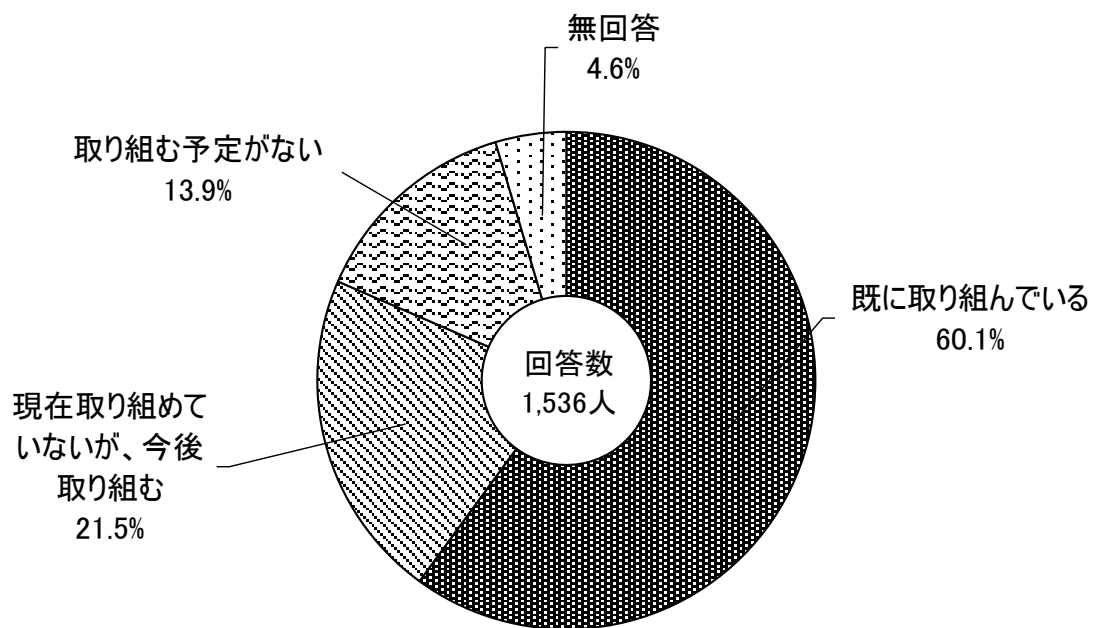
6 日頃からマイボトルを活用する

【総合】

「既に取り組んでいる」が60.1%と1位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が21.5%、「取り組む予定がない」が13.9%と続いている。

《総合》

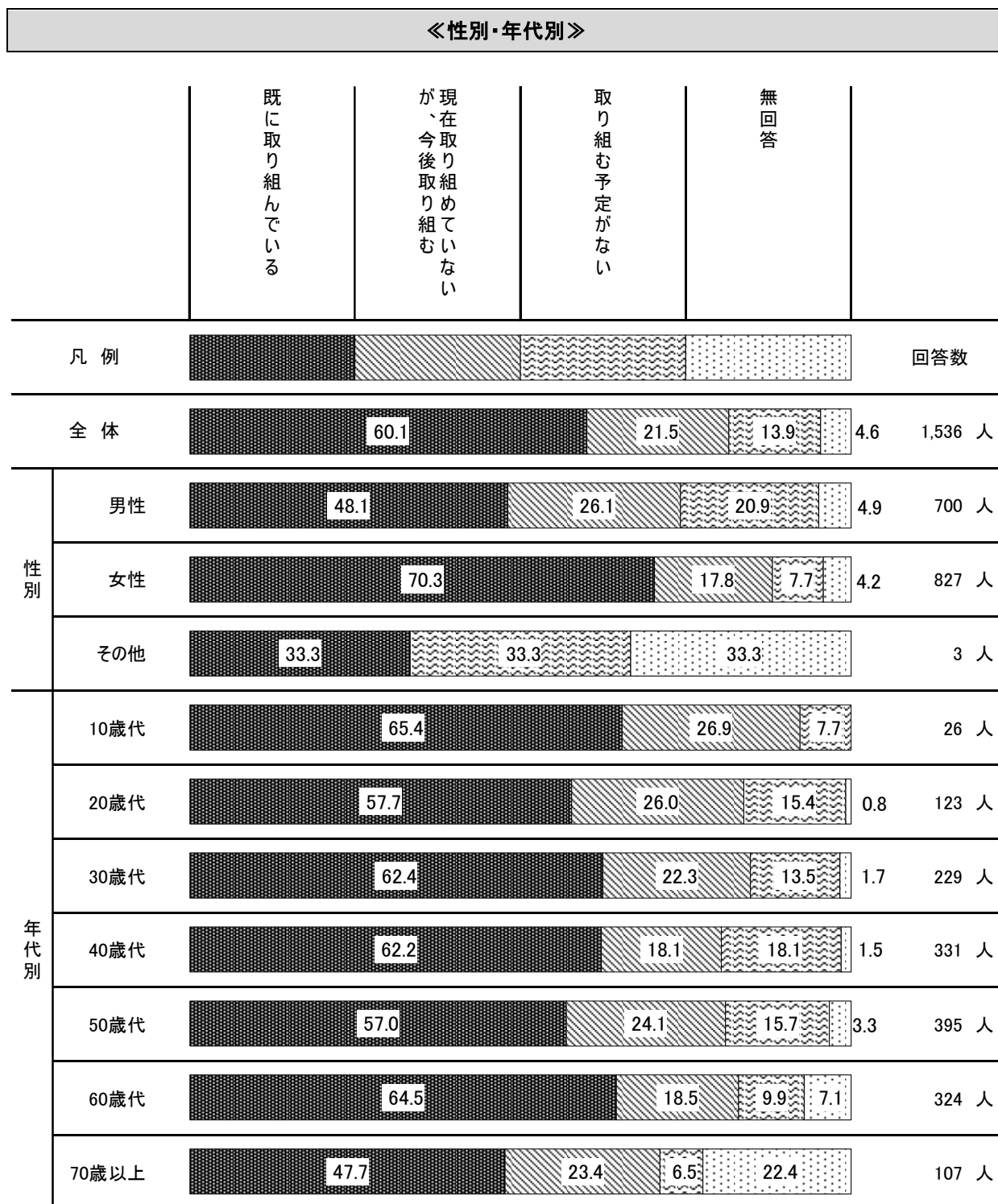


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっており、女性が70.3%と、男性の48.1%よりも22.2ポイント高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

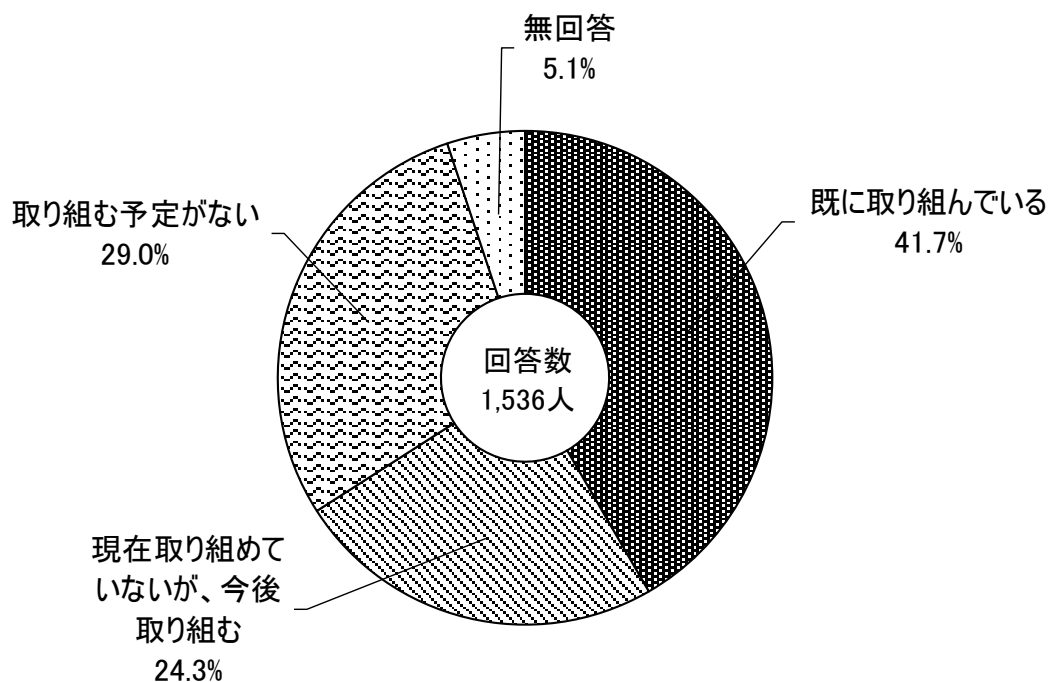
7 従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する

【総合】

「既に取り組んでいる」が41.7%と1位になっている。

次いで、「取り組む予定がない」が29.0%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が24.3%と続いている。

《総合》



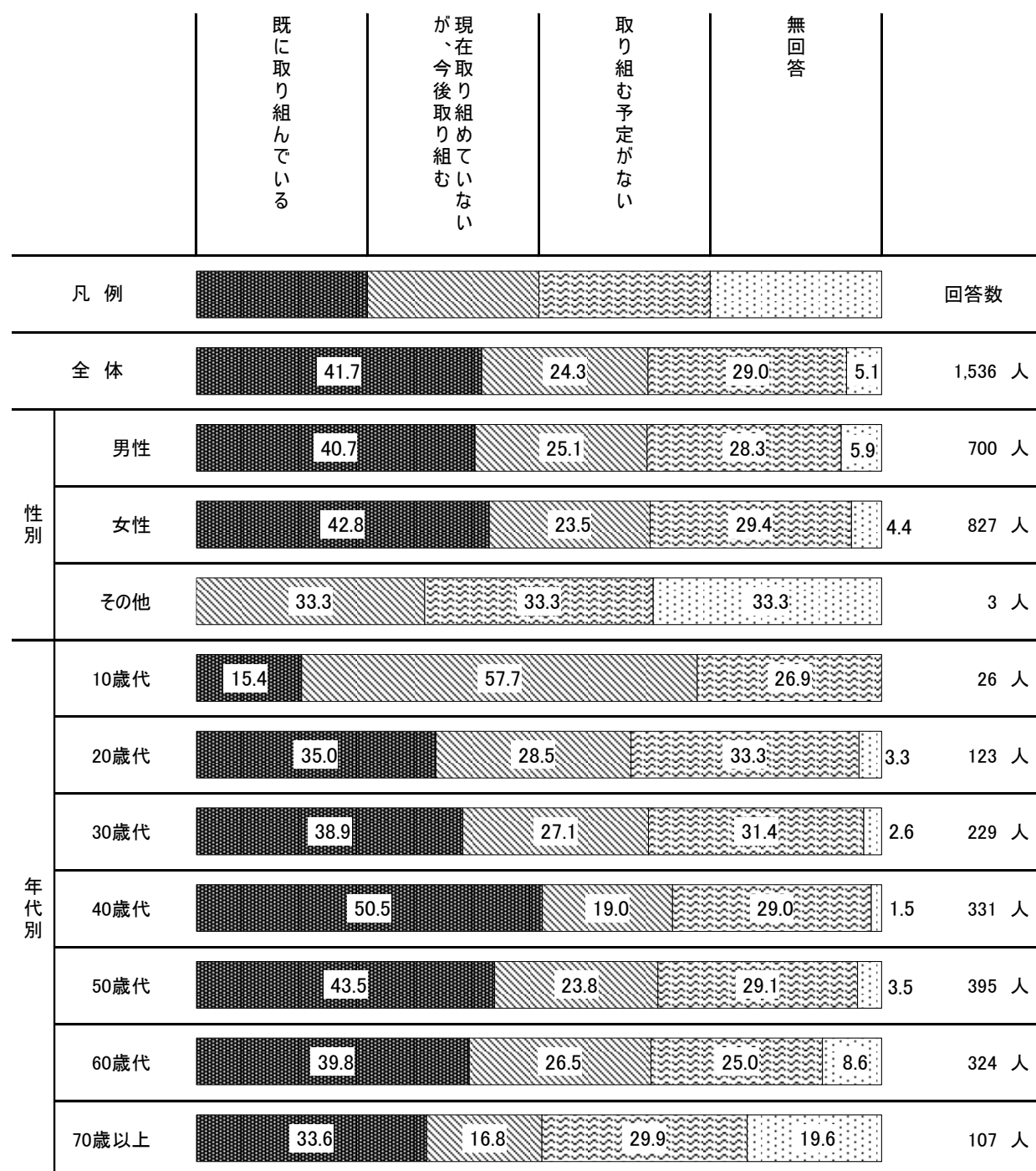
【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「既に取り組んでいる」が最も高く、10歳代では「現在取り組めていないが、今後取り組む」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

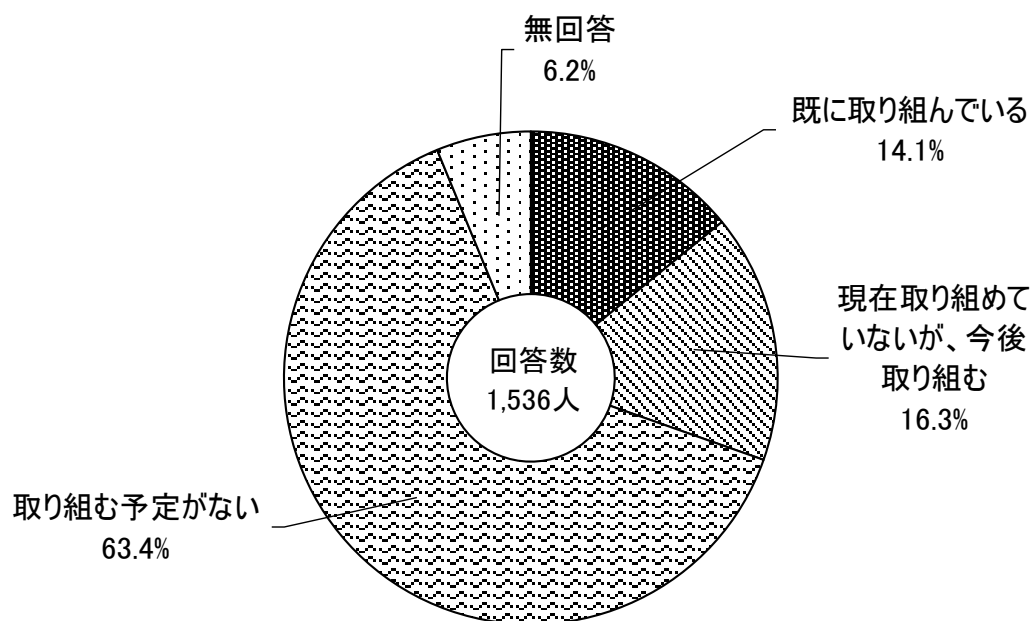
8 太陽光発電システムを設置する

【総合】

「取り組む予定がない」が 63.4%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 16.3%、「既に取り組んでいる」が 14.1%と続いている。

《総合》



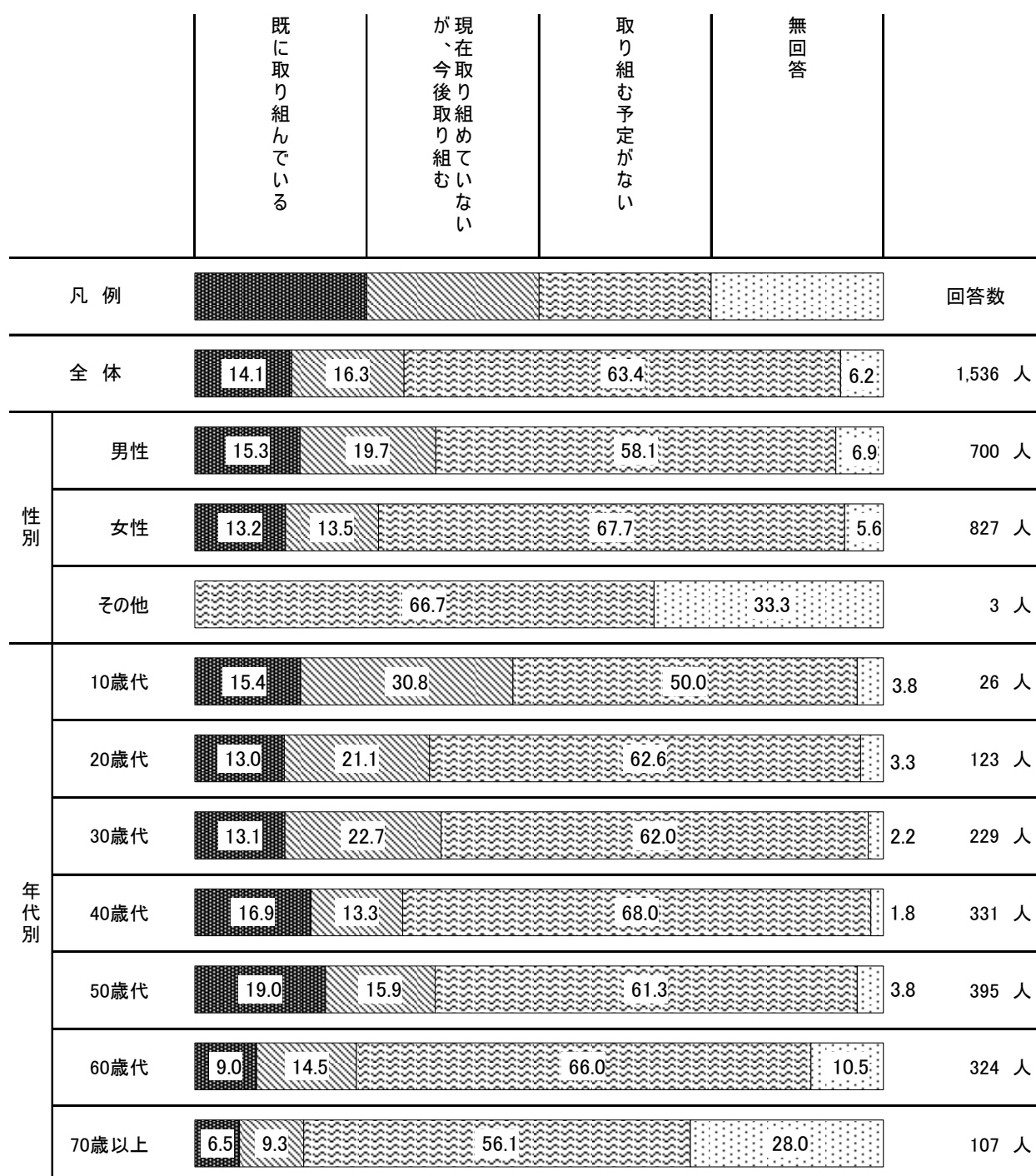
【性別】

男女ともに「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

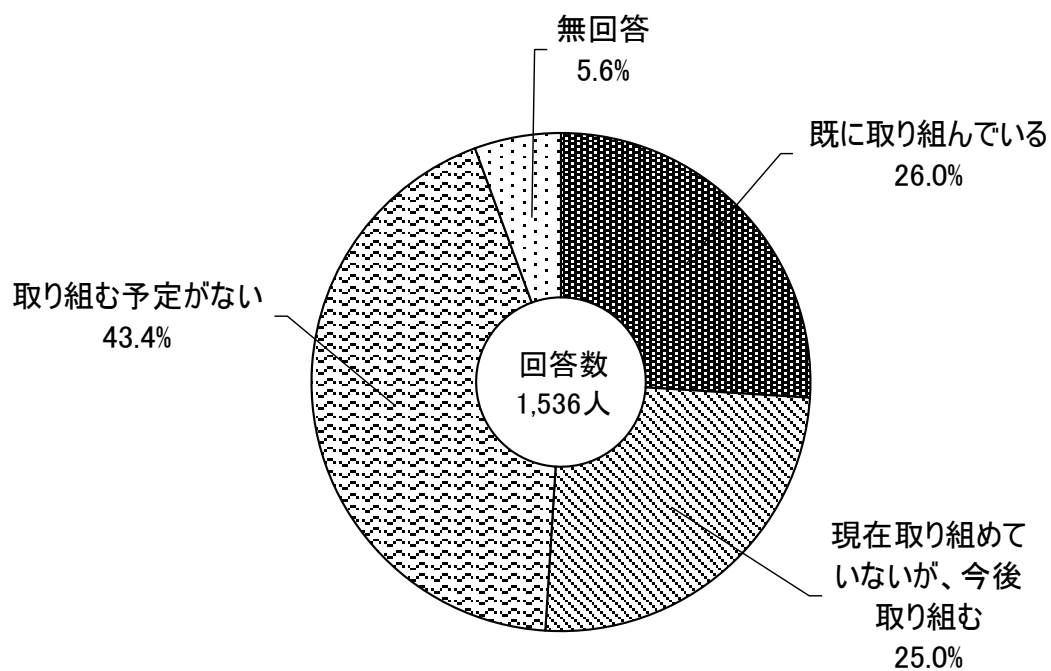
9 低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している

【総合】

「取り組む予定がない」が43.4%と1位になっている。

次いで、「既に取り組んでいる」が26.0%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が25.0%と続いている。

《総合》



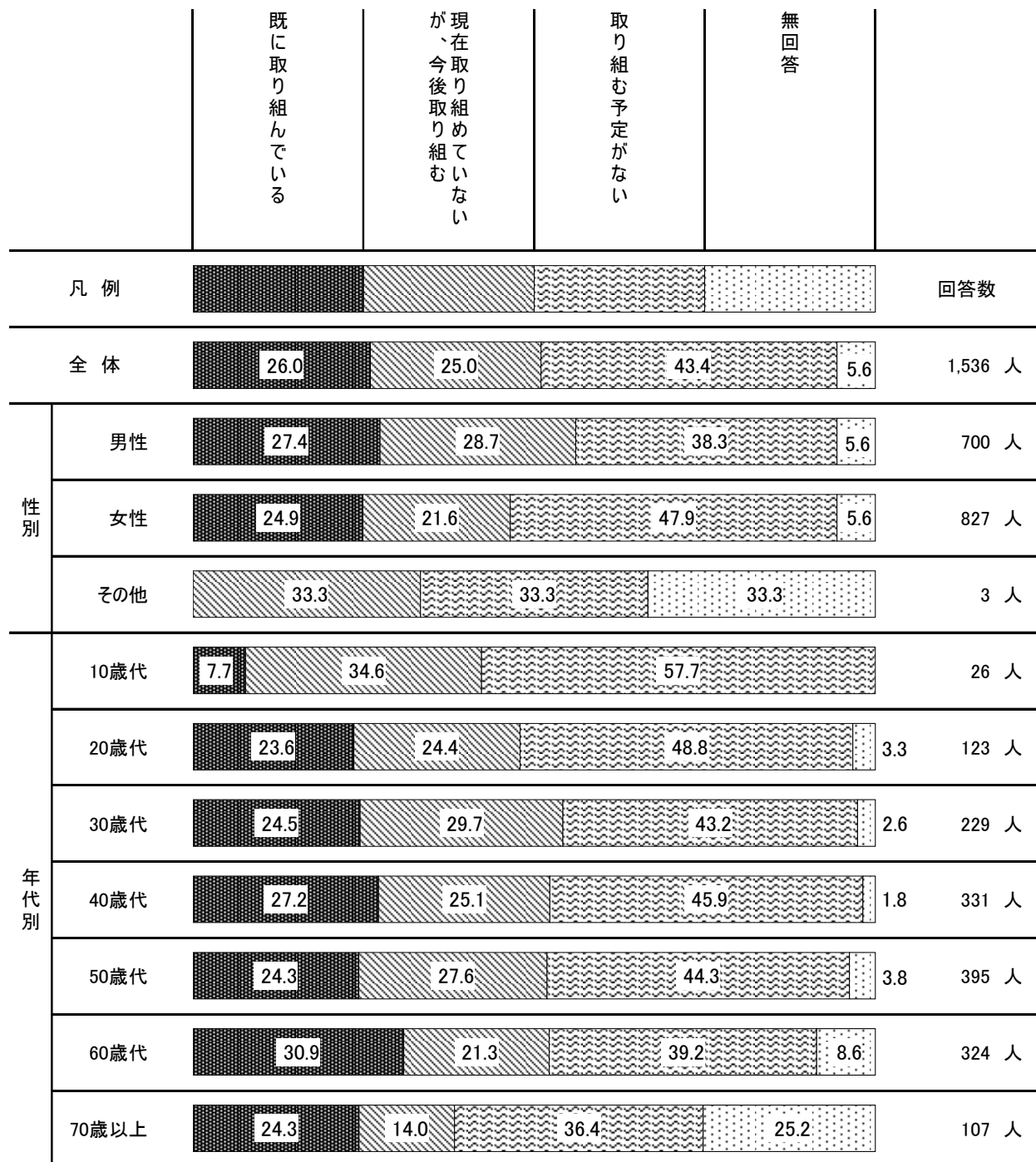
【性別】

男女ともに「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

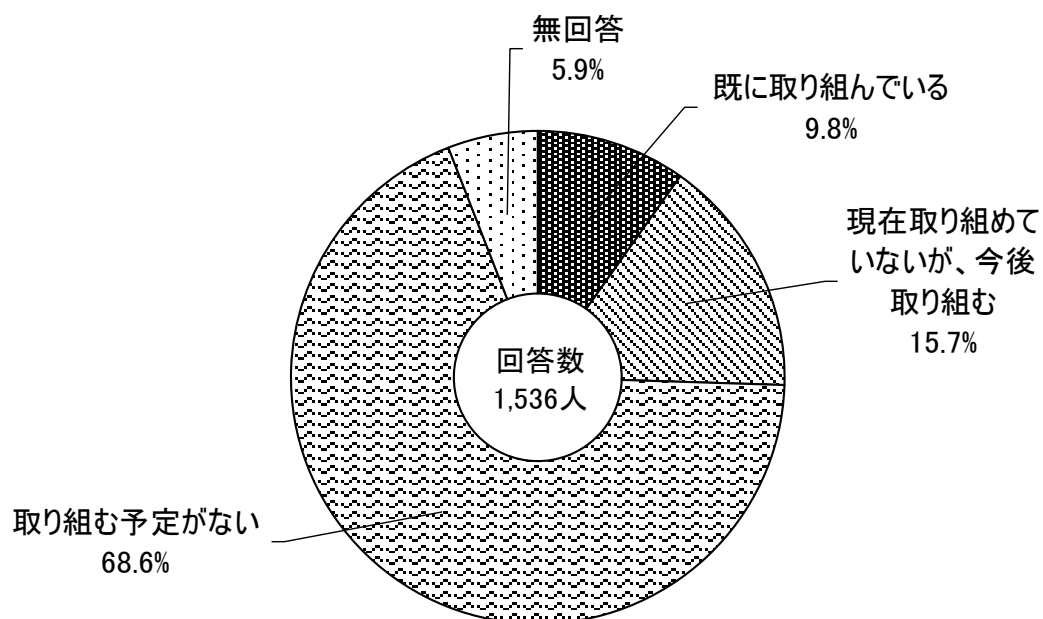
10 自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）ことを考えている

【総合】

「取り組む予定がない」が68.6%と1位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が15.7%、「既に取り組んでいる」が9.8%と続いている。

《総合》



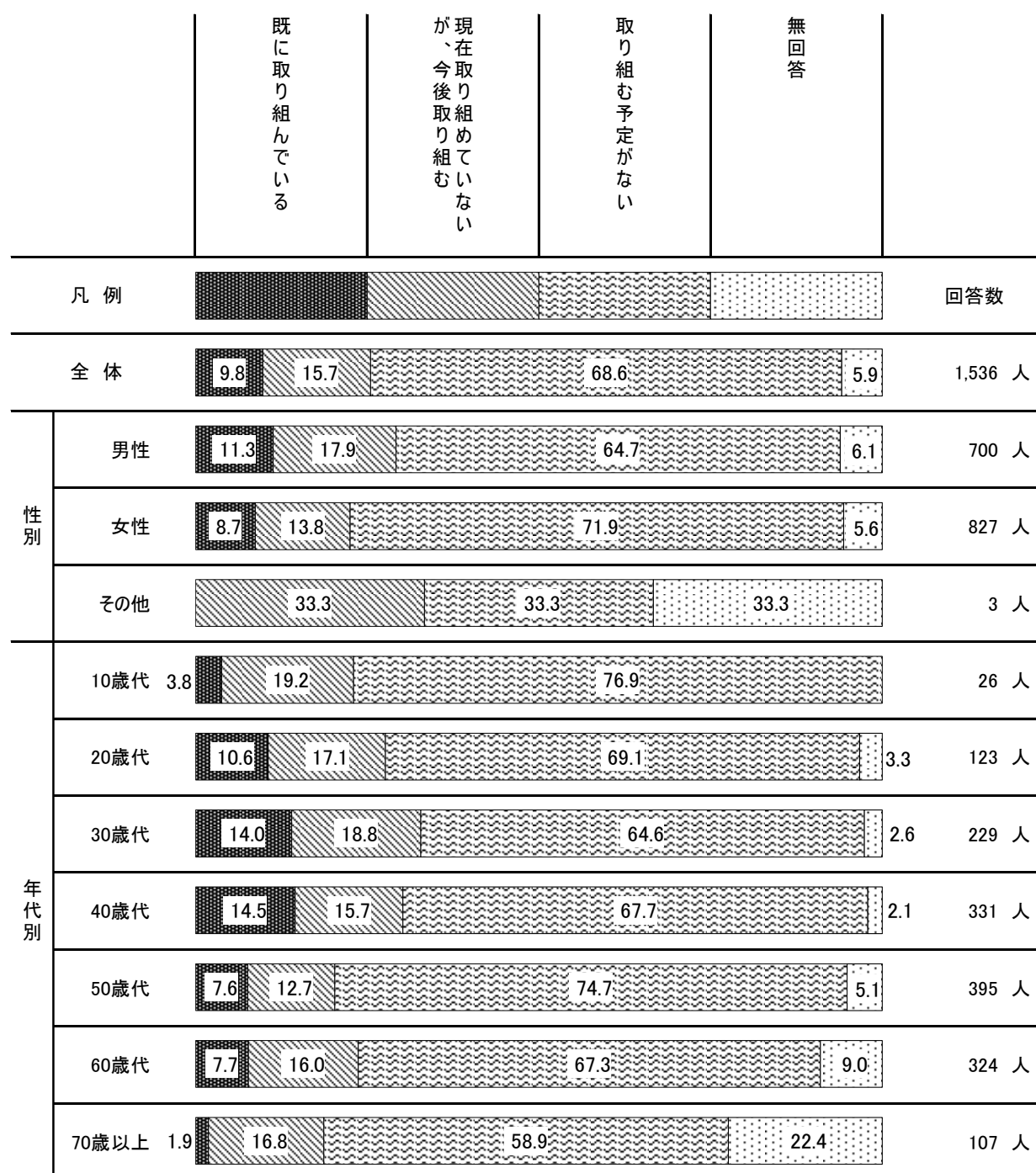
【性別】

男女ともに「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

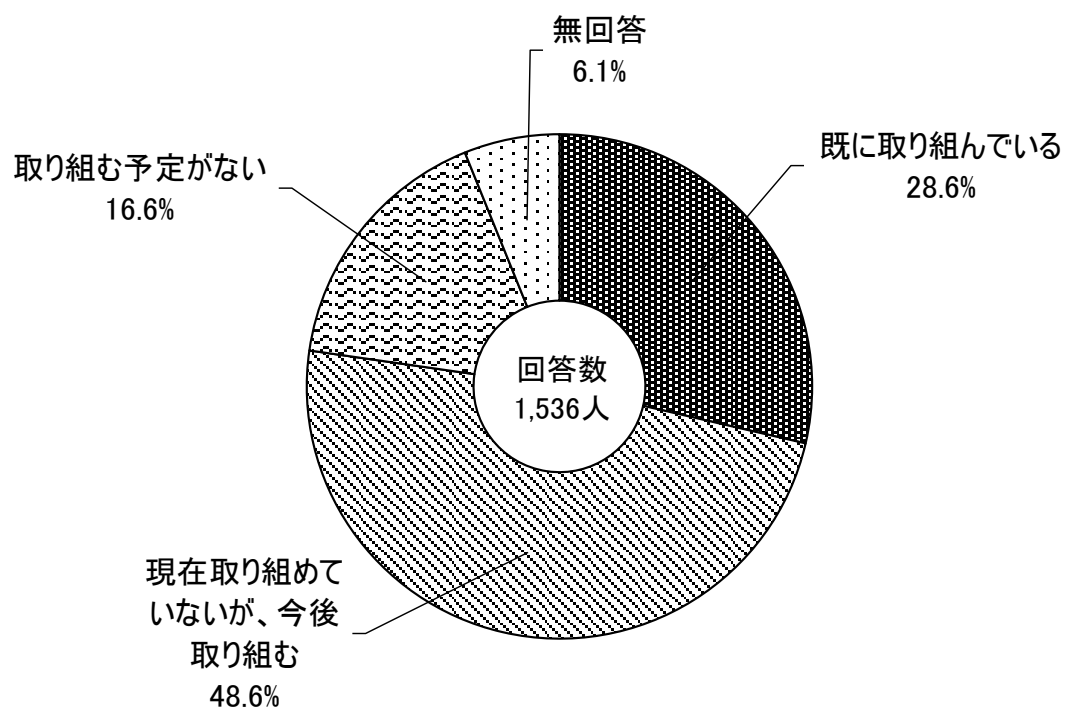
11 積極的に環境に優しい製品やサービス等を選択する

【総合】

「現在取り組めていないが、今後取り組む」が48.6%と1位になっている。

次いで、「既に取り組んでいる」が28.6%、「取り組む予定がない」が16.6%と続いている。

《総合》

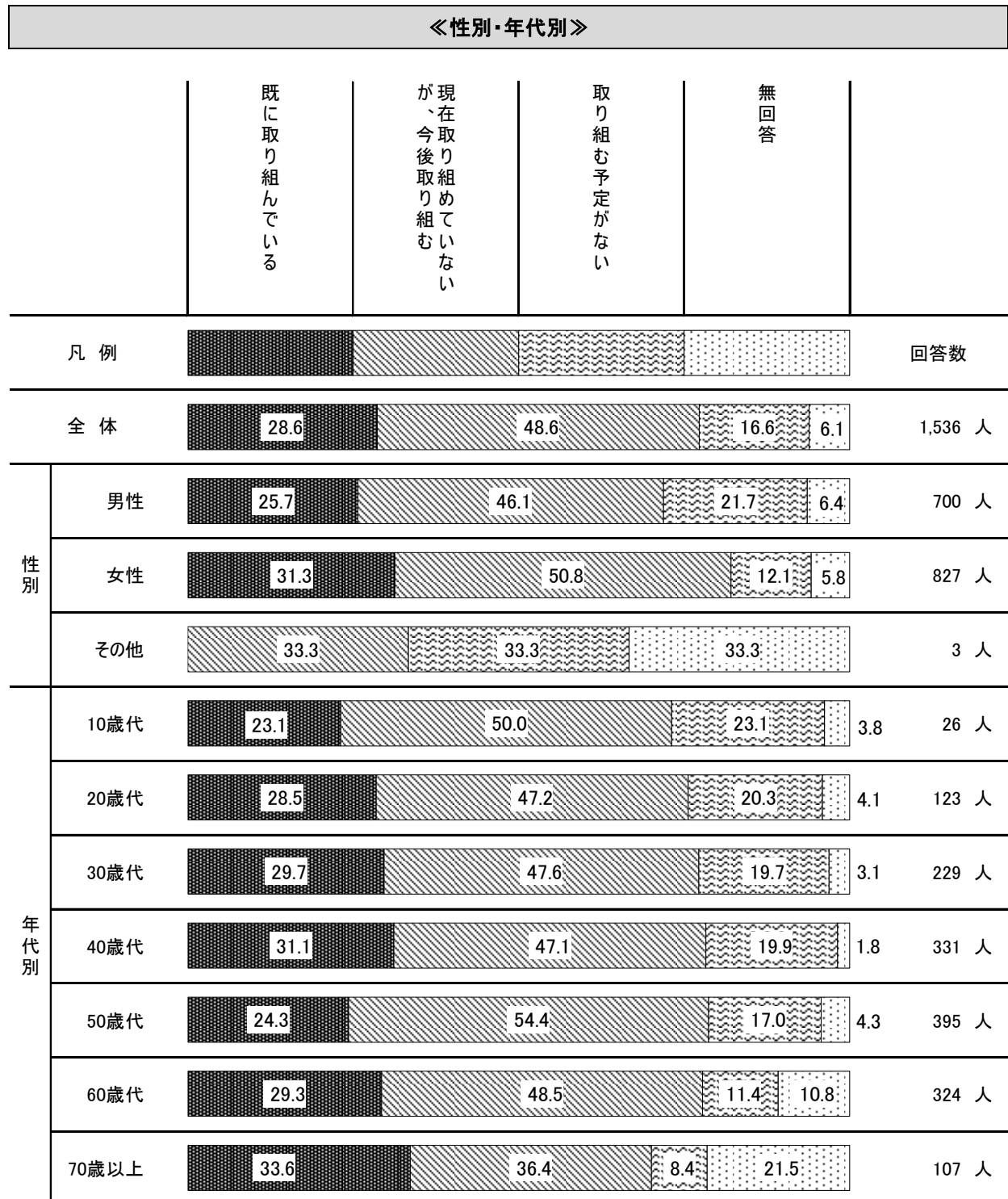


【性別】

男女ともに「現在取り組めていないが、今後取り組む」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

【問 40×問 40-①のクロス分析】

「県の取組の認知状況」という質問に対し、「県民の取組状況「①既に取り組んでいる」」の結果を見ると、どの認知状況でも「エコバッグでの買い物を心がける」が最も高くなっている。次いで「家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える」が続いている。

《問 40×問 41-①のクロス分析》

		合計	県民の取組状況「①既に取り組んでいる」										
			1 エコバッグでの買い物を心がける	2 電気の使用量を減らす（こまめに消灯する、テレビの視聴時間を少なくする、冷蔵庫にものを詰め込みすぎないなど）	3 エコバッグでの買い物を心がける	4 普段の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	5 家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える	6 日頃からマイボトルを活用する	7 従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	8 太陽光発電システムを設置する	9 低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している	10 自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）ことを考えている（リ	11 積極的に環境に優しい製品やサービス等を選択する
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)													
全体		1,536	627	934	1,218	413	1,047	923	640	217	399	151	440
		100.0	40.8	60.8	79.3	26.9	68.2	60.1	41.7	14.1	26.0	9.8	28.6
県の取組の認知状況	知っている	257	122	192	216	83	212	171	134	40	87	35	116
		100.0	47.5	74.7	84.0	32.3	82.5	66.5	52.1	15.6	33.9	13.6	45.1
	少し知っている	609	255	364	485	159	415	365	249	87	163	55	161
		100.0	41.9	59.8	79.6	26.1	68.1	59.9	40.9	14.3	26.8	9.0	26.4
	全く知らない	465	161	260	366	115	286	269	177	63	102	42	106
		100.0	34.6	55.9	78.7	24.7	61.5	57.8	38.1	13.5	21.9	9.0	22.8

【問 40×問 40-②のクロス分析】

「県の取組の認知状況」という質問に対し、「県民の取組状況「②現在取り組めていないが、今後取り組む」」の結果を見ると、どの認知状況でも「積極的に環境に優しい製品やサービス等を選択する」が最も高くなっている。2 番目は「知っている」では「低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している」が、「少し知っている」、「全く知らない」では「エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしている、体調や気温に応じて利用時間をできるだけ短くする」が続いている。

＜問 40×問 41-②のクロス分析＞

		合計	県民の取組状況「②現在取り組めていないが、今後取り組む」										
			1 エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしている、体調や気温に応じて利用時間をできるだけ短くする	2 電気の使用量を減らす（こまめに消灯する、テレビの視聴時間を少なくする、冷蔵庫にものを詰め込みすぎないなど）	3 エコバッグでの買い物を心がける	4 普段の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	5 家電製品の買い替え時には、照明器具を LED に替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える	6 日頃からマイボトルを活用する	7 従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備など（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	8 太陽光発電システムを設置する	9 低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している	10 自宅を省エネ住宅（ZEH など）にする（リフォームを含む）ことを考えている	11 積極的に環境に優しい製品やサービス等を選択する
全体		1,536	488	424	167	438	355	330	373	250	384	241	747
		100.0	31.8	27.6	10.9	28.5	23.1	21.5	24.3	16.3	25.0	15.7	48.6
県の取組の認知状況	知っている	257	73	43	24	78	35	45	57	60	83	68	104
		100.0	28.4	16.7	9.3	30.4	13.6	17.5	22.2	23.3	32.3	26.5	40.5
	少し知っている	609	218	193	77	188	155	154	165	109	167	98	337
		100.0	35.8	31.7	12.6	30.9	25.5	25.3	27.1	17.9	27.4	16.1	55.3
	全く知らない	465	144	138	47	119	133	90	110	57	92	43	218
		100.0	31.0	29.7	10.1	25.6	28.6	19.4	23.7	12.3	19.8	9.2	46.9

【表の見方】
上段＝回答数(人)
下段＝比率(%)

問 42 あなたは、現在、主にどのような環境問題に関心がありますか。(3つまで○印)

【総合】

「ごみのポイ捨てや不法投棄」が 38.9%と 1 位になっている。

次いで、「海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染」が 35.5%、「二酸化炭素など温室効果ガスによる地球温暖化」が 34.7%と続いている。

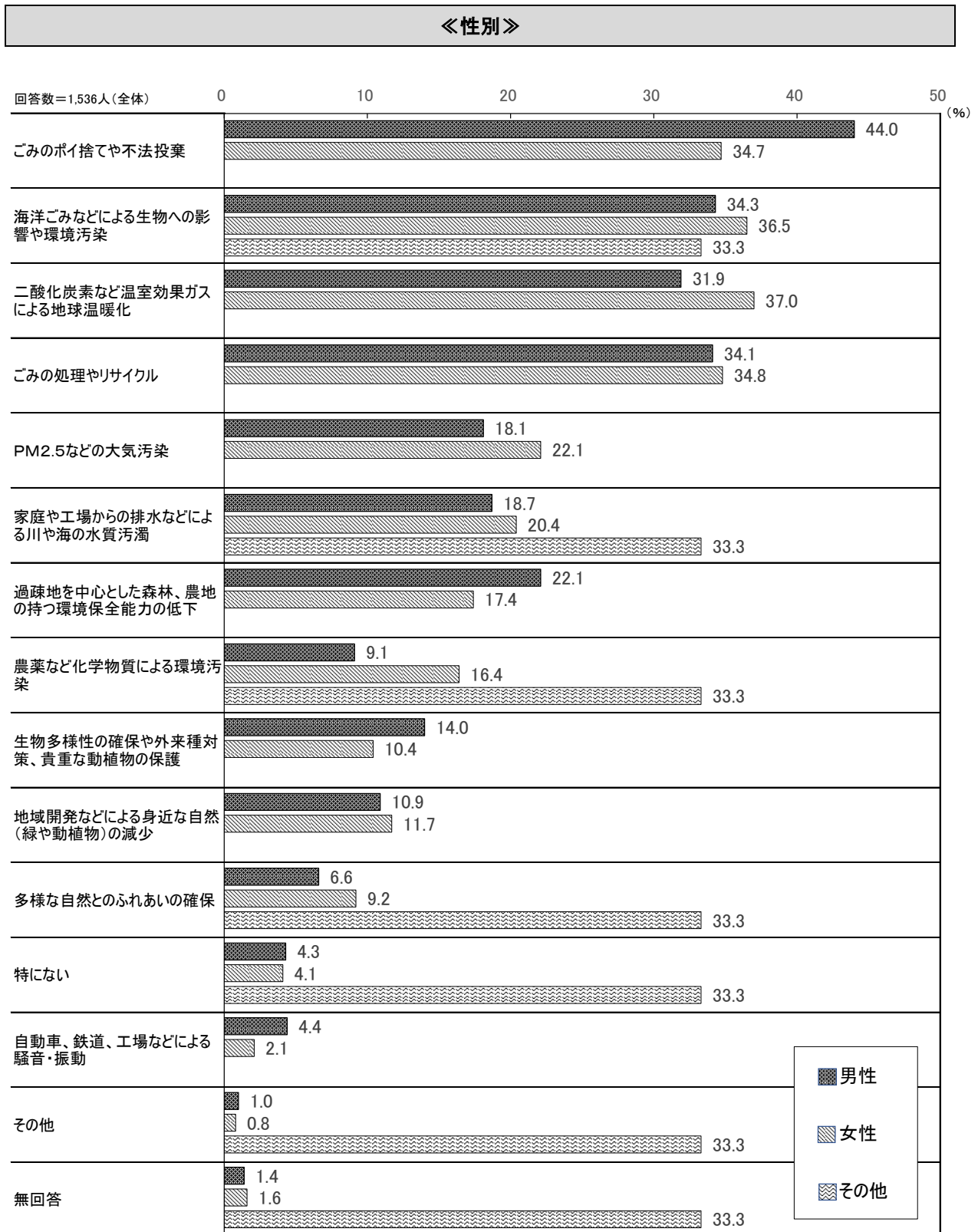
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
ごみのポイ捨てや不法投棄	38.9	598 人
海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染	35.5	546 人
二酸化炭素など温室効果ガスによる地球温暖化	34.7	533 人
ごみの処理やリサイクル	34.4	528 人
PM2.5などの大気汚染	20.3	312 人
家庭や工場からの排水などによる川や海の水質汚濁	19.7	303 人
過疎地を中心とした森林、農地の持つ環境保全能力の低下	19.5	299 人
農業など化学物質による環境汚染	13.1	201 人
生物多様性の確保や外来種対策、貴重な動植物の保護	12.0	184 人
地域開発などによる身近な自然(緑や動植物)の減少	11.3	174 人
多様な自然とのふれあいの確保	8.1	124 人
特にない	4.2	65 人
自動車、鉄道、工場などによる騒音・振動	3.2	49 人
その他	1.0	15 人
無回答	1.6	24 人

グラフ単位 (%)

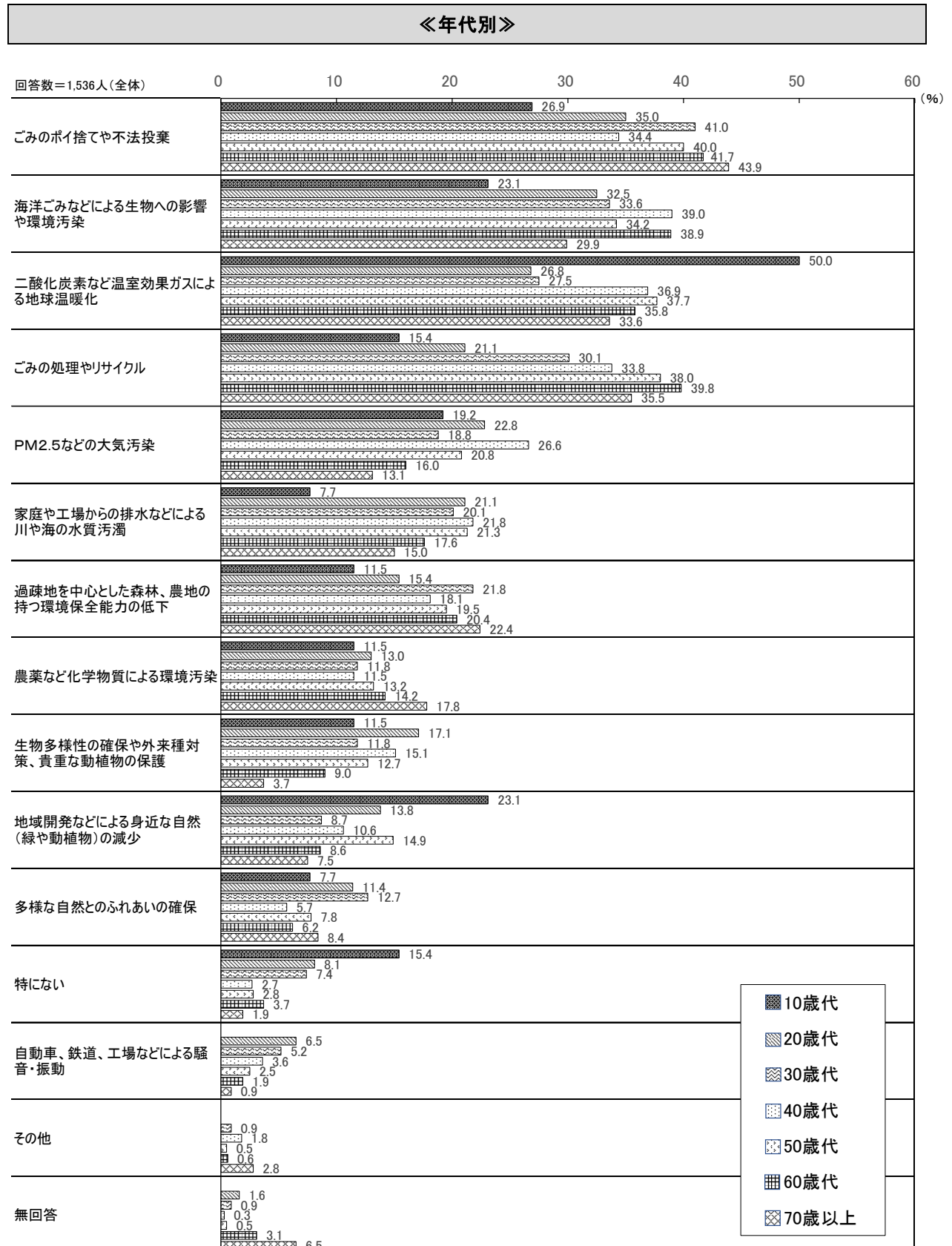
【性別】

男性では「ごみのポイ捨てや不法投棄」が、女性では「二酸化炭素など温室効果ガスによる地球温暖化」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代では「二酸化炭素など温室効果ガスによる地球温暖化」が最も高く、40 歳代では「海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染」が、20 歳代、30 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「ごみのポイ捨てや不法投棄」が最も高くなっている。



問 43 あなたは、県の環境をよりよくするために、今後行政がどのような分野に取り組む必要があると思いますか。

(3つまで○印)

【総合】

「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策」が 37.3%と 1 位になっている。

次いで、「プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策」が 34.9%、「資源の再利用、リサイクルのための施設の整備や産業育成」が 33.3%と続いている。

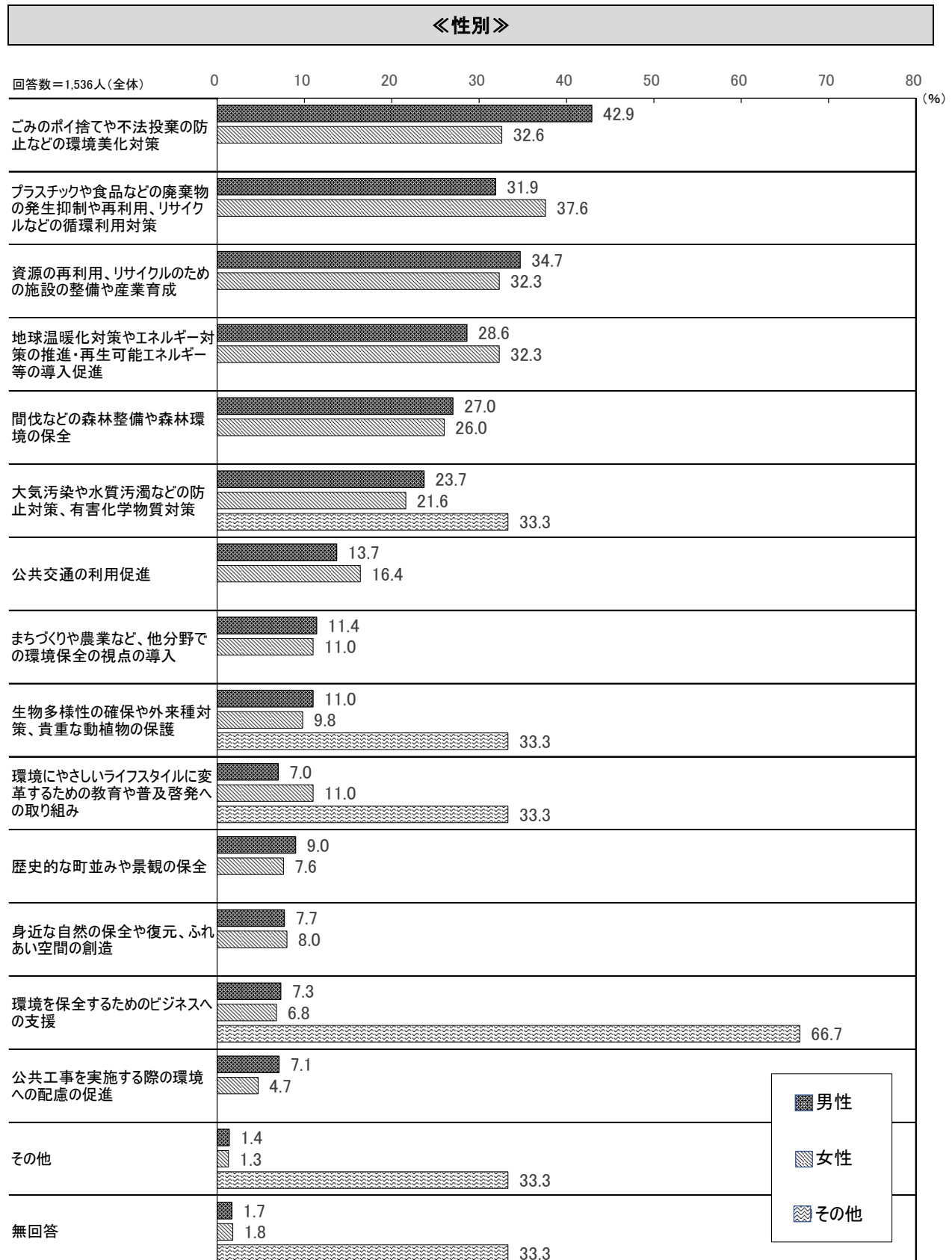
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策	37.3	573 人
プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策	34.9	536 人
資源の再利用、リサイクルのための施設の整備や産業育成	33.3	512 人
地球温暖化対策やエネルギー対策の推進・再生可能エネルギー等の導入促進	30.5	469 人
間伐などの森林整備や森林環境の保全	26.5	407 人
大気汚染や水質汚濁などの防止対策、有害化学物質対策	22.7	349 人
公共交通の利用促進	15.2	233 人
まちづくりや農業など、他分野での環境保全の視点の導入	11.2	172 人
生物多様性の確保や外来種対策、貴重な動植物の保護	10.4	159 人
環境にやさしいライフスタイルに変革するための教育や普及啓発への取り組み	9.2	141 人
歴史的な町並みや景観の保全	8.2	126 人
身近な自然の保全や復元、ふれあい空間の創造	7.8	120 人
環境を保全するためのビジネスへの支援	7.1	109 人
公共工事を実施する際の環境への配慮の促進	5.8	89 人
その他	1.5	23 人
無回答	1.8	28 人

グラフ単位 (%)

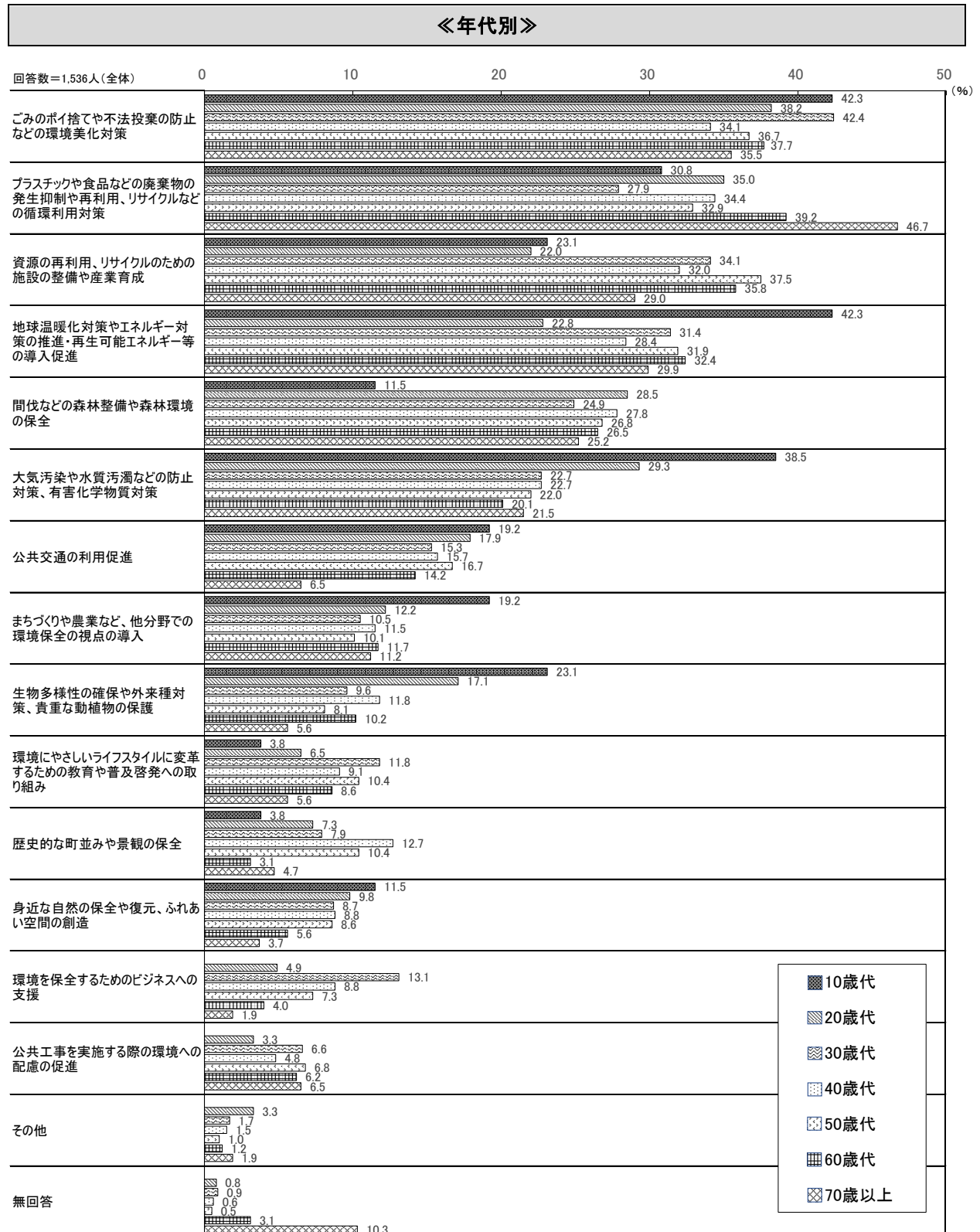
【性別】

男性では「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策」が、女性では「プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代、20 歳代、30 歳代では「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策」が最も高く、40 歳代、60 歳代、70 歳以上では「プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策」が、50 歳代では「資源の再利用、リサイクルのための施設の整備や産業育成」が最も高くなっている。また、10 歳代は同率で「地球温暖化対策やエネルギー対策の推進・再生可能エネルギー等の導入促進」が最も高くなっている。



11. 図書館の利用状況について

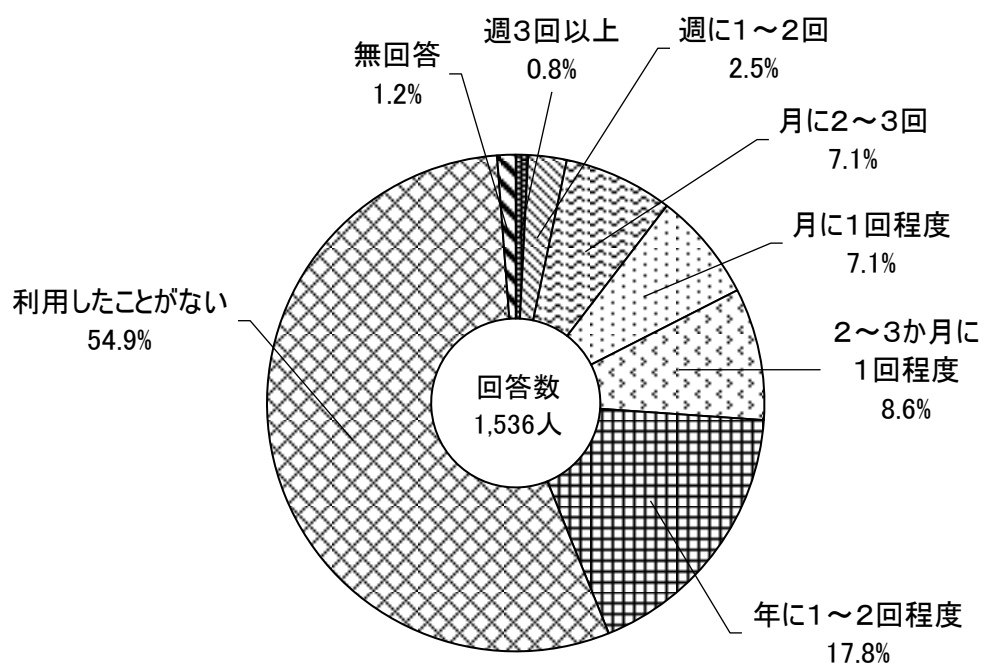
問 44 この１年間で公立図書館・図書室をどの程度の頻度で利用しましたか。(1つだけ○印)

【総合】

「利用したことがない」が54.9%と１位になっている。

次いで、「年に１～２回程度」が17.8%、「２～３か月に１回程度」が8.6%と続いている。

《総合》

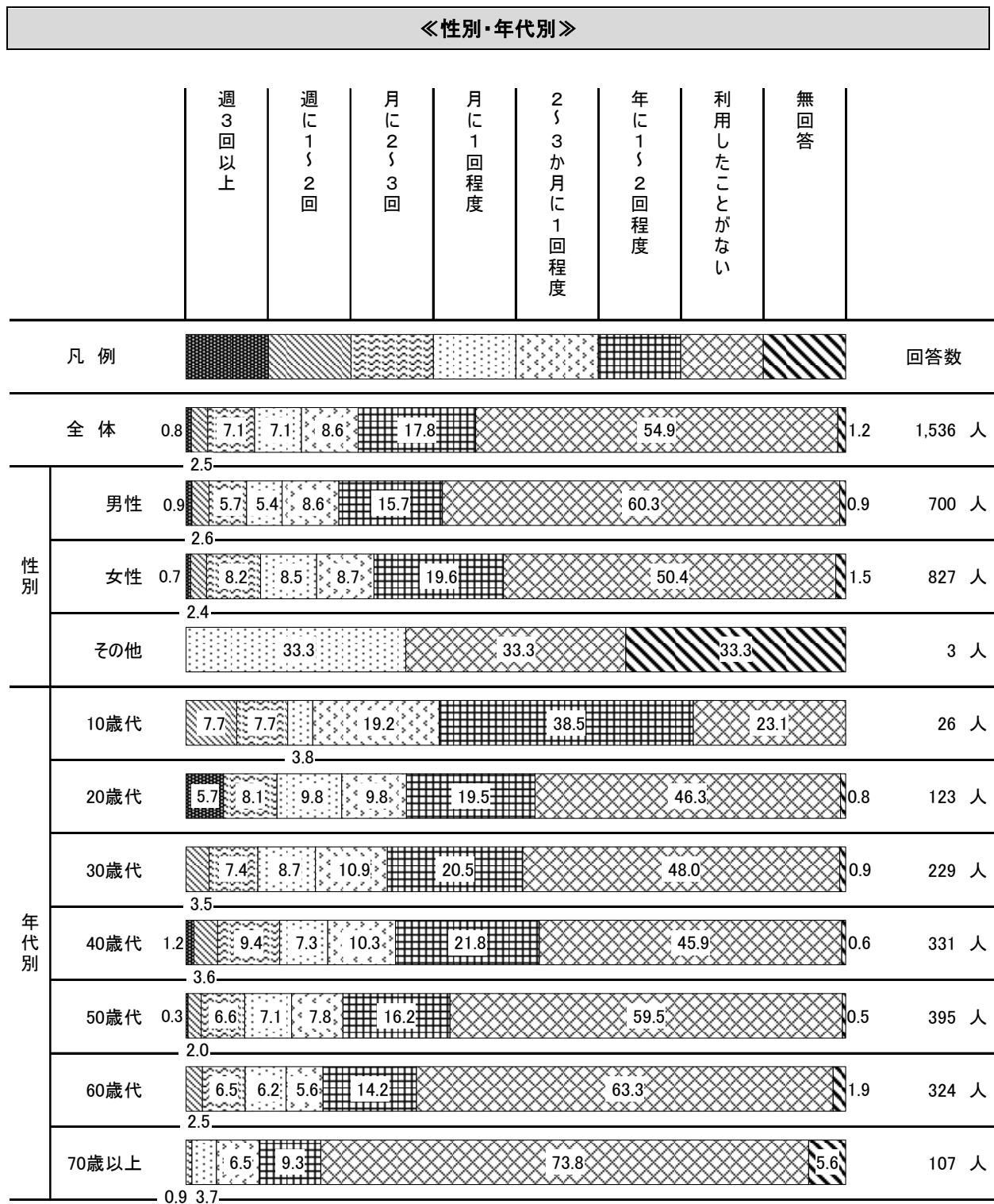


【性別】

男女ともに「利用したことがない」が最も高くなっており、男性が60.3%と、女性の50.4%よりも9.9ポイント高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で、「利用したことがない」が最も高く、10歳代では「年に1～2回程度」が最も高くなっている。



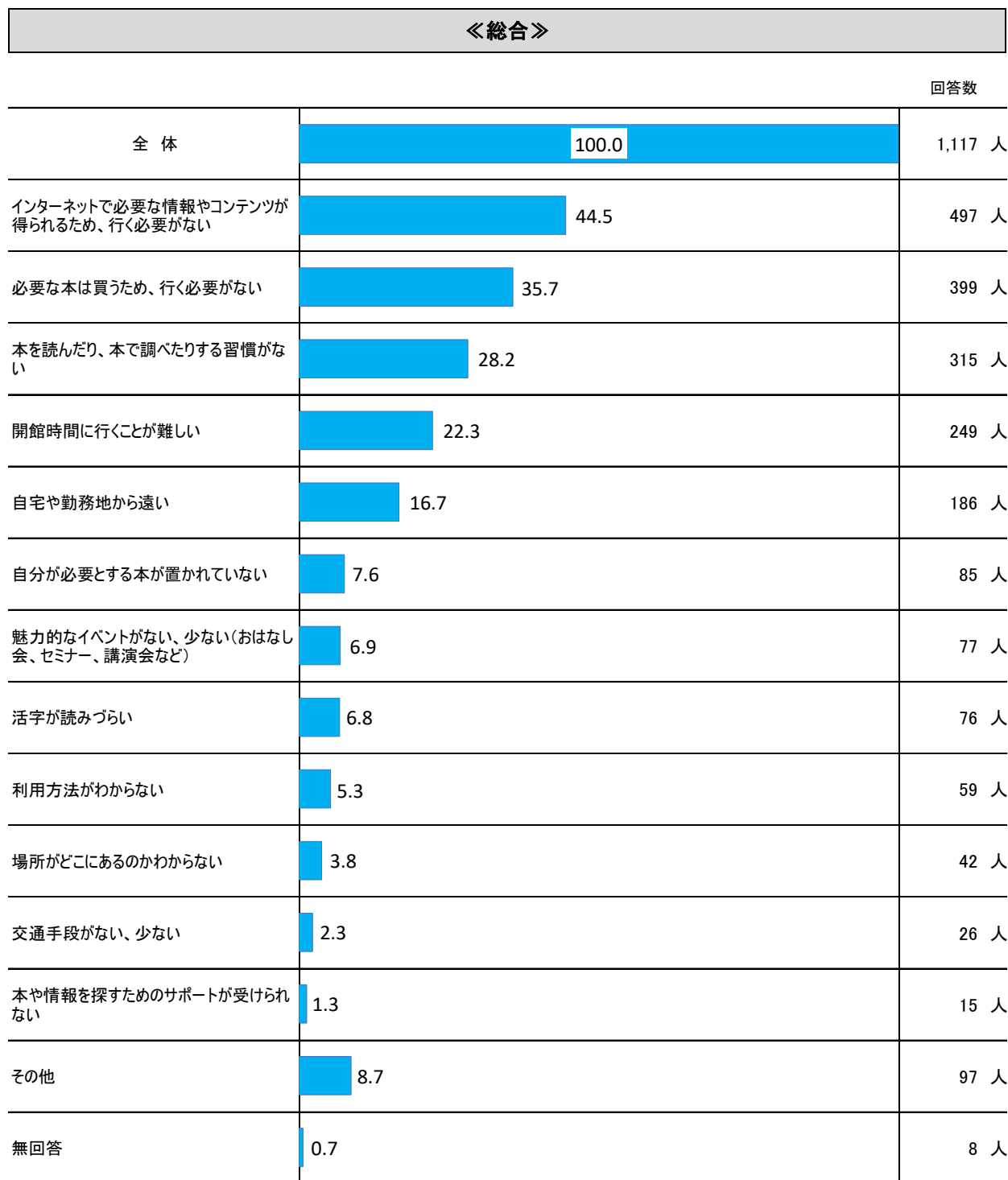
グラフ単位(%)

副問1（問44で「6年に1～2回程度」、「7 利用したことがない」を選んだ方のみお答えください。）
 公立図書館・図書室をほとんど利用しない又は利用したことがない理由は何ですか。（3つまで○印）

【総合】

「インターネットで必要な情報やコンテンツが得られるため、行く必要がない」が44.5%と1位になっている。

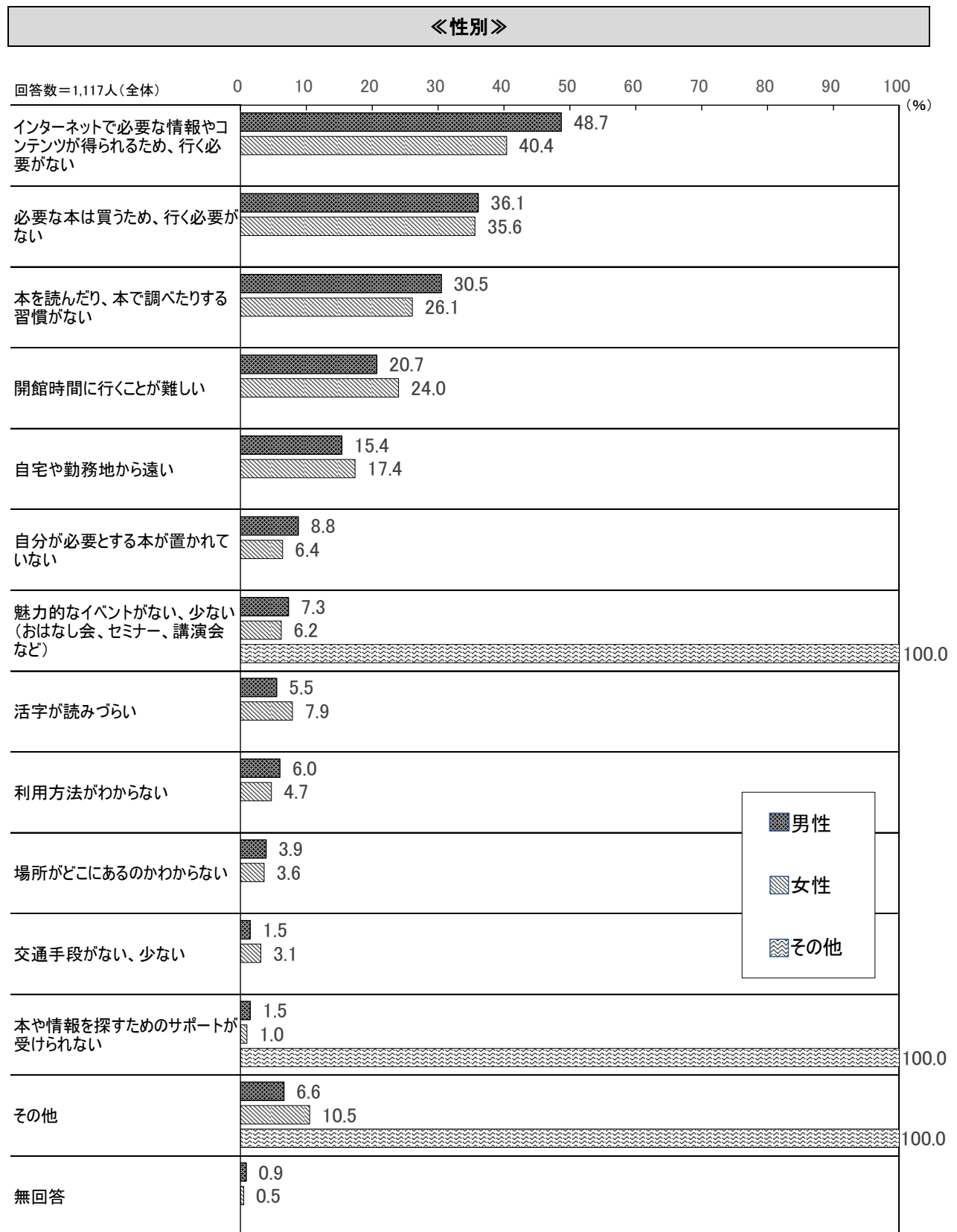
次いで、「必要な本は買うため、行く必要がない」が35.7%、「本を読んだり、本で調べたりする習慣がない」が28.2%と続いている。



グラフ単位（%）

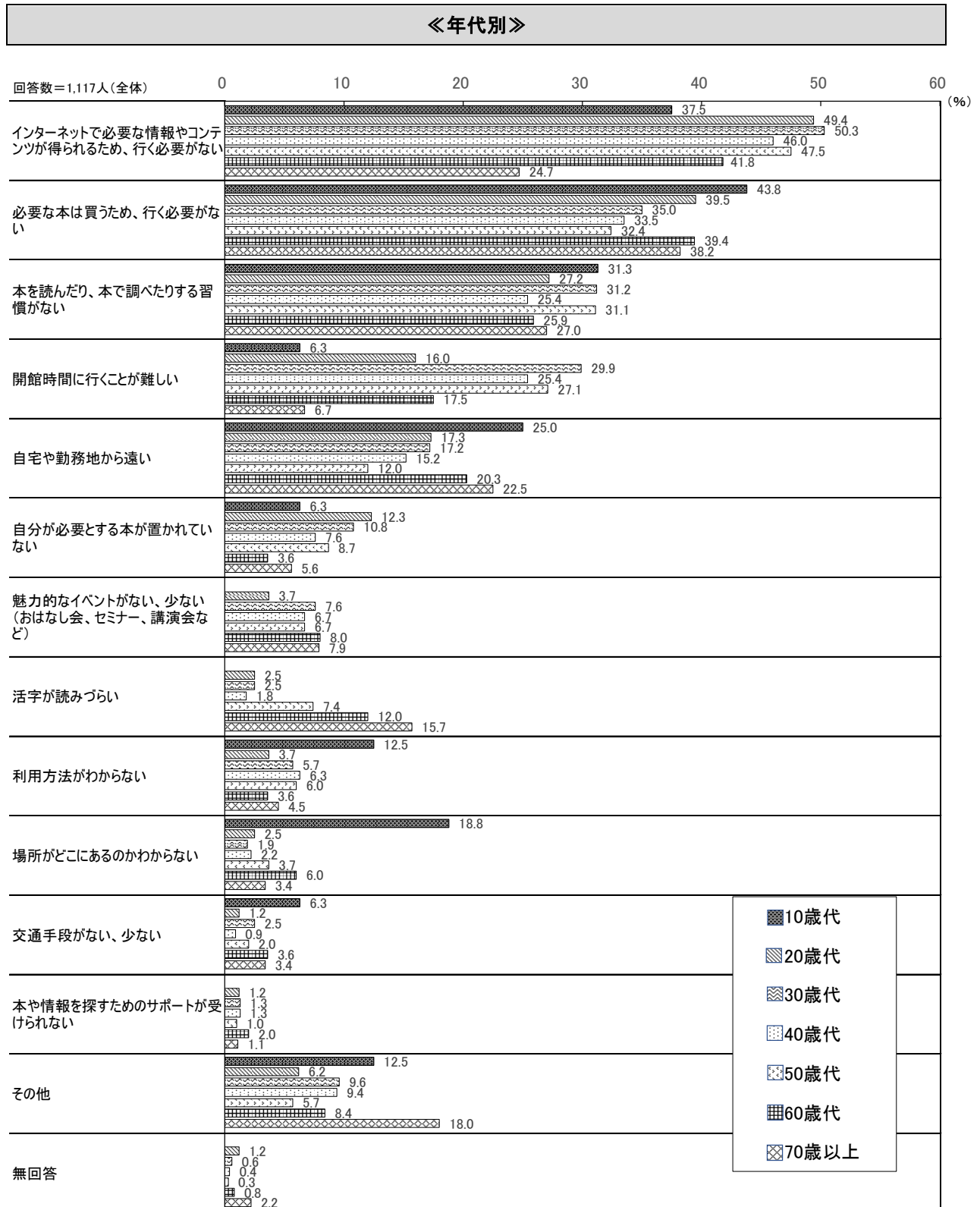
【性別】

男女ともに「インターネットで必要な情報やコンテンツが得られるため、行く必要がない」が最も高くなっており、男性が48.7%と、女性の40.4%よりも8.3ポイント高くなっている。



【年代別】

10 歳代、70 歳以上では「必要な本は買うため、行く必要がない」が最も高く、20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代では「インターネットで必要な情報やコンテンツが得られるため、行く必要がない」が最も高くなっている。



問 45 公立図書館・図書室にどのようなサービスが充実してほしいと思いますか(3つまで○印)

【総合】

「豊富な本や雑誌」が 44.7%と 1 位になっている。

次いで、「勉強や仕事ができるスペース」が 32.2%、「無線 LAN (Wi-Fi)」が 23.8%と続いている。

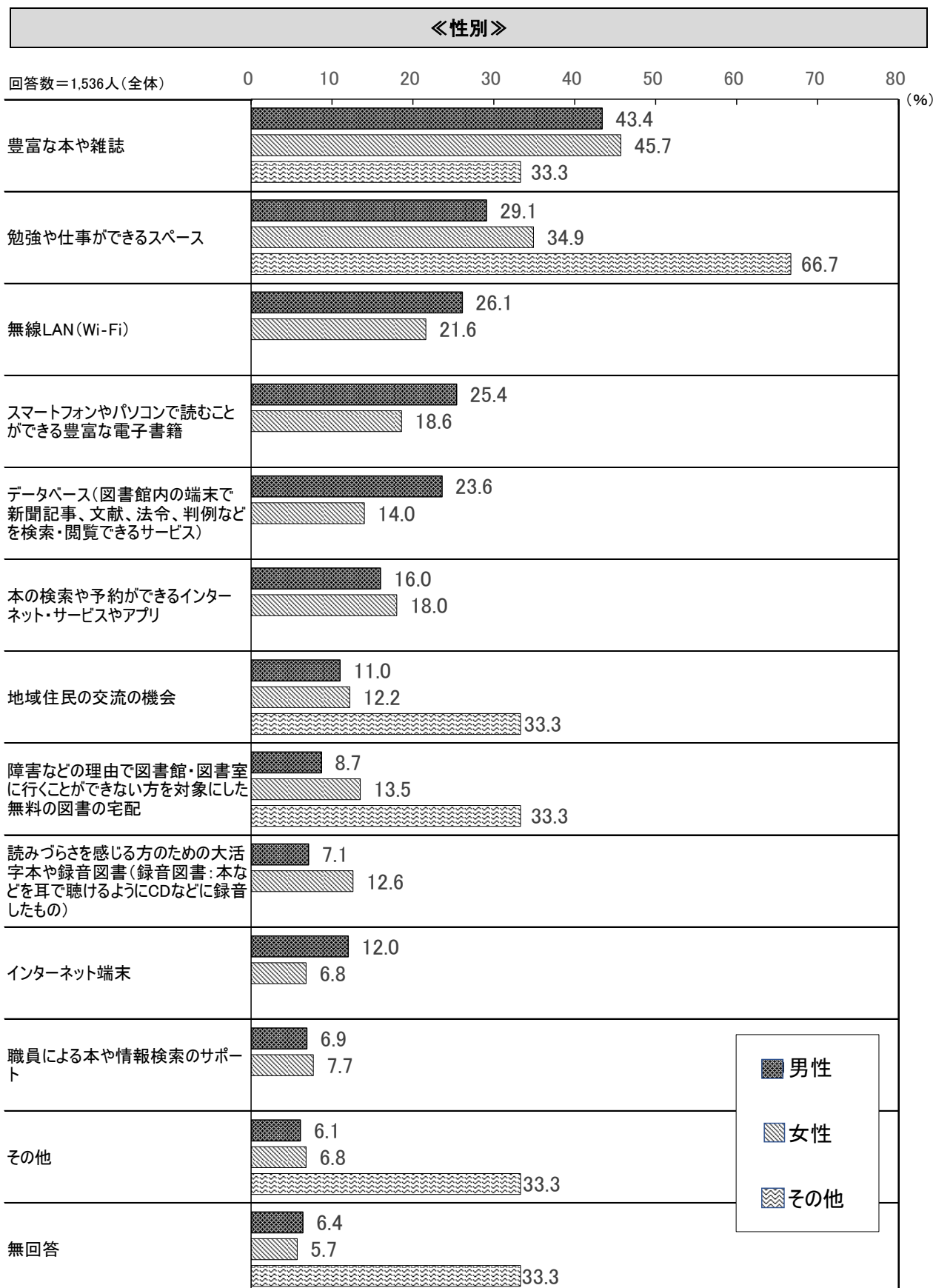
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,536 人
豊富な本や雑誌	44.7	687 人
勉強や仕事ができるスペース	32.2	495 人
無線LAN(Wi-Fi)	23.8	366 人
スマートフォンやパソコンで読むことができる豊富な電子書籍	21.8	335 人
データベース(図書館内の端末で新聞記事、文献、法令、判例などを検索・閲覧できるサービス)	18.4	282 人
本の検索や予約ができるインターネット・サービスやアプリ	17.0	261 人
地域住民の交流の機会	11.7	179 人
障害などの理由で図書館・図書室に行くことができない方を対象にした無料の図書の宅配	11.3	174 人
読みづらさを感じる方のための大活字本や録音図書(録音図書:本などを耳で聴けるようにCDなどに録音したもの)	10.1	155 人
インターネット端末	9.2	141 人
職員による本や情報検索のサポート	7.3	112 人
その他	6.5	100 人
無回答	6.1	94 人

グラフ単位 (%)

【性別】

男女ともに「豊富な本や雑誌」が最も高くなっている。また、「データベース（図書館内の端末で新聞記事、文献、法令、判例などを検索・閲覧できるサービス）」では、男性が23.6%と、女性の14.0%よりも9.6ポイント高くなっている。



【年代別】

10歳代、20歳代では「勉強や仕事ができるスペース」が最も高く、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「豊富な本や雑誌」が最も高くなっている。

